THE TAIWAN JIHO

臺灣時報

九月號

EAST ASIATIC ECONOMIC INVESTIGATION BUREAU
登録濟
南滿洲鐵道株式會社東亞經濟調查局
SEP 5 1927
SOUTH MANCHURIA RAILWAY CO., LIMITED.

内容目録記入済

臺灣時報發行所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

臺灣時報發行所役員

評議員長　後藤文夫

評議員（以下イロハ順）

石黒英彦
石坂莊作
伊藤兼吉
西川利藤太
（醫學博士）堀内次雄
富田松彦
富地近思
陳鴻鳴
陳中和
林熊徵
林獻堂
林烈堂
林鶴壽
李延禧
太田吾一
大竹勝一郎
（農學博士）大島金太郎

大越大藏
小野時雄
簡朗山
片山三郎
吉岡荒造
楊吉臣
（醫學博士）高木友枝
高橋親吉
田村武七
田村藤四郎
田丸直之
高山仰
武田英一
津久井誠一郎
鼓包美
津田毅一
琴木栗造

永山止米郎
中田秀造
宇賀四郎
草鹿砥祐吉
（醫學博士）倉岡彦助
久米孝藏
松岡富雄
牧山清砂
松本晃吉
增永吉次郎
藤野幹
小松吉久
吳昌才
辜顯榮
古賀三千人
黃欣
吳汝祥
黃春帆
後藤和佐二
枝德二
遠藤所六
鄭神寶
後宮信太郎

近江時五郎
相原祐彌
赤司初太郎
赤石定藏
坂本素魯哉
佐々木紀綱
柵瀨軍之佐
皿谷廣次
蔡蓮舫
齋藤透
佐藤得太郎
木村久太郎
木村泰治
許廷光
木下信
三好德三郎
三浦碌郎
白勢黎吉
徐杰夫
平山寅次郎
久宗董
本山文平
鈴木重臣

編纂委員

生駒高常
猪股松之助
服部武彥
原口竹次郎
大澤清高
大竹勇

常務員

和田一次
和田博
鎌田正威
横光吉規
田端幸三郎
中瀨拙夫
中田榮次郎
內田隆
深川繁治
淺野安吉
佐藤續
水越幸一

編輯係

秦滿
鷹取田一郎
泉芳德
葉山石雲
眞倉民治
安藤泰夫
鈴木重男
伊藤憐之助

昭和二年九月十三日印刷（每月一回）
昭和二年九月十五日發行（十五日發行）
（定價一部郵稅共金三十五錢）
（廣告料一頁金二十圓）

發行所　臺灣總督府內　臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣二〇七〇番
電話總督府內第八八九番

編輯兼發行人　臺北市東門町一五八番地　伊藤憐之助

印刷者　臺北市榮町二丁目十二番地　加藤盟吉

印刷所　臺北市京町二丁目四十三番地　小塚本店印刷工場

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪市高麗橋

株式會社三十四銀行

資本金五千萬圓

各地支店
東京、京橋(東京)、京都、神戸、兵庫、尼崎、尼崎東、西宮、姫路、
廣島、德島、阿波池田、奈良、伊丹、傳法、臺南、高雄、
(大阪市内)南天滿、雜喉場、堀江、日本橋、九條、朝日橋

本行之特色
銀行一般の業務の外擔保附社債信託法に依り信託事業を兼營す
事業資金部を置き工業資金の供給を爲す
外國爲替は香港上海銀行の代理店として最も便宜に取扱を爲す

臺北支店 臺北市本町二丁目
(電話三三四、五六、二一九五)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報 昭和二年九月號 目次

口繪 ▼ 龍骨車

時言

地方長官會議に於ける上山總督訓示……一

地方長官會議に於ける後藤總務長官訓示……六

臺灣林業に對する第一印象と希望……關文彥……一三

臺灣に於ける肥料の取締……小野勇五郎……二四

時報

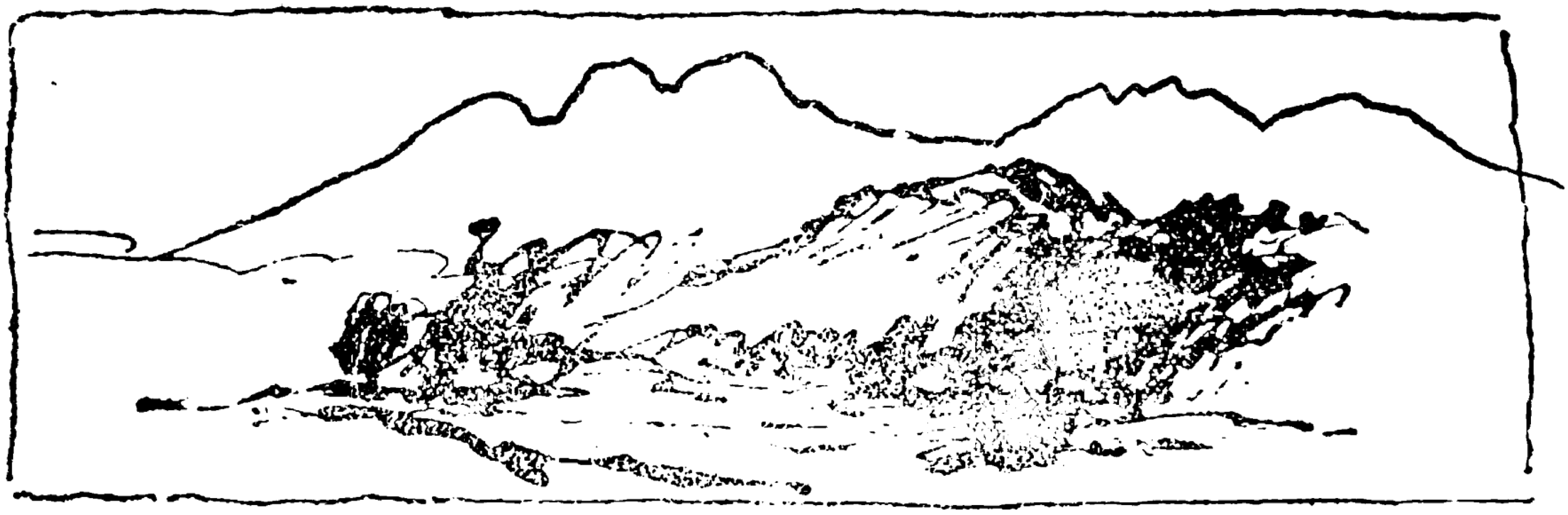
高砂寮開寮　小作爭議積極的調停　全島社會事業講習會　來期產糖豫想　芭蕉界好況　出礦坑新噴油　地方長官會議　軍司令官新任　武官紹介　上山總督文武官招待　臺灣八景決定

寄書

近世に於ける植民思想竝植民運動の發展に就て(一)……淺香末起……三六

第一回國際土壤學大會に於ける米國大統領の演說竝概況……澁谷紀三郎……四七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



L16

講演

亜細亜から欧米へ……鎌田正威……五五

說苑

秋立つ窓……石川欽一郎……七五

調査研究

支那の國民革命と國民政府(一)……井出季和太……八二

英帝國領土内に於ける棉皮及棉纖維の栽培……前川昇譯……九七

島情

臺灣貿易統計……總督府税關……一〇四

臺灣金融統計……財務局金融課……一一〇

文苑　漢詩　俳句……一一三

臺灣日誌　人事消息　任命……一一六

支那及南洋情報……總督官房調査課……一一九

支那　北樺貨　佛領印度支那　蘭領　英領馬來　蘭領東印度　英領印度

支那及南洋其他海外重要記事索引……官房調査課……一一九

株式會社臺灣銀行（臺北）

支店出張所

臺灣

基隆　新竹　臺中　嘉義　臺南

高雄　宜蘭　淡水　桃園　南投

屏東　臺東　花蓮港　澎湖島

支店出張所

支那

上海　漢口　福州　廈門

汕頭　香港　廣東　新嘉坡

其他

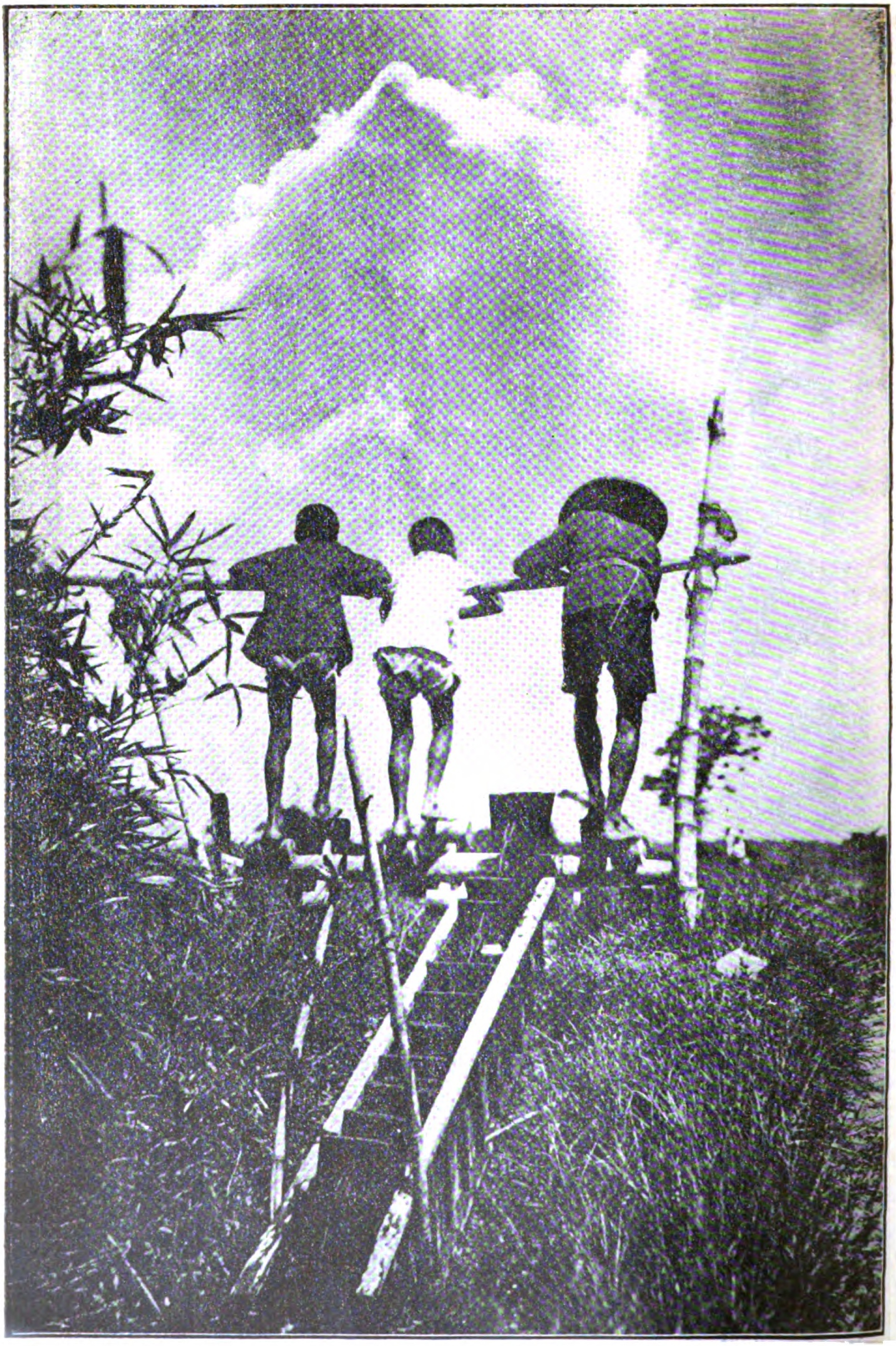
スラバヤ　スマラン　バタビヤ　孟買

カルカッタ　倫敦　紐育

內地

神戸　大阪　橫濱　東京

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



龍骨車（炎天下の灌水）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

九月號

上山總督訓示

＝昭和二年八月十八日　於地方長官會議＝

本島統治の大綱は莅任の初に當り訓示したれば尙各位の記憶に新たならん而して今復茲に所懷を述ぶるの機會を得たるは余の欣幸とする所なり

客臘　先帝陛下晏駕あらせらるゝや特に內帑を下し賜ひて救恤の資に充てしめられ又恩赦令を布かせ給ふ　天恩の洪大なる感泣の至に禁へず事に當る者は拳々服膺　聖旨に副ふ所なかるべからず

恭しく惟るに　今上陛下踐祚の初に當り　大詔を渙發して億兆の慶福を軫念させ給ひ又國民の嚮ふべき所を宣示し給へり臣子たる者誰か感激發奮せざらん當に宜しく日夜精勵以て皇國の進運に貢獻し

聖恩の萬分の一に報い奉らんことを期すべし

我帝國が億兆心を一にし萬古不易の基礎を固くするを得たる所以のものは一視同仁の　聖德に根源せるものにして建國以來歷世相承け給へる遺訓なり顧ふに新附の國民に對し常に　聖恩の均霑せるは史乘の證して餘ある所にして我が臺灣統治上に於ても歷代の總督此　叡慮を奉戴して苟も愆なからしむことを期したるは固とより其所なりとす

大正十二年四月　今上陛下皇儲として本島に行啓あらせらるゝや親しく民情を覩はし深く島治を以て念と爲し給へり曩に余上京の時特に拜謁を賜ひ本島の事情に關し優渥なる御下問を忝うし感激言ふ所を知らざりし臺灣在住の臣民は深く之を銘記せざるべからず

抑本島の在住臣民が擧て　優渥なる皇恩を感戴し隆昌なる國運に依賴せることは余の夙に知悉せる所なり殊に過般の財界恐慌に際し幸に本島金融界の平靜を維持し得たる所以のものは職として本島同胞の皇室と國家とに對する誠心誠意の發露なるを思ひ感慨無量のものありたり此の一事は以て萬事を推すを得べく國家國民の爲實に慶賀に堪へず

輓近時勢の進步と文化產業等の發展とに伴ひ本島の帝國に於ける地位は年と共に愈々其の重きを加ふ故に上下一致協力して共存共榮の實を擧ぐるに邁進するは本島住民今日の一大責務なり幸に官民積年の努力は漸く全島をして此の重荷に堪へしむるの狀態を馴致しつゝあり是れ洵に喜ぶべき事に屬す然れども刻々變遷せる世相は近來本島に在ても社會上に於て又經濟上に於て往々にして協和を缺くが如き事象の發生を見るは大に戒心すべき所なり

臺灣統治の本義は一視同仁の　聖旨を奉戴し民族の融合を中樞として文化と經濟との併行併進を期す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るに在りて復他有ることなし

　昨年從任當時に訓示せしが如く我帝國の根基を成せる大和民族は本來單一にあらずして數民族の血液融合し以て新たに一大民族を成したるものなり已に相融合して水乳の相和するが如く渾然として痕迹無きに至りたるが故に國家は富强を致し國民は福利を享るを得たるなり其の融合を全うするに至りし所以のものは　列聖の鴻謨大猷に由るは言ふを須たずと雖東洋民族が融合性に富める事實も亦た看過すべきに非ず本島に於ても在住同胞が融和結合を完うするにあらざれば國家無彊の安泰と國民永遠の福祉とを期することと難し而して余は向後假すに相應の歳月を以てせば完全なる融合の效を奏すべきを確信して疑はず冀くば官民一致此の目的を貫徹するの覺悟を定め先づ以て民族的感情を除去するに力めんことを如し夫れ之に背反する言動は嚴に之を戒飭するを要す

　國民道德の基本を明かにし時と處とに應じ民智の啓發に努め堅實なる向上の途に進ましむるは當面の急務なり故に之に應ぜんが爲め前に文教局を新設して其の中樞機關を整へ以て文教の振作改善と社會教化の進展とを實現せんことを期せり

　孔門の遺教は實に東洋に於ける教化の根抵なり故に孔廟の維持釋典の擧行の如きは特に此に留意し以て風教の振興に貢獻するを要す又我が臺灣には鄭成功、曹瑾、吳鳳の如き崇敬すべき人物を出したること少なからず須らく是等の事蹟を顯彰し以て社會教化に資するに意を用ふべし

　本島の位置と天然とが其の産業をして帝國内に於ける特殊の地歩を占めしむること今復贅するを要せず原始産業並に之に關聯する工業を基本とする本島の産業は今や漸次集約複雜の域に進むと共に更に新方面に展開せんとするの機運に達せり而して本島の産業は古來農を主とせるも商工業も亦比年益々隆昌

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に向ふものあれば之に關して必要なる機關の缺如せるものは漸次其の整備を圖らざるべからず

經濟政策は採算を基礎とすべきは勿論にして產業事業、奬勵事業共に其の理を一にす然るに國家的施設を說く者往々にして此理を閑却せるやの嫌なきにあらず顧みざるべからず唯夫れ或は統治の本義に基き或は文化の發達を主眼とせる經濟的施設の如きに至りては必しも然る能はざるは言を俟たず

內地臺灣の經濟的聯絡を緊密ならしむべきは着任當時の訓示に於て一言したる所なり各位と俱に今後玆に力を效さむことを期す

南支南洋は臺灣を仲介として帝國の經濟的雄飛に適當せる土地なること衆目の等しく見る所なり固より漫然突進するは失敗を招く所以なりと雖今後益々調査研究を累ね適應せる施設を爲さゞるべからず

時世の推移と經濟上の發展とに伴ひ漸次各種社會的運動の發生を見んとす其の穩健適正なるものは宜しく之を善導すべきも苟も奇矯過激に走り國家社會の根基に影響する虞あるものは勿論公安秩序を紊るが如きものは之を防遏すべく又經濟上の進展を阻止し一般民衆の福利を傷つくるが如き結果を來すの虞あるものに就ても亦同じく深く戒心せざるべからず而して是等各種の事象は其の性質複雜にして之が影響する所亦廣汎なるを以て普く經濟上に亘りて各般の考察を審にし以て適正にして周到なる措置に出るを要す

先般の財界大動搖は實に本邦經濟上未曾有の事變なりしが本島に於ては擧島一致の態度其の宜しきを得たる爲め忽ち鎭靜に歸せり是れ獨り本島の幸福たるのみならず邦家の爲亦慶賀すべきなり其の後頃ろ臺灣銀行整理の大方針定まり其の基礎漸く確立せんとし而して其の產業方針の本島中心主義に復歸したるは實に本島民多年の熱望を實現したるものにして殊に欣喜に禁へざるなり然れども彼の財界動搖の本

島一般に及ぼせる打撃の未だ治癒せざるものあるのみならず臺灣銀行の活動力の復活に就ても尙大に力を用ふるを要するものあり今後官民協力堅忍不拔以て之に當らざるべからず

官吏は國權の作用を附託せられたる公人なれば其の事を處するに當りては常に寛嚴宜しきを制して恩威竝び行ひ以て良民を悅服せしめ非違の徒を屛息せしむるを要す而して官吏の民人に臨むには懇切を本旨とせざるべからず彼の非違の徒に對するに際しても常に其の罪を惡みて其の人を惡まざる底の襟度を存すべし斯くの如くにして官吏の威信始て全きを得ん而して此の威信を維持するが爲には居常自ら三省して德操の完成に勉めざるべからず余位任の初に當り公職に在る者の德操を擧げ誠實勤勉淸廉の三者其の一を缺くべからずと爲し之が完成を期せんことを要めたり有司各々職責に應じて其の最善を盡し復他念有ることなく自ら持するに淸廉にして世俗の風潮に動かされず夙夜奉公の誠を竭し苟も他の譏笑を招くが如きことある可からざるのみならず懈怠放慢信を失ふが如き擧措は尤も之を戒むるを要す各位は宜しく部下を指導監督し以て其の本分を全うせしむるに努めらるべし

其の他行政各般の重要なる事務に就ては總務長官をして別に訓示せしむ各位能く其の意の存する所を諒し本島統治の爲め盡瘁せらるべし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

後藤總務長官訓示

‖昭和二年八月十八日　於地方長官會議‖

私は總督府所管の行政各般の事務に關し特に各位の御考慮を促し度い點に就き項を逐うて申述度い

一、當府の財政は過去數年來中央政府の方針と當府自體の財政の狀況に鑑み一面緊縮整理の方針を採ると共に時代の要求に順應する施設經營は努めて之が實施を計つた昭和二年度の豫算總額は一億一千百五十萬圓餘にして昨年度に比し約二千萬圓の增額である其の內司法機關の改善縱貫鐵道の複線工事下淡水溪の改善、油田調查及小作慣行の改善奬勵、其他產業又は敎育上の諸施設に關する相當巨額の經費を計上したのは本島現下の狀況に鑑み深く意を用ゐた所である而して是等の施設に幸に着手し得たのは鐵道複線工事費の財源約千五百萬圓を公債に求むることを得たからである、時勢の進運は年々凡ゆる方面に進步改善を要求して止ませぬが當府の收入には自ら限りがあるので先年來經費の緩急要否を考量して廢すべきは之を廢し減ずべきは之を減じ又延期すべきは之を延期し由りて生じたる餘裕を以て必要なる方面の增額又は新規重要なる施設に充當することに努力した卽ち豫算の集中主義を採り散漫にして實蹟薄き經費の使ひ方を改善せんことを期したのである、未だ充分に經費の集中主義に依りて限りある收入をして最善の能率を發揮せしむる使用方法を實現し得たと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は云へぬが今後と雖も益々此の方針に從ひ一つを成就して更に他に進むことゝし精力の分割が精力の浪費に終はるの弊を避けたいと考へて居る、然し乍ら一面には巨額の經費を要する緊要の施設にして限ある收入を如何に苦心按配するも應ずることを得ぬものが澤山待ち構へて居る之は公債の財源に依る外はないのであつて中央政府の方針及我財界の情勢が之を許すや否やと言ふことが此種の施設の成否を決するものである以上當府財政の方針並に今後當府の行ふべき重大なる改良進歩の施設が公債財源の充分得らるゝや否に掛つて居る事を申述べて參考に供する次第である。

一、地方行政財政の件に就きては之が運行の衝に當らるゝ各位に於て常に之が研究を怠らず其の運用の妙を發揮するに於て遺憾なきを期して居らるゝことゝ思ふが總督府に於ても過去の實績に省み將來の改善發達を圖る爲其の實情を細かに調査するの必要を認め本年度豫算に於て之が調査の經費を計上したる次第である各位に對しても之が調査攻究に就き終始協力を煩はし度いと思ふ。

一、國民精神の徹底を圖るは教育上最も根本且つ重要なものであることは茲に改めて言ふを俟たないそれで代々の總督に於かれても其の主旨を訓示せられ教育當事者亦此の旨を體し其の實現に努力し來つたのである、所が本島は内地と遠ざかつて居る關係上教授の上に不便を伴ふことが尠くない事や其他各種の事情に依て其の實現に容易ならぬ困難がある而しこれは何處迄も苦心と研究を重ね其の困難に打ち克たなければならぬ各位は教育當事者の强固なる信念と不斷の努力とを以て之が實現を圖るやう御指導を願ひたい。

一、教育の實績の擧否は學校教員が其の使命を自覺すると否とに存することは申すまでもない然るに近時學校教員の實狀を見ると動もすれば苟安を貪り退嬰に流れんとする傾向がある加之學校の柱石たる學校長其の人の日常の勤務振が往々些細の事務に沒頭して動もすれば教授訓練の實際に遠ざからうとするの風があるのは甚だ遺憾に堪へない斯かる狀態では

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

到底教育の實績が擧がるものではない抑も學校は人格養成の道場であります教職員は常に慈愛の心持を以て生徒兒童に臨み其の人格を以て之を感化し生徒兒童は崇敬の念を以て其の師を迎へてこそ教育の本義を達せられるのである、而して各學校に於ては須く學校長が率先して陣頭に立ち熱誠と努力とを以て全職員を率ゐ全職員之に倣ふて協力一致其の熱誠と努力とを傾倒するやうにありたいものである、斯く致したならば學風自ら成り教化の效大に擧り國家が教育に期待する所も達せらるゝのである、希くは學校教職員が今一層深く其の使命のある所に自覺し不拔の信念を以て其の天職の實行に努むるやう指導せられんことを希望する次第である。

一、本島の文化的事業は教育にまれ宗教にまれ社會事業にまれ今後尙新に施設を要するものがあることは勿論既設のものに就て其の內容の充實改善を圖らねばならぬものが多々ある、而して其の施設改善に當つては深く留意を願はねばならぬ點がある、乃ち徒に時流を追うて新しき施設を誇つたり皮相に迷うて內地又は外國の模倣に流れたりしてはなりません又舊慣に泥んで眞實の意義を有たぬことは漸次改善して行くことに力めなければならぬ、而して如何なる事業を經營するにしましても豫め能く本島各般の實情を究め之に卽した計畫を立てなければならぬ、又同じ島內にしても地方に依て事情が相異するから各地畫一の計畫に流れぬやう留意せられたい其の上徒に事業の數の多きを求めず緩急を圖つて最も意義あるものから順次完成を圖ることにしましたならば著々事業の效果を現はすことが出來るだらうと思ふ。

一、本島の產業が既存のものゝ進步發展に就ても亦新なる方面の開拓に於ても一大轉機に向はんとしつゝあることを認めらるゝ、各位に於かれても地方の實情を基礎とし充分根底的の調查研究を遂げらるゝと共に其の可なるものに就ては實行に著手せられ度く必ずしも巨額の經費を要するものに限らず卑近にして實行し易く且實效の意外に大なるものが決して少くない、遠思近行の主旨を以て實行し得るものより著々實行せられんことを切望致します又近時本島農村に於ても漸次

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

農業上の爭議發生を見るは洵に憂ふべきことゝ思ひます此時に當り當局として此情勢に善處することが出來なければ將來農村の平和を攪亂し農業發展の基礎を危殆ならしむる結果に到達する惧がないとは言へませぬ本府に於ても地主小作人兩者の圓滿なる協調に依り漸次小作慣行の改善等を行ひ農村の平和を維持し農產增殖の基礎を確實にすることに付種々考究施設に著手して居るが此種事項は特に地方諸官の熱心なる努力に待たなければ所期の目的を達し得ぬのである、故に之が對策につき各位の不斷の考慮研究と適正周到なる措置とを求むる次第である。

一、本島の畜產業は御承知の如く島民が養畜思想に富んで居る關係上家畜の飼育頭數割の大なる本邦領土内に其の比を見ざる所である、故に之を農家の副業的見地よりするも畜產加工の企業的見地よりするも將來頗る重要なるものがある宜しく之が指導奬勵に關し尙一段の御努力を望む。

一、本島の水產業は近時長足の進歩を爲し就中漁業の發達に付き其の然るを見るのであるが、本島の地形海流の分布等に照せば尙之を以て滿足すべきものではない、殊に近接せる南支南洋方面の海洋は魚族豐富にして一大漁場たるべきものがある、故に本府は曩に漁業奬勵費の計上を爲し專ら優秀漁船の建造、漁具の改善新漁場の探險等に力を致し此の方面の開拓を圖ると共に本年度に於ては更に冷藏奬勵費を計上し鮮魚の輸送販賣機關の整備に努むる積りである、此の外製造に付ては其の大宗たる鰹節の品質改善と販路の擴張に努力し來り又養殖に付ては輸入魚苗の研究を初め淺海養殖の發展に付施設研究を重ねて來た、各位に於ても本府の意のある所を體し多望なる本島水產の振興發達に充分の努力を拂はれんことを望む。

一、糖業の發展改善產米の改良進歩等のことに就きては各位の熟知せらるゝところであつて玆に多く言を用ゐぬ。今日食糧問題等の喧しきとき本島の農產が極めて重要の問題であつて今後更に大躍進を爲し得べき情勢にあると思ふ。之れと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同時に又其の進步に伴うて起る技術上又は經濟上の諸般の困難と戰ひ之に打ち克つの準備と覺悟とを持つ樣當事者を指導奬勵せられむ事を望む。

一、本島に於ける石油採掘事業は從來相當の苦辛を重ねて來た所であるが近時產油額著しく增加し本島油田の有望なるを思はしむるものがある、本島油田の眞價の大要を知り且つ事業經營上の指針たらしむるの要あるを認め本年度以降四箇年計畫を以て油田調查を實行することゝした、本調查は總督府殖產局をして直接之に當らしめるが關係地方廳に於ては之に充分なる援助を與へられんことを望む。

一、總督府に於ては林政の根本的方針確立の緊要なるを認め大正十四年度に森林計畫事業を創始し特に森林治水關係に重きを置きて施行計畫を樹て十五箇年を以て完成の豫定であつたが近時新興產業の發達日に新にして林業の基本を確立するの要切なるに鑑み本年度に於て規模を擴張し期間を十箇年に繰上げ向ふ八箇年を以て完成することに改め之に依り合理的山林經營の實を擧げ以て本島產業全般の健實なる發達を期して居る各位に於ても宜しく治山治水の大本に基き一層適切なる地方林業方面の指導を行はるゝは勿論森林計畫事業の完成に充分協力あらんことを望む。

一、警察官の規律に關しては曾て申述べたことがあるが更に重ねて玆に之を一言するを厭はぬのは規律は即ち警察官の生命であるからである、警察官吏は職務の性質上實社會に直面して執行務に當り民衆に對し直接の利害關係を與ふる場合甚だ尠くないのである、故に警察官吏たるものは居常身を持すること嚴正に克く世事に通曉し犧牲的精神を以て奉公する信念がなければならぬ、若し夫れ警察の組織統制に至つては嚴肅なる規律の下に命令一下直に上下相呼應するが如くでなければならぬ、各位は警察官吏の敎養訓練に或は指導に一層留意し諸般の執行務に對し適正の措置を誤らしめず苟も警察本來の精神に悖る所爲のない樣注意を望む。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、理蕃事業は既往幾多の犧牲と巨額の國帑を費し近時漸くにして蕃情平穩の時代に入り撫育施設又普及し蕃人の生活從て改善せられつゝあることは洵に歡ばしき現象である然しながら幾多の蕃族中には今尚舊習に囚はるゝ者があるのである、此際理蕃職員をして平穩に慣れしむることなく紀律節制を重んじ常識の涵養に力を致し常に詳密なる査察を怠らず蕃地の騷擾を惹起せしむるが如きことなき樣戒愼を加へられたい、若し夫れ蕃人の啓發、蕃地の開發のことは頗る多望なる將來を有する問題であつて現に實行せられつゝあることの促進を圖ると共に更に深く考へ遠く慮つて之が計策を立つることを要す、各位も亦宜しく周到な注意と適切な計畫に基き部下の監督指導を行ふと共に其の管内蕃地の實情に付き一層攻究を進められんことを望む。

一、本島衞生施設中マラリア防遏は極めて緊要なることは今更言を待たぬ過去の努力により本病の危險は市街地に於ては甚だ少くなつたが本病の浸潤する所極めて根底深く島民の保健上尚ほ甚大な潜勢的禍害を與へつゝあつて之が防遏は實に本島保健衞生の基調を爲すものである嚢に地方制度改正と共に之が防遏實施を各地方廳に一任し既定方針に依り各地の實情に應じ其の完成を期して居るが最近防遏計畫の退嬰に傾くものゝあるのを見受けるのは甚だ遺憾とする所である、先年特別會計廢止の際本病防遏に關し特に依命通達を發せられた主旨は玆に在るのである、各位は其の意を體し常に根氣と熱心とを以て其の實績を擧ぐるに努められんことを望む。

行政各般の事項に付言ふべき事は尚ほ盡さないのであるが他の機會に讓る其他細節に亘つては指示事項として各位の御留意を促すことゝして昭和新政國家一新の秋に方つて日に進み日に新にするの國是に則り協力一致國運の隆昌を圖らねばならぬ各位と共に最も緊張したる氣分を以て職責を盡し事績を擧げて奉公の責務を完うせんことを庶幾する次第である。

（示要旨、文責在記者）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣林業に對する第一印象と希望

營林所造林課長　關　文彦

發端　昨年十一月半赴任途中、笠戸丸食堂に於て偶々知り合ひになつた或る人が、私の名刺を見るなり、直ちに新任の渡臺者と感付いたらしく、種々親切に臺灣の事情を聞かせて呉れた。其の言外に「何を云ふても林業は臺灣の産業中一番遲れてをりますね……だが山の經營は最も大切に思ひますよ」云々と、前の半句には明かに林業に對する輕侮の意が含まれてをり、私の頭には「何をだから乃公が今赴任しつゝあるのだ」と一種の反抗心さへひらめいたが、同時に下の半句「だが山の經營は最も大切に思ひますよ」は、非常に同情あり理解ある言葉なので、民間人士にも斯く味方があるのに、今まで餘り振はなかつたと云ふのは一體どうした譯なのか、と云ふ一種の先輩に對する不滿心までが起つて來たのであつた。

だが營林所の椅子に納まつて熟々考へて見ると、先輩の努力の痕は歴然たるものがある。にも拘はらず、事實林業が産業中の下位にあると云ふものは、之れに當る多くの人が林業なるものゝ多種多樣なる效用を充分に發揮させようとはせずして、極めて局限して仕舞つてをる結果である。之を林學的テキニックで云へば森林の第一利用、第二利用、第三利用さうして近來は更に第四利用の點まで考へられてをるのに、臺灣の林業は其の一部の利用に終始して林業は木材を生産する

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

事業なりとして仕舞つてをる、謂はゞ木材一元論で押通さうとして來た結果である。所が臺灣の用材蓄積は思つた程半永久的のものですらないらしい、して見れば用材利用本位の林業が今後とてもどれ程の發展をなし得るであらうか。

と今一つ不振の原因として私が痛切に感じてをるのは、前段の如く木材一元論で行つてをる上に、更に林地國有一元論者が多いと云ふ點である。衆知の如く二百四十四萬町歩餘は國有で、公有林野は四千百餘町歩、民有林野は二十一萬餘町歩に過ぎない。之れでは民林業の發達しやうがないことは喋々を要すまいが、民業の發達と官營事業の進展とは好個輔車の關係を有することも贅言を要せず、兩者相俟つて初めて國策上より見たる林業、社會政策上より見たる林業が完全に營めるのである、即ち臺灣に於てはモツト。

●林業の民行熱を高めるやうにしたら、遙かに且つ容易に發展し得せしむることが出來ると思ふのである。即ち各種重要用材の供給、竝に樟腦の如き特殊產物の製造原料を產出すべき林業として相當大面積の林分を國營としたら、他の林地は一般民林業の發達に資し得べき方面へ供用せしめた方が、より以上集約なる土地の利用に可能性がある計りでなく、或は地元々々で各薪炭材供給林となすものもあらう。或は風致林を造るものもあらう、或は組合林とする所もあらう、又或る期間は農業用地とし、或る期間は混農林業を營み、又實際に植林の利廻りが下手な農耕作物より遙かに良いと云ふことが能く頭に入つたら、再び林業地に還元することも易い事で、能く經濟的有利なる利用途を講ずることは民間より鋭敏なるものはないのであるから、最も適切なる供用地とするであらう。就中最も多くの場合は各種團體の基本財產林にするなど、期せずして森林の第三第四の利用法までも講ぜられて、社會政策上にも誠に望ましい結果を齎すものと信ずる。即ち林業を社會化することが出來る。要するに之れが私の議論の本筋であり結論である。

●抑も大森林の所屬問題　に就ては昔時より議論のある所であつて、現在の國有林野の如き大面積のものを何處までも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國有として國が直營すべきものであるか、或は私有なり公有なりに移した方が本筋のものであるかは、人各その見解に依つて說を異にしてをる。彼の歐洲に於て十八世紀末の頃已に國有林存廢問題に就て熾烈なる討議が行はれたと云ふ事は、林學出身者の誰もが林學講堂に於て禮々しく聞かされた所で、先刻御承知ではあるが事の順序として其の要點を記さんに、先づ廢止論者の云ふ所は、十八世紀の末歐洲を風靡せる自由貿易主義にも說破しある如く、富國の要訣は不干涉主義を採用することであつて、政府自體が營利的事業を爲す如きは失當である。殊に森林經營の如きは國營となすが爲めに却つて木材供給難に陷るの恐があり、加之官吏は經濟的感念に乏しく且つ不忠實なる爲め事を集約になさず、土地生產業の發達進步を阻害するものである。又官吏に兎角不正の利益を收むるが如く民衆の眼に映じ之れだけ事業遂行上に支障を來たすであらう、又政府事業は民業と不法の競爭をなし、殊に競爭の結果として行政訴訟の提起となつた場合多くは訴訟費倒れとなつて敗訴する等兎角民業は官業に抑壓される。又官業は豫算に束縛せられて無理なる收入を舉げ若くは不當なる支出をなす嫌がある。其の他政府と國民との關係は租稅あるが爲めに密接なる緣故關係を保てるものなるに、政府が森林の如き大財源を所有して財政を自由にするのは、自然租稅の必要度を減じそれだけ緣故關係を冷淡にする。且つ政府自から財源を有することは、議會の議決權を縮少せしむる結果ともなり、立憲國としては憂ふべき事柄である。故に國有林の如きは民業に移し自由なる經營に委した方が宜しく、斯くせば割讓に依つて得る所の現金收入は莫大のもので、之れだけ國の財政を豐になし得るのであると云々と。反之國有林保存論者の說く所は、第一、廢止論者の高唱する自由貿易主義なるものは短期間の營利事業に對しては然らんも、林業の如き非常に長年月を要するものに在つては效果はない。又假りに民間に拂下を爲すも人民は濫伐したる跡には植林をなすものなどは少なく大面積の林地が荒廢に委せられる之れ公安上の大問題である。蓋し林業は他事業と異なり普通の私經濟的感念を以ては論ずべきでなく、常に治水、國土の保安等、公益事業

として經營せんければならぬ。又林業は其の性質上より大資本家の經營に適せるものなるのみならず、官營として大企模の事業をなすとすれば、多くの勞働者に生業を與ふることゝなり、社會政策上よりするも肝要事である。第二、元來林產物は運轉し難きものなる故に、政府の如き一手に管理經營するに非らざれば需給關係を圓滿にし難く、又一國として世界に獨立して行く以上その財政を租稅にのみ待つのは一朝事あるとき財政的窮境に陷るを以て、政府が或る確實なる財源を所有することが必要であり、而かも其の最も適當なる財源は森林に如くはない。故に若し現在の國有林を賣却して多額の現金を得るとしては、その金を以つて再び森林の如き不動產に換え置くの必要を生ずる。第三、林業には特別なる技術を要するも事業其者としては簡單なる故、民業の如き機敏を必要とせず、寧ろ官吏事業として保續的健實なる經營をなすに適する。又國有林の存在は民間大資本家の獨專を防止し得べく、從つて個人的に貧富の差を大ならしめずして已む、之れ社會政策上にも極めて必要である。其の他國有林の分割は政爭の具に供され易く、就中政黨內閣の場合にその弊害が多い云々と。

さて叙上の議論を以てすれば、何れも其の部分的には首肯される所があるだけ、甲論の主張する所は乙論を以て之を駁することを得べく、總合的に見れば何れも絕對論ではない。今我國內地の森林狀況を見るに、總林野面積二千三百四十四萬町步の內御料林は約六十萬町步(二分六厘)、國有四百四十萬町步內外(一割八分八厘)、公有約五百五十萬町步(二割四分)、社寺有約二十一萬町步(九厘)、及び私有林野約一千二百七十四萬町步(五割七分)であつて、其の內最も古くより統一的に且つ合理的に經營されたのは國有林である。國有林に於ては明治十一年林區制度開始以來、造林と斫伐と共々に企畫さるゝ所多かりしも、林區署其の者の所屬官廳さへ數度の變遷行はれ、所謂森林行政機關の過渡期に屬し積極的事業の遂行までには至らず、その後明治二十二年官有林は悉く農商務省の直轄となり全國に十六の大林區署を配置し、越えて明治三十

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二年度には十六箇年繼續計畫として特別經營事業起るや大規模の人工造林事業開始せられ、爾來我國内地の植林事業は眼覺しき發達をなし、續いて同三十八年度には官行製材所の開設となりて木材利用の方面に伸び、流石に政府所有の森林だけありて管理機關の完備と事業經費の豐富とは克く國有林經營の進歩を促がし、今や林業經營の範を世界に垂れむとするに臻れり。然りと雖政府も林政當事者も、不必要に大面積の林野を國有に收得して、自から經營難に陷り民業壓迫の誹を招くの愚を學ばず、疾くより不要存置拂下の名に於て飛地又は介在地等の小團地は之れを主として緣故町村其の他公共團體に拂下し、明治三十二年度より大正五年度迄に賣拂處分せるもの四十四萬四千箇所此の面積七十一萬町歩に達し、其の後も着々整理處分を續行し居り、眞に國營に應はしき地域のみを取入れ、遺利を民間に移して小林業家の發達に資せしめたる如き、克く時代の推移に先んじたる賢明の處置洵に其の所たり。而して時勢は尙も進化し、大正二年三年には官專事業拂下の氣勢高まり一時帝國議會の問題に上り、延いて秋田縣代野官行製材所を初め、長野縣有明官行製材所其の他幾多の民間拂下のことあり、續いて歐洲大戰の前後食糧問題の起るや、國有林内開墾適地の開放となり、又炭價調節の一端として國有原料木の地元緣故拂下の頻出となりし等、國有林の所有關係並に官營事業は外面的には次第に縮少せしめ又せしめざるを得なかつたのである。謂はゞ之れは官營事業獨占主義の自然的打破の實現であるとも見らるゝかも知らぬ。然し兎に角

●我が國内地の森林行政が官營事業のみに貪せず、民林業の發達を誘致せしむる事に懈ならざりしことが、林業をして今日あらしめて居ると云ふことは見逃がし得べからざる事實である。卽ち彼の國有林保存論中の可を採り不可を去り、一方廢止論中の首肯さるべき點は何所までも考慮し、盲目的官營論は之を排除して處分すべき筋合のものは夙にその方針に出でゝ居つたが、爲めに反對者も反對の理由を見出得ず、近年の如く思想問題に引き絡んで兎角土地問題などが論議さるゝ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のに、內地國有林は事新しき變改も受けずに安泰たるを得てをるのである。反之最初より今月まで、若しも迂濶に國有爲能で進んで來たとしたら、內地の森林行政は今頃は混沌たる狀態に陷つてをつたかも知れない。

現に內地の國有林に對する移管論の如きは智識階級者からも屢々出たやうであるが、具體的に實地に就ての問題となると、移管すべき性質の箇所は疾くに移管され、又處分するを合理とする部分は夙に處分されて、現在の國有林は治水上、國土保安上或は經濟林としても國有たるを尤もとし、官民何れの立場より考へても政府に依つて管理經營して貰はなければ共々に不利を來すと云ふ如き種類のものである爲めに、何時も理論倒れして仕舞ふのである。之れは誠にさもあるべき事柄である。然るに之れが若し純理論より推されてタヂ〳〵になるやうな箇所までを國有林が抱擁して居つたならば處分や移管問題は絕え間なく、折角の森林計畫も施業案も保護制度も造林計畫も改訂常なく、林業當事者は眞に多岐亡羊の嘆を喞つことであつたであらう。之を憶ふ時常に林政に建策して、恰も多事多端の近世に、民林業の勃興と國有林經營の安泰とを贏ち得せしめたる故松波秀實博士の頭腦に今更敬服せざるを得ない。斯くして我國には嘗つて獨逸や墺國に扱はれたやうな國有林存廢問題などは永久に起り得ないのである。だが我が臺灣だけに就て見るとき果して如何であるか之れは林業家も等しく熟慮せんければならぬ事項である。惟ふに、

●本島の林業發達の經路は生蕃が狩獵の目的を以て廣大なる面積の山燒きをやる一方、偶然にも一部の山林は消極的に保護せられ又建築用の竹林造成や畑作の手段としてハンノキ山黃麻等の植栽をやり、平地に在りては支那民族移住と共に斑芝棉の移植を行ひしは少許のものであつたとしても、其の後本島人は必要に應じて油桐、福州杉、多くの竹類、檳榔樹などを植栽し、一面天然の用材を伐り出して販賣取引をもやり、又水源涵養とか防風防潮の目的を以て自然林を保護し時に植林をも營んだ事ではあるが、領臺後に於て山林資源の開發が企圖せられ、續いて島治上の一作用として森林令が布か

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れた譯だと思はれるが、當初、

●林政の辿つた進路は官營林業の埒を出でなかつたであらう事は、土地柄が土地柄であるだけに當然の事でもあらうが其の後に於て林政の元締は兎に角として、林業の衝に當りし者、林業の第一線に活躍した人等が他面に於て統治の進むに連れ、又文化の發達するに隨つて、克く廣汎なる林業の功力を洽ねからしむるやうに努めしや否や、さうして又林政の進路をも轉回させるべく仕向けんと計りしや否やは、今日でも尙ほ私有林は甚だ少なく、街庄の基本財産林や郡又は州有林と云ふものもなく極めて茫莫たる大面積が國有林であり、整理を要すべき鮮なからざる餘地を剩してをることや、森林組合とか造林組合とか民營養苗事業其の他幾多の當然起るべき、又興さねばならぬ林業施設が一向に擡頭し居らざる一事から推察しても大體は判るのである。さればこそ林政機關變革の跡を見るに、明治三十三年殖產局拓植課に於て樟樹造林を開始して以來、三十八年には林務課が獨立し、四十四年に阿里山作業所の創設となり、庶務課、鐵道課、林業課の三課を置き、大正元年には樟樹造林事業は專賣局腦務課に移つたが、同四年に到り營林局が出來て太平山、八仙山の斫伐事業も初まり、本島の林業界は眞に隆盛の極に達した觀があつた。然し其れもほんの束の間で、九年の行政整理に營林局は營林所と改稱され豫算も激減の悲運に陷り今日に立到つてをるが、營林局が出來た當時に於てもその力を林業多方面に竭すことなく、阿里山、太平山八仙山の伐木事業にのみ終始して居つたやうにも思へる。其の他樟樹造林は云ふまでもなく官行であり、その上民林業奬勵の衝に當るべき殖產局林務課も直營苗圃を各所に設けて、多くは直轄又は州委託造林を主なる仕事として來たのではあるまいかとも考へられる。

して見れば 大正元年—昭和三年間 が從來の狀況であると云へば少しく極端かも知れぬが、大體そんな見當であつたやうに一般から見られても致方がない。さうして其の責は營林局時代の當路者に在る、營林局時代と云へば領臺後既に

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二十年の星霜を經て、各種施設は最早植民地氣分を棄てゝ建て行かれたに違ひないのに獨り林業は斯うした明を持つて進まなかつたことを甚だ遺憾とする。由來林業は誠に一般に理解され惜い仕事であるだけ、生産上の結果に大なる差がない限りは、周圍の多くの人が批判し得る立場に立ち、又可成は直接たづさはり得るやうに仕組んで行くことが必要である。その事が林業自から大をなす結果となり、結局林業生産は昇るのであつて林業家達が何時も官營に立籠るを能事とするは必しも林業に忠實ではない。營林局が僅か五年にして、滅したなどは余等後輩の好手本である。

斯く事實が物語る如く、官營事業あるのみを知つて他を顧みぬ林業家は、懸命の努力も廣き林業家には功績を遺すことなしに、却つて林業を自滅に導くの罪惡を釀らす、全く自滅とまでは行かぬにしても、一時他が羨む程の著しき隆昌を極めた反動として後に著しき衰退を來たし、それが他方面の林業にまで惡影響を蒙らすことはあり得ることである。素より官營に俟たねばならぬ性質の事業は多々ある、營林局時代にやつた阿里山、八仙山、太平山の斫伐事業も又古くよりやつた大面積の樟樹造林の如きもの、又は特種の目的を有する用材林の經營や、工場保護の爲めにする工業用原料林の經營などは之れに屬するが、反對に民營でも立派に成し遂げ得るもの否な寧ろ其の方が剴切の經營をなし得る性質の林業も多々ある。故に予は過去現在に營んでをる官行事業が不可なりとは云ふに非らずして、それ計りに没頭して民間林業の甚だ必要なることを解せず、其の發達を促す事に力を致さなかつたと云ふ事を遺憾とするのである。今や、

◎林政機關の統一、と云ふことが必要視され多くの人から其の實現を期待されてをる。統一とは現在の殖産局山林課と營林所とを合體せしめて本島林業の中樞を一つにすると云ふにあるのであるが、前述の如く大正九年に營林局が縮小されて營林所となり、爾來殖産局の片隅に立籠つて阿里山、八仙山、太平山の事業を營むに過ぎざりしを、昨大正十五年に至り專賣局の樟樹造林事業を取込み又山林課の直營造林をも併合せしめ、出張所も從來の嘉義、臺中、羅東の外に臺北、新竹

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

旗山、恆春、東部の五箇所を管下に置く事となり、同時に營林所は準獨立の官衙と見做さるゝに臻つたので、此の際一歩を進めて本島林業の力ある實行機關であり、同時に林政機關であり得る或るものを造ると云ふことは甚だ緊要であると云ふことは予も同感である。

だが然し、機關が統一されて後の仕事の種類並に内容に就ては今まで縷述したやうな點に關し吾人は深く考へねばならぬ。換言すれば假りに若し機關統一に依つて一局を獨立せしめ得たとしても、現在の國有林悉くを其の事業區域として、林局若くは山林局に昇格し、外觀上大なる發展とは見ゆるも、其の實林務官のみが恭悦がるだけにて其れ以外の眞の林業家は格別幸福に感ずる筈もない。州、廳並に郡は林業に就ては手持ち不沙汰になり寧ろ冷淡となるべく、民間に林業經營を志す者ありても土地を與へられざるを如何にせん、木材製材業者は大量拔者のみは督府と交渉を持し得るの機會は得らるべきも少資本家は手の出しやうもなくなる。本島は現在既にその觀がある、林業が産業中一番立ち遲れしてをるのも叙上の消息が大なる禍を爲しをる結果であると思ふ。蓋し生産事業の如きは決して國庫の力に依つてのみ振興し得るものに非らずして、多衆の協力奮鬪に負ふ所は甚大であるからである。況んや一般人士に理解され憎き林業に於ては、出來るだけ多衆が關與し得るの方法を講ずることが極めて緊要である。幸にも嚢に十箇年繼續事業として森林計畫案が認められ、總て全島林野の經營案が作製せられ官業民業の分野も確立せらるゝことである。故に予は此の際特に力強く希望する所のものは、全島の林野を國庫直營地と、州及廳に一切を委任して經營せしむる部分とに分ち、後者は州又は廳が自營し、若くは必要に應じ郡街庄等に經營せしめて、其の努力如何に依りて收得し得たる森林收入は各その歳入に繰入れ得るだけの自由を附與する如くすべし。之を假りに委任管領林野と名付けん。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

●委任管領の意味は所有權までは與へざるも、恰も所有地の如く取扱ひ得るものとの假の名である。約言すれば二百四十餘萬町歩の全國有林を現在の指定林野の如き國庫直營地と委任管領林野とに二大別し、斯くして指定林野は現在の三十二萬町歩を少なくも百萬町歩に増大し、以て中央山脈一帶に跨る重要用材林經營地帶と其の下部に位し而かもチーク等船艦若くは軍需用材並に製腦原料林經營地帶を網羅し同時に淡水河、大甲溪、大安溪、濁水溪、二層行溪、下淡水溪、宜蘭濁水溪、花蓮溪、卑南大溪等凡そ重要河川の治水水源地帶に治水造林を行ふ等一絲亂れざる合理的施設を計畫し、今後二十年にして來ると云はるゝ世界的木材の飢饉に用意し同朋の苦惱を救ひ、一朝有事に際しては輸入材の杜絶するあるも、克く自國の軍需に應じ工業を保護し、所謂自給自足に與つて力となり得てこそ他と俟つて愈々臺灣の使命は全きを誇り得るのであらう。若し夫れ剩されたる管領林野の經營に就ては州、廳並に郡、街、庄理事者は官營林業と呼應して當然の責務として否な興味と經倫とを傾注して、各自各所に最も適切なる、さうして最も集約的なる經營振を發揮し、昨日までは依牒的に林業奬勵を管下に口傳へしをりし地方廳も、今日は業主となりて事業の第一線に立ち、林業が他産業に比し採算上にも決して劣らざる事實と云ひ知れぬ妙味とを體驗して、民間にも眞摯なる指導者となり、彼是れ通じて從來はあたら不生産地の如く放置しありし林地を生産地に急轉せしめ、斯くして本島廣からずと雖、限りなき天惠と天然資源とに俟つて、平均單位面積の生産率を世界に比類なきまでに向上せしめ得ないことは無いと信ずる、眞に國利民福の第一ともなり得やう。斯く觀じ來れば、民業が今日では最劣敗者であるだけに將來は實に洋々たるものがある。それだけ今後の措置は重大問題と見てかゝらねばならぬ。兎に角、

●臺灣の民間林業は實に殺風景である。物足らぬ數々がある。臺灣特産の木竹材工藝試驗が加工製作業者に應用されるまでに仕向けられてをるが、小製材業は大製材業者の爲に擡頭し得ざる事情が伏在してはをらぬか、林産副業の助成は手

が届いてをるや、民間の小面積山林所有者は前記の如き手頃の製材業者加工業者のなき爲め集約なる利用途に感じ居るものはなきや、森林組合や同業組合は之れぞと思ふ程のものがないではないか、樹苗養成組合は愚か單なる養苗營業も眇たるものである。製炭事業の改良は目下營林所でやつてをる外に、民間事業の指導の爲めに高雄州でやつてをるのを聞いただけである。況んや木炭製造販賣組合の設立などは前途遥遠のやうに思へる。木竹材並に木炭等の市場取引方法中改正を要する點なきや。

私有林の施業計畫に就き手引を爲しをるや、林業器具の改良奬勵や改良器具の使用奬勵は如何にと訊ねて見ても速ろに臺灣でまだそんな事かと駁擊される程に問題視されてゐないやうである。斯くて臺灣の林業方針は民間事業には力瘤を入れざる約束にても存するや、著任以來日尚ほ淺き余は、或は感じ或は默思して自からの著想點を轉換する必要ありとも考へたのであるが、去ぬる地方長官會議に於ける總督閣下の御訓示に「上下一致協力して共存共榮の實を擧ぐることに適進するは本島住民今日の一大責務なり」と高調されてをられる、之れを承つて予の感じは忽ち雲散霧消し須らく林務當局者も此の方針に則り行くべきであることを更に痛感したのである。實際共存共榮と云ふことは殊に林業經營上には甚だ必要な事柄であつて、營林所の現在の事業に就て見るも、民間より一時的に傭ひ入れる職工人夫が甚だ重要なる役割を務めてをる以上は、彼等が平素家に在つて植林又は伐木の經驗を有し少くも林業の何たるかを解しをると否とは操作上著大の相違を來たす。だが遺憾ながら今日ではその智識經驗ある者は殆んどなく、爲めに生産費のみならず成績の上にも多大の損失を蒙りをることは爭はれざる事實である。況んや營林所は今後一層事業を擴張し内容を充實して行かねばならぬ立場にある以上は、一面民間林業の發達を切に冀はねばならぬ。火災の防止、盗伐の取締、産物の共同的販賣、利用法の改善、生産の集約化、林道の協同開鑿等所謂共存共榮の實を擧ぐる方法は多々益々辨じ得る性質のものである全く林業に於て然

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

りとする。

之を要するに指定林野を擴張して官營林業の基礎を一層鞏固にすると同時に、予が假りに名付くる、州、廳委任管領林野を通じての民間林業の發達を促すべき事を今後本島の林業林政上の一大方針たらしめん事が望ましいのである。それが爲めには督府が、爰に、

●一大林業會議を召集し農林業當路者竝に內務局地理係、理蕃關係者、專賣局側等は勿論地方廳理事者、民間林業家、河水の水利關係者の衆智を網羅して根本を討議し相協りて搖ぎなき林業計畫を、而かも速かに樹立するやう主唱されんことを切望して已まざるものである。斯くして大綱が定つて後彼の十箇年繼續の森林計畫は一層價値付けられるのである。

（一、八、一八）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣に於ける肥料の取締

臺灣總督府技師　小野勇五郎

肥料が食糧增產上最も重要なる要素である事は敢て論を俟たぬ處で、農業の集約化に伴ひ益々施肥量を增加し、遂には農業資本の大部分が肥料費となるは遠き將來ではあるまいと思ふ。我臺灣の如きは溫度及日照時等の天惠に浴し、地中にある僅か許りの肥養分ですらよく分解利用されるので、從來無肥料栽培を行つても或る程度迄は收穫を得られたが、少しく生產能率の高い品種でも入れやうといふ時は、直ちに失敗をまねくが如き例は、蓬萊米種の移入當時や甘蔗ローズバンブー種の栽培に就て經驗した處である。

本島の耕地は土性から見ても地中に於ける要素の分解作用より見るも、又單位面積の施肥量が內地の半分にも滿たぬ事等惡るい條件のみ多い。彼等農業者は幾何之に氣がつき肥料を施すと其效力は又內地の如き比例でない事を知つた。爾來施肥量が可成り急激に增加しかけたが、農家は唯々肥料が有效であるといふ丈けで、米作には何肥料を施せばよろしきや、どんな配合を用ふべきや分らぬ位なれば、購入すれば直ぐ騙されるといふ風で、市場の不正品を恐れて買はない。督府では農家の肥料に對する理解の程度を斟酌し、先づ自給肥料の獎勵をなす事とし、同時に販賣肥料は農會をして共同購入を

なさしめた。

茲に注目すべきは製糖會社の肥料購入の奬勵斡旋である。會社は各自己の農場に施肥上の範を示すと共に蔗農に對し補助附で肥料の前貸を行つた。今日肥料の施用等を二千萬圓に達せしめた功勞者として農會と共に特筆すべきものと思ふ。

肥料は如此狀態で漸時發展を遂げたが、今日尙依然として一般肥料市場が振はず、又供給される肥料も最近僅かに硫酸安母尼亞が市場に顯はるゝ位のもので、殆んど大部は成分の僞固し得ない大豆油粕で、過燐酸石灰の如きすら昨今漸く流行の域にすゝめる事より想像するも、本島農家の肥料觀念の普及程度が、內地農家に比しては未だ雲壤の差あると云はれても致方ない。農會又は製糖會社等團體の購入斡旋の有效にして、將來益々助長發展せしむべきは異論ない所なれども、卽ち大量取扱による優良品の安價購入をなし得べきも、一面には農家の希望する處は、需要期に於て、隨時隨所に品質及量目の正しき肥料を可成的安價に希望に從ひ購入し得らるゝ事である。然るに前記團體によると、品質數量の正確安價丈けは望み得らるゝも、大規模取扱の弊として、必要なる時期より三箇月も五箇月も以前に申込ませられ、又た途中で約束の數量を自由に變更する事が出來ないといふ場合もある、又市場小賣の肥料は大量購入の不便とする處は滿し得るも、不正品なる危險が伴ふ、斯く兩者共に多少の缺陷と優點を伴ふ。故に理想的の方法としては、一面に共同購入を奬勵して一面には市場に優良なる肥料を充分安價に供給せしめる事が甚緊要である。市場に肥料を潤澤ならしむるには、先づ需要者たる農家が市場に於ける肥料の素人鑑定をなし、不正商に對しては農家と正當なる營業者とが相共に協力驅逐する方法を講ずる外、官廳として施設すべきは

一、講習講話により又は指導により農家に對し肥料觀念の向上を計る事

二、肥料に關する品評會不正肥料展覽會を催し肥料の簡易肉眼鑑定に關する智識の普及に力むる事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三、肥料共同購買又は其共同配合等更に研究改良する事

四、肥料營業者の指導

五、督府が市場肥料の成分を監督し純正なるものを供給せしむる事

等である。是等は

何れも必要缺くべからざる機關なれど、是等幾多の善美なる奬勵の方策は、歸する處市場に於ける肥料が品質正しく數量の正確なるにある。仍て肥料政策を確立せんと欲せば、先づ其根本たる肥料の取締に如かずとしたのである。

本事業は大正十五年度に認められ、爾來法令の作成審議と分析設備等、事業に伴ふ豫備をなし、昭和二年六月六日の勅令第百五十六號を以て肥料取締法の引用を、七月五日府令第三十七號肥料取締法施行規則其他關係規定を發表し、愈々八月一日より實施した。そして本事業の眼目とする處は左の二つである。

第一、品質並斤量の正しき各種販賣肥料を市場に潤澤ならしめ、農家をして市場の肥料に信頼して隨時到る處に於て購入せしめ、共同購買乃至其の類似行爲と共に、長短相補ふ事により、肥料奬勵の完璧を期せんとするものである。

第二、不正商人を驅逐し、不正又は粗惡肥料の出現を未然に防ぐ事により、正當なる營業者の業務を確立せしめ且其の營業に關する技能を啓發指導することにより、之等營業者が各德義を重んじ品質數量の正確なる適當の肥料を農業界に供給し、純朴なる農家と相共に永く利益を享有せしめんとするものである。

臺灣に於ける販賣肥料の過半は、內地より移入さるゝ現狀で、將來と雖特別の事情なき限り、暫くは此の狀態を繼續すべきものと思はれる。內地では、諸工業の發展に伴ひ漸次、工場副產物の種類及量を增し、之を單獨肥料又は調合肥料の原料として用ゐらるゝ爲め、肥料要素の稀薄なるものが混入し、年を逐ふて成分低下せんとする傾向が見ゆるのは甚寒心に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

耐へない。勿論内地の取締方針も輸入移入場合及製造の場合には、肥料又は原料に成分の最低を制限して居るに不拘、或は國産品なりとか、廢物利用と稱して、極端に主要成分を下げんとするのである。農家保護の立場よりすれば、今少し制限を上ぐべきであると思はるゝも、今日では移入品が本島の肥料及肥料原料の多數を占むる關係で、特別の差支ない限り、内地法に近似せしめた。

先づ昭和二年勅令第百五十六號で内地の肥料取締法は其儘引用し、只内地法中主務大臣又は地方長官とあるを總督としたのと、臺灣は獨自の事情ありとして、營業用には非ざるも、自家用に非ざる肥料の製造輸入移入又は賣買をなすものに對し、臺灣總督必要と認めた場合肥料取締法の全部又は一部を適用せらるゝ事とした。即ち臺灣は四面環海の孤島で、良港に乏しく、貨物の殆んど總てが基隆及高雄港から入る。從つて臺灣の肥料も大部は此の二港よりするに依り、こゝで嚴重なる檢査をする事は、肥料が島内深く搬入されてより調ぶるものに比し遙かに效力がある。又製造營業者にしても有力なのはして居るので、内地の如く府縣知事に總ての職權を與へて相互連絡上の不便を感ずるよりは、寧ろ總督自身が取締るを得策として總ての職權を臺灣總督に收めた。然しながら、賣買營業者は單に商行爲をなすに止まり、製造又は輸移入等の如く甲乙統一を缺ける場合の不都合に比し調節し易いといふ見地より、施行規則に於ては總督の職權中肥料賣買營業の免許及肥料の賣買營業者に對する認可其の他の處分を知事廳長に委任し、同時に各州廳間連絡を圖るべき事項を規定した。又た行商も賣買行爲の一部と看做し、各種營業者より願出た場合知事廳長は之れに行商鑑札を與へ、且つ其れが處分をなす事になつた。更に同規則中營業用に非ずして自家用に非ざる肥料を取扱はんとする者を、公共團體と公共團體以外のものに分類した。而して前者は州、市、街、庄、州廳農會、重要物産同業組合等を指すもので、是等は直接に知事廳長の監督を受くるが故に重ねて取締をなすの必要もなく、從つて免許も認可もいらないとした。只保證票を添附すべき場合

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其他陸揚屆、肥料帳簿の整理、前年中の取扱肥料に關する報告に止め、其他のもの、即ち産業組合法による諸組合製糖會社、廣義の農事諸中介團體、土礱軒業者にして農家に肥料の前貸をなすもの、業主にして小作者に肥料を賣付くる場合の如きは法規の全部を適用をされて居る。申す迄もなく彼等にして自己の農場に使命するか、又は完全なる共同購買の形式によりたるもの丶如きは、自家用なるが故に本取締から除外さるゝ譯である。

從來、肥料の營業は全く自由營業であつたのを免許營業とし、之れにより肥料を監督せんとするものである。而して免許を與ふる資格は個人が臺灣總督、又は知事廳長の命令の迨ぶ狀態に置かれてあるならば、法規の命ずる條件を具備する限り誰でも認許せらるべきで、煙草賣捌人といふ樣なものとは自ら性質を異にしてる。營業を別けて四種となし製造營業輸入營業、移入營業、賣買營業とする。自家用に非ざる肥料の取扱者は此の各々に準じ處理せらるゝ、製造は肥料供給の根源にして其興廢及良否は本事業に最も重大なる影響を有するものである。而して其營業の範圍は、肥料の製造及其製品の販賣である。一と口に製造と云へば簡單であるが、本法規に認むる製造の主義は範圍が廣い。製造操作により新肥料の生ずる場合、肥料の調合又は製造業に伴ふ肥料となるべき副産物の産出、同種異質のもの丶調合は元より、單に粉碎して形態を變へたる場合にも製造と認めんとするものである。製品の販賣に就ては賣先が臺灣であつても内地又は外國でも差支ない。尚製造營業者には附帶の事項として原料の購入迄を認めらるゝが、此場合島内より自由に買ひ得るのみにして、輸入及移入せんとせば更に夫々の免許を受くるを要するのである。之れ本島外の肥料は、臺灣總督の命令により成分量を保證して居らぬ故、不正品又は粗惡品の搬入を防ぐ意味より、輸入移入の際嚴重なる監督をなさんとするものである。移入とは本邦領土内にして臺灣以外の地より自己の爲めに肥料を臺灣の領海内に搬入するを云ひ、島内製品のみにては需要を滿し得ざるにより、其不足を内地品により補はんとするに外ならぬ。而してその營業範圍は、輸入及移入品の販賣に限

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

られる。輸入營業は移入營業と同樣にして、只仕入先が本邦領土以外の地なるを指す、南洋廳關東廳の如きより搬入するものは當然輸入として取扱はるゝのである。

尙此外行商を認めて居るが、これは見本取引とは其の意異り、現品を營業所以外に持ち出し振れ賣りするを云ふのである。各種營業者は願出づれば鑑札を下付さるゝ故之れを携帶すればよい。而して此の鑑札は營業者自身に下付するのみで使用人其の他には與へない。又前記四種營業の效力は全島的なるに對し、此鑑札の效力は一州又は一廳を限度とするが故に、自己の主たる營業所所在地以外の州又は廳下に行商せんとするときは更に規則の示す手續を要する。

肥料取締法に於て肥料と稱するは「植物の營養に供用する物料」を指し、苟も植物の營養となるべきものならば之を其の目的に向つて取扱ふ際には肥料である、而して其の物料中には、既に地中に多量に存在する養分もあり、又地中には微量に存在しても植物の生育上補給の必要のない樣な要素もある、或は植物に對する肥效が直接に非ずして間接なるものもある。本法の目的は肥料取引上の弊害を除去するのである故、取締の容易にして效果の最も大なる方法として、結局「直接肥料中で植物の三大營養素たる窒素、燐酸、加里の内、一又は二以上を含有する物料」を取扱ふ樣に施行規則に規定されて居る。

肥料は普通商品と異り、肉眼的鑑定では其の内容を窺ふ事が出來ないのみならず、專門の取扱者でも試驗分析の結果を待たなければ判明し難いので、農家保護の見地よりこの不明なる成分を常に明瞭ならしめ、且つ質に於ても適當なる監督をなす必要がある。その實質を表示せしむる爲めに肥料に保證票の添附を命じたのである。保證票には肥料の名稱、肥料の主成分量、保證者の住所氏名、保證票添附の年月日、肥料の仕入先等を記入し其の責任を明にせしむる。

如此苟も取締るべき肥料につきては保證票を添附さすべきではあるが、場合によりては適用する必要のないものもあり適用困難の場合もある。即玉狀の大豆油粕の如く、製造法殆んど一定し、品質も略同一にして、且途中に粗惡ならしむべ

き變なきものに對し保證票を添附せしむるの要なく、人糞尿の如く液肥にして保證票の付け難きもの、又は成分甚稀薄なるが上に部分的の變化多きもの丶如きは、却つて成分量を保證せしめずして、他の方面より取締るを便利とするもの等があるので、規則には主として添附を要する場合のみを規定した。そして添附を要せざる肥料は其の條件に依つて取締るので、例へば、船會社が肥料の荷粉を賣り、市役所が塵埃を請負者に賣るが如きは一の處分に過ぎぬも、之れを買つて更に他人に賣却せんとする時は、營業又は取扱者として處理せしめ、公益上必要なる程度に於て成分量を指定し、又は其の他の處理方を命ずる。之れは保證票なきを奇貨置く可しとなし、液肥に水を混じ荷粉に混砂を敢てするものを防止せんとする爲めである。

尙ほ保證票を添附すべき時日は、製造に在りては、製品として市場に取引し得る狀態に置かれたる時とする。若し山積の儘に賣却出來るものならば一山につき一枚の保證票を添附し、之を俵裝した場合には更に一叺每に添附する。輸入移入品に就ては臺灣領海内に入ると直ぐ添附すべきで、同一人が陸揚する場合には輸入移入行爲の連續と見て、陸揚の際、陸揚の屆出に先だち添附するも差支ないが、陸揚者が輸入又は移入者ならざる場合が多い、其の際には引渡の時に添附してある事を要する。本船積其の儘にて賣渡し添附不可能の故を以て責任を免る丶譯には行かない。

保證票は、製造輸入移入營業者が付くべきもので、賣買營業者に對しては之れが添附を要求しない。市場にて採取された試料中成分不足の場合添附者の責任なる事は申す迄もないが、さりとて其の肥料が商品たり得る限り、常に添附者を責むることも無理と云はねばならぬ。例へば、製造の場合には成分量が保證量以上にありても、之れを處理せる賣買營業者に解裝混砂等をなし、又は永く店舖に堆積し、而も其の裝置設備の不完全なるか、或は輸送中に天災に犯され主成分量に異動を生じたる事實の明瞭なる場合の如きは勿論其の他保證票を紛失毀損汚染し、又は保證票の添附なき肥料を知りつゝ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

處理して放任せる場合迄も製造者を責める事は出來ぬ。故に此の場合には、營業の種類によらず、肥料賣買營業者でも其の所持者は更に新らしく添附するの責任を有してゐる。然し實際問題になると其何れに歸屬すべきかは簡單に定められない。即ち賣買營業者は若し不正品を渡され知らぬ間に損害に會ひ成分不足ありたるとき、果して保管が惡るいか、不正品を渡されてあつたのかは、其の事實に就て調査をすゝめるより途がない。

保證票の添附に關して必要なる事項は分析鑑定の機關である。內地では依賴分析鑑定所等、民間の施設が諸方にあり、府縣の農事試驗場にも設備ありて洵に便利であるが、臺灣では今の處依賴に應じ得るものは官廳では中央研究所農業部及同所高雄檢糖支所のみである。肥料檢査所は肥料の依賴分析に應ずべきものと思ふ向もある樣だが、檢査所では取締上必要なる試料に限られて居る、謂はゞ前記二箇所は營業者の共同の利用機關となるので、多くの分析依賴を受けても人員及設備に限あり、各自が我儘をやり出すと遂に各自が迷惑をする事になるから互にいましめて願出づる際は、其の絕對必要なる成分に止め、取締法の命じてない成分等は後廻しにすべきである。勿論臺灣では官設のは二箇所なるも、內地の何處に分析せしめるも自由で、又製糖會社でも肥料會社でも、各自己の信賴する處ならば差支ないから此點を考慮し營業に支障を來さぬ樣取扱はるべきである。

尙添附を要する肥料で、公益上必要ある場合は總督は輸入移入の肥料に對し又は製造原料に對し、其の肥料の最低成分量又は含鹽混砂量等を制限する事がある。

各國共に工業が盛大に赴くに從つて各種の工業副產業を生產する、又製造法發達して原料の粗惡なるものを使用する。特に玆二三年は新肥料ともいふ可きものが外國より種々入り、內地にても亦諸種の新らしき調合原料を用ふるに到つたが品質が善くなる事少くして寧ろ低下せんとするを常とする。粗惡品は一般に成分の割合に市價の高き場合多く、又調合肥

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

料を製造する際の如きは、よく粗悪原料を以て優良品に代用せらるゝ等諸種弊害を生じ、延ひては肥料政策の根本を破壊する恐あるにより、内地でも粗悪品を製造の原料となす事及び粗悪品を輸入移入する事を禁じて居る。只國産奨勵の見地より、國内生産の原料又は肥料は甚しく劣悪ならざる限り、又故意に成分量を低下せしめざる限り賣買のみを許可する方針をとつて居る。然しいくら國産でも能登燐礦の如くに不良にして、之を肥料として許可すれば他に影響を及ぼし易いものは肥料として許さぬ。臺灣に於ても近來種々工場副産物を生産し出した。價値のあるものならば成るべく利用するが宜敷いけれども、氣候風土の關係もあり、又粗悪品の輸出地たる支那は御隣なので、製造原料とするにも、輸入移入をする際にも、特に考慮を要すべきで或種の制限を必要とする。然し事實上の問題として起きる處のものは、其狀態が千態萬樣であるから、今後出來した問題毎に調査考究の上夫々決定するを良策とする。又營業者側より見るも、製造輸入移入の免許及認可の際に必要なる事項については夫々條件をつける事とせば安じて取引し得るのである。而して本島では比較的多量に生産さるゝものゝ内、肥料としても又原料としても影響のあり得べき大豆油粕外七種の工業副産物に對し肥料製造業と認め、其業態を監督する事になつて居る。

次に肥料と名付けらるゝものにして肥料以外の目的に使用せらるゝ場合がある。臺灣總督は其必要に應じ之を取締の圏外に置く事が出來る。現在之に指定して居るものは智利硝石、落花生油粕、茶實油粕の三種である。而して此場合保證票を添附する必要もない。然し肥料以外の目的なりとして輸入移入又は購入しても、之れを肥料として販賣する時は無免許營業として取締らるゝ。又肥料營業者にして、同時に此種の物料を取扱はんとするも、其れは既に肥料營業の品目中に免許されて居るものとせば弊害を生じ易い事になるから、特に許可なくしては他目的とは認められまい。即營業者が檢査員の臨檢を受け、不正品として差押へられたる上にてこれは爆薬なりと自家用なりとも巧に罪を免れんとする恐れあるか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

らである。

以上は取締上の主要なる點につきて述べたに過ぎないが、此外法規の上に顯はれぬ事項にして公益上弊害ありと認むる場合には、總督又は知事廳長は農家保護の見地より、種々なる手段を講じ得る事になつて居る。尚肥料檢査事務を司どる爲めに、臺北市東門町に肥料檢査所を、同出張所を基隆市外四州三廳（臺北州廳を除く）廳舍内に置き、夫々肥料檢査員を配置して肥料營業に關し臨檢、檢査、肥料又は肥料原料の無償收去、搜索、差押等の職權を與へたる外、檢査所に事務を分擔せしめて法規の運用を全からしめんとして居る。而して檢査員は上記の如き重大なる權限を與へられて居るので、特に檢査員たる事を營業者に認識せしむる必要上、臨檢に際しては肥料檢査員章を佩用する筈である。此外に尚必要に應じ産業警察の立場より地方警察官も參與する場合がある。

終りに肥料取締の完全を期するが爲めに望みたい事は、農家の肥料に關する自衞力の向上である。現今の本島農民は肥料の智識未だ貧弱で、現物の肉眼鑑定は勿論、保證票を示すも尚善惡の判別つかず要素の如何なる性質なりや、今日窒素成分として何肥料が最も格安なるやすら不明なるが爲め肥料商の陳述に信賴する外なき狀態である。尤も營業者中にも今日只慣習的に肥料を取扱つてる丈けで、殆んど肥料のよし惡しを鑑別出來ぬものも相當にあつて、從來奸商にだまされ知らず／＼の間に不正又は粗惡品を農家に賣り付けてるものもある程なれば、農民の判別出來ぬのは無理もない處である肥料取締法は是等の人々でも意を安じて市場に於て優良正確なる肥料を購入し得る狀態にする事を理想とするも、現狀では肥料檢査員のみで全島の隅々迄見張る事は餘りに困難事であるのみならず、檢査方は初めより拔檢査であるから總てに眼を通すとは限らない。從つて不正品の出現を完全に防止せんとするには、之れに直接の利害關係ある各需要者が自衞の立場より肥料の素人鑑定をなし、又は不正行商ありと思はるゝ場合には、直ちに肥料檢査員に報告して迅速に不正品の除去を計らしめ、營業者も自己の一時的巧利に迷はずして、農商互に連絡を圖り相共に斯界の發展に貢献せらるべきである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

時報

高砂寮開寮

臺灣留學生を收容すべく新築された高砂寮は、いよ／＼來る十月一日から開寮し約八十名を限り入寮せしむることゝなつた。高砂寮は臺灣留學生の爲めに大震災寄附金の剩餘金を以て、東京小石川荷茗谷に新築されたものであつて、先般來當初からの關係者土性視學官上京し石黑文敎局長と打合の上右の運びに至つた。

小作爭議の積極的調停

本島に於ける佃業兩者の爭議は、最近に至り愈々深刻化し、各地に新爭議勃發し、その結果は本島産業界に至大の影響を及ぼすべきに鑑み、總督府に於ては相當の經費を計上し殖産局及び地方廳に專任の小作官を置き、小作人と業主との間に立ち、適當の解決策を講ずべく指導に努めることゝなつた。

全島社會事業講習會

文敎局主催の社會事業講習會は、來る九月一日から十日まで醫專講堂に開會、講習生は全島から六十餘名出席講習科目及び講師は次の通りである。

社會事業概論　囑託杵淵義房　社會事業施設の實際　社會局書記官富田愛次郎　社會政策　臺北高等商業學校敎授新里榮造　社會衞生　臺北醫學專門學校長醫學博士堀内次郎　社會敎育施設の實際　文部事務官福士末之助

來期産糖豫想

總督府第一回蔗園調査による來期産糖豫想は新式製糖場八百二十四萬八千二百六十九擔(分蜜糖及び耕地白糖)改良及び舊式糖廍十五萬九千七百七十二擔(赤糖)、計八百四十萬八千四十一擔に達し糖業獎勵開始以來の新記錄を作る見込みである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

右豫想は六月末の實査を基礎とし更に七月中旬における暴風被害並に最近における生育狀況を參酌して適擬せるもので、今後における風水旱魃及び其他の災害等を見込まないものであるが、之を本期產糖六百八十五萬一千九百三十九擔に比すれば百五十五萬六千百二擔の增であつて

過去に於ける最高記錄たる大正十五年期產糖高八百三十三萬二千九十六擔に比するも猶且つ七萬五千九百四十五擔の增產見込である。

斯くの如く來期產糖增收の原因は本期に比し八千三百餘甲の作附面積を增加し且つ植附以來の天候比較的順調にして前期の如く旱魃、霜、綿蚜蟲等の被害を蒙ることがなかつたのと一面大莖種の普及早植殊に八、九月植の增加施肥量の增進及び耕作法の改善により單位面積收量の躍進を豫想せらるゝ結果であると。

芭蕉界好況

本島から內地に移出する芭蕉實は、例年夏季から秋季にかけて內地果實の供給潤澤な頃には著しく下落し、殊に昨年の如きは大暴落を演じ出し大痛手を喰つたが、本年は出荷の調節、販路の擴張に努力した結果頗る好成績で、平均價格も前年より一籠に付二圓も高く臺中州下のみでは最近の平均價格八圓で昨年の約二倍に相當してゐるので近年稀有の好況となし當業者はホクホクの態であると。

出礦坑新噴油

日本石油會社の苗栗出礦坑は新油井の增加を圖る方針にて熱心に試掘作業を續けてゐたが、十三日午前九時に至り新井四十四號が突如自噴を始め、日產五百石の噴油成績を舉げた。

右は本年三月十四日千六百餘石の大噴油を示した第四十號の南にある油井で、右四十號井の千六百餘石を筆頭とし昨年一月の三十六號井千二百石の噴油に次で第三位に相當する噴油記錄である。尙ほ同一鑛區は南に行くほど山が高くなるので從つて深度も之に比例し、今回の四十四號井は深度約三千尺に達してゐると。

地方長官會議

上山總督就任後の第一回地方長官會議は、八月十八日午前九時から總督府會議室に開會、總督及び總務長官の訓示があつて引續き議事に入り、左記諮問事項を議題とし各地方長官の答申があつて第一日を終る。

第二日は十九日午前八時開議前日に引續き諮問事項の答申を續行し、終つて各局提出の指示事項に關し關係各局長

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其他の說明及び之に對する質問應答あり最後に地方長官の答辭があつて二日間にわたる地方長官會議を終了した。

諮問事項

一、財界動搖後に於ける地方財界の實情殊に資金需給の狀況如何
二、本島地方敎育行政上改善を要すべき點如何
三、本島產業の現況竝に時勢の進運に鑑み改善又は新に施設すべき事項如何（外二件）

指示事項

一、召集事務に關する件（內務局）
二、補助及獎勵費の執行に關する件（同局）
三、地方公共團體の借入金に關する件（同局）
四、州令及廳令に關する件　同局）
五、官有森林原野處分事務の件（同局）
六、河川取締に關する件（同局）
七、河川工作物維持保護に關する件（內務局）
八、學校敎育の內容充實に關する件（文敎局）
九、實業補習敎育の振興に關する件（同局）
十、體育の普及に關する件（同局）
一一、學校衞生に關する件（同局）
一二、地方視學の活動に關する件（同局）
一三、神社の基本財產造成に關する件（同局）
一四、宗敎家の活動に關する件（同局）
一五、成人敎育に關する件（同局）
一六、社會事業及敎化團體の指導監督に關する件（同局）
一七、肥料取締上の連絡に關する件（殖產局）
一八、畜牛獎勵に關する件（同局）
一九、南支南洋方面漁場開拓に關する件（同局）
二〇、淺海利用に關する件（同局）
二一、林產物採取許可と森林愛護心涵養の件（同局）
二二、度量衡のメートル法統一實行に關する件（同局）
二三、農會管理に關する件（同局）
二四、家畜傳染病豫防に關する件（同局）
二五、漁業獎勵に關する件　同局）
二六、蔗苗更新に關する件（同局）
二七、鳳梨罐詰業に關する件（同局）
三一、警察行政と助長行政との連絡に關する件（警務局）
三二、犯罪即決に關する件（同局）
三三、災害警防に關する件　同局）
三四、鑛業及工場に於ける事故防止に關する件（同局）
三五、犯罪搜査督勵に關する件（同局）
三六、蕃情査察に關する件（同局）
三七、非醫行爲者取締に關する件（同局）
三八、專賣事業の犯則事件取締に關する件（專賣局）
三九、阿片烟膏販賣人の違反取締に關する件（同局）
四〇、簡易生命保險竝郵便年金制度實施に關する件（交通局）
四一、縱貫道路並木に關する件（同局）
四二、道路維持修繕に關する件（同局）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

軍司令官新任武官紹介宴

田中軍司令官は今回新に著任せる佐藤參謀長、細木守備隊司令官並びに吉橋經理部長紹介の爲め、十七日正午鐵道ホテルに官民を招待披露の宴を張つた。上山總督、後藤長官各局長民間有力者等約五十名出席、田中軍司令官から三氏紹介の挨拶あり、之に對し來賓側を代表して上山總督起ち三武官の就任を祝し文武協調一致して公務の圓滿を期したき旨を謝辭と共に述べ、雙方乾杯し宴後別席にて歡談二時頃散會した。

上山總督文武官招宴

上山總督は十八日夜官邸に田中軍司令官以下文武官五十餘名を招待して晩餐會を開いた。席上總督は起て「今回軍部の要職に新任された方がある、總督府側に於ても内務局長が近頃内地より著任し、文教局長も過般就任を見てゐる、其の上に此の間の異動で知事も變つてゐるので是等の人々を軍部に御紹介旁々一夕の宴を催した譯である。實は個々に宴を設けて御招きする筈であるが、炎暑の折柄でもあり簡略にした段は御諒承ありたい。」とて新任文官側を武官側に紹介し之に對し田中軍司令官武官側を代表し謝辭を敍べ乾杯あり終つて主客歡を盡し十時散會した。

臺灣八景決定

臺灣日々新報社の主催にかゝる臺灣八景投票の審査委員會は八月二十五日鐵道ホテルに開かれ、木下委員長以下各委員幹事出席、投票審査の結果臺灣八景及十二勝を左の如く決定した。

神域　臺灣神社
靈峯　新高山
（以上別格）

臺灣八景（イロハ順）

八仙山（臺中）　壽山（高雄）
鵞鑾鼻（高雄）　阿里山（臺南）
太魯閣峽（花蓮港）　基隆旭ヶ岡（臺北）
淡水（臺北）　日月潭（臺中）

臺灣十二勝（イロハ順）

八卦山（臺中）　草山北投（臺北）
角板山（新竹）　太平山（臺北）
大里簡（臺北）　大溪（新竹）
霧社（臺中）　虎頭埤（臺南）
五指山（新竹）　旗山（高雄）
獅頭山（新竹）　新店碧潭（臺北）

＝以上八月二十五日記＝

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

近世に於ける植民思想並に植民運動の發展に就て（一）

臺北高等商業學校敎授　淺香末起

（一）

植民地問題は今日當に一大轉換期に逢著して居る。見方によつては帝國主義に基く全世界の植民地獲得運動が一段落を告げて地球の全表面が何れかの國の領土又は廣義の勢力圏内に入り、又各國の植民地の統治組織は外形上大體固定した事によつて植民政策の重要の度は大に減少したとも考へられ、學者の中には植民政策は前世紀の遺物なりと解釋して居る人もあるが、一方植民地原住民の文化向上に伴ふ自覺と全世界に於ける反資本主義宣傳及社會組織革改運動並に植民地獲得に立後れたる國より世界資源の不公平なる分配に對する解放の要求等が相錯綜して起り、是等の運動や要求が何れも今日

强の植民地となつて居る地方に於て、或は是等地方を目標として居るため、列國の植民政策は外形的にはたとへ重要の度を減じたとは云へ内面的には益々重要となり複雜極まりなき問題を惹起しつゝある。植民地に對する政策は恐らく國家の諸政策の中に於て最も困難であり、前途逆睹し難きものがあるであらう。私は今植民思想の歷史的變遷を概說することにより將來の植民地問題の向ふべき方向を研究するであらう。

（二）

元來植民的活動なるものは國家活動に必然相伴ふべきものである。フリードリッヒ・リストは千八百四十一年に公にした名著「經濟學の國家的組織」に於て規範的又は標準的國家の特徵を次の樣に述べて居る。

「規範的國家たるためには未發達の狀態に在る國民の文化に何等かの作用を及ぼし、且自己の人口及精神的並に物質的資本の剩餘を以て植民地を建設し、新しき國民を產出することを必要條件とす」。

此語は未だ歐洲各國が近代的の新植民活動を開始せず、植民熱沈衰せる時に植民的活動が國家として完全なる存立を續くための絕對必要條件なることを喝破せるものであつてリストの卓見ではあるが、彼が既に無意識の中に帝國主義の考方に捕へられて居た事を窺ふことが出來る。彼は植民なる現象は何等か特別の場所的又は時間的の前提條件が發生した時に偶發する臨時現象では無くして、人類の經濟的並に文化的發展に對して永續的に其基礎をなすものであり、各文化國民の規範的活動に屬するものと解して居る。

廣義の解釋をするならば有史以來或は其以前に於ても國家の發達は卽植民的活動と相伴へるものと云ふことが出來る。國家の形式を具へた人類の一團が或程度の文化を得るや直に植民的活動を開始したことは歷史の示す處である。否國家の形成其物が既に植民的活動の結果とも云ふことが出來る。國家發生する處必ず植民あり、植民ある處必ず國家發生するので

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある。

人類の歴史に於て先づ文化の黎明を示した印度、支那、メソポタミア、エジプトの建國及發達は灌漑力大なる大河の流域に原始人類がなしたる植民的活動に外ならない。而して亞細亞に先づ成立した文化國家は漸次西方に其植民的活動を及ぼして地中海沿岸地方は長期に亘り彼等の植民的活動即文化的活動の舞臺となつたのである。

斯かる植民的活動と共に成立した地中海文化は古代の大文化國家即規範的國家たる希臘を生じた。希臘の殆んど總ての歴史は海外交通と植民地建設に關するものであつて、地中海の沿岸の大部分を文化の恩澤に浴せしめたのは全く希臘の植民である。希臘に次いで羅馬は更に進んで歐洲、亞細亞、阿弗利加の内部に植民的活動を及ぼし之と共に文化は益々廣き範圍に及んだのである。

更に進んでゲルマン人及アラビア人の大移動及ノルマン人の活躍、中世伊太利に於て十字軍と共に發達せる東洋との交通及北歐のハンザ同盟の活動も皆植民的活動の一種として人類の發展に劃期的の影響を及ぼし、次いで東方及西方への新航路新陸地の發見に伴ふ歐洲諸國の植民的活動は從來の地方的植民より全世界に植民の範圍を擴張し、之と共に全世界に向つて文化に對する門戸を解放する結果となつたのである。

(三)

完全なる國家の行ふ各種の國家的活動に於て植民的活動が絶對不可缺のものなることはリストの云へるが如しとするも唯表現の程度に至つては周圍の事情或は國民精神の變遷殊に經濟上の動機に伴ひ相違あることは免れ難い處である。始め十六七世紀に亘り歐洲列強が新領土を獲得し、之に植民を開始した當時は、植民的精神は極度に伸長して、各國共成るべく多くの土地を開始して之より利益を搾取せんとする努力を續けた。此場合斯かる活動の經濟的背景をなせるものは實に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

重商主義の考であつた。然るに亞米利加合衆國の獨立を一轉機として十八世紀後半より十九世紀にかけアダム・スミス及其一派により主張せられた自由放任思想の影響を受け、且植民地に關係なき歐洲內に於ける各種の紛爭、例之、西班牙繼承戰爭、七年戰爭、革命戰爭又はナポレオン戰爭等に忙しく、歐洲諸國の植民地に對する興味は薄らぎ來つて、積極的に植民的活動に從事することを避くるに至り、海外に廣大なる領土を有する國家さへも殆んど之が利害に無頓著であつて、寧ろ之を以て無用の負擔と考へ、植民地を有することが國力の源泉であるとする考は殆んど消滅したのである。

此思想が一般に普及して例之ジョン・ラッセル卿の如きも千八百五十年の下院の演說に於て大植民地の獨立すべきことを豫言し、グラッドストン內閣の下に植民大臣であつたスタンレー卿の如きも「英領北アメリカ及濠洲は近く獨立すべく從て之に對し何等の興味を感せず」と云つて居る。千八百六十五年英國議會に於ける英領西アフリカ委員會は「西部アフリカにこれ以上英國の支配權を擴張するは不可である、否今日既に行へる直接統治及保護統治すら之を繼續すべきに非ず」と決議して居る。

ラッセル、スタンレーの是等の言は全く其當時の植民地に對する一般の思想を代表せるものであつて、當時歐洲諸國殊に英國民の注意は全く本國內の事件殊に貿易及産業の發達、平和の增進及憲法改革等に向けられ、政策の重點は國家の干涉の排除と云ふことであつた。此看點より自由貿易主義が行はれ、且國家經費の可及的減縮に對する要求及び外國と平和の關係を維持せんとする希望が強大となつたのである。要するに「人道は國家の上にあり、政府は單に人民の生命財産を保護し法律と秩序を維持するだけの制限せられたる機關に過ぎず」との觀念が其當時の歐洲の國民思想を支配して居たのである。

此政治思想より出發して上述の如き對植民地無干涉の方針が數十年に亘つて維持せられて居た。當時の英國の自由主義

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

者は「母國として採るべき最も合理的の植民政策は其植民地が其れ自身獨立して國家的生活に入るを援助するに在り」と考へて居た。かの有名なる自由主義の闘將リチャード・コブデンの對植民地觀は最も端的に此思想が植民政策上にも現れたることを示して居る。彼は曰く「億を超ゆる亞細亞人(印度人を指す)を統禦すると云ふが如き不可能事を無謀にも我國民は企てたのである。斯くの如き計劃が莫大の費用と危險とを以て假に成就したりと看做すも、之がため幾何の利益を我國は與へられたであらうか。東印度會社が亞細亞を經略した動機は獨占――それは單に外國人に對してのみならず會社以外の英國人に對する獨占――であることは明である。然も今日印度の貿易は全世界に對して平等に解放せられて居る。吾人は斯かる國民を統治するために要せし總ての經費、危險、骨折りを如何なる獨占權によつて償はれたのであるか」と。

更にコブデンの盟友たりしジョン・ブライトも加奈陀の分離が早晩實現せらるべきことを期待して曰く「自分は加奈陀の人々が英國に從屬のまゝで居やうとも或は之より獨立しようとも、何れにしても彼等自身で其利害の打算より最上と信ずる處を行はんことを欲す」と。

自由主義者の植民地觀は是等の記述の中に極めて明瞭である。單に植民地を領有すると云ふ虚榮感は自由主義者を誘ふべく餘りに力弱かつたのである。自由主義者は「他を支配すると云ふ空しき快樂のために自分自身に賦課する」希望を全く有しなかつた。是等の思想が當時の實際の政策にも現れて、例之グラッドストンの外國並に植民地に對する政策の如き全く此精神に支配せられ、從來勢力伸長に努力し來つたスダン地方を放棄し、トランスバールより手を引いてしまつた。反對黨である保守黨さへも植民地に對する政策に於ては自由黨同樣の考を有し、ヂスレリーの如き後に熱烈なる帝國主義者となつた政治家も當時は植民地を以て「首に結びつけられたる引臼」と看做し、其當然獨立すべき運命を有することを公言して居る。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゼー・ビー・セーよりフレデリック・パッシイ及イーヴ・ギョーに至るまでの佛蘭西の自由主義者も亦植民地領有を以て無價値となし、植民地企業を無用と看做し、有名なるチュルゴーの如き「植民地は恰も果實の如く其成熟するや遂に母樹を離るべし」と公言して居たが、プレヴォスト・パラドールが植民を以て人類の將來を決定する活動であると主張し、更にルロア・ボーリューが千八百七十三年植民に關する論文を公にし、「最も多く植民地を有する國は世界に於ける强國なり、今日は然らずとも明日は然らん」と唱へて以來佛人の植民に對する輿論は全く反對の方面に向ひ、植民地擴張に對する無限の熱心を示すに至つた。

（四）

千八百七十年を轉期として獨逸及伊太利の統一により歐洲の局面は全く變化し、古い自由主義は次第に其影を潛め侵略的の國家主義が之に代るに至り、國内の組織を完備したる歐洲列强は何れも權力と富を得んとして、烈しき競爭を開始したが、斯かる野心の實現には彼等の固有の領土を以ては到底充分ならず、茲に再び新領土を海外に得んと努力するに至つた。斯くて列國が眼を遠く海外に放つた時には既に其重要部分は大抵英國の領有する處となつて居たゝめ、英國の植民的勢力は列國の羨望する處となり、列國は英國の壘を摩さんとして未だ比較的英國の手の屆かなかつた阿弗利加に先づ領土擴張運動を開始する外世界各地に商業的に活動し海上權獲得に熱中するに至つた。前に國内統治組織完成が國家生活のシムボルであつた如く、新に植民地擴張及海外貿易が歐洲列國の國家生活の目的となつたのである。

（五）

私は更に經濟上より之を見るであらう。アダム・スミスの自由主義によつて植民熱は一時冷却された、即ち自由主義が産業革命と相伴つて資本主義となつて發現し來つた當初に於ては、其自由放任の思想は國家の植民的活動に反對して居た。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

資本主義の發展の源泉は國內相手であり、國內の資本主義處女地を個人の自由活動により資本主義化することによつて資本主義は其糧を得て居た。然るに斯くの如き資本主義の發展は國內經濟が一通り資本主義化されることによつて第一の行詰りに逢著し、停頓するに至つた。玆に於て新に見出されたる資本主義の展開方法は外國貿易であつた。卽資本主義後進國に自國の製品を高く賣り、之より原料品食料品を大量に安價に購入して大規模產業を經營することが出來た。然も此方法も後進國が發展して從來の資本主義國と競爭の立場に立ち、或は各種の產業保護政策を採つて資本主義國に利益を搾取せらるゝことを防ぐに至つてから、資本主義第二の行詰りに逢著した。玆に於て資本主義は新に展開の途を講ぜざるを得ざるに至つた、かくて現出したるものが所謂帝國主義の諸政策である。卽ち從來の如く自由貿易によつて他國より利益を得んとすることを止め、積極的に自己の力の及ぶ限り後進國或は國家組織確立せざりし地方に政治的支配權を及ぼすことによつて獨占的に其地域を自國の資本主義の餌食とせんとする方法、例之資本主義國は自己の勢力を及ぼし得る地域を永く農業地として壓迫し置き、大工業の勃興することを妨げ、以て自國の工業製品の販路を確保し、且其運轉に必要なる原料を此地域より得、然も之を他國に對しては閉鎖し自國にのみ獨占せんとするに至つたのである。(高橋龜吉氏、末期の資本主義——社會經濟體系一所載參照)。

卽ち此時に至つてはアダム・スミスの自由放任は全く其意義を變じ、唯生產消費に於て共同的組織的計畫的なる社會主義統制に反對すると云ふ意味に於ての自由放任であつて、スミスの本來主張した私人の經濟活動に對する國家干涉或は保護又は獨占的產業經營の排除と云ふが如きことは殆んど主張せられざるに至り、國家は帝國主義の政策の下に全力を盡して國民の經濟活動に援助を與へ產業組織は益々獨占の利益を享受せんとするに至つたのである。

十九世紀末期より二十世紀の歐洲戰爭に至るまでの列國の植民地獲得熱は全く斯かる經濟上の衝動に基くものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私は暫く帝國主義の悪夢の痕を檢討するであらう。

（六）

佛蘭西はナポレオンの野望遂行のため廣大なる植民地を犧牲とし、其後フエイデルブ將軍等がアフリカの北部及西部に多少佛領を擴張したが國民一般の植民に對する興味は普佛戰爭までは喚起せらるゝことが無かつた。然るに此戰爭により歐洲に於て失へる政治上經濟上の損害を海外に於て償はんとして植民的活動を再開し、之より先き既に一部分手を付けて居た印度支那に於て多大の經費を要したるに拘らず勢力擴張に努力し、アフリカに於ても既に獲得して居たアルゼリーを根據としてアフリカの北岸及西岸に領土を擴め、千八百八十一年には伊太利の強硬なる反對を排して、チユニスをトルコより奪ひて保護領とし、モロツコにては千九百四年の英國との條約により佛國の優越權を認められ、獨逸の之に對する抗議は千九百六年のアルゼシラス條約となり、西班牙に屬する一部を除きては佛國の保護權は確立せられ、獨逸は代償としてカメルン領を擴張するを得た。此外佛蘭西はサハラ、セネガル、ナイガー河流域、象牙海岸、ダホーメー、佛領コンゴー等を得、ナイル河流域の英國の勢力圏の西方の大部分を植民地とし、且マダガスカルの大島及其周圍の島々を得たるのみならず、其他の植民地に對しても積極的に活動を開始し遂に英國に次ぐ世界第二の植民國家たる基礎を築いた。

獨逸は千八百七十年帝國として統一する以前に於ては單にハンザ同盟盛時の夢を追ふのみであつてブロンク、グルーベン等によつて十七世紀の末アフリカ西岸等に植民的活動をなしたる外は何等著しき植民運動をなさずフリードリツヒ大王は植民の計畫を有して居たが殆んど効を奏せずして止んだが、帝國建設後は新機運に乘じて、次第に植民的活動を開始した。帝國建設の功勞者ビスマルクは一は英國の感情を害することに對する懸念より、他は獨逸帝國内部の政治的統一を鞏固ならしむることが先決問題であるとの見地から、積極的に植民地獲得に從事しないで、唯國民が個人的に行ふ產業及

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

商業の擴張によつて政府が自ら植民事業に從事するよりも大なる效果を擧ぐることを得べしと信じて居た。然し後に至つて獨逸國民間に海外發展の精神が横溢し來つて、其商人は阿弗利加沿岸各地に著々個人として單獨に商業的及政治的勢力を築いて來たゝめ、ビスマルクも此趨勢に反抗すること能はず、遂に是等の商人を保護する必要上、彼等が勢力を振ふに至つた地方に政治的干渉を試みることゝなり、茲に獨逸の第一期植民活動は開始せられ、獨領南西アフリカ、カメルン、トーゴー、獨領東アフリカ及獨領ニユーギネア、マーシャル群島、ブラウン及プロヴインス諸島等に千八百八十四年より八十六年に亘り植民地を獲得した。而しビスマルクは尙英國の感情を尊重し、是等の地方を獨逸の植民地と看做さず、唯之を保護領(Schutzgebiet)と呼んだが、後に獨逸が完全なる自國領土として植民地を見るに至つても尙之をコロニーとせず保護領と云つたのはビスマルクの政策の名殘である。

獨逸が第二期即ち植民的活動に入つたのはウィルヘルム二世の治世であつて彼の沒落と共に植民地の全部を失つたのである。彼はビスマルクと反對に積極的に新なる植民地を獲得することを重大視し、獨逸の將來は海上にありとの考から海外貿易の發展は勿論これまで獲得した植民地を實質的に統治開發し、更に千八百九十七年より九十九年にかけ新に膠州灣及カロリン、パラウ、マリアナ、サモア群島を獲得し、殊に膠州灣を以て東洋經略の策源地とし、大戰前に至るまで其植民的活動は眞に目覺ましいものがあつたが、大戰の結果獨逸は一擧にして本國領土の一部と共に總ての植民地を失ひ、其全部は所謂委任統治の下に大國に統治せらるゝに至り、カイゼルの世界帝國の夢は果敢なくも覺めてしまつた。而し獨逸は國力の恢復と共に前獨領植民地の委任統治權を獲得せんとする希望を有し、殊に昨年獨逸が國際聯盟に加入して常任理事國となり、有力なる發言權を得たゝめ其運動は一層具體化するものと思はるゝ。然し獨逸は西南アフリカ又は東アフリカに於ては其實現頗る困難なることを熟知して居るため彼の鋒先は日本委任統治の南洋群島及英國委任統治のトーゴー等に向けらるゝものと考へられて居る。如何なる形式に於て新獨逸の植民地恢復運動が發現し來るかは將來頗る興味ある問題である。(未完)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第一回國際土壤學大會に於ける米國大統領の演說竝概況

在華府　澁谷紀三郎

一九二七年六月米國華府に開催せられたる第一回國際土壤學大會に於て大統領クーリッヂ氏の爲したる演說左の如し。

大會々員各位

全人類の食衣住が直接或は間接に土壤に依りて得るは何人も容認する所にして國家及國際基本として是が絕對重要なるは論を俟たざるなり。鑛山は假令旣に其寶庫を閉ぢ其生產を絕てども土壤は世界の增殖する人口を養ふに足るべき食糧生產を持續すべし。

此に於て世界の多數の國民の代表者が地力維持又は土地利用に關する諸問題を討議せむが爲め斯かる集會を開催するは至高の任務を遂行する所以なりとす、且つ斯かる國際的集會によりて齎らさるゝ意思の交換或は交誼の惇厚に伴ひ各國民間の諒解を遂ぐるのみならず惹いては普く國際間の平和を誘致するものなりと信ず。

我合衆國は尙ほ新興に屬するが故に或他の老國の如く此大なる天然資源を保藏する要なかりき、卽ち

是等の老國に於ては食糧供給上人口の激增は自ら地力の保持並反當收量の增加を圖るべき必要に迫れるを見るなり、爾來合衆國に於ては沃土廣大なるが故に耕作地全面積の增加と改良農具の使用とに由りて生產總額を增加するに大なる可能性を有す。實際我既耕地丈けにても敢て灌漑又は改良を施すことなく反當收量の增加によりて生產總額の增加を致すこと容易なる狀態に在りとす。

合衆國の政策

全國民の安寧及幸福の爲に農業の絕對重要を認むるが故に合衆國政府は既に久しく農業敎育及農事研究に對し中央政府の助成並に補助政策を採り來りたり。

此方針に基く第一步は一八三九年「農業統計集蒐、農業振興並農家經濟調查及農家に對する種苗の無償配布」に關し國會は一、〇〇〇弗の特別支出を行ひたり、此特別支出金は專賣特許局委員ヘンリー、エル、エルスウオース氏の提議に基くものにして其使途は同局の管理の下に置きたり、此方策は一八六二年農務局（Bureau of Agriculture）の創設に至るまで遞次特別支出金額の激增を見つゝ專賣特許局に於て繼續遂行せられたり。一八八九年農務局が農務省（Department of Agriculture）となり大統領によつて任命せられ上院の承允を經たる農務大臣（Secretary of Agriculture）の統括に屬するに至れり、農務省は斯くて中央政府の一行政官廳となり農務大臣は內閣（President's Cabinet）の一員となれり。

合衆國農務省は此の如き生い立ちを以て次第に發達し昨一九二六年度農務大臣の報告によれば所轄職員總數二〇、七四二人經費總額一五七、四八五、〇〇〇弗を示し內中央本省に於ける直接消費額四四、五〇〇、〇〇〇弗とし又研究費のみを擧ぐれば一〇、三〇〇、〇〇〇弗なりとす。

公立單科大學（Land Grant Colleges）の設置

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

來る七月二日は正に我國會に於て單科大學設置法案通過の第六十五年祝日に相當せり、此法案により州が農科大學又は機械工科大學の設置或は支持を爲さむとするときは一定公有地を州に委讓することを得るものなり、此起原に基き俗に此種の大學をLand Grant Collegeと稱す、此法案と夫れに伴ふ特別支出の結果此種の單科大學は我合衆國の各州又は各縣に設立せらるゝに至れり、而して或州に在りては此單科大學は單獨機關なれども他州にありては農業教育を州立綜合大學間に編入せられたる農科大學に於て授くるものあり。

是等の機關の設置により從來農業の指導教育上改善に俟つべき基礎的研究及調査の如何に必要なりしやは直に證明せられたり、即ち多くの大學に於て研究部が組織せられ試驗事業が教授の補足として開始せられ更に農家に對して指導を爲すに至れること是れなり。然るに是等の農科大學の整備も尚ほ農家の要求に照し未だ十分ならざるものありき更に研究上補足援助の必要は層一層明瞭となれり、即ち農業教育を希望する學生の增加を見て容易に之を判斷することを得たるなり。

此に於て此必要は實際に國會議員の注意を惹き建議案となり、次で一八八七年通過したり。蓋し州立農事試驗場に對する中央政府の助成竝補助を規定したるものにして農科大學設立法案通過後正に二十五年なり、此建議案はハッチ案と稱し一九〇六年のアダムス案によりて補足せられ一九二五年のプーネル案によりて更に補足せられ農業研究の支持に對して永久の歲入を各州及各縣に保證するに至りたり、是れ實に大多數の州に取りては國庫よりの特別支出に係る僅かなる增額といふべし、之を以て州立農事試驗場の職員は農務省の研究職員と併せ世界最大の農業研究員團體を組織するに至れる所以なり。

右は合衆國の吾人が他の國々の科學者より多くを學び能はずと云ふにあらず、實に此國に於て成され

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たる科學的積業の大部分は外國に於て成されたる純正科學的發見の適用に俟て成就したるものなり。特に歐洲の科學者は基礎的研究に就き美ましき記錄を有す。米國科學者が其業績を適用し得るを喜ぶと同時に又忍耐、綿密なる學究、此種の努力に特に肝要なる目標を單一とすべきこと等の諸教訓を心に銘することを欣幸とするものなり。

純正科學の研究は土壤研究に於て特に肝要なり、物理學、化學及生物學に對する基礎的研究は其の主要なるものなり。

州立農事試驗場設立に關する中央政府案が全農業界を被ふものなれども、就中出來得る丈普く智識を攝め農業の向上に關して夫々州立縣の土壤試驗及分類に力を注がざるべからざることを指示したるものなり。一九〇二年の中央政府案により合衆國農務省の土壤研究事業が從來一分科に過ぎざりしを土壤局として承認し今や更に化學局の研究事業が土壤局の夫れと合同し化學及土壤局（Bureau of Chemistry and Soils）と稱すべき一大局に改造せられむとする機運に進みつゝあるなり。

科學者の技能

農務省の科學者は啻に各土壤を判別し分類し土性圖となしたるのみならず、劣等燐鑛を肥料製造の經濟的利用に充て空中窒素の固定其他に研究を進めたるなり。各位は此會議に於て我科學者の技能、計畫、希望等を知るを得るなるべし、又彼等は各位より新智識と刺戟とを受くるならむ。

予は各位が此簡單なる陳述に因て合衆國政府が約一百年に亘りて農業研究に致したる要領を確認せらるゝことを信じて疑はざる所なり。從て各位は合衆國民の温情的切望として此第一回國際土壤學大會の結果をして之に與かる何人にも粲然たる光彩に浴せしめ靈感に接せしめ、全世界を通じて研究の最高理想

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と有益なる實行上の刺戟とに豐饒なる成果を齎らさしめむとするものなるを認めらるべし。夫れ科學は國境によりて局限せらるゝものに非ず。科學の功績と其恩惠とは凡ての眞理の功績と其の恩惠と等しく人類勤勞の光明となり人類生存の意義を充實し以て世界の奉仕に立つものなり。

第一回國際土壤學大會の經過概況を列記すれば左の如し。

一、本會議竝參考品展覽　一九二七年六月十三日より二十二日迄十日間

一、場　所　ワシントン市合衆國商業會議所

一、實驗見學旅行　六月二十二日(夜)より七月二十三日迄三十一日間米國南方諸州より西部に至り加奈他に入り西北部諸州を經て
ワシントン市歸着

一、本會議の組織及役員

名譽總裁(土壤局長)
總裁(ニユウゼルシー州立農事試驗場長)
アクチング總裁兼書記長(和蘭農事研究所長)
副總裁二名(伊太利羅馬農事研究所長 芬蘭地質調査所長)
米國側實行委員會幹事　五名
内　幹事長　一名
セクレタリー　一名
米國實行委員　五六名
内　各州一名宛(四十八州)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農務省 三名、
ポルトリコ 一名
ジョンズホプキンス大學 一名
加奈他 三名

部會 (Commissions)

第一部 土壤機械學及土壤物理學論文提出數 三四

1 土壤の機械的分析に用ふる供試品の調製
2 土壤の機械的分析に於て土粒の區分法
3 土壤の機械的分析に用ふる標準器具
4 土壤の理學的性質

第二部 土壤化學論文提出數 六四

1 土壤吸著性
2 土壤浸出液の調製
3 土壤中の有機物及窒素含量
4 土壤中に於ける營養物の化學的定量

第三部 土壤細菌學及土壤生物化學論文提出數 七四

1 土壤の微生物學的分析法
2 土壤の微生物分布
3 土壤の窒素固定
4 土壤中の窒素の變化
5 土壤中の有機物の變化

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

6　土壤中の鑛物の變化

7　種藝上より見たる土壤微生物學

第四部　地力に關する研究論文提出數　四五

1　土壤の營養需要量測定及植物を用ひ植物剩餘物の試驗

2　肥料及石灰需要量測定

3　土地耕作法と作物收量竝植物に對する氣水供給の關係

第五部　土壤分類、名命及土性圖論文提出數　七八

1　歐羅巴に於ける土壤分類

2　亞米利加に於ける土壤分類名命及作圖

3　歐羅巴に於ける國際土性圖

4　アルカリ又は鹽害地の分類

第六部　土壤科學適用に關する事項、論文提出數　三七

臨時部會　森林土壤に關する事項

（森林土壤科學者の臨時集會）

〔附記〕　主なる部會の準備會はそれぞれ　一九二六年中に伯林又は英國ローサムステット等にて開催せられたり。

一、出席登錄者

約四〇〇名　發表せられざるを以て不詳なれども記章携帶者より概算

内　合衆國出席者　三〇〇名内外　土壤科學者の外肥料商理化學機械藥品商等を含む

外國代表者　約一一五名　政府又は是れに代るべき團體より推薦せられたるもの

主なる國と代表者數　露西亞　二〇

獨逸　一〇　英吉利本國　七

西瑞　五　日本　四

丁抹、和蘭、匈牙利、瑞典、波蘭、パレスチナ等各四名宛

獨立國中參加せざるは支那、シャム、波斯、土耳其、希臘、葡萄牙、秘露、アルゼンチナ等にして他の三十餘箇國民を網羅す。

一、論文提出數　三三〇（各部に付きては前掲）

一、論文未著　三五

一、用　語　英　語　獨逸語　佛　語

印刷物中には以上の外伊太利語、スペイン語を加へたるものあり。又開會式當日の答辭（レスポンス）には此等の五箇國語が許されたり。

一、議事法　論文は豫め抄錄を印刷に附し頒布し全部を討議に附せず、議題は各部議長の選擇に任せ時間は短かきを原則とすれども強て制限せず重要なる問題にして討論盡きざれば可なり長引きたるものあり。

一、次會の總裁選擧　次會總裁は投票により露西亞レーニングラード農業研究所長當選、ゼネラル・セクレタリー（書記長）は重任

概　況

今回の土壤學大會は米國が露西亞學派の招來を中心としたる趣あり、近時土壤學に於ける露西亞學派の擡頭は著大なる事實にして從來の土壤學に革命を齎らしたるものと云ふべし。露西亞を中心として羅馬亞、匈牙利、チエコスロバキヤ、波蘭、芬蘭、獨逸等も此感念を容れ合衆國の土性調査も從來の方針に變革を與へたり。土壤學に關する諸問題の中土壤化學土壤生物學等は常に重要なる地位を占むれども、今回特に土壤分類及土性作圖に關する議題が最多を占め且つ潑溂たる討議を重ねたるは露西亞學派の影響により土壤學の舊感念が新感念に移れることを物語るものなり。

今回の會議は土壤學界に取り好結果を擧げたるものといふべし。（七月七日於華府）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講演

亞細亞から歐米へ

鎌田正威

一

彌榮天照大御神、彌榮現神天皇、天晴れ、あな面白、あな手伸(タノ)し、あな明(サヤ)け、おけ。

皆さんの御陰に因りまして、歐米各國を旅行致しまして、二年五箇月の後に再び健かなる皆さん方に御目にかゝることの出來ますのは、誠に喜ばしい次第であります。

夫れで何か調べて歸つたことを聽いて遣らふと云ふ御親切を以て、此の炎暑に係らず此處に御集り下さいましたことは私として非常なる歡喜に堪へないのであります。只恨むらくは、私は皆さんの御承知の通りの訥辯でありますので、お聽きになりますのに、非常に苦しい思ひをせらるゝことであらふと思ふのであります。

併し私の持つて歸つたものは………自分で已惚れるのは甚だ潛越ではありますけれ共、決して不味いものは持つて來な

い心算りであります。少く共私の持ち歸つたものを皆さんが本當に利用して下さるならば、皆さんは非常に幸福なる世界に住むことが出來やうと思ふのであります。夫れだけの確信は十分に持つて居ります。只私の訥辯……而し又如何なる雄辯であつても、僅の時間に總てのものを諒解して戴くと云ふことは、實際に於て不可能であります。又之をスッカリ諒解して戴かうと云ふことは無理な望みであると思ひます。

併し乍ら、元來我々は常に多くの智識を持つて居るのであるから、頭惱の良ひ人は所謂一を聞いて十を知ると云ふやうに僅かのヒントで直に全般を知るだけの能力を皆さんは御持ちであります。例へば私の辯論が拙くても、只此處に書いてある題目だけを御讀みになつて、何を話すかと云ふことが御判りになると思ふ。殊に明晳なる頭惱を持れる皆さん方は、御諒解であらふと思ふのであります。夫れであるから此の點に就て喋々する必要はないと思ふ。願くは斯う云ふ心持を以て御聽きの上御諒解をして戴きたい。

私が幸に機會を得、又役所の爲に非常に短日月ではあるが、而も二年餘の時を費して歐米の各地を見聞した夫れを少くも數時間の間にお話をするので、之を聽かれる皆さんは非常に立派な世界に遊ぶことが出來るのであります。之を利用せられ、私の意のある所を諒解せられて、皆さんが既に御持ちになつて居られる所のものゝ御發揮を願ひたいと思ふのであります。

私が此の臺灣を立ちまして二年五箇月、印度波斯を通りまして神戸から横濱に歸る迄、二年と二箇月であります。之を數時間に述べて仕舞ふと云ふことは到底無理なお話である。況んや見るもの聞くもの私に取つて總て珍らしいのであります。私の珍らしいものは人も必ず珍らしく思はれるだらふと思ふ。斯う云ふこともお話したい、あゝ云ふこともお話したいと云ふことが非常に多いのであります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

それで其の中から是非共此の作は聽いて貰いたいと云ふことを縮めて書いたのが此處に掲げてある十七項であります。而もお仕舞ひには附錄もあります。私は訥辯でどうも口が重く他人が一時間で話すことは私は三時間或は四時間になるのでありますが、之は已むを得ないのである。而し私として私の見て來たことを皆さんに聽いて戴いて始めて價値が顯れるのであつて、皆さんが聽いて下さらなければ、多くの日數を費し多くの費用をかけ多くの人に厄介になつても、其の效果は甚だ薄いと言はなければならぬ。

私の旅行の結果が多くの效果を顯すかどうかと云ふことは一に皆さんが能く聽いて下さるか否かにあると思ふのであります。若し聽いて下さる方があつたならば多數の人で無くても宜しい。世の中の事業と云ふものは餘り多數で無くても宜い、明治維新の事業も、僅の人であつた。他の人はついて來れば宜いのであります。私のお話も必ずしも多くの人に聽いて貰はなくても宜しい、只熱心の人に聽いて貰いたい、さう云ふ意味に於てお話を致したいのであります。

又此の暑さと云ひ、又體力と云ふものも人に依て各々違ひます。困苦缺乏に堪へ得る人で、嫌やな拙い話であるが我慢して聽いて遣らふと云ふ氣力のある人に聽いて貰いたい、中には止むに止まれない御用のある方もあらふと思ひます。さう云ふ御急ぎの御用のある方、又は御倦きになつた方は遠慮なく御退席を願ひたいと思ひます。私の方では御退席になつても、夫れに構はずに夫れに依つて落膽することなしにどん／＼申上げて少數の人に聽いて貰いたいと思ふのであります。

私が今度の旅行によつて得たことについて第一に申し度いのは何かと申しますと、旅行中に於て始めて日本の國と云ふものが解つた、日本と云ふものはどう云ふものであるかと云ふことが解つた、此の一言に盡きるのであります。之に依て古來日本の本當の觀念と云ふものはどう云ふものであるか、之は一言に云ひますと、日本の固有の思想並に神道である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

私が外國に行つて始めて、日本の國を知り、日本の神道を知つたのであります。私が臺灣を出發致します前に、臺灣神社にお詣り致しまして、何時もの例に依り祈禱をなし署名を致したのであります。其の時に僕は斯う云ふことを書いて來た。

　神のくにいやます光りを身にうけて
　　心やすくもとつ國に行く

外國に行くのに日本人として何等憚かる處もなく行くことの出來るのは、往時我々の先輩が日本の國威を輝かし地位を高めてくれた御陰で何等の不安もなく歸りました。夫れで無事に歸り着いて又臺灣神社に御詣り致しました時に斯う云ふ歌を書いて參りました。

　とつくにを廻りしあとに知られけり
　　御國の榮は神のみいづぞ

之は私の結論であります。

元來我々は宇宙と同一體のものである、同一體であると云ふことを知りさへすれば宜しいが夫れを知るには始終反省しなければならぬ。其の反省する修養の方法として、太陽の方に向つて「彌榮天照大御神」を唱へるのであります太陽は宇宙の中心であり、又世界人類の親である、夫れで日本では太陽を尊んで居るのであります太陽系の中心であると同時に宇宙の中心であります。此の外にも多くの世界がありませう、けれども小さい星で瞭かでない、夫れで太陽を中心として持ち上げますと、宇宙全體が持ち上がる、宇宙全體が天照大御神と云ふことであります。彌榮現神天皇と云ふことは、日本の中心は天皇陛下である、天皇陛下を中心として持ち上げれば、日本全體が持ち上がる夫れで天皇陛下を現神と申上ぐる

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ことは、日本全體が現神と云ふことである、其の中に我々の同胞、家族、先祖が皆な居ります。夫れが彌榮現神天皇と云ふことであります。

二　印度波斯等に於ける日本人の歡迎、日本人は其の力を顯すべし。

旅行の記事に就きましては、皆さんに一々御手紙を差上ぐるのでありますが、多數の方に手紙を一々差上げると云ふことは、チヨツト不可能であります。夫れで皆さんに手紙を差上げる代りに、旅行の記事を書きまして、寧日紙に載せてもらひましたので、皆さんも御讀み下さつたことゝ思ひます。

此の旅行中に於て、私は非常の歡迎を受けたのであります。日本人として歡迎を受けたのであります。殊に印度の旅行は殊更に歡迎を受けたのであります。又旅行中に於ても印度人などが特に厚意を表はしてくれたと云ふやうなことは、隨分あつたのであります。

又波斯は非常に危險であつて或は命も危ういか知れぬと云ふ、外務省からの注意も受けたのであります。殊に波斯で私の通らむとする處は非常に危險であると云ふので、私の家からも、新嘉坡に居る友人からも波斯に行くことは止めよと云ふ電報を受けたのであります。印度に着きまして領事、公使又日本の駐在武官などの波斯に對する智識のある者からも危險である命が危ないと云ふやうな話も聞きましたが、實際に行つて見ると非常に歡迎してくれた、土耳古に行つても同樣であります。

之は何故であるかと云ふことを考へて見ますると、元來歐羅巴人と亞細亞人とは之を比べて見ると、非常に異なる特室を持つて居る、夫れは亞細亞人は宗教的の觀念があり、運命と云ふことが深く頭の中に浸み込むで居る。男と生れたのも運命である、女と生れたのも運命である、此の世に生れた夫れ自身が既に運命であると考へて居る。歐羅巴人に屈從する

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のは亞細亞人の運命であると云ふ觀念があつて、亞細亞人は歐羅巴人に適はないと云ふ考を持つて居つた。夫れが日露戰爭に依つて、歐羅巴の最强國であつた。露西亞を日本が打ち破つたので、亞細亞人は非常に驚いた。亞細亞人が歐羅巴人に屈從するのは必ずしも運命ではない、行りやうに依つて下に付くべきでないと云ふ、非常なる自覺を呼び起したのであります。其の自覺を呼び起すと共に日本に對して何となしに懷かしい感念がするのであります。其の結果日本人に對して、直接間接に厚意を表すると云ふことになるのであります。

新聞記事にも書いてあつたと思ひますが、印度の文部大臣のワルソンが三度日本に來まして日本の制度を視て、學校なども日本の例を布いて居る。學校の言葉は自國語である處のウルツド語で敎へるやうになつて居ります。官廳の用語もウルツド語である、總ての慣用語はウルツド語であります。さう云ふやうに日本を模倣する、又此の事は波斯に於ても土耳古に於ても經驗したのであります。

斯様に日本と云ふものが、亞細亞民族の上に眼に見えないが、非常なる力となつて居るのであります。同時に之を歐米から見たならば、非常に日本と云ふ奴は惡ひ奴である。日本が無かつたならば歐羅巴は枕を高くして寢られるのであるが日本があるばかりに苦勞が絕えないと云ふので、日本の發展に對して非常な壓迫を加へにかゝつたのであります。

皆さんも御承知であらうと思ひますが、日清戰爭後遼東半島の還附、又近くはワシントン會議、此のワシントン會議も目的は軍備制限であるが、實は日本が目的で更に夫れ以上に日本の發展を阻礙する爲に、會議を開いたのであります。さうして夫れに全力を濺いで、各國の有名なる代表が來たのであります。

今度の軍縮會議は、前程の目的は無い故に、內容も前よりはずつと劣ると云ふことでありますが、要するに之も日本の國力の發展を恐れる結果であります。歐米は既に現狀維持であるのに、歐米の現狀維持を經濟的方面に於て、だん／＼と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

破りつゝあるのは日本である、此の現狀を破壞されては困ると云ふので、成るべく現狀維持を標準として抑へ付けやうと云ふのが各國の政策であらふと思ふのであります。

茲に於て我々が印度波斯方面に於て歡迎を受けると同時に、其の歡迎は歐米人をして日本を恐れしめ、益々壓迫を加へる原因となる故に、どうしても日本の力と云ふものが強くならなければ其の壓迫に堪へられない、或は小さくなつてしまはなければならぬと思ふのであります。其の壓迫に堪へられない、或は小さくなると云ふことは、我々として到底忍び得られないことである、其の力を維持し其の力を進展すると云ふことは、實に我々の双肩にあると思ふ。我々が働かなければ日本の力と云ふものは無いのであります。故に我々は大に自覺して、其の力を發揮しなければならぬと云ふことが感ぜられたのであります。

三　印度、メソポタミヤ、埃及の文明と水利事業、歐洲の文明と器械

私の旅程は皆さん御承知と思ひますが、チヨツト説明を致しますと、二月一日に臺灣を立ちまして琉球を通つたのであります。琉球は私としては初めての土地でありまして、今迄に琉球を視たいと思ひましたが、中々機會がありませぬでした。今度幸ひ機會を得まして琉球を通つたのであります。

琉球のことは、皆さん御承知と思ひますが、昔は支那にくつ著いて居つたが、事實に於ては薩摩にくつ著いて居つた。薩摩が琉球を征服したのであるけれども外觀は支那に屬して矢張り貢物を入れて居りました。支那の使節が琉球に參りますと、薩摩の使節は山の中に隱れて仕舞ふ、而して支那の使節が歸ると薩摩の使節が山の中から出て來る。

斯う云ふ風にして琉球と云ふものを仲介に致しまして、對岸との貿易を營んで居つたのであります。日本は旨いことを行つて居つたので、名義を重んぜずに實を取る主義で、實際は薩摩が征服して居つたが、名義だけは支那にくつ著けて居

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つて外國貿易を營み、琉球から非常な利益を得て居つたのであります。

夫れから果して琉球人は日本人種であるかどうか私は疑つて居つた。實際琉球が日本に心から付くやうになつたのは日清戰爭以後で、日清戰爭以前は支那は大國である、日本は小さい國であると、向背が定まらなかつたが、日本の實力を徹底的に琉球人が知つて、心から日本に付くと云ふ有樣になつたのであります。

斯う云ふ有樣で、人種は果して日本人種であるかどうかと思つた。能く臺灣に來て居る琉球人を、臺灣人は内地人の生蕃と云ふ名稱を付けて居るのはどう云ふ譯であるかと云ふ、非常な好奇心を持つて琉球に行つたのであります。處が琉球に行つて見ると非常に驚いた、夫れは琉球人は我々の先祖であります。

あの言葉と云ひ、家と云ひ總て支那系統でなく全然日本系統であります。日本人系統である而已ならず平安朝時代の言葉を用ゐて居る。夫れが現在の通俗の言葉になつて居るのであります。何々侍べる、何々候らへと云ふ言葉を琉球人は話して居る、只早く言ふので我々には解らぬと云ふだけであります。

琉球の島々に於て、我々の先祖が古代に用ゐた言葉を其のまゝ用ゐて居るのであります。

我々の先祖は北からも來た、又西からも來た、而し第一は南洋から來たと云ふことが事實と思ふのであります。夫れで南洋から來た者は、爪哇あたりから琉球に渡つて、而して本州に行つたものと思ふ、現に臺灣の生蕃の神話などにも日本に行つたと云ふことがあるのであります。臺灣の生蕃の言葉と云ふものは皆さんも御承知の通り、アクセントが日本語そつくりである、我々の祖先はマレー系統であります。**勿論日本人は混合種族であつて純粹のものではないのであります。**

事實北からも來た、西からも來た、殊に南から來たものは、南洋ヒリッピンから臺灣に來て、夫れから本州に行つたものと思ふ。薩摩の人は琉球人に對して非常な反感を持つて居るが、之は甚だ良くないことである、琉球人は我々の先祖で

あるから敬意を拂はなければならぬと云ふことを皆さんに申上げて置きます。夫れから三月十日に神戸を立ちまして香港に行きました。さうして其所の阿片工場を視たのでありますが、心良く見せてくれました。新嘉坡には一日滯在して矢張り其所の阿片工場を視ました。夫れから卑南に參りました。卑南の阿片工場を視たいと思ひましたが、日曜であつた爲に視ることが出來ないのでありました。ラングーには二日ばかり居りました。

夫れからカルカツタに四月六日に上陸致しまして、印度の町のシムラに參りました。之は七千尺の山であります。私は豫てから、支那印度又南洋を見たいと云ふ希望を持つて居つたのでありますが、南洋の方は其の希望が實現せられなくて南洋に行くことは出來得なかつたのであります。小さい島國は倦き倦きしたので、大陸の氣分はどんなものであらふかと云ふ、非常な好奇心を持つて行つたのでありますが、而し大陸に行つて其の景色を見ますると、ヒマラヤ山の如きも臺灣の景色と少しも違はない、非常に嶮しい山であります。シムラに登つて見ると阿里山鐵道を見る氣持ちと非常に能く似て居る。山の形と云ひ非常によく似て居るのであります。其のシムラに英國人は避暑地を作つて山の中で事務を執つて居る。每年四月になりますと山に登つて十月迄事務を執つて居るのであります。其の他カルカツタ等の山の中にも避暑地を作つて住んで居る。此の山の形が臺灣の山と少しも違はないのであります。印度でさう云ふ山を見ますると、臺灣の蕃界に避暑地を作ると云ふことは、決して不可能でないと云ふことを確信したのであります。

私自身としては甚だ幼稚な考へを持つて居つた。大陸と雖も何も島國と違ふ筈はない、夫れは島國ではあるが實際は海に連絡して居るからであります。夫れを違ふと思つたのは間違ひであつて、違はないのが本當である。此の海に連絡して居ると云ふことを僕は始めて知つたのであります。夫れから又印度であらうが英國であらふが、瑞西であらふが隨分山の

上迄耕地を作つて居ります。スコットランドの如きも山の上迄耕作して居る。日本が山の上迄耕作して居るのを恥のやうに思ふて居りましたが何處も行つて居ります。

印度のシムラに一箇月滯在して居りました。此處には岩手總領事及び駐在武官が居ります。日英同盟の結果として印度は大なる植民地となり、又策源地であるが故に駐在武官を派遣して居つたのであるが、日英同盟の無くなつた今日も依然として居ります。

旅行をしましても其の土地の智識がなくては、初めから研究が出來るものではない。夫れで私は本國からシムラに來て居ります、駐在武官に色々と敎はつたのであります、が役所の仕事が忙がしい、實際役所の仕事は片付け切れない、さう云ふ結果で、而かも僕は人が一時間で行ることは二時間三時間かゝる性分である爲に、印度で書物を讀む暇がない、以前から、印度に關する本を買つて持つて居つたのであるが斯う云ふ譯で印度に行つても、印度のことはイロハから習はなければならぬので、自然滯在日數が長くなつたのでありまして、シムラに一箇月半居つたと云ふことは止むを得なかつたのであります。

夫れからガンジス河、ヒマラヤ山から流れ出て居ります、其のガンジス河の傍にハトワルックスと云ふ印度敎の聖地があります。其のガンジス河は非常に神聖のものとされて居る。其の河で身體を洗つて神樣に詣でるのであります。其のガンジス河の水源地に百萬町歩ばかり耕地を設けて居ります。私は土木局に居つた關係上水利事業には非常な興味を持つて居るのであります。

夫れで印度の水利事業を考へて見たいと思ひまして、デイリーに行きました。印度の政府は昔はデーリーにあつたので今でも七つばかりの王城の趾が殘つて居ります。英國政府はカルカッタに、二億圓以上の金を投じて新らしい政府を建設

しましたが、昨年あたり出來上つたと思ひます。兎に角非常な大設備をして居るのであります。

夫れから、アグラにタヂマホールと云ふ非常に立派な建築物がありまして總て大理石で造つてあります。印度で最も大なる、最も美なる建築と云つて居ります。朝、晝、晩共景色が違ふと云ふので、朝も行つて見る、夜も行つて見る晝も行つて見る、其のたびに景色が變つて何とも云へない良い景色であります。私も三度行つて見ましたが、印度に珍らしい建築物であります。

夫れより阿片の狀況を視ました。ガンジス河の挾流にあるベナレスと云ふ皆さんも御聞きでありませう。夫れより十六哩ばかり行きました處のカシンプランと云ふ阿片の工場を視ました。此の印度阿片は專賣局として非常に重要のものでありますので、是非共狀況を視なければならぬと思ひましたが、遂に視ることが出來なかつた、其の後會計檢査院から矢か間しく云つて來たと云ふのは、專賣局の人は大正九年以來、印度、波斯等の原產地の狀況を調べる爲に、每年旅費の豫算を取つて居るのであります。夫れを今迄專賣局に於ても行くと云ふ意思はあつたが、多忙の爲と人の關係で行くことが出來ない。臺灣で買入れる阿片の量は、年々少なくなるのでありますけれ共、今日に於て極く重要のものであります。さう云ふやうな關係で、臺灣に於ても阿片の原產地を調べると云ふことは、當然の義務であると云ふ處から遲れ馳せながら、此の義務を曲りなりにも果す爲に、私が行つて視たのでありまして、私も非常に名譽に感ずる次第であります。

私は初め印度政府に於て、斯う云ふ工場は秘密にして居ると思つたので、さう云ふ秘密にして居る工場を視せてくれるかどうか懸念して行つたのであります。私も眞底迄は視なく共、折角來たのに其の目的を達し得られないとしては、男子として面目ない。夫れで自分としては如何にして、徹底的に調べることが出來やうかと云ふことに恐れを懷いた。其の結果どうも安眠が出來ない、動もすれば神經衰弱になる。夫れが愈々見せてくれると云ふことが判つて、疑を受けぬやうに

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と非常に遠慮したのでありますが、後から考へて遠慮しない方が宜かつたと思ひました。

兎に角さう云ふ譯で三十分間も印度阿片の工場を視せてくれたのであります。外國人として此の工場を視たものは、私一人であると云ふことであります。皆さんの御陰で日本一になつたのであります。

モー遠慮せずに寫眞を撮らしてくれるかと云ひますと、宜しいとのことで、工場から阿片のタンク迄スッカリ寫眞に撮つたのであります。夫れは色々と說明するよりも寫眞にするのが非常に解り易いので、寫眞に撮つて局長に報告を申上げたのであります、私の爲に印度阿片を製造する方法も、特に見せてくれたのであります。モルヒネに就ては私は不幸にして、詳しくは知りませぬので、非常に詳細の質問は出來ないのでありましたが、兎も角も工場をずつと見せてくれたのであります。印度に行つた者は、たいていは探偵を付けられると云ふやうに聞いて居りました。高雄州知事の高橋親吉君は私の無二の親友でありますが、友人の鹿子木と云ふ人の失敗實驗談をして、印度は非常に言葉が難かしい。印度に行くならば何も疑を受けぬやうにせよと云ふ注意を受けたのでありますが、行つて見ますと探偵も何も付いて居ない。到る處英國政府の厚い友誼を受けたのであります。先年英國のエリオット君が臺灣に參りました時に、專賣局の樟腦工場阿片工場を見せたのであります。夫れ故に夫れだけのことを私に對して印度政府はやつてくれたのである。卽ち專賣局に參つた時に受けた厚意を私に對してやつてくれた。英國人は今迄通り我々に對して、相當優遇して居ると云つて差支へないと思ふのであります。

夫れより釋迦が初めて說法せられたと云ふ有名なるロクヤールを視、又お釋迦さんが六年間難業苦業せられたと云ふ前正覺山、六年間籠つて居られたと云ふ洞穴にも這入つて見ました。其所にお釋迦さんが御修業をして居られると、ナンダバラと云ふ娘が來て牛乳を供養した。夫れから菩提樹の下で悟りを開かれたと云ふ遺蹟を、一々歩きましたが釋迦も人な

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

り我れも人なりと云ふ感念が深く惱裡に呼び起されたのであります。

佛教徒として釋迦の遺跡を視ますると、何と云ひますか一種のインスピレーションに打たれるのであります。佛教に熱心の方は、必ずや云ふに云はれない感念に打たれることゝ思ふのであります。

夫れよりカルカッタに歸りヒマラヤ山に登りましたが、恰度モンスーンの時期で雨期でありましたので、何も見ることが出來ない、夫れより下つてレバットと云ふ處に出ました。此處は茶、麻の產地であります。自然の廣大なる農業を營んで居ります、夫れ等を寫眞に撮つて來ました。

夫れから、アッサム州のシコール、今迄阿片に就て色々矢か間しい問題が起りましたので、一昨年卽ち大正十四年の十月頃から、臺灣の阿片制度のやうに鑑札を出して居ります。鑑札を持つて居る者でなければ阿片を買ふことが出來ないと云ふ制度を設けたのであります、其の阿片の狀況を視ました。併しながら私は思ふ、臺灣に於ては非常に警察力が完備して居ります。故に法令規則は十分に徹底して行はれるのでありますが、印度に於ては善ひ制度を設けても、臺灣の如く警察力が完備して居ないから、決して法令通り行はれるものではありません。印度の巡査は譯もなく賄賂を取ります、印度の巡査は非常に薄給でありますので、其の關係にも依ることゝ思ひますが、之は支那も同樣であります。故に印度が興り、支那が興り國が立派になるには少數の人では駄目である、巡査の末に至るまで立派になると云ふことが必要なる條件であります。

日本は幸にして巡査の末に至るまで、何れも清廉である、而し巡査も近頃は歐羅巴見たやうに、賄賂を取る者もあると聞きますが之は例外である。概して清廉潔白であります。日本が立派なる所以は、巡査の生活に至る迄身心共に立派に依るのであります。印度人が立派になり、支那人が立派になるのは非常に前途遼遠である。國民精神を涵養し國民全體を善

くするには、多年の教養を要します。併し印度人でも支那人でも、隨分優れた人が多いのであります。が何億と云ふ人に比べると極く少數でありまして、其の何億と云ふ人全體を善くするには中々前途遼遠であります。

夫れでありますから、此のシコールの阿片制度も此の點に就て臺灣の如く、直に好成績を擧げると云ふことは困難と認めたのであります。

又カルカッタに歸りまして、今度は中央部のナグプルに行きまして阿片制度を視ました。夫れから孟買にアランダと云ふ有名な洞穴がある、大きな岩でありまして、百疊敷、五十疊敷と云ふやうな部屋を作つて、石に佛像を刻んだり、壁には綺麗な繪が書いてありますが、其の繪は大部剝げて居ります。彫刻も中々立派である、之は佛教の遺蹟であります。印度教の聖地である處のガンジス河の水は最も神聖の水であります。又印度には牛が澤山居ります。其の中で牡牛は神が與へたものとして寵愛して居る。牛の乳を搾る、牛の乳が無いと人間の生活が出來ない。人間に對して非常に有益なるものである。ガンジス河の水が神聖であるやうに、牡牛は最も神聖として居るのであります。夫れであるから、印度人が穢れて居るときは、ガンジス河に浴して穢を洗ふと云ふことであります。

私は印度人に案内を受けまして、そこに參りました。印度人の僧が神聖とする水に浴して祈禱してくれます。牛が神聖でありますから牛の糞を身體に塗ります。塗つて椰子の實を頂く、さうして色々の御經を受ける、夫れから穢を洗つてお寺にお詣りするのであります。處が仕舞いに日本人であると云ふことが露見しました。佛教徒は此の水にはいることは出來ないことになつて居る。夫れが仕舞いに判りました。私のことであるから隱しは仕なかつた。服裝は印度人の服裝であつたが日本人と云ふことが判つて騷動が起つたのであります。が種々折衝の結果、日本は佛教國である、佛教は印度教であるから、今後日本人もガンジス河にはいつても宜しいと云ふことに決定して解決したのであります。私も一時は非常に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

心配しましたが、無事に解決したのは天祐と考へて居ります。

印度教では神様にお燈明をあげるのに樟腦を點ほすのであります。マイソールのサンタールブルドで出來ますものは、非常に良い香りがします。夫れを粉にして燃やすのであります、其の樟腦を燃やすのは、特に印度教の禮拜所に行はれるのであります。お寺に行きますと門前に樟腦を賣つて居る、小さい指の先き位の樟腦を賣つて居ります。夫れを買つて印度教のお寺に詣る、お寺は女の神様であるから女が禮拜するのであります。

夫れからマイゾール、之はサンタールの製造する處でありまして、サンタールは樟腦を製造すると同じ方法であります今村中佐が印度に行つたならば、是非共マイゾールのサンタールを見よとの話でありましたので、マイゾールに行つたのであります、そして非常な優遇を受けました。

夫れから孟買に出ました。之は先程申しましたやうに、波斯と云ふ處は非常に危險である、殊に私の通る道は一層危險であると云ふことは外務省からも注意を受けた。而し私は波斯人に對して何等惡ひことをして居ない。又危險と云ふのは畢竟兩方の意思を疏通する言葉を知らぬからである、少くとも普通の言葉を知つて居つたならば危險はないのであります。夫れには二箇月、三箇月居りますと普通の言葉は上達するのであります。言葉を知つて居つたならば、元來波斯に對して何等惡ひことをして居ないのであるから、何とか云ひ逃れて助かる途があるだらう、本當に殺すならば行かないが、而し生命を賭して行くと云ふことがあるから、必ず助かると云ふ考へが頭に浮んだので夫れで行つたのであります。

夫れが爲めに準備をしなければならぬと云ふので、一箇月ばかり孟買で波斯語を習つたのであります。此處の三井の紹介で波斯人の小學校の教師に就いて一箇月ばかり教つたのであります。序に波斯語の挨拶を申上げますと、波斯で「今日

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は」と云ふことを、「カナムアリートマスクラーム」と申します。是はどう云ふ意味かと申しますと、平和の御禱りと云ふことであります。國々の言葉に依て、悉く其の國民性を代表して居るのであります。日本では「今日は御機嫌宜しう御座います」と申します。英語では「グドモーニング」、獨逸の「グーテンモルゲン」良き日を禱る。佛蘭西では「ボンジユモーシユ」も同じ意味でありませう。日本語も同じ意味であらうと思ひます。是が支那語になる「リーチヤパボエ」飯を食つたかと云ふ違ふ名前になるが、併し是は最も實際的だらうと思ふのであります。人間生活に於て、飯は第一に大切である。飯を食つて居なければ、飯を差上げると云ふ親切の言葉で、最も實際的で、人に對して同情した言葉であらうと思ふのであります。波斯語になると「キトモニー」貴方の上に平和あれかし、品の良い言葉であります。近頃は英語さへ出來れば、何處にでも行ける樣に思はれるが、外國に行つて、英語を使はずに佛蘭西語を使ふと、何と無しに上品であります。波斯は佛蘭西語は出來なくも、英語だけは知らねばならぬと云ふ樣な勢力でありますので、少々反感を有つて居る。夫れで佛蘭西語が出來て非常に痛快に感じたのであります。

夫れで佛蘭西語と云ふものは、歐羅巴、殊に英國で喋ると尊敬を受けるのであります。さう云ふ樣に佛蘭西語は上流の言葉である。

波斯は昔から非常な大國であります。波斯は現今は佛蘭西語でありまして、慣用語となつて用ひられて居ります。勿論波斯語も働くものは働いて居ります。波斯は上流になると、アラビヤ、土耳古、波斯語は非常に流行して居ります。斯う云ふ點から言ふと、波斯語は上品であると云ふことは無理のないことゝ思ふのであります。

夫れより直ちにカラチに出ました。此處は英國政府が非常な力を盡して灌漑事業を圖り、何十萬と云ふ人口を植へ付けることが出來て、農產物の利益と云ふものは、莫大のものでありまして、將來は非常な發達をするのであらうと思ひます

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英國政府は非常な設備をして居るのであります。

カラチから船に乗りまして、波斯に參りました。而して非常な歡迎を受けて厄介になり、自動車を用意して吳れました。駱駝に乗るとか驢馬に乗ると、のそら〳〵として居るから、馬に乗る心算で、馬の鞍も買ふと云ふ風に用意して行つたのであります。私は平素馬術部に行つて、斯う云ふ時の用意にと思つて、馬から落ちない稽古をしたのであります。其處で馬に乗ると云ふ計畫で、波斯に行く決意をしたのであります。

歐洲戰爭前は、獨逸の勢力が波斯に這入り込んで居つたのであります。夫れが歐洲戰爭となつて、南からは英吉利軍が攻め入り、北からは露西亞が攻め入つて、遂に獨逸軍を驅逐したのであります。夫れが爲めに波斯は非常なる兵亂の中心となつたのであります。

獨逸軍は南は英國軍を防ぎ、北は露軍を維持する爲めに、又總ての軍用品の運搬設備を完成する爲めに、第一に軍用道路を作りました。而して自動車を通じたのであります。

其の軍用道路の御蔭で、現在何うか斯うか、自動車を通すことが出來るのであります。其の自動車に良い運轉手を付けて吳れたのであります。

而し其の道路を維持する費用として、波斯は財政が困難の爲めに、所々に關門を設けて通行税を取つて居るのであります。其の收入を以て、道路を維持して居る。通行税は道路の維持費より以上に取りまして、波斯政府の收入の一部を補つて居ります。夫れで自動車に依てペナン迄行つたのであります。

バグダットの道は只今一層完全なる道となつて自動車で行けるのであります。夫れは英國の會社が經營して居ります。

シラスに二週間滯在して、其の邊を見、又ペルシヤ灣を見ました。アレキサンダーが攻め入つて、何億萬圓と云ふ償金

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を取つた處であります。

夫れよりスワンに參りました。スワンは日本の大阪と云ふ樣な處で波斯の商業の中心地であります、夫れよりペルマンチヤ、イラック、バクダートから地中海のベールトと云ふ處に著いたのであります。

英國人は仲々拔け目の無い國民で、思想も殊に大きな國民であります。印度の開發には、英國は大きな努力を拂つて居ります。南歐條約を締んだと云ふのも印度を取る爲めである。又印度が在る故にスエズの運河も手に入れなければならぬと云ふので、一朝にして、スエズの運河の主權を英國が握つた。是も印度の爲めであります。其の後露西亞と協定して、波斯の北半分は露西亞の勢力範圍とし、南半分は英國の勢力範圍となつて居る。此の協定の爲めに、英國は非常に惡まれて居る。而して、結極は此處に結び付けたいと云ふ英國政府の方針であります。

シリヤを佛蘭西の委任統治として、此のイラク國を作つたのでありまして、佛蘭西が仲々勢力を有つて居ります。夫れ故に英國は機會ある度に、大きくなると云ふことを忘れない。是は惡口でもなく、又褒めたのでもない。而し、其の御陰で我々旅行者が危險もなく易々と砂漠を横斷して地中海に出ることが出來たのであります。

國が大きくなると云ふことは、人類に對して、大きな幸福を齎すものと思ふ。若し、英國政府に反感を有つて、英國を驅逐し、印度人の印度としたならば、必ずや將來平和の生活をすることは出來なからうと思ふ。現に印度教と回々教の爭に就て、ガンヂーが非常に盡力したに拘らず、爭ひが止まないと云ふ狀況であります。夫れであるから、巡査の末に至る迄、印度人を請願にすると云ふことは非常に前途遼遠であると思ふのであります。

ブルスカは昔から有名な都であります。シリヤは佛蘭西の委任統治でありますが、其所に反亂が起つて居るので、交通が杜絕して居る狀態であります。佛蘭西政府に反抗して、容易に降らぬ、英吉利人は先程申しました通り、名義よりも實

を取ると云ふ遣り方でありまして、非常に旨く治めるのであります。佛蘭西人は遣り方が悪いのであります。何故ブルスカが反亂するかと云ふと、其の原因は同じであります。夫れで、佛蘭西人が來まして、シリヤに就ては旅行の安全と云ふことの保證は出來ないと云ふ注意を受けたのであります。併しそんなことがあるかと云ふ譯で出ましたが、安全にベールに着くことが出來たのであります。

シリヤに一箇月ばかり滯在して居りました。其の邊の地理、歷史を調べ、或は佛蘭西語を習つたのであります。夫れよりベステヘンブ、ヨルダン河の耶蘇の舊蹟を探りました。若し皆様の中に、御熱心の方は、其の邊りの寫眞を自分で撮して局長に報告した寫眞があります。御希望の方は御覧を願ひ度い耶蘇教に熱心な方は御覧下さい。又モーゼの御經も自分で撮つたのであります。日本人で寫眞に撮つたのは、私以外に無いと云ふことであります。夫れより埃及のカイロに出て船に乘りました。

波斯に屬して居るスシンランの奥で阿片を栽培して居る。其の畑を視、夫れより船に乘つて、原産地を視、更に土耳古の都であるアンゴラを視ました。私が日本からカルカッタ迄約一箇月と見まして、印度に六箇月、波斯に二箇月、埃及、土耳古に三箇月、丁度亞細亞に於て一箇年を經過したのであります。私の旅行は一箇年の豫定であります。元來私が臺灣に來たと云ふのも、成るべく人の行かない處に行く。夫れで差當り臺灣に希望者が無かつたので、私が來ることになつたが、私の親父は臺灣などは身代限りをした者の行く處だ家の不名譽であるから行くのは止めにせよと云ふので、親父に相談しても、仲々憤慨して承知しない。併し約束したのであるから仕方がない。二年だけ遣つて呉れ、歸りますからと云ふ譯で來たのであるが、來れば仲々歸らない。親父は遂に泣き寝入りと云ふことになつたのであります。今度の旅行に就ても、歐米などは幾多先輩の偉い人が澤山行つて居るので、斯んな處に行く必要はない成る可く人の行かない處に行かう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と云ふので、印度、波斯地方を視たのであります。臺灣として此の亞細亞を識ると云ふことは、非常に重要のことであります。所謂植民地の研究と云ふことは重要であり參考になるのであります。

夫れで歐羅巴などは視なくも宜しい。印度、波斯を視れば澤山であるが、併し世界の大勢は知らねばならぬので、先づ歐米を視て來いと云ふことでありました。併し私としては何うしても印度、波斯、土耳古の阿片事業を視なければならぬので是は後から時の吉岡局長に追加を願ふたのであります。

印度に六箇月、一年の半分を費したのであります。印度に渡らないで、ずつと行く心算であつたが、行けなくなつたので仕方がないので、六箇月滯在して、波斯に這入つたのであります。　（續く）

（講演速記、文責在記者）

秋立つ窓

石川欽一郎

◇ヴエニス◇

ヴエニスのサン・マルコの河岸からサリユーテーやサンジヨルジヨーなどを寫生し乍ら私は想つた。此處は昔から畫家が何人となく描いて居る。復興期の初めにサン・マルコ寺の開山式を描いて居るベリニの大作は別としても後世になつてターナーがこの邊を澤山に描いた。一體ターナーと云ふ人は天才肌だと言へば天才肌だが併し可なり思ひ切つたことをやつたものだ。赤い塔を白く描いたり又た塔など初めから無い處に平氣で塔を描き加へて居る最もその方が圖の納まりはよいにしても恁うソラ／＼しいウソも餘程な度胸だ。併し私なぞ、許るすから勝手に塔でも露臺でも描き加へて見ろと言はれたところで却々さうは行かない、セイ／＼黄色い帆の船でも一二隻附ける位が關の山だ、それを思ふとターナーは威らい。何事でも思ひ切つてやる勇氣が大切だと云ふことを寫生し乍らつく／＼感じた。

それはそれとして、更らに近代に於ても幾多の有名な畫家が皆ヴエニスに行つて居る、又たヴエニスへ行きさへすれば必ずこの邊を描いて居る、それを描き乍らこれらの人々も亦た私の如うにベリニあたりから近くはターナーのことなども想ひ泛べたに違ひないそして考へる事は、此處の景色を賞するのは自分一人ではなく昔から大勢の畫家が私等と同じ思ひを持つて描いたに違ひない、つまり今の私等も昔の大家と畫架を竝べて寫生して居るやうなわけだ。そ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れが喜びでもあり亦た誇でもあるやうな氣が爲る。ターナーも此河岸通をウロ付いて佳い場所を搜がして歩るいたその姿は今私等がウロ付いて居るのと別に違いは無い。

ヴェニスには種々の歷史が籠るが單に繪の方だけで考へても昔から畫家と云ふ畫家は大抵此處へ足を入れて居ると云ふことだけでもこの水都の懐しみは深い、それが此土地の價値とも見られる。私は年少の頃學校で歷史を教はり乍ら考へた、歷史と云ふものはすべて濟んだことを覺へるものである、濟んだことを覺へる必要は何處にあらうか、それは既う濟んだことは什うにも仕樣が無いからである。それよりもこれから來るべき新らしいことに就て何か考へた方が餘程增しては無からうかと云ふ考慮であつた。併し昔から大勢の有名な畫家が描いて居ると云ふその來歷が私等を一層このヴェニスに引付けることを思ふ時にやはり歷史は貴いものであると思つた。

私は曾て滿洲は奉天の西、新民屯と云ふ僻邑に數箇月を送つた。楊の大木の並木は折から春の芽を吹いて他には容易に見られぬ柔らかな好い感じであつたからよく出かけて描いた。それを描き乍ら思つた、態んな遠い田舍に態々寫生に出かけてくる畫家は東洋人にも西洋人にもこれまで一人も無かつたらう、言はゞ私が最初であつて併かも最終であらう。さう思ふ時自分に或る誇も湧くがそれと共に悲哀もある。此處の自然が私のために存在してくれるのは難有いが併し何となく孤獨の淋しさがある。コロンブスはアメリカを發見したがそれはアメリカと云ふ實質的の山や水を初めて見出した處に欣びもあらう。併し私が初めて新民屯の田舍の楊の若葉を描いたとしても、捕へる處は光と色と容氣と感じとのすべてイリユージヨンである、少しもその實質には觸れて居ない。この最初のイリユージヨンを捕へる欣びはそれは欣びには違ひ無いが、併し昔からの大勢の畫家に伍して自然を捕へてその出來榮を競ふことの出來る所謂畫的の歷史に富んだ土地のヴェニスなどの方に勵みがある。これは一つには私の氣のセイかも知れない。若し又たさう云ふ考を皆捨てゝたゞ自然のみを友とする時には既

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

う畫的の歴史などは頭の中にないからヴエニスでも新民屯の用舍でも同じである。これも誤りでは無いが、併しそれと同時に、土地に對する畫的の歴史に自分の情調を整へることも亦た誤りでは無い結局自分の氣に入つたやうにするのが可からう。

◆文化住宅◆

文化住宅と呼ぶ一種の様式の家屋が近來内地にも本島にも多く見かけられる。却々風雅な建て方であるがさう云ふ家屋へ這入つて見ると誰も先づ二つの遺憾な點が私には感ぜられる。一つは概して夏は熱いと云ふこと、一つは何となく戸口や壁の角などに肩がブツカリさうなことである。

これは思ふに、要するにこの文化式の建て方は、大體日本家屋の設計を西洋風に應用したものであるから、間取りなどに風雅な意匠を加へることになれば柱が多くなつて壁の角が方々に出來て、そのために屋根の組合はせも復雜になる。この屋根の形ちは建築の美觀の上に重要なものである代はりに、復雜になればなるだけ兎角雨漏の機會も增す最もこれは造くり方に念を入れゝば無事であらうが、屋内では柱と壁の角とが可なり邪魔になる。日本座敷ならば襖を開ければラク／＼と通ほれるところも、それを西洋風に直ほせば扉が厄介で柱や壁の角が窮屈の感じを與へる。實際に於て歩るけば肩がブツカリさうにもなるし又たブツカリさうだと思ひ乍ら歩るくので一層窮屈にもなる。併しつまりこれは建て方が小さいためであらうかと思はれる。天井の高い廣々とした西洋館では少しも肩がブツカリさうな思ひをしない。西洋では元より日本でも西洋人の住んで居るやうな大きな家屋ではラク／＼と歩るかれるのを見ても解かる。この建て方が小さいと云ふことから夏熱いことにもならう、コツテージ式の家は屋根も薄い壁も薄いそれで天井か低く部屋が小さいとなれば迚ても涼しいわけには行かない、熱い上に窮屈だとすれば辛棒が續くまる。或る種の文化式の家屋はそれを外から見るだけでも遂には倦きてしまふ位だから、その中に始終住んで居る人になつたら相當に忍耐力を要することゝ思はれるが、併し私はまださ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

う云ふコッテージ式の家屋に日本で住んだことは無いから實際は解からない、たゞ外部から見た感じに基く想像に過ぎ無い。それは什うしてさう云ふ想像をするかと云へば、それには、日本風の意匠を手輕にそのまゝ西洋風に引き直ほしてすぐコッテージ式にしてしまつた處に或る姑息も窺はれるからである。そのためか文化式の家屋には、愼重に考案されたものは別として、概して重味に缺けるところがある。その感じは、例へば浴衣がけか背廣服には調和するが羽織袴やモーニング姿の人を着けては折合はぬやうである。

柱や壁の角が多いと云ふことは裝飾の意味もあらうが、これはつまり日本風の應用であらう、そしてそれが可なり邪魔にもなるから、本當の文化式ならば成るべく柱や壁の角を見せずに邪魔物を一切取去つた實際的の生活居でなければならぬ筈である。世界の建築のうちに日本の家屋ほど柱の多いものも尠なからうが、これは木造のためで仕方がないが、それを西洋風に應用して室内に裝飾的の柱を見せることは物數寄は別としてこれからの時代には可なりノンキな考案であらう。現代の所謂文化式家屋には隨分捕はれた點が見られる。

併し今の文化家屋はいろ〳〵改良を經た結果現はれたものであらうが、誰にも直ぐに考へられるなほ此上の註文としては家の立ちを普通の西洋館並に高くすることゝ、戸口や窓その他の扉をなるべく減らして障子式にすることであらう。家の立ちが低いことは、これは日本の西洋館は一體に西洋のものに比べて概して低い。日本の二階建ての西洋館でも西洋の一階建に比べて少し高いか或は同じ位であるほど全體として造くりが小さい。文化式の家屋などには、日本の御殿風の建物よりも低い洋館もあるのは珍らしくは無いが、それが結局は窮屈の原因かも知れない。

壁を更らに厚くして、柱はあるならばあつても可いとして立ちをモット高くユッタリと建てれば文化住宅却々結構であらう。出來合の洋服のやうに方々がツマつては窮屈を免れぬわけである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◈ナイフとスプーン◈

數年前北支那へ旅行した時、或る日私は天津でかねて懇意の英國人の一家を訪ねた、十餘年振の再會である。その二三日後に晩食に招かれたから出かけた。當主の若夫婦に當主の弟の青年、七十に餘る母堂、それに私と都合五人。若夫人と母堂との中間に私は据へられた。家族的の食事であつたからメニューも無い。先づ魚類が出たがそのあとにロースト・ミートの小さい切身が數片に野菜等が出た。その時卓上には大きいナイフが一本と小さいナイフが一本と置いてあつた。さてこれは大きいナイフの方を使用したものであらうが小さいナイフでも可いかと私は一寸考へたが、小さな柔らかな肉片に大きなナイフを使ふまでも無いそれにまだあとに何か大きいナイフを使ふものが出るかも知れないと思つたから小さいナイフの方を用ゐた、フォークの方は別に大小なく同じ大さのが二本置いてあるからその一本を使つた。食べ始めてフト他の人々のを見ると一家四人とも皆大きいナイフの方を使つて居る。なるほど小さく切つた片でも肉だから大きいナイフを使ふのだなと感づいたが、そのまゝ食べ終はつて給仕人が皿を引いた。あとへ殘つたものは私のだけが大きいナイフ、他の四人のは揃つて小さいナイフであつた。それでこの小さいナイフは、右手に置いてあつて併かも普通のナイフではあつたが、これは果物などに使ふものであつたかと感じたが、兎に角私の前だけに大きいナイフが殘つたのは具合が悪るい、給仕人が取替へて呉れゝば可いがと内々思つて居た。ところがその支那人の給仕がよくテーブルの作法を心得て居たには實に敬服したのである。私の大きいナイフだけを取替へたのではそれが目に立つて客に失禮になる、それで何氣なしに一端凡べてのナイフを皆引いてしまつた。そして更らに小さいナイフを各人に配ばつたのである。私はこの給仕人の頓智には感心した、恐らくこの家の主人も感心したばかりでなく良い給仕人を置いて居ることに就て面目を施したことゝ考へる。

これに似たことが最近にもあつた。臺北の或る處で私は

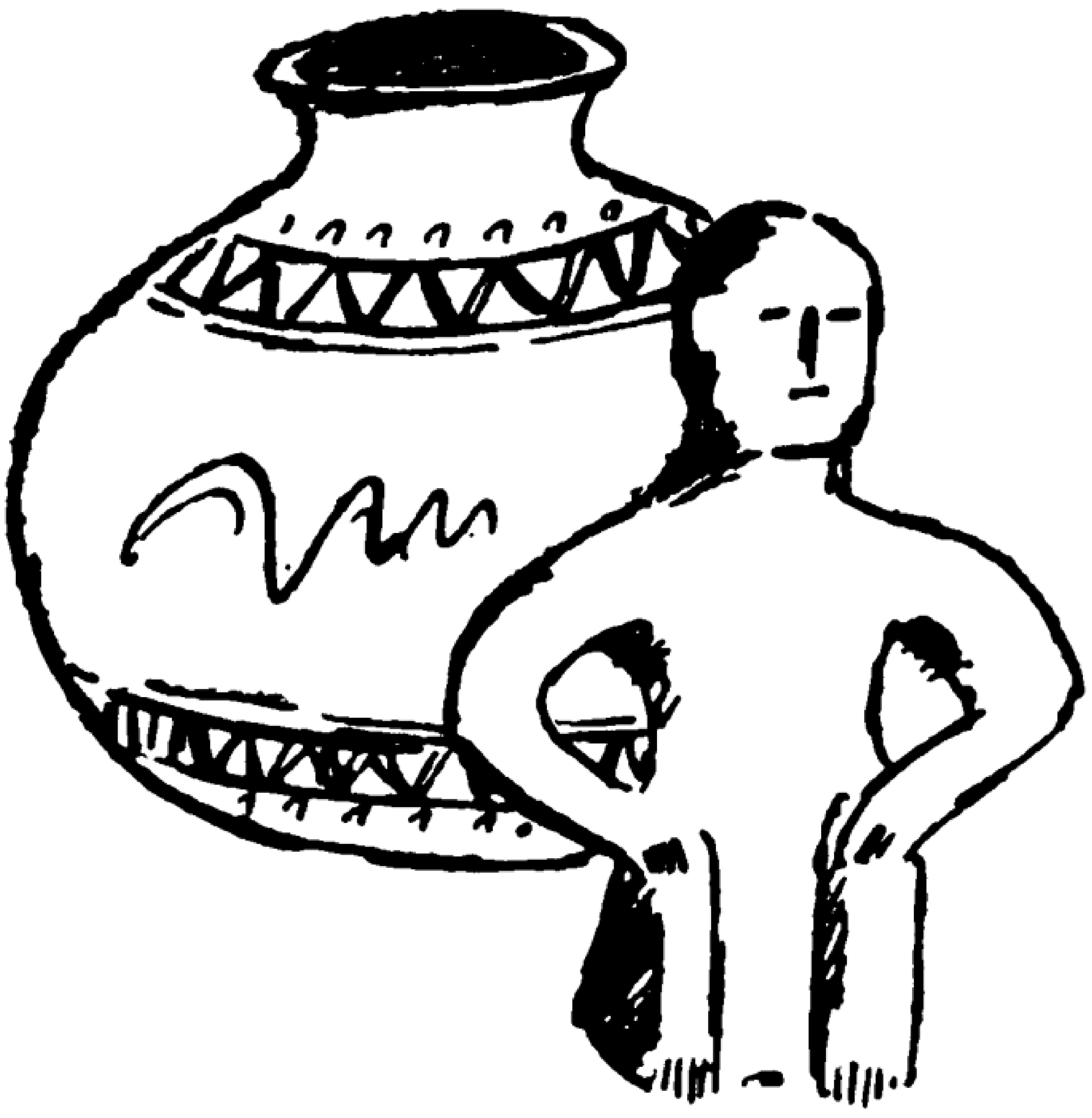
二三人と會食をした。終はりにアイスクリームが出た。卓上には前面に菓子用の大きなスプーンと珈琲用の小さなスプーンと果物用の銀のフォークが型の如くに置かれて居た。が、私はアイスクリームを大きなスプーンで掬ふのも具合が惡るいから小さいスプーンを使つた。他の人々は構はず大きなスプーンを使つて居る。さてアイスクリームのコップが引かれたあとには私の前だけに大きなスプーンが殘つて、他の人々の前には皆小さなスプーンが置かれて居る。それで私はあとから出る珈琲を什うして飲んだものかと内々考へて居ると、給仕人はそんなことを知つてか知らぬか珈琲皿の上へ一々小さいスプーンを載せたまゝ各人へ配ばつた。私はこの給仕人は却々テーブルの作法を心得たものであることを感じて敬服したのである。

日本料理の給仕人は主に女であるせゐもあらうが惣べてお世辭が實行よりも先きに立つ。西洋料理の給仕人は大體として男であるだけにお世辭よりも實行が先きに來る。併かも右に述べた私の經驗などは、數萬言のお世辭にも増した厚意の扱ひ方であつたことが感ぜられる。

私は食事の給仕人に就て、男と女と何ちらが感じが好からうかと云ふことを折々考へる。日本にもカフエーには多く女給を置いて居る。西洋でも小さな料理店には女給を多く見かけるが、巴里あたりのレストーランに燕尾服を着て左の腕に白いナプキンを懸けたガルソンを見るのはまことに氣持がよいものである。併し又たロンドンの正式の日本料理に、ヒゲの生へた燕尾服のウエイターが黑塗のお膳を目八分に捧げて持つて來るのを見て私には日本料理の氣分が味はれなかつた。茲に異人さんでも好いからヤハリ女のお給仕でないと納まらない氣がするのは我々の習慣のためであらう。日本料理の給仕に男が出れば簡易食堂の感じがあり、西洋料理の給仕に女が出れば安料理屋の氣分が漂ふ。先づ料理は實質よりも大部分氣分を味はふものであらうが、併し又た以前の橋善や丸花又た天金のやうに氣分などを求める暇は無く只だ食べられさへすれば滿足だとする場所もあるが、これらは所謂食道樂の通と言はれるもので

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あらう。私などは實質よりも、先づ氣分に就きたい。尤も人によつては橋善で橋善氣分を味ふことを樂しむこともあらう。ロンドンのバンクの近所の横町に在るキタナイ小さなグリルはたゞ一と間で、その一隅の大きな竈ではヒゲモジャのエプロン姿の親爺が肉の烟に包まれてビフテキをジャー〳〵と燒いて居る。室内は濛々として壁も卓も皆肉の匂ひが籠る、とても氣分などの問題では無いが、そとへ歷々が食べに行くところを見ると西洋にもヤハリ通は居るものと感心する。併し恁う云ふのが動物としての人間が物を食べる本來の行き方であらう、それが段々整頓して漸く形容が加はるにつれて、しまひには食事よりも氣分を食べたいと言ひ出す者も出てくる。それに連れて作法も生れる。私などは尠くとも氣分を食べる處で止めて置き度い。旣う作法を食べるやうになつては苦るしみである。併し又た前の給仕人の如うにこの苦しみから私を救つて呉れる人もあるのは、作法もこれを扱ふ人次第で少しも苦しみではないことが解かる。



Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那の國民革命と國民政府（一）

總督府稅關 井出季和太

概論

第一 序言
第二 支那革命運動の歷史的背景
一、革命思潮の由來 二、支那古來の新思想及新制度 三、歐米の革命と民權思想 四、近世の革命的叛亂 五、支那近世の國際關係
第三 國民革命運動發達の近因
一、革命後軍閥の流弊 二、歐洲戰後の世界思潮 三、諸國の革命運動 四、露國の對支政策 五、最近頻發せる涉外事件

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第四　支那國民革命運動の解析

一、革命の意義　二、國民革命と社會革命　三、國民革命の効果　四、支那の國情と共產制

第一　序　言

支那國民革命の進展は、既に十九世紀の中葉以來起つた世界列强の對支壓迫に加ふるに、最近歐州大戰後世界の新思想に基く民族運動の勃發に伴ひ著しいものがあり、殊に民國八年の排日以降、其運動が一般的に傳播し更に民國十四年の上海五卅事件や廣東沙面の六廿三事件に依る排英中心の運動を以て一層全國的に且つ組織的に氣勢を高めたのである。當初其活動の主體は學生等知識階級であつたが、漸次勞働者が加入して運動を促進し、國民黨及黨政府が是等國民運動を指導し利用して之が發展を企畫したのである。而して孫文主義の中心思想である反帝國主義及軍閥打倒の二大政綱を以て革命精神の鼓舞並に革命事業の進行を見たのは又民國十三年後革命國民黨の成立及共產派の加入或は同十四年國民政府の組織以來の事である。

國民政府は孫文在世時に著手した北伐事業を繼續し、孫文死後約一箇年にて兩廣地方を靖定し、民國十五年七月國民革命を編成し、總司令蔣介石の新北伐計畫に依つて、數箇月を出ざるの間に古來難攻不落と言はれた長沙岳州等湖南の地を拔き、九月初旬漢口に入り、十月十日武昌を降し、十一月初旬九江南昌方面を占領し、十二月初に福建を略し、同月より本年一月にかけて國民政府主腦部は、漸次廣東から南昌及武漢に移り、武漢には國民黨左派又は同黨內の共產系人物が重要の地位を占めて居り、漢口九江の英租界管轄權を暴動を利用して取消したり、無智の勞働者を煽動し、隨處に勞働組合の工會を簇生せ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しめたのである。

然るに武漢共產派の活躍甚しく、國民革命の統一事業を破壞するの虞ありとして、蔣介石は清黨運動に依つて上海其他の共產黨機關を解散し或は撲滅し、四月十八日には、正統國民黨として國民政府を南京に組織し武漢派と分裂したのであるが尙北伐を繼續敢行し、安徽を過ぎ、六月には江蘇北境徐州を占領し山東に進出し、十五年七月北伐以來一週年にして青天白日旗を掲揚した區域は湖南、湖北、福建、浙江、江蘇、安徽、河南、江西諸省及直魯等全國の三分の二以上を占め、武漢勢力其他を除外し、完全に南京政府の管轄に屬した地方は江蘇浙江福建安徽及兩廣の六省に及び、其面積は約三十五萬餘方哩で全國(十八省)の二割五分、人口は約一億二千萬で全國(十八省)の三割弱に過ぎないが、支那貿易の約四割を占むる上海港を存する江蘇省を始め幾多資源に富む地域を包容したから經濟上の勢力では優勝のものがある。

今是等地方に在る開港場の貿易高を比較せんに、例へば其半數に達しない二十一箇所の港場に於ける一九二六年の外國貿易額を見るに、約十二億兩餘で總額の約六割餘を占め、收入は約四千六百萬兩で總額の五割二分強となるのである。若しも當初から武漢派にして南京政府側と協力國民革命事業に從事せば北方軍閥を打倒して南北統一の目的を達する事が出來る。或は長江を界し、南北兩國家を建設する事が出來たと思はるが、あまりに急速に戰線區域が擴張され軍勢力の如きは一時四十軍を超過し、其軍兵の素質も大部は舊式軍隊と毫も差がないので地盤利益爭から叛亂又は反革命運動が起り、武漢派の畫策や西北軍の牽制策等に依つて漸次分解作用を發生し、最近支那人間にはナポレオン、ムッソリニー、ケマルパシャ等に比べられた蔣介石も下野の已むなきことゝなり、支那は再び四分五裂の亂世を現出せんとして居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

又南方政府は民族主義國民運動の骨主である不平等條約取消の宗旨に基き、國民黨の產業保護策並に軍費の支辨方法からして頻りに不當課税を徴收關税自主迄標榜したのは明に國際條約破棄であつて、國民革命運動頓挫の重大原因の一をなすものである。尤も一方這次革命政府の事業が現在迄の如く效果を收め得たのは、主として（一）四十年間革命の爲に身命を賭した革命の母孫文を偶像化した將介石始め國民黨同志の努力に依り黨治國家を組織し、（二）三民主義の教說を以て軍隊及一般階級民衆に對し革命思想を注入し、（三）露國の制に則り革命士官學校を創立し、革命軍を編成したこと等に依つたものである。尚將來南方革命政府が基礎確立するものとせば固より同種方針を以て革命事業の達成を期すべきものと思はる。

從來國民革命前途の豫想に就ては、大別すれば相反する二樣の見解がある。

一說は支那國民性の上から新舊の軍閥を同視し革命運動自身を無價値のものとするもので、此派の論者に屬するものは舊式の老人や軍人方面に多い。他の說は支那の歷史や固有の文化に十分の理解がなく專ら輸入思想の影響に重きを置き、新しく自覺した青年支那の國民運動と看做し同情を寄するもので、此派の論者に屬するものは少壯の支那通と稱する人々や文人連中に少くない。殊に實際國民政府當事者の意氣や治蹟を目擊した者に多いのであるが、何れも一方に偏した考察である。兩々相俟つて其眞相を解釋する事が出來るのである。即ち支那民族の現情は幾千年來の歷史を經て出來た處の固有の文化が尚傳はり、近年の若き支那人の血液の中にも、假令彼等は歐米の新思想を憧憬して無意識であると云ふものゝ、其精神は流れて居り微妙の働をして居る。這次國民革命に依る民族精神の培養や社會思想の扶植されたのは獨り歐米の直輸入のみであると見るのは皮想の觀である。蓋し現在の支那民族は既に幾年來の

夢から一般的に覺醒し若返りつゝありと斷定する事は出來ぬが、又支那民族を古の希臘や羅馬の興亡に比し、全然甦生の見込ないとする論は支那民族の特色を理解せぬ獨斷である。

次に最近數年前露國の對支活動發生以降支那赤化問題に就て多くの議論があり、支那の特殊なる社會組織國民經濟の程度竝に國民性から打算せば共產制は支那に向かぬが、革命運動の進行程度に依り必ずしも絕對的のものでない。又現に共產系の運動に依るものは勿論、正統國民黨の施政方針に於ても資本家を抑制し勞農階級の保護に出で、或る程度の社會革命は行はれ居るのである。又將來孫文始め國民黨同志の唱道する資本主義の弊害を豫防する爲に民生主義を實施するのであると云ふが如くに、全然共產化の實施を不可能事と看做すことは出來ぬ。

終りに支那國家の統一問題に關して何人も豫言する事は出來ぬ。軍閥の爭は元より國民革命軍と雖も分解作用が行はるので統一は至難であるが現在の國民革命運動は從來の實例と稍面目を異にし、前記の如き主要の原因が存在するので普通の政治革命ヤクーデターと同視する事は出來ぬ。世往々歷史は繰返すものとし、例へば漢の武帝から清初の統一迄一千五百二十三年で治世千二十五年、亂世を四百九十八年とし、卽ち三分の二が治世で三分の一が亂世であり、今日から溯れば亂世期が六回で平均數は每期八十三年に達する。民國は十五年であるから平均數に達するには尙七十年もかゝると云ふが如くに、此統一は將來如何に長年月を要するものか不明である。又支那は何故に容易に統一することが出來ぬかと云はゞ幾多の原因がある。古今何れの時代を問はず國土は廣大の上に人種も雜多であり、恰も一支那と云ふも事實は歐州全部と同樣であり、幾千年を通じ國家の興亡常なく動亂相踵ぎ、民衆は統治者の交替には無關心で國家に對し犧牲的精神がなく君主に對して忠義の思想がなく、只組合や家族團體を組織して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

生活の安定を期した極めて無節操の國民であり、國民的國家の統一事業に關與する事なかつたのが重要事由の一つである。而して支那が將來何時統一するかは不明である上に、又如何なる形式に於て統一すべきやこれ亦容易に判斷する事が出來ぬが、最も注意すべき點は、近世國家として新民族に依つて一國又は二個以上の國家に依り統治せらるべきや否やに存する。

支那は歷史を通じて禮治又は德治主義に依る抽象的彊域の世界國家として存在したが、淸代を通じて漸次に其資格を喪失し、革命時より近代國家として脫化しても、事實は所謂世界國家に比し一層不鞏固の民國が生れたのである。即ち主權から見れば勿論、人民や土地から考へても、又特に民族思想中には世界國家時代の臭味が歷然として殘存するので、近代國家として取扱ふ事は尙時代錯誤である。但し現在の支那は國民革命運動として民族民衆を基本とすると同時に、約一世紀を通じて經濟上竝に政治上の勢力を扶殖した外國を排除する事に努力して居るに依つて、各國の對支問題は頗る重大性を帶びて來た。自ら將來に對する吾人の該問題に關する對策が容易でない故に、予は本論に於て支那の國民革命と國民政府の由來及實體を述べ之が研究の一助となさんが爲に世の教を乞ふのである。

第二　支那革命運動の歷史的背景

一、革命思潮の由來

支那の國民革命運動は最近の發達に係るが、革命思想の淵源は甚だ悠遠で、上古から近世迄革命を合理的のものと看做し、三代は勿論、秦漢以來、二十四朝、數千年を通じて統治者の交替である帝王革命

又は英雄革命とも云ふべき政治革命が行はれた。谷鍾秀の中華民國開國史にも「我國之歴史君主專制之歴史亦卽革命之歴史也」と云ふてある通りに一面權力地位の爭奪に出發したものである。由來支那は我國の如き狹少な一孤島で水入らずに家族的綜合國家を作つたものと異つて、境域廣漠の上に民族も雜多であるから、革命を實行し統治者となるにも民衆を統一するに足る體面口實がなくてはならぬ。乃ち古來人民の意思輿論に合する有德の君子が、天命を受け天の代理者とし天子となるべきである。

然るに實際歴代主權者の多くは武力を以て其地位を獲得したものであるから專制政治を行つた。從來開明的專制又は慈善的專制と云はれて、開明的分子の多いものが名君であり、專制的分子の多いものが暴君であつたのである。卽ち合理的革命は民衆の意思を代表して暴君を倒し、名君が代つて國家を組織し統治する場合である。自ら古來支那には民本思想が存在し、封建時代に在つても我邦と異つて主君に對する忠の觀念は比較的後世の發達に俟ち、又孝道に比して重視されぬ傾向があつた。古の文献中君權を重じた左傳を通じても僅少の例外を見るのみであり、又諸子では荀子以外に多く之を說いて居らぬのである。斯る革命の根底となるべき思想は儒家が唱道した外、秦漢前諸子其他諸子又は漢代の學者も之を論じて居る。天民の關係を說いて居る代表的の文献は詩書其他に少くないが、古代民本主義の主唱者で革命是認論者の驍將は孟子であり「民爲貴、君爲輕、社稷次之(盡心下)」と云ひ、湯武の放伐に就ては「賊仁者謂之賊、賊義者謂之殘、殘賊之人謂之一夫、聞誅一夫紂矣、未聞弑君也(梁惠王下)」と云ふて居る。其他革命思想を代表して居るものに易の五行說や公羊家の論がある。易は六十四卦革の卦彖傳に革命の字を始めて使用し「天地革而四時成湯武革命云々」とあるが如くに、五行の自然現象に於ける變化の理法を推して、人事君權王朝の交替に當てゝ居る。就中漢代に此思想が發達したのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

公羊家の主張は春秋公羊傳の註釋者の三科九旨に對する說明で、公羊傳解釋の適否如何は穿鑿せずとも、同じく漢代に革命思想が發達したばかりでなく、淸末に及んでも公羊家の思想は廖平から出て、先頃死んだ康有爲も熾に之を祖述し、梁啓超や孔敎會の會長である北京の孔敎大學校長陳煥章氏なども、其著英文孔門の理財學や機關雜誌中に論じて居る。康有爲以下何れも廣東人である。

近代に現はれた孟子を中心とする前記放伐革命の思想を代表する學者には、明の遺臣である黃宗羲(梨洲)や顧炎武(亭林)があり、又先朝に對する忠義觀念から出發して立論した王船山(夫之)がある。是等學者の所說は淸末の人士を感化し、何れも革命思想を鼓吹したものであるから、少しく其主張を紹介せんに、黃宗羲は晚年に明夷待訪錄を著した。同書は一時頒布を禁止せられ、却つて陰に傳播したのである。

其原君篇には、後之爲人君不然、以爲天下利害之權、皆出于我、我以天之利盡歸于己、以天下之害、盡歸于人、亦無不可、使天下之人不敢自私不敢自利、以我之大私、爲天下之公、始而慙焉、久而安焉、視天下爲莫大之產業、傳之子孫、受享無窮、漢高帝所謂某業所就與仲多者、其逐利之情不覺溢之于辭矣、此無他、古者以天下爲主、君爲客、凡君之所畢世而經營者、爲天下也、今也以君爲主、天下爲客、凡天下之無地而得安寧者也、爲君也是以其未得之也、屠毒天下之肝腦、離散天下之子女、以博我人之產業、(中略)古者天下之人愛戴其君、比之如父、擬之如天、誠不爲過也、今也天下之人怨想其君、視之如寇讐、名之爲獨夫、固其所也、而小儒規々焉、以君臣之義無所逃于天地之間、至桀紂之暴猶謂不當誅之而妄。傳伯夷叔齊無稽之事、乃兆人萬姓崩潰之血肉曾不異夫腐鼠、豈天地于兆人萬姓之中、獨利其一人一姓乎、是故武王聖人也、孟子之言、聖人之言也、云々と云ふ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

更に原臣篇には、有人焉視于無形、聽于無聲、以事其君、可謂之臣乎、曰否、殺其身以事其君、可謂之臣乎、曰否、夫視于無形、聽于無聲、資于事父也、殺其身者無私之極則也、猶不足以當之、則臣道如何後可、曰緣夫天下之大非一人之所能治、而分治之以羣工、故我之出而仕也、爲天下非爲君也、爲萬民非爲一姓也、吾以天下萬民起見、非其道卽君以形聲、强我未之敢從也、況于無形無聲乎、非其道卽立身于其朝未之敢許也、況于殺其身乎、不然而以君之一身一姓起見、君有無形無聲之嗜慾、吾從而視之聽之、此宦官宮妾之心也、君爲己死、而爲己亡吾從而死之亡之此其私暱者之事也、是乃臣不臣之辨、(中略)蓋天下之治亂不在一姓之興亡、而在萬民之憂樂、是故桀紂之亡乃所以爲治也、秦政蒙古之興乃所以爲亂也、晋宋齊梁之興亡無與於治亂者也、(中略)不以天下爲事則君之僕妾也、以天下爲事則君之師友也、云々と。君臣の法を述べて居り、原法篇には「後之人主既得天下、唯恐其祚命之不長也子孫之不能保有也、思患於未然、治爲之法、而非天下之法也、云々」と法の意義を正して居るが是等は何れも君臣關係からして政治革命を是認し得るものである。

顧炎武は天下郡國利弊書の革命說(北直十)中に「所謂有德易以王、無德易以亡也、其王也不必以傳子、其亡也亦往就其諸侯之位、仍不失其先之所世守、是故有改號而無絶國、有易主而無弑君」と論じて居る

近年支那の革命運動家は、明の遺臣鄭成功の反旗を始め、大平天國や擧匪の亂を國民革命の引合に出して居るが、就中今日より約六七十年前の大平亂當時は、淸治既に二百年を經て特筆すべき秕政もなかつたので、政治上、社會上各般の事項に亘り、滿漢兩族の間に不公平の取扱を受けて居つたにも拘らず、學者は「君臣之義已定、夷夏之辯不容再存諸心」などゝ云ふて屈從し、現に曾國藩や李鴻章は却つて同族である洪楊の徒を倒したのである。然れども當時より漸次排滿の革命思想が醞釀し、淸末內憂外

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

患に依り清室積弱の弊を暴露するに至り、孫文を中心とする近世の革命運動の興起を見るに至つたのである。

二、支那古來の新思想及新制度

支那固有の文化は古代春秋から戰國にかけて發達したものがあり、諸子中には近世歐米に出た社會主義的思潮に近似したものが少くなかつた。卽ち老莊列子等の如きは一種の理想國家を描くも、君臣關係を無視するから無政府主義と同じであり、列子の所謂華胥の國は君長なく又法律もなきものとして居るから同じく無政府主義の思想である。又國家主義の下にも墨子には賢者を選擧して君主を立つの思想があり、公羊家は大同國家說を主張して居る。大同國家說は當初黃老の思想から脫化した禮記禮運篇の文句から附會したものである。近世の公羊學派は勿論、孫文及其學徒も同樣に曲解して居る禮運篇の文には「大道之行也、天下爲公、選賢與能、講信修睦、故人不獨親其親、不獨子其子、使老有所終、壯有所用、幼有所長、矜寡孤獨廢疾者皆有所養、男有分、女有歸、貨惡其棄於地也、不必藏於己、力惡其不出於身也、不必爲己、是故謀閉而不興、盜竊亂賊而不作、故戶外而不閉、是謂大同」とある。大同の世は「天下爲家」の王位を子孫に傳ふる小康の世と異り、「天下爲公」と云ひ、天下の爲に賢者を擧げて王位を讓るの義とする。近代は一步を進め孔子は民主共和の祖であるが如くに說くに至つたのである。

支那古來の王道國家は、今日文明國で行つて居る樣な諸社會的施設を工夫し、國家社會政策の一部をも實施しようとした。土地に關しては古來王土觀念と併行し、民本思想の根柢から、土地は人民の共有であると云ふ考もあつた。蓋し王道の一として公有地の共同耕作である井田法の如きは殷周を通し恐くは一部の實現されたが秦漢以降土地私有制度の發生に伴ひ其跡を絕ち、次で土地兼併の弊を生ずるに及

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

んで限田制度が提案せらるに至つた。

限田制度は孫文民生主義の一部である所謂平均地權と同種精神に基く一方法である。前漢の董仲舒が始めて名田(私田)の制限を首唱し、更に師丹の提議に基き孔光何武の覆奏に依り、田の最高限を三十頃と定めんとしたが實施はせられなかつた。又後漢では荀悅は限田制に依り土地の賣買をも禁止せんとした。宋元に迨んでは蘇洵を始めとし畢仲遊、林動献又は謝方叔の限田説があり、趙天麟、鄭介天の限田論があり、一方實施された同趣旨の制度としては後魏や晋武の均田制又は班田制がある。換言すれば何れも井田法の遺意であつて、古の土地多く人口少き時と異り、井田法の實行困難である。爲に均富を實行せんとしたのである。黄宗羲の如きは限田説を批評し、蘇洵の説を駁し、相翰方孝孺等の説に左胆し井田法の採用を主張して居るものである。

限田制を超越し一種の共產制を計畫したのは、漢の王莽と清の太平天國とである。王莽の法は激烈の手段に依つて私有地を王田とし公有に編入し、賣買を禁止し、耕地を一般窮民に分給せんとしたのである。孫文も露國の共產制に比して賞讃して居る。洪秀全の田畝制に依れば、土地は其收穫に從つて九等に分ち、男女十六歳以上の者に之を授け、十五歳以下の者には其一半を給する。斯くして田地の私有を許さなかつた上に、金錢銀十兩金一兩以上の私藏をも禁止することにした。但し是等兩制度共に實施を見なかつたのである。

以上述べた土地制度に相對し、大地主又は資本家發生の抑制上實際の効果を擧げたものは、周代以降今日迄行はれて居る宗法に依る家產分割の制度である。支那には大家族が宗法の下に長子相續に依り統轄されて居るも、原則としては多くの家の分派に伴ひ、其財產は自ら分割されるのである。是れ我邦の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家族制度と趣を異にする支那の社會組織上留意すべき特殊の慣習である。

三、歐米の革命と民權思想

支那固有の革命觀念及民本思想と相呼應して國民革命運動を誘導したものとしては、近世歐米殊に英國佛國並に米國の革命事業及民權論の學說を擧ぐべきである。就中之に依つて近年民主共和國の主張や民權主義の發達を來たしたのである。而して之が有力の導引をしたものは支那の外國留學生、殊に日本留學生並に日本の出版物である。

四、近世の革命的叛亂

支那には最近一世紀前から革命的性質を帶びた匪亂が多かつた、多くは宗教上の迷信から出發し又は迷信を利用して居つたが。或は單に掠奪を目的とした盜匪があり、政府を顚覆せんとした賊徒があつた何れも滿州朝廷に反抗する關係からして、其叛徒の名目は敎匪會匪捻匪麥匪土匪たるを問はぬ、革命の徒黨と見らるゝものが少くなかつた、又若し淸朝を滅亡することに成功したと假定したならば、政治革命を完成したので、二十四王朝の交替と差別はない。

今其顯著なものを擧ぐれけば、隋唐以來革命的敎匪として存し淸の嘉慶年間に五省九年に亘つて白蓮敎の大亂を始めとし、爾來天地會(洪門會)三合會等の反亂があり、後孫文革命黨の如きも是等秘密結社の一部を取入れたのである。白蓮敎の匪亂に對し一層の大亂は長髮賊で、盜風最熾の廣西省に起り、道光三十年(一八五〇年)から同治三年(一八六四年)迄十五年間を經歷し、蹂躪した地域は十七省に及び、淪陷した地域は六百餘城に達し、太平天國と稱し一國家を形成し、英國は曾て使臣を派し其國家を承認し締約せんとしたことがある。太平亂は長髮賊と呼ばるゝが如くに、掠奪的精神に出で宗教上の信仰か

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

らも來つて、必しも純革命運動と謂ふことが出來ぬが、太平王洪秀全が漢人であるばかりでなく、廣東出身であることに依つて、孫文一派は排滿を目的とする民族革命の標本とし、孫文は殊に露國以上に大規模に共産制の計畫に著手したことがあると誇稱して居る。

前記滅滿を目的とする判亂と反對に、却つて扶清滅洋を標榜して起つた白蓮教の遺孽である拳匪なるものがあり、光緒の中葉から山東の南西諸縣に蔓延し、同じく宗教的迷信に依り、同志を嘯集し義和團と號した。拳匪は外人や耶蘇教徒を殺害し攘夷の擧に出たゝめに、最近の革命家から又民族運動の一例と看做されて居る。

五、支那近世の國際關係

民族運動に從つて國家主義の發達を見るのは近代國家の存在を條件とする。支那は數千年來世界國家を形成し、今日の意義で云ふ對列國關係がなかつた時には民族運動も國家主義も起らないで、外國をば只外夷朝貢國と看做し、其排外的傾向も中國中華と云ふ世界國家としての自尊觀念から出發したのである。然るに露國の東方經營を始めとし、其他歐州諸國が東洋貿易を開設するに及び、對外關係上支那は次第に其世界帝國の地位を喪失したのである。其變遷は二期に區劃することが出來る。

第一期は双互協定を原則とする時代とする。清初から南京條約前迄に締結された露支間の國境條約で例へば康熙二十八年(一六八九年)の尼布楚(ネルチンスク)條約を始めとし、其後の恰克(キャクタ)圖條約及其改訂條約等に依つて北滿州の邊境外蒙古北境を劃定し、其他國境間の特殊貿易や露人の北京居住、傳道、犯罪人引渡又は治外法權等の事項迄も認めた。其國境劃定に際し事實露國の侵入に依つて假令壓迫的傾向に出たことはあれども、其他は相互協定に基いたばかりでなく尙朝貢時代の氣分があり、前記諸條約も露人の悔過乞恩

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の結果に成つたものと認められて居た。

第二期は壓迫に依る不平等條約の時代とする。南京條約以降約六十年間に亘り、列强の經濟上政治上又は軍事上の壓迫に依つて締結された諸條約協定取極等に基くものである。同時期には國境劃定に關する條約と、通商其他の片務的條約が、各般の事項に亘つて甚だ多いのである。

一、國境條約には露英佛に對するもので、例へば露支間には咸豐八年(一八五八年)の愛理條約以降、光緒十年(一八八四年)の喀什噶爾(カシュカール)條約迄數回に亘り國境を劃定し、英支間には最近光緒十二年(一八八六年)の緬甸條約、同十六年の西藏條約又は同二十年(一八九四年)の雲南緬甸條約等に依つて國境を劃定し、佛支間に在つても光緒十一年(一八八五年)及同十三年の兩條約を以て東京支那間の境界を決定したのである。

二、通商其他事項に關する條約には、阿片戰爭を一原因とし道光二十二年(一八四二年)締結された英支南京條約を始めとし、其後數年間に亘り締結された米、佛、諸等に對する諸條約から、「アロー」號事件が發生した英佛聯合軍の壓迫に依つて咸豐八年(一八五八年)に締結された英佛米等に對する天津條約、其他清末に至る迄約半世紀間を通じ締結された所謂不平等條約又は協定取極等であり、其の内容中には政治上は租借地、租界、使館區域、其他勢力範圍から領事裁判權、海關、鹽稅、鐵道等の管理權があり、經濟上は自由通商貿易權、關稅々則權、沿岸貿易權、内河航行權、鐵道鑛山の布設權、借款優先權、最惠條款國(片務的)等がある。殊に日清日露兩戰爭の結果に成つた列强の壓迫的領土侵略熱の如きも其著しきものがあつて、諸種の利權獲得を目的とした協定が締結されたのである。

支那は前記國境劃定條約に依つて、無意識的に世界帝國の地位に變化を來し、南京條約に依つて意識

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

的に世界帝國の資格を損傷することになつたが、其疆域なるものも近世國家の疆域とは異なつて、抽象的又は觀念上の境界あるに過ぎないから、外國も其疆域と侵略したと云ふても今日國際上から見て領土の侵略と斷言することは出來ぬ。當時外國も支那の領土を侵略したと心得て居たのも、支那國家の本質を自覺せぬことなれば國境條約なるものも自ら支那に對する壓迫的侵害を加へたのでないばかりでなく、却つて支那の爲に有利の處置を執つたとも云ひ得る。支那が不平等條約などと非を鳴して居るものも、支那は外國と共に支那國家の實體を明にせずに、換言すれば、双互共に支那を近世の意義で一國家として取扱ひ條約を締結したのが、抑々根本的に誤りが存して居るものであつた。是れが今日尚支那問題解決上の謎を成し居る點であると思ふ。（未完）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英帝國領土內に於ける靭皮及葉纖維の栽培（一）

前川　昇　譯

序説

亞麻、大麻、黃麻及苧麻又はチヤイナ・グラス等有用なる織物纖維類を包括せる靭皮纖維と、マニラ・ヘムプ、サイザル・ヘムプ、モリチユース・ヘムプ及ニウ・ジーランド・ヘムプの如き綱索原料となる葉纖維は經濟取引上商品として重要なる地位を占めて居る。

本編の目的は帝國領內に於ける是等の纖維の生產工業に關して簡單なる說明を揭げて、其發達、現況並に將來發展の可能性に就いて適切なる指針を示さん爲めである。併し、本文中間々他の纖維に就いても說明をして居るが、之れは前揭各種の原料に對する代用品として重實なものである。

本論に入るに先だち、現に實際行はれて居る事業の概斑を示して讀者の參考としやう。帝國領土內には此種事業の大規模經營は殆んど行はれてゐないと云つても良い。今日迄の最大栽培業は三百萬英反の面積に亘つて年產百五十萬噸餘を產出する印度の舊式黃麻企業である。他の事業地は大概三通りに分けらるゝ。第一類に屬するものは年々僅かに數萬噸（數百萬噸には上らぬ）を產する所謂東部アフリカ（ケンヤ及タンガニカ）のサイザル・ヘムプ栽培地、印度のボムベイ又はサン・ヘムプ、新西蘭ヘムプ及び愛蘭亞麻栽培事業地を含めるものである。第二類は產額十萬二千噸內外の比較的少量を產出する企業即ち加奈陀の亞麻、バハマス、ジヤメイカ、ニヤサランド、ゴールド・コースト及錫蘭の各地に於けるサイザル・ヘムプ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

モリチユース及ナタール地方のモリチユース・ヘムプ (Furcraea fibre)、セント・ヘレナの新西蘭ヘムプ (Phormium fibre) の栽培地を指すものである。第三類は目下サイプラスの亞麻及び加奈陀のヘムプ事業の如き漸く試驗時代を脱したる程度の事業地である。

此處に述べんとする事項が必要なる企業家と資金を得て、以て將來英帝國領土内に大々的に纖維の生產額が增加するならば望外の幸である。

第一編 靱皮纖維

第一章 亞麻

靱皮纖維を述ぶるに當つて、先づ亞麻仁樹 (Linum usitatissimum) の所產たる亞麻に就いて研究することゝしやう。此の樹の栽培は弘く一般に熟知せらるゝ通り、亞細亞領露西亞及び愛蘭、加奈陀の稍々小區域栽培地の例外はあるが、專ら歐羅巴大陸に限界されてゐると云つてもよい。英國島嶼、加奈陀以外に、帝國領域内に於て商業的に採算相引合ふ唯一の事業地は濠洲、ケンヤ植民地及サイプラスの三地方である。

第一節 英國

亞麻栽培は英國中の最古の事業に屬する。工場が羅馬人によつて創設されたことは疑ふの餘地は無いが、彼等が實際大規模に栽培せるか否かは問題である。中世紀に、亞麻は同國内各地方に產せられ、纖維は内地の需要に應ぜぬ爲め亞麻(リネン)に製造されて居る。一五三二年栽培用地每六十英反一ルード (Rood 我約一段六步に當る) には必ず亞麻又はヘムプの何れかを播種する斤を規定せる法令(スタチユート)が施行された。次に一七八三年亞麻の栽培を獎勵する爲め政府より輸出獎勵金が支拂はれた。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

亞麻栽培は第十九世紀初期迄英國の各地域に可なりな大工業として存續して居るが、地方在住民の都市移動に基く勞力の漸減及び露西亞より安物亞麻を輸入した爲め大不烈顚國では次第に衰退した。一八四二年輸入亞麻に對して輸入税が賦課されたけれども、一八四五年には撤廢せられた。一八五〇年頃大不烈顚に斯業再興の議が擡頭したが、玉蜀黍の高騰從つて一般農作物の價格上昇の結果、該計畫は畫餅に歸した。併し一時米南北戰爭(一八六一—一六四年)の間棉不作によつて或程度迄纖維の生産業は復活した。一八七〇年亞麻樹は栽培レコード面積二二三九五七英反に達したが、就中約一半は纖維用に殘餘は亞麻仁用としてゞあつた。爾來其の栽培は一九〇一年迄著しく遞減し栽培用地は只僅かに六四〇英反に過ぎない。

大不利顚國が亞麻栽培に盡瘁せることは、大戰直前卽ち一九一二年に英國亞麻及ヘムプ生産業者協會の設立せること、及び之れと殆んど時を同じうしてリーヅ大學經營の試驗場がセルビー(Selby)に設けられた事によつて遺憾無く證明されやう。然るに是等は一九一七年に農務局亞麻生産部管理の下に合體されて、ソマーセト、ドルセト、ヨークシヤ、リンコルンシヤ、サフオーク及フイフシヤの大面積に亘つて栽植が施されて、翌一九一八年には總植付面積一三、五三七英反に上つた此の纖維に軟麻(レッチング)打麻(スカッチング)の工程を施す工場は十二程設けられて、本農作物宣傳の爲めに尠からぬ努力が拂はれた。戰爭の終末と同時に亞麻に對する需要は杜絶し、相場は忽ち低落、斯くて栽培面積は突如として減退したのであつた。前掲十二工場中現存せるものは僅に二に過ぎない。而して此の二社は現にソマーセトのヨーヴィル(Yeovil)に本部を持ち、各年一千英反以上を植付ける亞麻企業獎勵協會によつて運轉せられて居る。同協會は純然たる商業的規模のもので、リネン企業調査協會との協同である。協會では試驗的に改良種の栽培を行つてゐるが、又前記亞麻企業獎勵協會によつて愛蘭及び他の帝國領土内に分布の目的を以て正系の種子を得る爲め大規模に植付けられて居る。

大不利顚に於ける亞麻栽培の状況を終るに當つて、最近ヨークシヤのセルビー郊外に再度亞麻を栽培する新計劃が發表

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

せられたことを一言しておく。

一八五〇年大不列顛の亞麻栽培が非常な沈滯期にあつた頃、愛蘭では比較的盛んに栽培されて、凡そ九一、〇〇〇英反の植付面積があつた。其の面積は次第に増加して、一八六〇年には一二八、〇〇〇英反に及んだ。一八六四年米國南北戰爭中進歩は殊に著るしく、遂に三〇一、六九三英反のレコードを示した。此の一時的現象は同期間大不利顛と同樣米國産棉花の供給不足並に一部亞麻を代用品とした結果である。併し、突發的產額の激增に伴つて必要なる紡績紡織用諸機械及工場は設けられなかつた。それが一八九八年には僅々三四、四六九英反の小區域に縮少された。後若干の進捗は見たが、年平均植付面積は夫れ〲一九〇一年四八、〇六四英反、一九〇五—一〇年四九、一六九英反、一九一一—一五年五六、六七六英反に過ぎない。後年愛蘭の亞麻紡績業は大いに發展し、大戰直前には工場所要錘數の四分之一乃至五分之一を產したる許りで、余は露西亞及白耳義から重に輸入されてゐる。戰爭に基づく歐羅巴の供給品減少せるため國内植付面積は一九一六年九一、四五四英反、一九一七年一〇七、七〇五英反、一九一八年一四三、三五五英反(一八六六年に次ぐ)の大面積を算するに至つた。

戰後愛蘭の亞麻栽植面積は一九一〇—一五年と略々同面積に低落したが、一九二三—二五年の三年間は平均五〇、八二五英反である。同期間中平均年產額は七、七一六噸に達した。

第二節　ケンヤ植民地

東部アフリカに亞麻の始めて栽植せられたのは、一九〇八年にナイロビ(Nairobi)から約七哩を去る高原地のカベテ官營試驗場及び海拔五、六〇〇呎の高地に於てゞある。試驗用に帝國資源調査會に呈示された初年度作物の見本は打麻過多によつて傷害を蒙つて居る樣に見えるが、實驗の結果は今後の試驗に待つもの大なりと囑望されて居る。ウキグルズウアース商

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

會の計畫は非常な活氣を呼び、一九一一年には同植民地内に最初の亞麻工場が建築された。一九一三年白耳義コートライ(Courtrai)から亞麻專門家を傭入れてから、爾後良質の亞麻が生産せられることが判つた。一九一八年此の地方亞麻植付面積は約八千乃至九千英反に達し、一九二〇—二一兩年各六月三十日に終る各年共何れも二五、〇〇〇英反餘の收穫を見た。後年斯業は徐々として振はず、一九二四年栽培面積は三千英反餘、一九二五年には五五二英反に低減した。現在に於ては殆んど消滅したもの丶樣である。衰退の原因は相場の下落によること勿論であるが、勞働賃銀の値上に基づく生産費高、依つて刈入れ並に軟麻(レッチング)の際潤澤なる勞力の供給を得ること至難なるによるのである。此の短期間に於ける事業經營中ケンヤ高原に優良亞麻の生産可能なる確證を與へたが現今の狀態では不生産的である。

第三節　印　度

亞麻樹は印度に栽培せらる丶けれども、盡く亞麻仁の生産を目的としてゐる。印度の或る地域、特にパンジャブ及び中央州には成功裡に弘く栽培せられてゐる。一七九〇—一八二〇年間にベンゴールでは重要な試驗が遂げられた。印度の亞麻栽培を目睹する一會社は一八三九年に設立されて、此處には白耳義人專門家が傭入れられた。試驗的栽培は全印度に擴げられた。殊に中央州、パンジャブ、マドウラス及ボムベイ試驗場は官營組織の下に指導されて居る。幾多重要なる研究の拂はたるにも拘らず、豫期したる結果は擧げられなかつたのである。其の後再び一八五四年政廳はパンジャブの土民を指導して亞麻二五〇、〇〇〇英反を栽植した。此の事業は確に生産業者に利益を與へ、可なり均整せる良纖維を收量したと云はれる。けれども、亞麻事業は一八六五年頃衰頽したが、亞麻仁樹の栽培は引續き大規模に經營されて居る。

次に一九〇六年ビハル栽培業者協會によつて、印度亞麻栽培に關する新規計畫が企てられた。豫備試驗の結果は爾餘の試驗に俟たねばならぬが、一九〇七年ベンゴール政廳は白耳義亞麻專門家を傭聘した。ドーリアー(Dorian)で行はれた試

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

驗は良品亞麻の生産に成功を納め、投下したる資本に對して多大の利益を擧げることが實證された。さり乍ら、本計畫は次の理由によつて後年棄却されて顧みられなくなつた。是はビハル藍製造工場（此藍栽培は獨逸に於ける合成藍の競爭によつて凌駕されてゐた）の間に副業として、亞麻事業を興隆する目的を以て行はれて必要なる石造りの桶が亞麻の打麻用に購入された。然るに天然藍に對する需要の復舊するや、又復栽培者は擧つて藍栽培に從事し、一方亞麻の栽培は放棄されて終つた。後亞麻藁から採取する纎維の低率なること、又降雨を唯一の灌漑と仰ぐ土地に播種した種子の發芽は成績不良なる等の諸問題に逢著したのである。

一九一三—一七年亞麻は又コーンポール（Cawnpore）試驗農場に試作されて、施肥又は特別な栽培を加へずに良好な成績を納めた。其結果中央州では有利とする實證を得たけれども、事業家は恬として新企業に著手する傾向が無かつた。一體斯かる大規模の工業を設定するには、地方小農家の企劃し得ざる軟麻打麻、市場へ持出す爲めの準備工程の諸設備を必要とする。併し、亞麻の大工業が近き將來に於て印度に起り得るとは思はれぬ。何となれば印度人農家が不熟れの農作物に轉換することを嫌ふ爲め殊に然りである。彼等は利潤多き亞麻仁を栽植して亞麻を栽植する意向が無い。

第四節　加奈陀

亞麻樹は亞麻仁生産の目的を以て大々的に加奈陀に栽植せられてゐるが、纎維の產地としては小區域に過ぎない。一九一六年加奈陀政府は亞麻生産業促進の意圖を以て、亞麻及纎維通を傭聘し最好適地を發見し並に同自治領内に當時採用せる植付、加工方法を改良する意嚮を以て農務局に附屬せしめた。其の結果植付面積は東方州殊にオンタリオには一九一八年二萬英反に及んだ。翌一九一九年二〇、二六二英反、一九二〇年には三一、三〇〇英反に達してゐる。次の一九二一年には、亞麻相場の大暴落に遭ひ、僅に六、五一五英反に減少し、後年益々小範圍に止まつてゐる。一九二五年其の面積は六、

二〇〇英反にて、盡くオンタリオ州內に限られた。最大の產額は一九二〇年の三、三二〇噸、麻屑一、八六〇噸であつて、一九二四年には僅に八〇〇噸、麻屑一九噸を製產したるに過ぎない。

農務局は大戰中純麻、種子の品質の標準を定むる爲め、亞麻種子の檢査、等級に關する特別規則を作製した、而して一九一九年には檢査種子九〇、〇〇〇のブッシェルが愛蘭に向けて輸出せられた。

第五節　濠洲

弘く本作物の栽培適地を有するヴヰクトリアには小規模に栽植せられてゐる。ニウ・サウス・ウエールズ及びタスマニヤにも數回此種の栽培が行はれたが効果は尠かつた。最近タスマニヤでは亞麻生產業の進展に對する新計畫がなされて、西部濠洲では亞麻栽培の可能性に就いて目下考慮中である。

一九〇七年市價の十パセントに達する政府補助輸出奬勵金を規定せる法律が通過したが一向に其の反響は無かつた。一八一八年濠洲政府は該產業の發達管理を鞅掌する濠洲亞麻工業委員會を組織して、水を以て柔軟した亞麻噸當り一七〇磅を以て購入し、他に特定標準の纖維一噸當り五磅の賞與金を附加せしむることゝした。之れが爲め、前世紀第四・四半紀間小規模に栽培せられたヴヰクトリアのギップスランドは一躍一九一八年一、五〇〇英反、一九一九年二、二〇〇英反に增大した後續三年間には小區域に植付けられてゐたけれども、一九二三―二四年度には亞麻は植附けられず、其の後に解散したる同委員會は一九二四―二五年度播種々子を會社に提供した、其結果植付けられた面積は一三〇英反に亘つた。

第六節　サイプラス

古くからサイプラスには亞麻樹が栽植せられた樣であるが、最近迄主として亞麻仁の產地としてゞあつた。一九二三年村落民をして商業的生產に從事せしむる樣努力が拂はれた、其處で事業援助の爲めに露西亞人亞麻專門家が農務局に傭入

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

された。近々二、三工場が此の地方に建築される筈である。最初の打麻工場は政府によつて準備せられて、後產業組合に引渡された。同專門家は組合長に新任せられ、爾來同工場の管理を指導誘掖して居る。一九二四年白耳義種々子六噸を播き優良なる結果を見た。此の纖維は愛蘭及び蘇格蘭の兩地方で非常な高値を呼んだ。一九二五年白耳義種々子二十噸以上を播種せるも、雨量不足による困難に當面したるが、尙ほ一一四噸の打麻を施した加工亞麻を見たのである。既述の試驗は頗る成績好良なるを以て今後數年間内には亞麻栽培業は重要なる同島產業となるであらう。

第七節　其他の諸國

近時南阿聯邦の西ケープ州に亞麻栽培の研究が行はれて、良好な結果を得たと云ふことである。一九二三年十四農場に分けられ、總面積約六〇〇英反に及んでゐる。

此の他、ウガンダ及パレスタイン、イラクに栽培試驗が行はれて、現に纖維見本が本資源調査會に寄せられ、有望なることが分明した。

第二章　ヘ　ム　プ

「ヘムプ」と云ふ名稱は眞正ヘムプとは大いに異る數種の纖維に名付けられたもので、此の結果は何等詳細の説明の施されてない統計報告書に多大の混亂を生ぜしめて居るのである。普通ヘムプと呼ぶ纖維中にはボムベイ、サン・ヘムプ（Sunn or Sann)、デッカン又はアムバリ・ヘムプ(Hibiscus cannabinus から採れる黃麻狀纖維)、マニラ・ヘムプ、サイザル・ヘムプ、モリチユース・ヘムプ及びニウ・ジーランド・ヘムプ等がある。今茲に究めむとする纖維は純正のヘムプ、卽ち Cannabis sativa の莖の靱皮に就てゞある。

ヘムプは歐羅巴諸國、又支那、日本及北米合衆國に栽培せられてゐるが、印度、東西兩阿弗利加、其他の諸國を含める

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英帝國領土內には小量生産せらるゝに過ぎない。熱帶諸國では是等の幹・葉・花部は、何れも東洋諸國に於て最も有名な痲酔薬の一とする特性のある樹脂狀液體を産する。此の薬物は種々の形態例へば樹脂其の儘の"Charas" 栽培せる雌樹の花頭を乾燥した"Ganja" 雌雄樹の孰れか一つ又は兩者の乾燥せる葉部及び花のある吸枝(シュート)を乾燥したる"Bhang" 葉に土耳古式加工法を行へる"Hashish" とし知られて居る。斯の如く痲酔劑として樹木を利用する危險から其の栽培を嚴禁する國々もある。例へばケンヤ植民地及保護領では阿片及同混入劑の濫用を抑壓制定せる法律の下に、一九一四年凡そ何人も同領內にヘムプを播種、栽培又は培養するを得ずとする規定が實施された。

英國(ブリチシュ・アイルズ)——ヘムプが始めて、英國に輸入されたのは大昔しの事で、羅馬人に依つて爲されたと云はれる。前述亞麻の如き、一五三三年強制栽培の下に稍々大々的に一時生産額があつたが、後此の事業は萎微した。一七八七年英國に栽植される總てのヘムプに就いて輸出奬勵金が交附され、輸入ヘムプには輸入税が賦課せられた。之れが爲め若干の復活を見たが、後再び著しく衰頽したのである。一八五〇—六〇年代リンコルンシャ及ケムブリッヂシャの濕地、又はヨークシャ地方に小規模に植付けられたけれども、事業は次第に亞麻栽培を廢棄に導けると同一の原因によつて衰微して終つた。其の復活運動並に栽培法の研究は屢々行はれたが永久的効果は更に無かつたのである。

サイプラス——水の供給潤澤なるパフォス地方(Paphos district)の南部に弘く栽植せらるゝ。土人の繩索製作に供されてゐるが、輸出用としてゝは無い。

加奈陀——加奈陀西部に於て撚絲(Binder twine)製造に多額の經費を拂つた事情に鑑みて、自治領內に纖維を生産する計畫が目論まれて居る。第一次試驗は一九一五年に行はれたが、暴風雨による被害に依つて不成績であつた。大戰後、加奈陀太平洋鐵道は聯邦農務局と共同して試驗を行へる結果、南アルバータの灌漑地が本作物に好適であることが判つた

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二五年試驗の結果は非常な好成績を博し、專門家の意見ではヘムプは「優良種大豐收」なる記錄がある。マニトバ州でも又試驗が行はれてゐて、一九二五年には自家消費用として農民の植付けたる多數小區域の他約五六三英反が播種されて居つた。今年工業的製造が開始せらるゝ結果、從來のヘムプ輸入額は從つて減少するであらう。

印度――ヘムプは大規模に栽培されてゐるが、之れは重に既述の麻醉藥製造用である。併し北西ヒマラヤ地方、又小規模にはシンド地方に纖維生産用としての栽培區域がある。

第三章 サン・ヘムプ

印度の交易上重要な原料となる所謂ヘムプは眞正ヘムプの樹からは採れないが、恐らく同國に原産たる荳科植物 Crotalaria juncea の莖の靱皮から採取される。ボムベイ・ヘムプ、サン・ヘムプ等の名稱があつて、東印度會社時代から露西亞ヘムプの代用品として栽培が行はれる樣になつた。目下はボムベイ、中央州及聯合州に亘つて弘く栽培せられてゐるが、又大面積にはマドウラス州に於て、纖維の生産と相俟つて秣として植付けられる。一八九〇―九一年總輸出額は一二、八一六噸であつたものが、次第々々に增激して、一九〇三―四年二三、八六五噸、一九〇七―八年三二、九三〇噸に及んだ。過去十年間(一九一六―一七年=一九二五―二六年度)平均年產額は約二五、〇〇〇噸に上つて居る。一九二〇年迄輸出の大部分は英本國に送られたるも、同年以後英國への直輸入は、倫敦が或る程度集散點たるアントウアープに代位したる爲め減退した。一九二五―二六年白耳義に送られたヘムプは三〇一、八七四ハンドレドウエイト、之れに比して英國へは一〇三、七六六ハンドレッドウエイトに過ぎなかつた。

サン・ヘムプは專ら歐羅巴ヘムプ特に露西亞ヘムプの下等品代用に供されるが、ベンゴール產の或るものは伊太利又は洪牙利ヘムプに混織するに適當する相當の品質を保つて居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

市場向サン・ヘムプは大抵幹のレッチング不備な爲めと纖維の調製と格付に手を拔いた爲め品質不良である。大抵製品の色彩と張力はレッチング法の不完全な爲め例へば村落他に停滯せる泥水を使用すること、栽培業者の適當なる栽培方法を講ぜぬ爲め、何れも低下して居る。紡績業者がサン・ヘムプに對して最も排斥する點は、恐らく該ヘムプが泥又は粘土に附著する關係上、工場で非常なる手間を掛け、其れに對して精細なる除外器械を据付けねばならぬ事にある。在印度當事者は終始是等の缺點を打破し、又絶えず製品の改良に努力を傾けて居る。從つて今後斯かる改良の行はれざる限り、纖維に對する需要は起らないであらう。

サン・ヘムプは錫蘭の沿岸地帶殊に同島北部地方に栽培せられる。現在は地方的に漁網の製作に供されてゐるが、其の栽培は將來發展せらるゝ見込である。

第四章　黄　麻

帝國領土内に於て生産される黄麻は最も重要なる靱皮である。而して此のものは Corchorus capsularis, C. olitorius の二種の樹から採れて、殆んど例外無しに英領印度に於て生産せらるゝ。其の大半はベンゴールに於てゞある。一九二六年植付面積概算三、六二九、九九四英反の中、三、一七〇、五五四英反餘はベンゴール(Cooch Behar及びTripuraの兩州を含む)にあつて、ビハル及オリッサに在るもの二八〇、四四〇英反、アッサム一七九、〇〇〇英反に及ぶ。

黄麻の歴史は遠く古代に遡つて居る。此の纖維は歐洲工業界に紹介せらるゝ以前、ベンゴール土人に依つて綱索及びガンニー・クロースに用ひられた。無論此のクロースは手織機によつたものである。始めて黄麻が輸出されたのは一七九五年のことで、レコード輸出額は一八二八年の僅々三六四ハンドレッドウェイトであつた。大不利顚では第十八世紀末に著目されて、十九世紀の初期アビンドン(Abingdon)に於て紡績並に紡織が行はれた。引續き數年間は小量を輸入したけれど

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

も、纖維利用上に非常な注意を喚起したるは一八三二年の事である。即ち一八三二―三三年度印度よりの輸出額は一躍一一、八〇〇ハンドレッドウエイトに昇つた。恰もダンディー(Dandee)紡績業者は動力織機を以て黄麻織物の製造に著手し始めた爲めに斯業は著しく發達に向つたのである。一八五四―五五年クリミヤ戰爭當時露西亞亞麻及びヘムプの供給減少せる爲め、英國紡績界は多大の刺戟を蒙り、黄麻が纖維として紡績業界に乘出したのは抑々此の時に始まるのである。

斯の如く、ダンディーに於ける機械による黄麻紡績織の進歩發展の結果カルカッタ近郊には工場が開かれた、爾來印度黄麻製造工業の進展は著しいものである。印度黄麻業の偉大なることは、現在作業工場約九十社、錘數一百萬以上、紡織機約五萬臺、使用人員三十萬乃至四十萬なる事實によつても充分窺知することが出來る。

印度國內の黄麻栽培平均面積は大約三百萬英反で、其の年產額は約百五十萬噸に上る。一九二五、二六兩年度推定算額は各々一、六〇七、一四三噸、一、七六五、八七五噸を計上してゐる。

戰前原料黄麻の輸出數量は印度內工場で消費する數量と略々同數であつたが、今では僅に約三分之一を輸出して、三分之二を自國で消費して居る。一九二六年三月三十一日に終る一年度に於て黄麻の輸出總額は六四七、一五四噸、此の中一七四、四〇四噸は英本國に移出されて居る。

ベンゴール農務局によつて、黄麻作物特に淘汰及び雜種繁殖による新種の改良進歩に關する研究がなされた。之れによつて收量及び品質に於て、明かに平均を超ゆる數種類の新種が發見されて、是等種類の種子は年々多量に栽培家に供給されて居る。又當該收量は土壤に肥料を施すことによつて大いに增加し得ることが知れた。

過去五六箇年間、聯合州にも栽培試驗が行はれて、其の結果適當なる栽培地域を選擇し、成長の初期に於て特に作物の栽培に留意すれば可なり多量に收量を納め得ることが判つた。一九二五年の植付面積は一、八〇〇英反を超え、將來黄麻の

栽培は迅速なる發達を遂げることが豫期されて居る。

印度以外の領域内に於ても黃麻に關する研究は屢々行はれたけれども、永久的効果は納め得なかつたのである。主要難點は第一、レッチング用水の供給を缺くこと、第二、印度黃麻に相當する相場を得るには通例勞銀が高過ぎる事。

一八九六年黃麻種子は大量西部アフリカに搬送されて、沿岸の數箇所に分散せられた。試驗の結果によれば、同地方にも良質の黃麻を得ることが知られてゐるが、將來有望なる事業が設定せらるゝや否やに就いては甚だ小規模に失する嫌がある事が判明した。一九〇五年度工場内に黃麻利用熱增大の結果、又ダンディー黃麻紡績業者が原料ジュートの適當なる供給を得る爲めに受けたる苦しい經驗に鑑みて、ダンディー商業會議所は再び英領西部アフリカにジュートの栽培を開設する樣盡力した。依つて一九〇六年初頭、英國植民省は印度政府と西部アフリカ屬領地に分散用印度產黃麻種子を供給する協調が交されて、農務監督總長の作製せる纖維の栽培並に調製に對する覺書が双方國間に手交された。西部アフリカの或る部分には試驗が行はれ、滿足なる成長を見た所もあるが、總體に生產費が高過ぎる爲め採算相償はずと云ふ結果を得た。

此の他、黃麻の栽培試驗はスーダン、ロデーシヤ、南アフリカ、フヰジー諸國に行はれたが、ニウ・テリトリー、香港にも現在行はれて居る。是等各地の纖維見本は當資源調査會に到著してゐる故、研究の結果は本誌上に發見せらるゝであらう。

第五章　黃麻代用品

黃麻類似の靭皮を產し、其の代用品又は混織用として紡績せられる草木は殊に Malvaceae, Tiliaceae 科に多種ある。取り分け Abutilon, Hibiscus, Sida, Triumfetta 及 Urena の種類が最も著名である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Abutilon 種の中最も顯著なるものは支那の大區域に亘つて栽培される A. Avicennae で、其纖維は「支那黄麻」の名目で市場に搬入して居る。此の他、印度及び西部アフリカの地方に産する A. asiaticum, A. indicum の種類は前掲支那黄麻と類似の特長を有する纖維であるが、商業的規模には生産されて居らぬ。

英帝國領土内に於て、定期的に大規模栽培をしてゐる唯一の黄麻代用品は Hibiscus Cannabinus である。單にマドウラス及び或る程度ボムベイ、又間々中央州に栽培される。本纖維は取引上主要積出港名に因んで「ビムリパタム・ジユート」と呼んでゐるが、又一名「デツカン・ヘムプ」或は「アムバリ・ヘムプ」等の名稱もある。マドウラス産黄麻（殆んど全部此の纖維である）の輸出額は例年著しい相異があるが、最近に於ける最高輸出年度は一九一三―一四年の二一、〇〇三噸、然るに一九二一―二二年＝一九二五―二六年度の五箇年間の年平均輸出額は三、〇三四噸に過ぎない。一九二五―二六年には六、五三七噸が輸出せられた。斯く年々取引數量の不平均なのは、大部分がマドウラス工場で消費されて、輸出に供されるものは僅か其の餘剩分に過ぎない結果にある。ビムリパタム黄麻は眞正黄麻よりも稍々粗惡であるが、大抵普通一般の用途には利用が出來る。近年印度では非常な注意が拂はれて、改良種が擧げられて居る。

トウランスバール及ナタルの暖國地方には野生の Hibiscus Cannabinus があつて、「野生の薔薇（ワイルド・ストツク・ローズ）」の別名がある。玉蜀黍畠では有害作物と認められて、之れが存在する爲めに作物は非常な打擊を蒙つて居る。數年前、Hibiscus 樹を栽培して纖維工業を起す爲め一小會社が設立された。凡そ二百英反程植付けられて、農家に對し作物の栽培を奬勵してゐる。玉蜀黍製造に關聯して紡績工場の設置が云々されてゐるが、未だ過剩纖維は少しも輸出されて居らない。併し乍ら其の計畫は不有望ではないと見られて居る。

此の他帝國領土内の諸國には又 Hibiscus cannabinus が生産されてゐて、スーダン、ゴールド・コースト、ロデーシヤ及び

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

イラクの諸地方產の見本が當資源調査會で研究されて居る。

此の他、ジュート狀纖維を產する Hibiscus の種類は仲々に多い。是等は普通土人等によつて繩索の製作又は他の用途に供される。是等の中の數種に關する報告は本會の刊行物中に發表せらるゝであらう。特に "Kowe" 或は "Corwey" 又或る時は西アフリカ・ジュートと云て、シエラ・レオーネで知られてゐる Hibiscus quinquelobus に就いては參考資料が出版せらるゝであらう。纖維加工の便宜がある爲め、二十年前非常な注意を喚起し、一九〇四―五年當時一時的ジュート不作の際、少許の輸出取引を見たのである。併し後年此の纖維は黄麻と混じて紡績せられたが、紡績業者は印度ジュートを相當の値段を以て多量に買得出來ることに留意してない事が明かとなつた。

過去三、四箇年間、他種の Hibiscus 卽ち H. Sabdariffa var. altissima の靱皮一名「ロゼレ纖維」の生產に關する研究が勃興して來た。馬來聯邦州及錫蘭には栽培試驗が行はれて好成績を擧げて居る。殊に後者錫蘭のは多產で、本會の分析せる見本によれば、カルカッタ・ジュートに比較して粗荒且つ光澤は薄いが、張力強くよく耐久性あることが發見された。

又印度及東西兩アフリカには Sida 種が存在して、現に本會で試驗中のものは印度、西アフリカ及びニヤサランドの見本である。一九一二―一三年印度から S. rhombifolia 纖維の小量が送られた。同纖維は細く、柔軟であり、光澤強く、而も品質優良である。商業的栽培を行へば、最もカルカッタ・ジュート「一等品（ファースト・マークス）」を凌駕して、約十乃至二十パセントの相場を現出するのであらうと思はれる。然るにも拘らず、ベンゴール農務局の實地試驗以來充分引合ふと思はれたシダはジュートよりも英反當り收量尠く、加ふるに同纖維は莖弱く、ウッディーなる缺點を有し加工至難なる報告を發表せる爲め、大規模經營は困難と思はれる。

Urena 種は印度及びアフリカの各地に普通に產してゐるが、帝國領域内には大々的に栽培されて居らない。Urena lobata

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の纖維はブラジル、マダガスカル及キユーバに商業的に生産されて居る。印度産のものを試驗せる結果では、同纖維は細く柔軟で、光澤強く、且つ紡績上より見た品質は頗る優良とされて居る。

第六章　ラ　ミ　ー

英帝國領土内の何れの部分にもラミーは現在商業的に栽培されてゐないが、栽培試驗作物として研究せられた關係上若干參考資料を提供することゝする。本纖維は、別名 rhea grass, China grass と云つて、Urticaceae 科或は Nettle 科に屬する Boehmeria nivea 莖の靭皮から成立して居る。高さ四乃至八呎、普通の蕁麻 (Urtica dioica) に稍々類似してゐるが、刺毛を缺いて居る。

ラミーは凡そ英國領域内の亞熱帶、熱帶の至る所に繁茂するが、其の栽培は少しく面倒である。然るにラミー生産業は支那以外の國々には何等進歩して居らぬ。何となれば、英國及び歐羅巴大陸に於てラミー紡績業者が專ら手力に係る「チヤイナ・グラス」で無ければ購入せぬ事實によつても明白である。紡績業者は從來自己の工場で行つて來て、纖維が他の形態を保つとき變體を必要とする化學的方法によつて、此物から膠質を抽出する。此の點ラミーは、既說の一切の靭皮がレッチング法によると甚だしく相異する所である。

前述の「手力によるチヤイナ・グラス」は支那に於て極く勞銀安き場合のみに採用される厄介なる方法によつて加工されて居る。卽ち莖より内皮を剝取り、外皮は剝皮と洗淨作業によつて取除かれて、纖維を被ふ膠質の物質は此の際抽出せられる。一日の製産能力は僅々數封度に過ぎぬのである。纖維中に遺存する膠質の物質は、既述せる如く紡績業者によつて、奇麗で光澤のある纖維(フイラツセ)を取得する爲めに盡く除去される。英國ラミー紡績業者は原料ラミーを全部支那から得て、未だ供給上何等難事を見た事が無い。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那には大量に生産せられて、其の大部分は支那内地に消費されるが、殘りの大部分は日本に輸出せられ、歐羅巴諸國に積出されるものは割合小部分に過ぎないのである。一九二五年英國が輸入せるラミー四六五噸中四四七噸は支那、一二噸は諸外國、六噸は所屬領地から輸入して來たものである。是等の事情を綜合するに、現今世界市場に搬入されるラミーの殆んど全部は支那から産出せらるゝと云つてもよい。

外見並に品質上「手力によれるチャイナグラス」に類似のものは機械力による外、英植民地には有利に生産不可能と云ふ事が判つた。併し、一見紡績業者の滿足を得る迄に精巧なる器械が賣出されて居らない。其れ故帝國領土圏内にラミー栽培業が隆興する様には思へぬ。(續く)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島情

臺灣貿易統計（昭和二年七月）

臺灣總督府稅關

◆貿易額比較

外國貿易	二年七月	十五年七月	二年累計	十五年累計	増減（・）
輸出	三、九〇七、七三一円	三、七五三、四〇九円	二四、〇〇四、〇八九円	二六、九五一、〇七五円	・二、九四六、九八六円
輸入	四、三五〇、二〇四	四、四三三、八三二	四一、一五七、一〇八	三八、七九七、六七九	二、三五九、四二九
計	八、二五七、九三五	八、一八七、二四一	六五、一六一、一九七	六五、七四八、七五四	・五八七、五五七
輸出（入）超過	（入）四四二、四七三	（入）六八〇、四二三	（入）一七、一五三、〇一九	（入）一一、八四六、六〇四	—

内地貿易	二年七月	十五年七月	二年累計	十五年累計	増減（・）
移出	一三、九三五、五〇九円	一三、一三四、〇三一円	一四二、八〇八、七七九円	一四七、二二七、五九九円	・四、四一八、八二〇円
移入	九、二八九、八九〇	八、八五一、三四六	六四、九六七、三一七	六七、八一二、三六五	・二、八四五、〇四八
計	二三、二二五、三九九	二一、九八五、三七七	二〇七、七七六、〇九六	二一五、〇三九、九六四	・七、二六三、八六八
移出（入）超過	四、六四五、六一九	四、二八二、六八五	七七、八四一、四六二	七九、四一五、二三四	—

◆輸出

品目	七月 數量	七月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	増減（・） 數量	増減（・） 價額
石炭　噸	四三、四八八	四六五、九九七円	三六四、三六七	四、〇五一、三五六円	四五九、二九三	五、一九〇、二二九円	・九四、九二六	・一、一三八、八七三円
包種茶　斤	（入）九四五、二四五	（入）七〇六、四九八	四、四八〇、六六五	三、三三七、四四〇	四、七八七、七五六	三、六九二、八九五	・三〇七、〇九一	・三五五、四五五

品目		七月 數量	七月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
烏龍茶	同	一,〇五三,二七四	七五六,三三九	一,九九三,二六六	一,三一七,〇七五	一,五三九,五八九	一,一一六,八四一	四五三,六七七	二〇〇,二三四
綿織物	碼	三一三,四七四	七一,〇六三	一七,一七四,〇六〇	一,四七五,七八一	二一,〇〇八,九九一	二,八一七,二六四	•三,八三四,九三一	•一,三四一,四八三
鹹魚及乾魚	斤	二,一五六,七七九	四二六,五六五	一八,六四六,八四四	二,二一三,六七二	三,九八一,五九三	八四三,九九七	一四,六六五,二五一	一,三六九,六七五
砂糖	同	一,八三二,五三六	二〇一,五四九	一六,二二五,七二四	二,一五三,一三三	一七,三〇〇,七一五	三,四一六,〇〇七	•一,〇七四,九九一	•一,二六二,八七四
酒精	升	三九六,七一三	一三三,二六五	三,七〇六,五六〇	一,一七五,三三〇	三,二九〇,九八〇	一,一〇七,六三六	四一五,五八〇	六七,六九四
樟腦	斤	一二,五〇〇	一六,四三八	六二一,三〇〇	八一五,三〇五	七一一,六三三	一,一三〇,一八八	•九〇,三三三	•三一四,八八三
錫	同	八〇〇,四二〇	三二一,三三三	二,八〇七,一二七	一,一三一,八三五	四,八一〇,三五八	一,四四一,一八五	•二,〇〇三,二三一	•三〇九,三五〇
セメント	同	三,八七一,三七六	七二,〇二七	三六,八六三,四四六	七一八,一四四	五五,四九四,四三六	一,一八〇,六六五	•一八,六三一,九八〇	•四六二,四九一
絹及絹綿織物	碼	五,四〇七	三,一〇四	七四一,二八三	四五九,九八七	五七七,九七三	三六一,六五〇	一六三,三二〇	九八,三三七
貝柱	斤	九五,七七〇	一二,一四七	三一〇,七九〇	二七八,六八四	二九三,七六八	二七九,一〇三	一七,〇二二	•四一九
苧麻	同	二九四,六六三	九六,六三六	一,〇六五,四七四	三七三,五五九	八〇二,八九三	三〇七,〇六三	二六二,五八一	六六,四九六
紙	同	二七四,一九八	一八,一四七	一,九五三,九三三	一六九,五一一	三,五五一,八二二	三〇三,二四四	•一,五九七,八八九	•一三三,七三三
芭蕉實	同	四七三,一三〇	一九,〇八六	三,七六七,一九一	一一六,八九七	五,二二〇,六一八	二九九,八二一	•一,四五三,四二七	•一八二,九二四
其他諸品		—	四九八,六五八	—	四,一一六,四〇〇	—	四,二六四,三九七	—	•一四七,九九七
計		—	三,九〇七,七三一	—	二四,〇〇四,〇八九	—	二六,九五一,〇七五	—	•二,九四六,九八六

◎輸入

品目		七月 數量	七月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
大豆油糟	斤	三七,七八九,一八四	一,六七二,五九二円	一八五,八四九,八四六	八,〇〇二,三八〇円	一六四,六九一,九八二	八,六六七,七六四円	二一,一五七,八六四	•六六五,三八四円
米(籾共)	同	二,三〇〇,九八九	一八四,二三三	一六五,二七四,八〇三	一二,八六六,八三五	七八,〇一五,八二一	七,三八七,三四二	八七,二五八,九八二	五,四七九,四九三
硫酸アンモニウム	同	二,七二一,五一〇	一三三,九五三	三五,九六七,六二六	二,八六二,四六三	二九,三〇三,四七六	二,九三一,八二七	六,六六四,一五〇	•六九,三六四
砂糖	同	三五,二〇六	三,〇九〇	二九,九九四,七〇三	二,七九七,三〇〇	二五,三三五,三一〇	三,一五二,三〇〇	四,六五九,三九三	•三五五,〇〇〇
大豆	同	六,〇二九,〇五五	三六八,九五三	二七,八二六,五三一	一,六四五,九九九	二九,八二四,九一〇	二,〇六九,二四〇	•一,九九八,三七九	•四二三,二四一

ガンニー袋	箇	四一五,六〇〇	一九四,七六八	二,四〇一,六八九	一,一六四,六七九	二,三八二,九九九	一,六七一,三〇六	一八,六九〇	•五〇六,六三七
木材	立方尺	三〇六,八八七	二一一,六四二	二,四〇四,六三六	一,六三二,七二〇	一,六九七,二六九	一,一六四,一〇四	七〇七,三六七	四六八,六〇六
石油	ガロン	二一三,二〇〇	一〇五,九三三	一,七四〇,九六九	七九〇,六八九	一,四三五,一六八	七〇九,七一一	三〇五,八〇一	八〇,九七八
鹹魚	斤	三八,一一一	四,六〇三	一,三三三,八四八	九八,五六八	一〇,八六七,一八七	七五八,九一〇	•九,五五三,三三九	•六六〇,三五二
小麥	同	二五九,六一四	一八,五八五	一〇,二七二,四九八	七〇四,六七一	七,六九一,一七〇	六八三,三〇八	二,五八一,三三八	二一,四六三
阿片	同	—	—	一二,五〇〇	二一七,〇〇〇	三三,三三三	八七六,三九五	•二〇七,三三三	•六五九,三九五
包蓆	枚	二九一,一六三	三三,四八三	二,五九一,九〇二	三一四,三五一	二,八四九,四二〇	五四三,八一六	•二五七,五一八	•二三八,五六五
葉煙草	斤	一六六,〇六九	一四一,〇九七	一,八〇九,一二七	七五二,七七二	一,一三四,六四九	五九一,七七〇	六七四,四七八	一六一,〇〇三
鐵	同	二,〇九三,八六三	一五五,一一三	五,六四七,二九七	四九一,七六三	四,八五六,五三五	四七四,一三五	七九〇,七六三	一七,五九八
繰綿	同	四,七九〇	二,二七八	二五〇,六四八	一〇三,五八一	四〇五,九三六	二〇六,六一二	•一五五,三六八	•一〇三,〇三一
黄麻	同	三〇一,六六〇	四四,三六九	三七五,七九九	五三,一一三	二,四二六,八四九	四三三,九三三	•二,〇五一,〇五〇	•三六九,八一〇
禮拜紙	同	四二一,八六六	九,八七五	一,〇一七,九一三	二三六,二〇三	九六二,三八五	二七三,二三三	五五,五一七	•三七,〇三一
石炭	噸	四,〇五〇	二一,七五〇	一四,一九九	三〇六,三九一	四,五〇〇	五二,五六一	九,六九九	二五三,八三〇
苧麻布	方碼	一七,〇〇〇	五,五四〇	七九七,四五八	一八三,七七〇	一,一二三,四〇九	二八六,四七六	•三三五,九五一	•一〇二,七〇六
毛織物	同	四,九三八	五,九一四	一四二,一〇五	一六六,六三三	一六七,七五〇	二三五,九一七	•二五,七四五	•六九,二八四
綿織物	同	一三,四三七	八,八三四	三五九,七七八	二四〇,二五六	三五一,五九二	二七六,九二六	八,一八六	•三六,六七〇
陶磁器		—	一三,一八二	—	一二四,三六二	—	一九二,四六八	—	•六八,一〇六
原油及重油	ガロン	九六,〇九〇	一八,七二四	九二〇,四〇四	一八六,五五八	七四三,三七五	一六九,七四二	一八七,〇三九	一六八,一六六
揮發油	同	三一,五五九	三〇,〇六四	一三八,四一一	一一六,九二〇	一六四,三八七	一七〇,三四〇	•三五,九七六	•五三,四二〇
唐紙	斤	一九七,五八八	一二,三一五	一,一四二,二八八	九一,七三七	一,六九一,九九六	一六七,五九五	•五四九,七〇八	•七五,八五八
綠豆	同	三五九,九七八	二三,三八三	二,〇六七,四四二	一三二,九九三	一,七五七,六七五	一四六,五二〇	三〇九,七六七	•一三,五一七
錫	同	七,二六四	一三,六九六	八四,四五九	一五〇,五四一	七二,六四九	一三〇,四三八	一二,八二〇	二〇,一〇三
豆素麵	同	四八,一〇九	一三,九三四	三二九,五四六	九〇,二三〇	三一九,二六七	一〇〇,七六四	一〇,二七九	•一〇,五三四
胡麻子	同	三三,九五四	六,六七一	四〇一,七〇五	七一,一九二	三九六,〇八九	六九,八六八	五,六一六	一,三二四
パラフイン、ロツクス	同	一一,一八九	二,八六九	一四八,七五〇	三二,六三一	二四四,六一〇	六二,八二六	•九五,八六〇	•三〇七,二〇五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其他諸品	—	六九一、八六二	—	四、五三八、〇四八	—	四、一六一、七四二	—	三七六、三〇六
計	—	四、三五〇、二〇四	—	四一、一五七、一〇八	—	三八、七九七、六七九	—	二、三五九、四二九

◆移出

品目	七月 數量	七月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(・) 數量	增減(・) 價額
砂糖 斤	九八〇七、五〇〇	一、三二二、七二六 円	六四三、〇四八、三三一	八九、九〇二、四三七 円	七三一、三五八、七五三	九五、九四七、五六二 円	・八八、三一〇、四二二	・六、〇四五、一二五 円
米 同	七六、八三四、七四〇	八、二四五、四五一	二八二、一三四、七三七	二九、三〇七、六八五	二三〇、四七八、一七四	二六、五六一、三六四	五一、六五六、五六三	二、七四六、三二一
芭蕉實 同	一五、六二五、二四〇	九八三、一七〇	一〇〇、五三三、六五九	六、〇八〇、六四一	一一〇、一三七、六二三	六、九八五、九二四	・九、六〇三、九六四	・九〇五、二八三
酒精 升	五一〇、八〇〇	二六四、二五六	四、一四六、六五〇	二、一七六、三三五	五、一三九、六四〇	二、七七四、二四六	・九九二、九九〇	・五九七、九一一
木材 立方尺	二三九、七六九	五三〇、六七三	八七三、〇四六	一、九五四、〇七一	七四九、六七六	一、八二六、三九一	一二三、三七〇	一二七、六八〇
樟腦油 斤	四八四、七四二	一八〇、三三五	三、〇六一、六九九	一、一五八、五五五	三、七〇七、〇〇二	一、九一七、九五二	・六四五、三〇三	・七五九、三九七
鰹節 同	三〇九、一九八	二七四、六一五	七四二、三六二	六四六、一八三	八八九、七〇三	九一七、〇六七	・一四七、三四一	・二七〇、八八四
模造パナマ帽子 箇	一八六、〇〇〇	九三、三二〇	一、三九八、二三〇	五九四、五一〇	二、五五一、四〇〇	八九三、六三五	・一、一五三、一八〇	・二九九、一二五
鳳梨罐詰 打	一七七、二三一	六四五、九二三	五二三、六一七	一、九九八、五五九	三一〇、六二七	一、一二八、八八一	二一三、九八〇	八六九、六七八
樟腦 斤	四二、三三六	六四、九〇〇	三八〇、一七八	五七九、五〇二	六五六、六六二	一、二四八、〇〇九	・二七六、四八四	・六六八、五一七
鐵 同	五四七、一〇〇	七七、七四九	五五、八七九、九八四	八〇一、〇四二	三四、四七八、五五八	七一六、四一七	二一、四〇一、四二六	八四、六二五
石炭 噸	一三、一〇〇	二〇三、六七五	八〇、五四九	九一九、五〇二	八二、六〇三	七八二、八三一	・二、〇五四	一三六、六七一
食鹽 斤	一〇、七六九、二三〇	一〇二、八七七	五〇、七〇二、二九〇	四七三、四三二	七〇、五二五、八四〇	五五五、三〇九	・一九、八二三、五五〇	・八一、八七七
鮮魚介 同	—	—	二、七三四、〇四五	八一〇、〇五〇	一、九〇三、五四八	五八一、四二〇	八三〇、四九七	二二八、六三〇
切乾薯 同	七、五八九、二〇〇	二八九、〇四九	二七、八四五、三五〇	一、一二七、五九二	六、二八〇、二四〇	二六九、六二〇	二一、五六五、一一〇	八五七、九七二
其他諸品	—	六五七、八九〇	—	四、二七八、六九三	—	四、一二〇、九〇一	—	一五七、七九二
計	—	一三、九三五、五〇九	—	一四二、八〇八、七七九	—	一四七、二二七、五九九	—	・四、四一八、八二〇

◆移入

品目		七月 數量	七月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
綿及絹織物		—	九四九,一〇三円	—	七,七五三,六三一円	—	一〇,六八〇,三五七	—	•二,九二六,七二六
鐵	斤	五,二五九,三四六	五六五,三九九	四四,〇九七,一〇五	四,四四三,六四二	三五,五一六,七一九	四,〇三五,九二三	八,五八〇,三八六	四〇七,七一九
鹹乾魚	同	二,六九九,九一五	五〇八,三六六	三〇,一四四,七一〇	三,六八九,一六一	一三,七五一,五八三	二,七五一,一三九	一六,三九三,一二七	九三八,〇二二
肥料	同	八,九三五,一一四	三六四,〇五八	四七,四四三,三六二	二,二四二,四二八	四五,六一三,七〇七	二,三四六,三四八	一,八二九,六五五	•一〇三,九二〇
小麥粉	同	一,一八六,四一六	一三七,四九九	一四,五六六,五五一	一,六八七,八九四	一八,五三五,五六一	二,二七四,六九八	•三,九六九,〇一〇	•五八六,八〇四
木材	立方尺	三〇七,五六二	三四四,七八〇	一,八三四,四一五	三,二一八,〇〇四	一,五八一,一二五	一,九三三,〇〇九	二五三,二九〇	一,二八四,九九五
紙		—	二一六,六一三	—	一,六七六,五九二	—	一,八一七,三七四	—	•一四〇,六八一
鉛	斤	五〇二,四五〇	一八五,七五五	二,六四九,六三九	一,〇七〇,三一四	六,一三三,一五九	一,七八四,五六三	•三,四八三,五二〇	•七一四,二四九
鐵製品		—	二六九,六六一	—	一,八〇八,八八三	—	一,四七五,三二八	—	三三三,五五四
麥酒	打	四七,三六〇	二三五,〇八五	三六七,五四六	一,八六六,九五八	三五六,五〇一	一,六八三,〇八〇	一一,〇四五	一八三,八七八
紙卷煙草	千箇	五五,二二〇	一二六,七七〇	四四五,三八〇	一,〇二九,三三八	五〇七,九八〇	一,一九三,八四五	•六二,六〇〇	•一六四,五〇七
絲類		—	一三二,四三四	—	九四二,六六八	—	一,二四五,九五三	—	•三〇三,二八五
各種ノ罐詰		—	二一一,一五九	—	一,一二八,六〇六	—	一,〇八九,五七一	—	三九,〇三五
ガンニー囊	箇	六七九,三五〇	三三〇,七七〇	一,八三九,〇〇〇	八〇九,五七一	二,四八九,一五〇	一,四九九,〇〇四	•六五〇,一五〇	•六八九,四三三
清酒	打	一,二〇〇	九,五〇四	七三,〇六九	六五七,六九四	六三,三八四	五七四,九九一	八,七八五	八二,七〇三
メリヤス肌衣		—	三三,〇六〇	—	二九七,八三六	—	三七三,四五八	—	•七五,六二二
自轉車同部分品及附屬品		—	二五,六二九	—	八三三,九三三	—	八八八,三七〇	—	•五四,四三七
毛織物		—	二,九六〇	—	三二一,〇五九	—	三七三,一九一	—	•六一,一三二
燐寸	哥	一八五,七二七	三八,九八三	九七四,三〇二	七〇一,四五九	八八四,九三五	六七九,三一九	•八九,三六七	•二二,一四〇
菓子類		—	五二,一二七	—	五〇七,五四二	—	五七四,〇一八	—	•六六,四七六
麥	石	一三,六四九	二七一,五五五	二八,五八二	五六九,二四〇	二〇,一九八	四五六,六三一	八,三八四	一一二,六〇九
製帽原料		—	四五,七三四	—	三三四,七三五	—	五六五,三四四	—	•二三〇,六〇九
米	石	八一九	三五,〇八二	一一,〇四五	三八〇,三〇一	一六,六三一	六一三,〇九〇	•五,五八六	•二三二,七八九

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

陶磁器	—	七九,三四二	—	五三八,六六三	—	四八六,七一六	—	五一八,九六六
砂糖 斤	五三〇,六二四	二三四,八四七	一,六七一,九一二	三九七,九二三	一,四五三,三一〇	三四九,六七三	二一八,七〇一	四八三,四九
石鹸	—	八三,六八四	—	四七一,八六五	—	四八二,四〇二	—	• 一〇,五三七
醤油 石	八五三	五一,六〇二	六,八三四	四〇三,四一〇	六,五九五	四〇五,〇八八	二三九	一,六六八
燈油及輕油 ガロン	八三,三五〇	三八,八八四	八一八,六九五	三九三,七九六	九九〇,六一〇	五三三,一四二	• 一七一,九一五	• 二三九,三四六
仕組板	—	八四,五一八	—	四〇六,七三六	—	五〇〇,四四四	—	• 九三,七一八
自動車同部分品及附屬品	—	一〇五,四六一	—	四九九,九九〇	—	三四一,五八一	—	一五八,四〇九
其他諸品	—	三,五五三,四五六	—	二五,一〇四,五三七	—	二三,九六七,一三五	—	一,一七七,四二三
計	—	九,二六九,八九〇	—	六四,九六七,三二七	—	六七,八二三,三六五	—	• 二,八四五,〇四八

◈港別貿易額

港別	輸出	輸入	計	二年累計	十五年累計	増減(•)	移出	移入	計	二年累計	十五年累計	増減(•)
基隆	一,九七五,〇〇二円	二,四三〇,八三一円	四,四〇五,八三三円	三八,〇六八,〇〇〇円	三五,七一六,九四五円	二,三五一,〇五五円	八,五七九,〇二九円	七,一六四,六九五円	一五,七四三,七二四円	九七,五九二,七九七円	一〇一,四四三,四六五円	• 三,八四九,六六八円
臺北	一,四七七,〇九五	七四,三二六	一,五五一,四二一	六,〇四四,〇九八	六,三一五,〇九七	• 二七〇,九九九	—	—	—	—	—	—
淡水	九九,三七〇	三三六,〇六六	四三五,四三六	二,三一三,七一〇	二,〇六八,五四五	二四五,一七五	—	—	—	三,〇〇〇	六,〇〇〇	• 三,〇〇〇
安平	—	一〇〇,七四三	一〇〇,七四三	一,〇四四,二八八	一,〇七七,八一四	• 三三,五二六	六二,五六一	五五三,四七五	六一六,〇三六	六,一五一,〇七〇	七,六六九,二六六	• 一,五一七,二二六
高雄	二七八,六五八	一,三九二,六四二	一,六七一,三〇〇	一六,八八五,九九八	一九,六六六,五三八	• 二,七八〇,五三〇	五,〇七七,四八八	一,五〇七,四六七	六,五八四,九五五	一〇二,八九〇,〇四二	一〇四,八六八,六六七	• 一,九七八,六二五
島其他諸港	七七,六〇六	二二五,五九六	一〇三,二〇二	八〇五,〇九三	九〇三,八二五	• 九八,七三二	二二六,四二二	六四,二五三	二八〇,六七四	一,一三七,一八七	一,〇五三,五四六	八四,六四一
計	三,九〇七,七三二	四,三五〇,二〇四	八,二五七,九三五	六五,一六二,一九七	六五,七四八,七五四	• 五八七,五五七	一三,九二五,五〇九	九,二八九,八九〇	二三,二一五,三九九	二〇七,七六〇,九六八	二一五,〇三九,九六四	• 七,二七三,八六八

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

金融統計

財務局金融課

◆銀行預金貸出金殘高表

昭和二年六月末島内各銀行預金貸出金殘高左の如し

種類	金額	種類	金額	種類	金額	種類	金額
公金預金	三、九三〇、二三五円	預金手形	一、七五七、九〇八円	證書貸付	二五、六三二、八三四円	買入外國爲替	四九三、〇二三円
當座預金	一三、八四八、〇五八	日本銀行預金	一三、一七〇、〇七一	手形貸付	四三、九九九、一二五	日本勸業銀行貸付	四七、四二一、七二七
特別當座預金	四〇、八四二、一八二	貯蓄預金	六、〇〇〇、五〇五	當座貸越	三、六四〇、一八八	貯蓄銀行貸付	一、〇七四、七〇五
通知預金	七六二、六八一	合計	一二四、一五八、八二〇	割引手形	一〇三、二七六、二〇〇	合計	二四三、二八三、五一四
定期預金	三八、八四二、二四六	前月	一二二、二四三、九一六	荷付爲替手形	一六、六三〇、九七〇	前月	二三六、七七三、七〇三
別段預金	一、九六二、九二四	前年同月	九三、九三三、八二一	利付爲替手形	一二四、七五二	前年同月	二四五、七九八、三七五

備考 日本勸業銀行貸付には臺灣銀行取扱の代理貸付を含む

之を地方別に示せば左の如し

州廳別	預金	貸出金	州廳別	預金	貸出金
臺北州	七〇、八〇六、六六三円	一二五、五七四、一九七円	澎湖廳	四五八、七三四円	一五六、八四六円
新竹州	四、〇四八、九八八	二〇、二一三、五六〇	臺東廳	三六七、二四九	二、八三五、三九六
臺中州	一三、八二三、一九六	三四、〇七〇、七〇七	花蓮港廳	一、〇〇七、七七一	一、二二二、九四二
臺南州	一七、二〇二、六九二	四一、九六七、六八〇	合計	一二四、一五八、八二〇	二四三、二八三、五一四
高雄州	七、四四三、五一七	一六、三五二、一八六			

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

市街地信用組合事業一覽表（昭和二年六月末日現在）

（其ノ一）

州廳別＼種別	組合數	組合員數	出資口數	資産：未拂込出資金	貸付金	土地建物什器	有價證券	預ヶ金	假拂金	手形割引	其他	現金	計
臺北	九	六,三三三	四六,一二九	七九,三二一円	五,三六三,三九三円	一四三,八五〇円	九八七,八七七円	一,一三七,八〇三円	一〇,四〇八円	一四四,六六八円	三四,六一五円	四九,三三六円	七,九三九,三〇六円
新竹	二	一,一四三	一〇,三八六	六七,四四六	八七,三九三	三〇,八八四	五〇	四四八,三五五	七九六	—	—	五,六八九	一,三五六,四三五
臺中	二	一,一一四	四,七五三	九九〇	七一七,三六八	三三,三一七	三八,一四六	三六四,七三〇	一,七〇九	—	—	三三,六〇八	一,一四九,六七一
臺南	六	三,一五三	二一,六七六	一六,九〇一	二,三三三,八一二	六〇,五九四	一三九,〇三五	五一四,三九一	七,〇六九	四八七,九二九	一一,三〇二	五三,四七〇	三,六〇四,五〇七
高雄	一	三三〇	一,三二八	七七五	二七一,六〇四	三一,六七八	一四,五六一	六一,〇〇八	—	—	—	二,三六八	三八〇,九四六
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一	一九五	四,四五五	—	二九三,八三三	四,三三七	—	一六,七八三	一,四四九	四三,五一五	—	六二一	三九九,五一八
合計	二二	一三,一五六	八八,五八七	二〇四,七三五	九,六四三,八三三	二八三,五五三	一,一六九,六六一	二,五四四,三三三	二一,四三四	六七五,〇八三	一三五,九一七	一二三,九五四	一四,七九〇,三八五
前月末合計	二二	一三,一〇八	八八,五八二	二一〇,三六五	九,三七九,九三〇	二八三,一〇〇	九一〇,四〇三	二,八七七,五〇二	三〇,一二五	六三三,六三六	一三八,二二六	九四,八八三	一四,五五七,一五三
△は減	—	四八	△五	△五,六三〇	二六三,九〇三	一,四五三	二五九,二五九	△三三三,三九九	△八,六九〇	四一,四四六	△二,三〇九	一八,〇七〇	二三三,二三一

（其ノ二）

州廳別＼種別	負債：出資金	貯金	準備金	各種積立金	未拂配當金	借入金	假受入金	其他	剰餘金	計
臺北	一,五〇一,三八〇円	五,二七〇,〇九〇円	五六〇,四二〇円	一六三,三三六円	二,九八五円	二五七,九九九円	八,一三七円	三六,八六一円	一三九,〇七四円	七,九三九,三〇六円
新竹	二〇七,一六五	九一七,五八五	三一,九九二	七六,六七三	一,五八六	三,〇〇〇	六,五五七	一,八〇三	二〇,〇五一	一,三五六,四三五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺中	二三七、六五〇	六七三、九三三	三二一、〇五五	七五、〇四六	三、九九八	—	八、六二三	二九、三六四	一、二四八、六七一
臺南	八二三、四四〇	二、二六四、一七五	二七五、六七七	七三、七七五	三、〇二七	一二、六五六	六、一二六	一〇八、三二〇	三、六〇四、五〇七
高雄	六〇、九〇〇	三一四、四七一	二二五	—	—	五、〇〇〇	—	三四四	三八〇、九四六
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	八八、五〇〇	一七一、一三三	四七、三三〇	二〇、七八三	—	二〇、〇〇〇	三、二一六	七、五五三	三九九、五一八
合計	二、九一九、〇五五	九、六二一、三九五	一、一三六、五三一	四〇九、六三六	二〇、九九九	二九七、六六六	三一、七〇〇	六八、一一三	一四、七九〇、三八五
前月末合計	二、九二〇、三八〇	九、二五六、二二五	一、一三六、六四五	四〇三、六四一	二〇、〇〇四	三八五、九二一	二二、八八〇	七五、九一〇	一四、五五七、一五五
△は減	△一、三二五	三五五、一七九	△一一四	五、九九四	九九五	△八八、三二五	九、八二〇	△七、七九六	二三三、二三一

（其ノ三）

州廳別＼種別	貯金内譯 組合員貯金	貯金内譯 第一條第三項貯金	貯金内譯 第一條第四項貯金	貯金内譯 計	貸付金利率 最高	貸付金利率 普通	貸付金利率 最低	貯金利率 最高	貯金利率 普通	貯金利率 最低	借入金利率 最高	借入金利率 普通	借入金利率 最低	預ケ金利率 最高	預ケ金利率 普通	預ケ金利率 最低	手形割引歩合 最高	手形割引歩合 普通	手形割引歩合 最低
臺北	一、八四七、七八〇円	一、九五三、四八一円	一、四六二、八二三円	五、二七〇、〇九〇円	二八厘	二五厘	二五厘	二〇厘	一六厘	七厘	二三厘	二三厘	一八厘	二二厘	一三厘	六厘	二六厘	二三厘	二三厘
新竹	二七三、一〇四	四〇〇、九三三	一四三、五五七	九一七、五八五	二七	二三	二〇	二〇	一六	一〇	二七	二七	二七	一八	一四	八	—	—	—
臺中	一五二、〇五二	四六一、六九一	六〇、一九〇	六七三、九三三	二六	二四	一八	一七	一三	七	—	—	—	二〇	一三	一〇	—	—	—
臺南	一、〇二三、九九〇	九六八、五三五	二七三、〇六〇	二、二六四、一七五	四五	二五	一八	二五	一八	一〇	二三	二三	二三	二〇	一三	七	二六	二三	二〇
高雄	一八八、六三三	七四、〇三二	五一、八〇三	三一四、四七一	四六	四六	二五	二二	一八	一八	二〇	二〇	二〇	二〇	一三	七	—	—	—
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	八〇、九五八	四三、九五四	四六、三二一	一七一、一三三	二七	二七	二五	二三	一八	一八	二三	二三	二三	一七	一七	一四	二七	二七	二七
合計	三、六七二、二一四	三、九〇一、六〇七	二、〇三八、六七三	九、六二一、三九五	四六	二七	二五	二〇	一八	七	二三	二三	一八	二二	一三	六	二七	二四	二〇
前月末合計	三、五二〇、〇〇五	三、七六六、六一三	一、九六九、五九七	九、二五六、二二五	四六	二七	二五	二〇	一八	七	二三	二三	一八	二二	一三	七	二七	二四	二一
△は減	一五二、二〇九	一三五、九九四	六七、〇七五	三五五、一七九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△一	—	—	△二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

漢詩

丁卯端午前一日紅葉館雅集分査初白詩芳草一簾花外磬綠陰半榻雨中燈十四字爲韻各賦

得芳外二字　遠洋　湯川元臣

勳業行藏夢一場。吾曹報國有文章。青樽紅燭芝山夕。醉劈雲箋字字芳。

薰風林閣開嘉會。談笑稱杯和氣藹。痛飲勿辭頹玉山。歸帆明日是天外。

同得草簾二字　青厓　國分高胤

京國風塵吾欲老。君爲仙吏蓬萊島。相逢一笑酒尊前。話別芝山何草草。

仙閣吟筵賓主兼。綠陰移榻韻同拈。鵑花紅濺苔三徑。湘竹青篩月一簾。

同得花榻二字　香峰　大江武勇

閒庭不掃青苔合。淺水一溪蛙閣閣。且趁鷗盟此忘機。竹陰深處聯吟榻。

南疆督憲愛烟霞。重過芝山賣酒家。却怕風光催客思。一園開徧杜鵑花。

同得磬綠二字　椿園　玉木懿夫

芝山邀客多吟興。地接招提苔滿徑。蝴蝶雙雙飛近人。一簾斜日聽清磬。

詩筵酒數依金谷。山館賡酬人不俗。一醉披襟憑曲欄。高槐垂柳夏庭綠。

同得一燈二字　蘋園　阪本釤

吟興祇應助清逸。烟霞堪療詩人疾。芝山樹色品川波。好景此樓推第一。

一樽相對有良朋。詩就誰先劈剡藤。醉向中庭移榻去。綠陰如水潑銀燈。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同得陰半二字　仙坡　勝島翰

主賓對酒互披襟。話到昨遊牽感深。坐久杜鵑何處叫。一簾雨氣月成陰。環軒新樹翠如幄。雲氣梅天濃不散。偶銜佳節菖蒲觴。圍碁論劍過夜半。

同得雨中二字　蕉庵　上山滿

天霽薰風涼滿戶。老杉遮日苔痕古。瑞芝山上薇吟筵。綠酒尊前逢舊雨。芝館詩盟詩酒同。遠來孤客興何窮。玉山淡水聯鑣跡。回首茫茫一夢中。

小白山房園　田邊碧堂

先生笑著穀皮巾。山澤留連久葆眞。老對黃花欲遺世。淸容如見晉時人。

關山行旅圖　落合東郭

峰巒重疊亂雲生。遠客何堪故國情。一路羊腸多曲折。蕭々落木雜猿聲。

秋陰書懷　竹井星溪

一夏無雲潤澤稀。秋來多雨日光微。林楓欲染霜何緊。籬菊初開露乍飛。廚裏頻求前夜酒。肩頭俄負舊年衣。廟廊已有諸公在。燮理陰陽不失機。

大磯澤畔樓偶詠

節入黃梅雨乍收。又登鷸起澤邊樓。潮聲似語千年夢。月色還添一夜愁。名妓祠荒魚氣冷。高僧庵古佛燈幽。松青沙白淘綾浦。幾使閒人此滯留。

丁卯八月同諸友遊芥屋大門尋浴原鶴溫泉因有作　萱南　西川鐵

相逢管鮑感因緣。北馬南船思浩然。玄海聯游窮洞窟。鶴郊嘯詠浴靈泉。誰垂釣線擬公望。我與酒杯爲謫仙。醉倚危欄涼氣動。六峰壓水入淸筵。

題畫　潤庵　魏清德

水天空濶鳥飛迴。潦倒猶思盡數杯。却笑隣翁知我意。晚涼爲棹酒船來。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

俳句　孕江選

舟蟲や汐濡れかわく岩だゝみ　非文
蒲葵葉の影となりたる日覆かな　同
椰子空を色移り消ゆ花火かな　同
街辻や日除の下の野菜市　同
芝原や花火明りにひろ〴〵と　荏吾
船日除夕汐明りいつまでも　同
舟蟲や岩のかざり藻長々と　同
打上藻踏めば舟蟲ゐたりけり　同
軒端まで濱晝顔の徑かな　靜雪
舟蟲や岩間巖洞群れ移り　同
甘蔗畑の住居の上の花火かな　同
日覆にけはしき風となりになり　同
日除にと筏かづらを這はせけり　素山
晝顔や濱林投の脚高く　同
花火見の座設けしたり船首樓　同
舟蟲の這ひ出し莫蓙を抱へけり　瓦全城
公園は窓の下なる花火かな　同
舟蟲や岩に當りし船の尻　同
窓毎に日除卸ろしてビルディング　玄外
にぎやかに日覆卸ろして港街　玄外
歸り路の花火間遠に揚りけり　同
日覆して甘蔗賣り居る土人かな　狂洋
大汐の晝顔浸す磯邊かな　同
晝顔や染布干したる一と流れ　玄德
屠殺場や晝顔からむ破れ垣　同
砂濱の晝顔踏みて歸りけり　岡元
舟蟲の欄干這へる港宿　同
晝顔や朽竹積める番社道　蒙人
負へる兒をゆすり上げつゝ花火見る　同
晝顔や舊砲臺の丘なだら　たけを
舟蟲や蠣跡白き汐干岩　同
晝顔や錠を下ろせる勝手門　石舟
高く張りし日除の下の露店かな　同
晝顔や揚竹筏のうつ伏せに　孕江
船宿の西日うけたる日覆かな　同
船窓や舟蟲這へる明り窓　同

◎募集　四季雜詠（十句）　締切毎月二十日
投稿先　臺北市東門町九七ゆうかり社
注意　時報俳句と明記のこと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣日誌

自七月二十二日
至八月二十日

七月

▼二十二日
・臺北州水產講習會蘇澳に開始
▼二十三日
・臺北實業會理事會を行ふ
▼二十四日
・臺南商工協會發會式を擧ぐ
▼二十五日
・一期米標準査定さる
・全島保姆講習會開催
▲二十七日
・總督府主腦部及地方長官人事移動發表
▼二十九日
・臺北實業會評議會を催す
▼三十日
・全島中等學校庭球大會開催
▼三十一日
・臺北市プールに於て水泳講習會開催さる

八月

▼一日
・赤十字衛生講習會高雄に開催
・臺北州女教員講習會を行ふ
▼二日
・臺北市實業會總會擧行
・臺北州水產會總代會を開く
▼四日
・故佐久間總督胸像除幕式を行ふ
・山岳會登山隊始めて大霸尖山絶頂を極む
▼六日
・七星郡役所新築記念展覽會を開く
▼八日
・臺北市公民教育講習會開始
▼九日
・臺北州勸業主任會議を開く
▼十一日
・全島體育講習會臺北に開始
・高雄州青年指導講習會を開く
▼十二日
・豐田內務局長著臺
▼十三日
・臺中州青年指導講習會を開く
▼十五日
・南部暴風雨に襲はれ被害尠らず
▼十六日
・臺南市協議會を行ふ
▼十八日
・地方長官會議總督府に開催
▼十九日
・地方長官會議終る
▼二十日
・臺中州產業組合講習會を行ふ

人事消息

加藤硯彥氏　七月二十四日著任
小林府事務官　八月一日上京外遊の途に就く
喜多孝治氏　八月一日赴任出發
辰巳少將　同日內地へ
島居技師　八月三日南洋方面へ出發
野口府事務官　八月七日歸臺
土性視學官　同上
横田農學博士　八月七日來臺
豐田內務局長　八月十二日著任
石黑文敎局長　八月十二日歸臺
川村專賣局參事　同上
佐藤參謀長　八月十五日著臺
深川遞信部長　八月十七日歸臺
古賀三千人氏　八月二十一日上京

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

川崎軍治氏　八月二十二日來臺
吉岡荒造氏　八月二十三日內地へ
坂本素魯哉氏　同上

任命

昭和十二年府報　自第百六十三號　至第百七十九號

○七月二十七日

任臺灣總督府法院判官
判事　籠海　隆

任臺灣總督府法院判官
判事　高柳　愿

（各通）　朝鮮總督府判事　上野　藹一
遠山　景一

任臺灣總督府法院判官
判事　小田村元彥

任臺灣總督府法院判官
（各通）　檢事　山本眞平
檢事　小倉榮吉

任臺灣總督府法院檢察官
臺灣總督府法院判官　籠海　隆

補臺北地方法院合議部判官兼臺北地方法院單獨部判官
臺灣總督府法院判官　高柳　愿

補臺中地方法院單獨部判官兼臺中地方法院合議部判官
臺灣總督府法院判官　上野　藹一

補臺中地方法院合議部判官兼臺中地方法院單獨部判官
臺灣總督府法院判官　遠山　景一

補臺北地方法院單獨部判官兼臺北地方法院合議部判官
臺灣總督府法院判官　小田村元彥

補臺北地方法院單獨部判官兼臺北地方法院合議部判官
臺灣總督府法院檢察官　山本　眞平

補臺北地方法院檢察官
臺灣總督府法院檢察官　小倉　榮吉

補臺南地方法院檢察官
臺灣總督府事務官　小林　光政

上京ヲ命ス

○七月二十八日

（各通）　臺灣總督府事務官　伊藤　兼吉
臺灣總督府地方理事官　岩崎眞次郎

依願免本官

○七月二十七日

臺灣總督府技師　石井信太郎

支那廣東へ出張ヲ命ス

○七月二十八日

臺灣總督府事務官　水越　幸一

總督官房審議室勤務ヲ命ス
臺灣總督府事務官　能澤外茂吉

內務局地方課長ヲ命ス
臺灣總督府技師　中村秀太郎

內務局土木課技事務取扱ヲ命ス
臺灣總督府事務官　能澤外茂吉

內務局長豐田勝藏不在中代理ヲ命ス
臺灣總督府地方技師　鈴木　外男

東京ヨリ栃木、宮城、石川、三重、大分ノ五縣下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府事務官　生駒　高常

普通試驗委員長ヲ命ス
臺灣總督府事務官　水越　幸一

普通試驗委員ヲ命ス
臺灣總督府事務官　水越　幸一

文官普通懲戒委員ヲ命ス
臺灣總督府事務官　淺野　安吉

殖產局附屬商品陳列館長橫光吉規不在中代理ヲ命ス
臺灣總督府事務官　淺野　安吉

殖產局附屬米穀檢查所長橫光吉規不在中代理ヲ命ス
臺灣總督府事務官　中瀨　拙夫

殖產局附屬商品陳列館長代理ヲ免ス

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○八月一日

臺灣總督府事務官　木原圓次

警務局保安課長小林光政不在中代理ヲ命ス

○八月二日

臺灣總督府交通局技師　北川幸三郎

東京、京都、大阪、神奈川、靜岡、滋賀、三重、和歌山、兵庫、香川、德島、高知ノ三府九縣下ヘ出張ヲ命ス

○八月一日

臺灣總督府警務局長　本山文平

總督官房臨時國勢調査部副部長ヲ命ス

○八月六日

臺灣總督府地方理事官　岩本多助

依願免本官

○八月一日

（各通）

臺灣總督府事務官　生駒高常

同　水越幸一

臺灣總督府專賣局參事　中島覺之

同　渡部慶之進

同　本多保太郎

臺灣總督府專賣官署共濟組合審査會委員ヲ命ス

臺灣總督府專賣局參事　杉本良

臺灣總督府專賣官署共濟組合審査會委員ヲ免ス

○八月五日

臺灣總督府交通局參事　深川繁治

上京ノ序ヲ以テ朝鮮ヘ出張ヲ命ス

臺灣公立實業學校敎諭　八尋確一

福岡縣下ヨリ熊本、大分ノ二縣下ヘ出張ヲ命ス

○八月一日

臺灣總督府事務官　角田廣次

臺灣總督府訴願審査會員ヲ命ス

臺中州知事　佐藤續

臺灣總督府訴願審査會員ヲ免ス

臺灣總督府地方理事官　古澤勝之

臺灣總督府訴願審査會書記ヲ免ス

○八月七日

臺灣總督府事務官　野口敏治

文敎局長石黑英彦不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府事務官　坂口主稅

文敎局長代理ヲ免ス

○八月九日

臺灣總督府在外研究員　田中長三郎

在留國中丁抹及獨逸ノ二箇國ヲ追加ス

○八月一日

（各通）

臺灣總督府內務局長　豐田勝藏

臺灣總督府殖產局長　高橋親吉

臺灣總督府事務官　角田廣次

同　猪俣一郎

臺北州知事　三浦碌郎

市區計劃委員會委員ヲ命ス

（各通）

臺灣總督府地方理事官　田端幸三郎

同　長谷川銕郎

市區計劃委員會臨時委員ヲ命ス

市區計劃委員會委員　中村秀太郎

市區計劃委員會幹事ヲ命ス

（各通）

臺灣總督府內務局長　豐田勝藏

臺灣總督府交通局總長　木下信

臺北州知事　三浦碌郎

臺灣總督府殖產局長　高橋親吉

臺灣總督府事務官　水越幸一

臺灣總督府稅關長　大竹勇

臺灣總督府事務官　角田廣次

臺灣總督府專賣局技師　上妻理人

臺灣總督府專賣局參事　本多保太郎

中央研究所評議會員ヲ命ス

（各通）

臺灣總督府內務局長　豐田勝藏

臺灣總督府殖產局長　高橋親吉

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣總督府事務官 水越幸一
同 角田廣次
臺灣中央衛生會委員ヲ命ス
臺灣總督府事務官 角田廣次
臺灣中央衛生會幹事ヲ命ス
臺灣總督府事務官 角田廣次
臺灣地方病及傳染病調査委員會幹事ヲ命ス
臺灣總督府事務官 角田廣次
臺灣總督府產婆試驗委員ヲ命ス
市區計劃委員會委員 能澤外茂吉
市區計劃委員會幹事ヲ免ス
臺灣總督府地方理事官 石川定俊
市區計劃委員會臨時委員ヲ免ス
臺灣總督府專賣局參事 川村直岡
中央研究所評議會員ヲ免ス

○八月十三日
臺灣總督府醫院醫長 右田吉人
兼任臺灣總督府技師
公立中學校教諭 堀野竹松
任臺灣公立高等女學校教諭
(各通) 濱口永雄
山岡重貝
任臺灣總督府法院判官
新竹州郡屬 牛田健太郎
任臺灣總督府地方理事官

○八月十三日
臺灣總督府技師 右田吉人
警務局衛生課勤務ヲ命ス
臺灣公立高等女學校教諭 堀野竹松
補臺北第一高等女學校教諭
臺灣總督府法院判官 濱口永雄
補臺北地方法院單獨部判官兼臺北地方法院合議部判官
臺灣總督府法院判官 山岡重貝
補臺北地方法院新竹支部單獨部判官兼臺北地方法院新竹支部合議部判官
臺灣總督府地方理事官 牛田健太郎
高雄州勤務ヲ命ス

○八月十五日
臺北州屬 楠本順作
任臺灣總督府地方理事官
臺灣總督府醫院醫長兼臺灣總督府技師 右田吉人
依願免本官竝兼官
臺灣總督府地方理事官 牛田健太郎
依願免本官

○八月一日
(各通)
臺灣總督府內務局長 豐田勝藏
臺灣總督府殖產局長 高橋親吉
臺灣總督府技師 中村秀太郎
同 色部米作
臺灣總督府事務官 猪俣一郎
水利委員會委員ヲ命ス
臺灣總督府技師 中村秀太郎
水利委員會幹事ヲ命ス
臺灣總督府事務官 角田廣次
臺灣總督府州及廳警部、警部補特別任用考試委員ヲ命ス
臺灣總督府事務官 角田廣次
臺灣總督府警察及刑務所職員語學甲種試驗委員ヲ命ス
臺灣總督府事務官 水越幸一
水利委員幹事ヲ免ス

○八月十三日
臺灣總督府交通局技師 圖子武八
東京、千葉、神奈川、靜岡、兵庫、香川ノ一府五縣下へ出張ヲ命ス

○八月十五日
臺灣總督府地方理事官 楠本順作
高雄州勤務ヲ命ス

○八月十六日
臺灣總督府地方警視 下川靜一
任臺灣總督府地方理事官
臺北州警部兼臺灣總督府屬 植田末熊

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

任臺灣總督府地方警視
　臺中州屬　菱沼宇平
任臺灣總督府地方理事官
　臺灣總督府地方理事官　楠本順作
依願免本官
○八月十五日
　臺灣總督府醫院醫官　渡邊四郎
高雄醫院長事務取扱ヲ命ス
○八月十六日
　臺灣總督府地方理事官　齊藤玄壽郎
補高雄市尹
　臺灣總督府地方理事官　今井昌治
臺中州彰化郡守ヲ命ス
　臺灣總督府地方理事官　下川靜一
高雄州東港郡守ヲ命ス
　臺灣總督府地方警視　植田末熊
高雄警察署長ヲ命ス
　臺灣總督府地方理事官　菱沼宇平
新竹州苗栗郡守ヲ命ス
○八月十七日
（各通）
　臺灣總督府技師　山田拍採
　臺灣總督府技師　樺本英太郎
東亞弗利加、マダガスカル及アビシニヤヘ
出張ヲ命ス

○八月一日
（各通）
　臺灣總督府內務局長　豐田勝藏
　臺灣總督府技師　中村秀太郎
　臺灣總督府事務官　猪俣一郎
官設埤圳補償審查委員會委員ヲ命ス
　臺灣總督府技師　中村秀太郎
官設埤圳補償審查委員會幹事ヲ命ス
　臺灣總督府事務官　能澤外茂吉
官設埤圳補償審查委員會幹事ヲ命ス
（各通）
　臺灣總督府技師　中村秀太郎
　臺灣總督府事務官　猪俣一郎
河川調查委員會委員ヲ免ス
　河川調查委員會委員　中村秀太郎
同　猪俣一郎
河川調查委員會幹事ヲ命ス
　河川調查委員會委員　能澤外茂吉
河川調查委員會幹事ヲ免ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

南支那及南洋情報

臺灣總督官房調查課

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

支那

南方鄭徐諸會議より北軍の反攻まで……一
支那共産黨の分北政策……四
岳維峻再起後の實力……五
暴力政治下の湖南……六
南京國民政府の所謂四新令……七
武漢南京相互利用の心事……一〇
中國穀物業の新發展……一一
中國の紡織品輸入調査……一四

比律賓

總督代理の第七回比律賓立法部に與へたるメッセーヂ……一九

佛領印度支那

印度支那の漆(一)……二四

暹羅

暹羅に於ける産業組合促進運動の成績……三一

馬來半島

馬來半島のガツタパーチヤに就て(續)……三八
海峡植民地の靜態統計……四三
一九二六年海峡植民地貿易概況……四四

蘭領東印度

一九二一―一九二六年に於ける外領よりのコプラ對外輸出……四六
一九二八年度豫算上に表はれたる蘭印官業……五一
蘭領印度立法行政法改正案蘭國議會に提出さる……五八

英領印度

一九二六年英領印度の産炭額……五九

情報

支那

□南方鄭・徐諸會議より北軍の反攻まで

馮軍二十萬唐・閻と聯合北伐　五月三十日潼關に成立せる國民黨中央政治委員會西安分會は第一回會議を舉行し、委員于樹德未だ到着せざるを除くの外、馮玉祥・于右任・楊明軒・薛篤弼・劉伯堅・郭春濤等皆出席し組織大綱を通過し、（一）軍事決議案。（イ）二十萬の將士を調集し唐生智・閻錫山の各部と會合し、勝に乘じて直ちに北京を搗くこと。（ロ）陝西に駐れる各將士は洛陽已に下るを以て均しく前敵に赴き命を效さんことを請へるを以て其戰線に加入するを許すこと。（二）前敵將士を慰勞する決議案。（三）黨務決議案、（イ）決定して第二集團軍總部より駐甘肅總部に轉達し、黨務人才二百人を選擇し、中山學院に入りて訓練せしむること。（ロ）陝西甘肅省黨部に令し將來の組織を整頓せしむること。（ハ）中山學院をして黨務組織班を增設せしむること。（四）農民運動決議案、（イ）人力と財力とを集中して東西大道に沿へる各縣分の農民組織を鞏固にすること。（ロ）農民運動の人才を作ること。（五）黨員を知事に任ずる案、（イ）各縣の縣長は應に多く黨員を用ふべきこと。（ロ）黨員は暫く開創的作業を成すこと。（ハ）第二集團軍總司令部より甘肅陝西に駐れる總司部及び河南西部道尹に訓令し、各縣行政人員をして多く黨の訓練を受けしむること。（ニ）各地の黨部より主義に明かなる老練なる黨員を選擇し、地方行政養成班に入りて行政事務を學習せしむること等を議決せり

鄭州會議に於ける馮派の勝利　六月二十日東方通信社の上海電によるに、鄭州會議は已に馮派の勝利に歸したるは武漢派が腹背に敵を受け居る弱點に因れりといふ。然れども南京方面の宣傳せる如き破裂とか危險に瀕せる譯には非ずと思はる。何となれば楊森軍は已に敗退し、夏斗寅は微々として實に武漢を進撃するの實力なければなり。

蔣・馮の妥協と見らるゝ徐州會議　六月二十日徐州に開會の會議には、蔣介石等は勿論馮玉祥も親しく出席し、此の外李石曾・吳敬恒及山西代表も皆參加せり。二十日夕刻蔣介石は馮及胡漢民 李烈鈞・李石曾・蔡元培等の各委員を饗宴して、蔣氏は今日馮同志及各委員と此處に相會晤するを得たるは洵に支那時局の一大轉機なりと云ひたるに、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

馮氏は三民主義に服從するを誓ふとの意を述べたり。當日會議々決事項は頗る秘密に附せられ、蔣氏及各委員は二十二日朝徐州を離れ去れり。（七月二十二・三日―上海電）

張・孫兩軍聯絡して反攻に出づ　山東軍は一たび兗州の守を失ひしも再び之を恢復したるが、七月二十二日濟南發電によるに、入籍の露軍一六五・一六六の二箇旅、及山東軍第六・第十三の兩軍は兗州に反攻し、黨軍陳調元部は大略退避し、孫傳芳軍の段・劉の所部も亦直に蒙陰等の地に向つて前進し、黨軍の右翼を攻めて山東軍を協助せんと謀りつゝありといふ。

蔣・馮の共同宣言發表　蔣介石・馮玉祥は徐州會議の後共同して宣言を發表して曰く、「我が先總理は清朝を推倒して中華民國を手造し、已に大に我が四億萬民衆を解放するの根基を定むと雖も、帝制式の軍閥興りて、外は帝國主義に結び、內は全國の國民を苦しめ、過來已に十餘年に及べり。願ふに是等の軍閥も亦吾人の意思に隨ひ、漸を以て土崩瓦解に卽かざるなし。而今尙ほ一部巍然として殘存せるものあり。（蔣）中正・（馮）玉祥と我が數十萬の將士とは同じく三民主義の信徒なれば、凡百の誘惑と凡百の困難と、及凡百の犧牲とは皆顧る所に非らず、誓つて帝國主義者を掃蕩して國民革命の使命を全くせんのみ」云々と。（六月二十四日―上海電）

馮氏の武漢派警告と反共訓令　馮玉祥は武漢派の將領に對して通電を發して曰く、「諸公と鄭州に在りて會議せる意見を綜合するに、武漢方面にては夥計に舖長を壓迫し、工人が雇主を脅迫し、小作人が地主を威嚇し、甚しきは土豪劣紳の藉りて出征軍人の家族を苦しめ、陽に國民革命の名に藉りて陰に恐怖政策を全國に布き、社會の根本を動搖せしめ、市民永く安堵の意なきに至る。玉祥の意、應にボロヂンを解雇し法を設けて之を歸國せしめ、其の武漢の國民政府委員の海外に赴かんと欲するものは資を與へて出洋せしめ、殘留者は南京政府と一致して北伐を決行せんこと、是れ予が希望する所なり」と。而して又西北軍政治部長劉伯堅に向ひ一訓令を發して反共產の意を表示し、（一）今後革命軍勢力範圍の內に在りては、政治部員に屬すと雖も亦秘密計畫或は會議を爲すを許さず。（二）須く絕對に國民黨代表及總司令の命令に服從すべし。若し是に反して三民主義に違背するの宣傳を爲すものは、卽ち拘捕して銃殺せん。（三）政治部各部長は須く絕對に上級長官の命令に服從し、國民黨代表及總司令指揮の下に在りて活動すべし。然らざれば卽時に免職して懲辦せんと訓令したり。（同上―日徐州電）

奉天派の對徐州會議對策と京漢・津浦線戰局　奉天軍の徐州會議に對する軍事計畫は主として楊宇霆より策を立て、戰線の區域南北は張家口・保定間約六百支里、東西は保定・德州間約四百支里にして、此の區域內に於ける要所に配置せる兵力は依然變更する所なかるべく、幸にして戰ひ勝たば再び南方に向つて積極的行動を開始すべく、不幸にして失敗せんには退いて山海關を守るも未だ晚しとせざるの見解

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

な有せり。而して山西の閻錫山は徐州會議の後間接に馮氏と聯絡せるも、絶對に馮軍の山西に入るを防ぎ、其の他に關しては略ぼ馮氏と共同動作を許し居れば、京漢線方面の戰事は暫らく發展を見ざるべし。然るに津浦線方面の戰局に至りては重大は重大なるも、同方面なる山東軍は依然として韓莊臺兒莊の線を固守し居り、隴海路沿線に移駐せる孫傳芳軍は、孫傳芳の南下に因りて復た其の陣容を新にし、山東の東南部方面に在りては、孫軍の白寶山 馬維剛の軍が南方に投降し、周蔭人は意見合はざる爲め辭職したるも、盧香亭・孟昭月等の軍隊は尙ほ鞏固の結合を保持し、張宗昌との關係も亦極めて圓滿なり。（六月二十四日 - 濟南電）

武漢政府の河南・陝西・甘肅三省委員任命　武漢政府は六月十三日附を以て河南省政府委員を馮玉祥・孫岳・鹿鍾麟・薛篤弼・靳雲鶚・方振五 凌勉之・劉治洲・戴修瓚・梁壽愷・劉鎭華とし、馮玉祥を主席とす。又鹿委員に河南省政府民政廳長を兼ねしめ、薛委員に同財政廳長、凌委員に教育廳長、劉委員に建設廳長、戴委員に司法廳長を兼任せしめたり。又陝西省政府委員を于右任・鄧寶珊・石欽立・李元鼎・石敬亭・井岳秀・過之翰・惠有光・楊虎城・段韶九・王授金・鄧長耀・嚴莊とし、同時に于右任を主席とし、鄧長耀に陝西省政府民政廳長を兼ねしめ、嚴莊に同建設廳長、過之翰に財政廳長、楊虎城に教育廳長、沈韶九に司法廳長を兼ねしむ。又甘肅省政府委員には劉郁芬・宋哲元・楊慕時（兼財政廳長）・胡毓威（兼民政廳長）・馬鶴天（兼教育廳長）・趙元貞（兼建設廳長）・蔣駿傑（兼司法廳長）・馬麒・許鴻過を任命したり。

（六月十四日 漢口電）

紅槍會の行動は北軍に不利　張宗昌は山東軍の至る所に紅槍會出沒し頻る北軍に不利の行動あるを以て、遂に先づ之を殲滅して戰事の牽制せらるゝことなからんを企圖し、六月二十三・四日の二日に於て膠縣同會々員約七百名を獲、內三百名を斬殺したりといふ。

張・孫山東保全に力を盡す　山東戰線に在る山東軍と孫傳芳軍とは從來聯絡なく又鬪志なき爲め、屢々敗退し終には山東省を南軍に蹂躪されんを恐れ、孫傳芳と張宗昌とは一致團結の必要を感じ、山東軍は總司令部を兗州に設け、其の前線は臨城に在り。孫軍は高密・郎邪・諸城等の處に散布せるが、是等の部隊已に主として津浦線に集中し、張宗昌自身は目下兗州に在りて山東軍を整理し、孫傳芳は現に高密方面より諸城に向ひ出立せり。乃ち是等兩方の聯絡完成を待ち直ちに南軍に對して猛烈なる反攻を行ふべしといふ。要するにやゝ訓練ある孫傳芳軍を以て主力と爲し、前線に在りて直接戰鬪に任ぜざれば長驅直進せる南軍を破らんと欲するは誠に容易ならざるに似たり。故に六月二十八日の山東軍署に於ける大會議にては張宗昌・孫傳芳・李藻麟・命壽長・師景雲・徐源泉等列席の上、孫軍前線に赴き先鋒に任ずることを議決し著々反攻の實を擧ぐることゝなれり。

（六月三十日 - 濟南電）

□支那共産黨の分化政策

我等は常に左派・右派・新左派・新右派・極左派・極右派・穩健派等の口號を聽きつゝある。　支那の共産黨が暗中に政權を把持せる時に在つては、我等にして若し少しにても彼に疑を懷くか或は自己の黨を區別するを願はない時は、いつも彼等の痛棒を受けたり、或は支那共産黨から反革命派といふ名を附け離されねばならない。

我等は詳に考へねばならない。　我等が國民黨に入黨した時は、左の國民黨・右の國民黨・或は新左の國民黨・新右の國民黨あることを見たかどうかを。若し之れありと認めんには、卽ち左の孫中山・右の孫中山・新左の孫中山・新右の孫中山ありとする譯で、　我等の總理たる孫中山を一截・一截・一斷・一斷と截ち切るのである。　此の點に對し我等はかゝる事なしと相信じて居る。　我等は相信じて居る、入黨の時は確かに一箇革命の國民黨を認めて加入したので、卽ち一個孫總理の主義を認めて信仰して居るのであることを。

しかるに我等が國民黨に入黨して後假面具を着けた、支那共産黨から國民革命の大路を阻止され、我等を強迫して側方なる不適宜客觀的要求の曲道に推し行られた。　一般に勇敢直前する忠實な同志は皆支那共産黨に排斥されて以外の一側邊に逐ひやられ、同時に右派とか極右派とか、新右派・穩健派等の稱號を附與せられた。

我等は彼等が言ふ所の右派とか穩健派とかは到底これ反革命でなく或は不革命でないことを知ることを要す。　然るに彼等の意中は右を卽ち反革命とし、穩健を不革命と確認して居る。　但し直接に反革命又は不革命とは言はないが、彼等は專ら種々の稱號を附け來りて、黨員をして甚だ堪へ忍び難からしめるやうにする。　彼等が此種の伎倆を施用するのは一體何の用意あつて然るか。　甚だ簡單に答へて曰はゞ此れ卽ち彼等の分化政策であると謂ふを得ん。

分化政策は支那共産黨が國民革命を破壞する唯一の政策である。國民黨は主義あつて團體化せるものであるから、黨員自身を機器の一部分と考へ、あるは機器の臺となり、あるは機軸となり、又あるは水となり、石炭となり、合作して別に意見を立てず、卽ち合一して力量を發生するを以て能く敵と相對して肉薄するのである。　然るに支那の共産黨はレニンの說卽ち共産黨々員の專政といふ使命を受け繼いで居る。　故に懸命になつて我等の完全なる國民黨を七分八裂ならしめるのである。　試に問はん、完全な機器も甲の一部乙の一部と分たんにはそこに何の力量を發生し得るかと。かくては何人に論なく皆不可能と答ふの外なかるべく、而して支那共産黨自身も必ずや認めて不可能なりとするに違はない。　此れ卽ち彼等が別に野心あつて此の完全な國民黨を消滅して完全なる共産黨を建設せんと想ふに在るのみ。故に甚だ努めて此の分化政策を行ふのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

かくて遂に我等は四月十六日より以後、此の國民黨を擧げて彼の支那共産黨に對し宣戰を布告した。彼等の分化政策は已に效力を失ひ、我等の忠實なる國民黨々員は益々團結し來り、帝國主義を打倒し奉天系軍閥を打倒し、總理に背叛した支那の共産黨を打倒せよ此れこそ我等が最近最重要の作業である。

（國民革命軍畫報創刊號—乙乙氏）

□ 岳維峻再起後の實力

岳維峻は今次第二軍全體將領李雲龍・衞定一・田玉潔・鄧寶珊・馮子明等の推戴を受け已に國民聯軍南路總司令職に就き、早くも所部を率ゐて荊紫關に至り、南陽襄陽に向ひて前進せり。駐陝聯軍副司令鄧寶珊も亦于右任を棄てゝ岳氏の參謀長及前敵總指揮に就きたれば、此れ最近陝西の大變化と謂ふべし。岳氏は中山主義の信徒にして鄧・田・李・楊・衞・馮は又皆陝軍中堅の分子なるに、今や既に内部を統一し、革命事業に努力することゝなりたれば其の北伐大計に影響すること實に淺鮮に非らず。茲に岳部の實力及駐防地點を調査し之を左に開陳せん。

一、楊　彪　國民聯軍第九路總司令　靈・寶・陝州に駐る　兵力一萬五千　銃器一萬四千挺

二、李雲龍　國民聯軍第八路總司令　前國民第二軍第十師々長　鄠縣に駐る　兵力約一萬八千人　銃器一萬五千挺

三、田玉潔　國民聯軍第十一路總司令　前國民第二軍第三師々長　三原に駐る　兵力約一萬人　銃器八千挺

四、衞定一　國民聯軍第十二路總司令　前國民第二軍第十八師々長　醴泉鳳翔に駐る　兵力約一萬二千人　銃器九千挺

五、鄧寶珊　國民聯軍第十七路總司令　前國民第二軍第七師々長　淳化に駐る　兵力約六千人　銃器四千挺

六、井岳秀　國民聯軍第十路總司令　楡林に駐る　兵力約六千人　銃器五千四百挺

七、馮子明　國民聯軍南軍總司令部獨立師々長　前國民第二軍第八師々長　富平に駐る　兵力約五千人　銃器四千五百挺

八、姜宏謀　國民聯軍南路總司令部獨立第二師々長　前國民第二軍第十師旅長　仍ほ李雲龍より節制し南陽に駐る。兵力約六千人　銃器六千挺

九、胡景銓　國民聯軍南路總司令部獨立第三師々長　前國民第二軍第一師旅長　商州に駐る　兵力約五千人　銃器四千五百挺

十、侯吉人　國民聯軍南路總司令部獨立第四師々長　前第二軍旅長　淅川内鄉に駐る　兵力約四千人　銃器三千三百挺

十一、井秀山　國民聯軍南路總司令部衞隊師長　前第二軍第二師旅長　藍田に駐る　兵力四千人　銃器四千挺

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十二、高　俊　國民聯軍南路總司令部獨立第五師々長　前第二軍第二師旅長　醴田に駐る　兵力約五千人　銃器四千二百挺

（七月十六日新聞報內安通信）

□暴力政治下の湖南

本年二月以來政治的・社會的の總ての權力が共產黨の手に落ち、下層無產階級を味方とし、暴力を以て總ての制度を破壞し・何等の實質的建設なくして進みつゝありし湖南に於ては、四月七日日本人の引揚げ後省農民協會・省總工會の名を掲ぐる無產暴力團の勢力頓に昂り、之を操縱する省黨部・市黨部等は反つて此の暴力團より驅使せらるゝに至り、省政府の役人・軍隊・警察も此の暴民の威力に畏縮し・農民協會・總工會の主張は如何なる橫暴も實行通過せられる狀態となつた。是等協會・工會の名義は國民黨の建國大綱に基くものなれども・其の實質は無賴漢匪賊の集團と化して・純正なる國民黨を苦しめ、官憲を惱まし、資本家を打倒し、智識階級を逐ひ・良民を虐げ、產業を破壞し、金融を毀ち、交通通信を妨げ、人を殺し強盜を行ひ、敎育を破壞し、一時は全く秩序安寧なき暴力の獨裁する恐怖時代を演出するに至つた。

五月二十一日事件　湖南軍隊は四月以來多くは河南方面の戰場に送られ留守兵力の寡弱なのに乘じ、暴民共の手は「削除貪官污吏」「打倒土豪劣紳」の範圍を擴大して、戰場に在る將校の家族縁者をも或は殺し或は苦むるに至つた。例へば彼の唐生智の父を苦めて多大の金を捲り、第三十五軍長何鍵の伯父を殺したるが如き卽ち是である。其の他將校の留守宅を襲ひ、家族を苦めたことも甚だ多く、革命將士までが之が爲め心中に怒り共產派過激分子及び無賴漢暴民に怨を懷くに至つた事實も尠くはなかつた。かくて無產階級の暴力は五月二十一日軍隊の留守隊を襲ひ、兵士の武裝を解除し武器を刼奪せんとした。是に於て軍隊と暴民との衝突となり、團長許克祥・周榮光は遂に軍隊に命令して暴民を射殺して其の幹部を捕縛せんとしたので、流行の共產黨分子も狼狽の餘長沙を逃走し、一時其の姿を晦してしまつた。隨つて、省政府の高級官吏、省黨部、總工會、農民協會の幹部連中にして共產黨員たるものは同じく長沙より姿を消してしまつた。之を五月二十一日事件と云ふ。

五月三十一日事件　一旦長沙市外へ退去した暴民及び共產黨員は、地方農民及び無賴漢・匪徒を狩り集め、五月三十一日を期して長沙市奪回を企て、千餘の暴民軍を以て長沙に進攻し來つた。是に於て軍隊は之に應戰し、各處に於て之を擊破して市外に四散せしめたが、市內の現在兵力は四・五百名に過ぎずして不安ながら戒嚴令を布き治安の維持に任じ、共產黨が四散せし後に、國民黨の穩健分子及び省政府

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の國民黨系人物を以て湖南救黨委員會を組織し、共產黨の罪惡を列擧して國民黨の政治を布くことを布告し民心の安定を計つて居る。

各地方の軍隊と暴民の睨合ひ　湘潭・常德地方に於ても五月二十五六日の頃より各衞戍の軍隊は、農工暴民過激分子の捕縛射殺を行ひ、互に敵對の狀態に在る。されど湖南全省に殘留せる警備の兵力は僅に三團を出でない程なれば、留守省政府要人等不安の餘、今後の解決方について唐生智武漢中央政府及び中央黨部に實狀を具し、對策申請中なるが如し。

土匪と貧民ばかりの湖南　暴民のみ力を得たる四月以來各地商店主は大部分他に逃亡し、殺されたるものも多く、現在は使用人のみの管理となり、商品の仕入れとしてはなく、現銀集中條例施行の結果、不換紙幣流通の爲め物價騰貴し商業の不振となりつゝあり。又工業も紡績・錫・亞鉛の精錬の事業の如き工會の管理となり、生產品の販路は固より意の如くならない。又船舶業の如きも、日・英・米の船舶不通となつてから、支那經營の小規模汽船會社は小船舶を航行させて居るが、輸送力極めて不十分である。隨つて往時の民船交通時代を偲ばしむるに足る。又人民生活の必需品なる米・鹽の如き、農村の亂脈と金融の不便との爲め民食を充たすに足らない結果を見んとするの狀況である所に上の如きのみならず、古來「兩湖稔れば天下足る」とまで唱はれた農業も、農民協會無賴漢の橫暴により、大小地主の逃亡となり、地權平均の聲は各人をして土地愛著の念を減退せしめ、耕作不熱心となり、農村の疲弊甚しいから將來の悲むべき結果は想見するに餘ることであらう。

苛斂誅求に苦む民心　支那は由來直接稅を輕減して間接稅を多く徵收するの國である。然るに革命以來產業の破壞・通商貿易の減退となり、間接稅の收入は非常に低下したから、政府は稅目を增し直接稅にも加重を爲すの必要を生じた爲め、最近に至り本年四月頃の約倍額の重稅を課する樣になつた。されば一般人民は苦痛の餘り却つて舊時の軍閥政治を望む有樣となつた。

黨化教育偏重と不結果　革命後黨化教育に重を置き從來の教育を資本家の教育有閑階級の文化教育なりとして之を排斥し、教育課目を變更した爲め、人民の子弟は彼の智識を養ひ得るのみで、圓滿なる教育の眞目的を沒却するに至つた。

將來の湖南は赤化・土匪化・貧民化と外人輕侮の傾向增大せん。

（七月九・十六日—支那事情）

□ 南京國民政府の所謂四新令

南京國民政府は七月二十三日附を以て（甲）國定入港關稅暫行條例（乙）國內通過稅裁撤條例（丙）出廠稅條例（丁）國民政府國定稅則委員會略章程を公布し、前の三令は皆九月一日より施行し後の一令は呈准の日より施行する事とせり。今左に各令を譯出して參考に資せんとす。

（甲）國定入港關稅暫行條例

第一條　外國貨品が本國通商各口岸に運入せらるゝ時は本暫行條例に依り稅金を取立つ。

第二條　前條の貨品は現品は現行稅則により百分の五を課するを除くの外、別に稅金を取立つること下の如し。普通品は百分の七・五、甲種奢侈品は百分の十五、乙種奢侈品は百分の二十五、丙種奢侈品は百分の十七・五、現行入港稅則に從量稅と規定せるものは即ち從量にて稅を取立て、從價稅と規定せるものは即ち從價にて稅を取立つ。

第三條　本暫行條例施行の日より起り、其の現行の入港貨二分五厘附加稅及奢侈品附加稅は之を廢止す。

第四條　第二條に稱する所の甲乙丙三種奢侈品の品目表は別に之を定む。

第五條　入港稅を納るべき貨品は甲乙丙三種奢侈品を除くの外、皆普通品とす

第六條　入港禁止違背品、免稅品及特許免稅品は暫く現行章程に依りて辦理す。

第七條　本暫行條例の規定は陸路邊境各關にも之を適用す。

第八條　本暫行條例は民國十六年九月一日より施行す。

（乙）國內通過稅裁撤條例

第一條　國民政府は民困を減除し、稅制を整理せんが爲め、所有國內の通過稅は中央の收入と地方の收入とに論なく、悉く裁撤す。

第二條　內地にて裁撤すべき各項通過稅は左の如し。

イ、釐金統捐統稅・貨物稅・鐵道貨捐・郵便小包釐金

ロ、商埠・五十里內外常關稅及其他內地常關稅。但し陸路邊境常稅の取立つる所、國境入出港稅は此の例に在らず。

ハ、正雜各稅捐中の通過稅性質を含有せるもの。

第三條　海關の裁撤すべき各項通過稅は左の如し。

イ、子口稅。

ロ、再入港稅。

ハ、甲港より乙港に到るの出港稅

第四條　落地稅は通過稅と一併に裁撤す。

第五條　陸路邊境常稅の國境入出港稅を徵收するものを改めて陸關と稱す。其の稅の取立は國定入港關稅暫行條例及現行出港稅則に依りて辦理す

第六條　沿海常關の國境入出港稅を徵收するものは財政部より分別して海關に歸併し、或は海關をして改めて子卡を設けしむ。

第七條　本條例施行の日より起り、もし名義を假藉し、前に仍りて第

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二條第三條及第四條に指す所の各税を徵收せるものあらば、査出審訊し實に屬するときは、收むる所の税金を追繳し本人に返還するを除くの外、並に處するに一等より三等に至る有期徒刑を以てし、仍ほ科するに一萬元以下の罰金を以てするを得

第八條　軍人にして前條の罪を犯すものは該管軍事機關より審訊して之を處罰す

第九條　本條例は民國十六年九月一日より施行す。

(丙)　出廠税條例

第一條　凡中華民國境內、中外各工廠製造の貨物は本條例に依り出廠税を完納す。　前項に稱する所の工廠は須く電力汽力或は水力發動機器を用ゐ、而して工人十人以上に在るものを指して言ふべし。

第二條　出廠税の税率は製造品の性質及種類に依り、入港税率を適用し以て國幣を以て折合し徵收す。

第三條　凡入港税則に未だ載せざる貨物は税則相類似せる貨物税率に依り、當地の卸賣市價を該計して徵收すべし。

第四條　各省の出廠税は財政部より委員を派し、管理局を設けて徵收す。

第五條　出廠税を完納せる貨物は、本國境內に在りては概して再徵を免す。

第六條　凡出廠税を完納するの貨物にして、其の原料購運の時に在りてもし已に徵税されたるときは、應に前の原料税款を還附すべし。　其の還附の標準及辦法は別に之を定む。

第七條　出廠税を完納せる貨物は出港して外國に運往する時、該關より出港海關に向ひて第九條に載する所の出廠單を呈出し憑證を換領すれば、直ちに出港し再び完納せざるを得。

第八條　徵收機關は所屬區域內各工廠の製造及其の貨物の積存及出入に對し查核するの權あり。　各工廠もし隱匿して報ぜず或は報告實ならざるものあらば、其の應に徵收すべき税數に依り、科するに十倍以下の罰金を以てするを得。　其の犯罪行爲あるものは仍ほ法廷に送交して辦理せしむるを得。

第九條　出廠貨物は本棧に運赴し或は該管徵收機關の指定せる貨棧に堆存すれば第十條に依りて辦理するを除くの外、須く先づ該機關に報由し員を派して驗估し税單を給與し數の如く税款を完納せしめ、再び出廠單に掉換し始めて出廠を許すべし。

第十條　出廠貨物を本棧に運赴し、或は該管徵收機關の指定せる貨棧に堆存したる時は、出廠前に於て税款を完納し、單を受取り運出するを得。　但し出廠の時は應に先づ該機關に報由し員を派して驗明し存單を給與して始めて搬運出廠するを許すべし。

第十一條　第九條第十條の規定に違背し、擅に自ら出廠出棧し、或は定章に遵りて出廠税を完納せざるものは、一たび査獲を經ば貨物全數を沒收す。

第十二條　出廠單の定式は三聯とし、財政部より印發し、各徵收機關より査覈填給し、第一聯は經管徵收機關に存し、第二聯は月々に彙齊して財政に送り、第三聯は出貨人に發給す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第十三條　商民が徵收機關爲す所の處分に對し認めて違法と爲し、或は税則條文の解釋に對し異義ある時は、一面には税則によりて納税し、一面には法に依りて訴願を提起するを得

第十四條　商民が徵收機關の估する所の貨類貨價に對し異義ある時は、該機關に向ひて抗議を提出し評價委員會を組織して之を裁決せしむるを得。評價委員會規則は別に之を定む。

第十五條　出廠税施行細則は財政部より部令を以て之を定む。

第十六條　本條例は民國十六年九月一日より施行す。

（丁）國民政府國定税則委員會略章程

第一條　本會は名を定めて國定税則委員會とし、直ちに國民政府財政部に隷す。

第二條　本會職掌は左の如し。

イ、國定入港税則を擬定する事項。

ロ、現行出港税則修正事項。

ハ、互惠協定籌備事宜。

第三條　本會には委員長一人、副委員一人、委員五人を置き、財政部より文書を以て之を聘し、或は之を委派す。

第四條　本會は第三條列する所の各事項を辦理するが爲め、股を分ちて事を辦ずるを得。其の股長は委員長より委員中に就き之を指派兼任す。

第五條　本會は調査研究の必要の爲め、專門委員若干人を設け、委員長より國内外税則專門家に就き之を聘任するを得。

第六條　本會には事務員若干人を設け、委員長より派充し事務を助理せしむ。

第七條　本會の議決草案は財政部長より國民政府に提交し核准施行す。

第八條　本會辦事細則は別に之を定む。

第九條　本會は呈准の日より施行す。

□武漢・南京相互利川の心事

曩に武漢政府が南京事件を惹起したのは、蔣介石を苦境に陷ゐらしめん爲めであつたが、意外にも其の結果はたまく自ら禍根を養つたに過ぎなかつた。抑も蔣介石は始よりして共産主義を以ては自己の目的を達するに足らないことを知つて居たから、其の北伐出征の始に當り、共産黨が國民黨内に在つて勢力を擴張するを許さず。而して愈々共産黨を驅逐するの決心を堅めたのは南京事件以後である。蓋し此の南京事件に依つて蔣は始めて共産派の行爲が全く支那の事情に適せず、若し之を容認すれば必ず自己の目的に於て障碍を發生すべきを知りたるを以てゞある。しかも是より先武漢政府が共産黨員を使嗾して反蔣せしめたことも不明の事實であるから蔣は自衛策の爲め之

と相對抗して之を撲滅するの必要あるを認め、それが亦頗る内外の同情を博したと同時に北京方面の討赤行爲も亦深く内外の信望を得たのである。是に於て武漢政府も此の情勢に鑑み、直ちに其の共產主義を利用して地盤を獲、而して反蔣運動を助くるの方針を抛棄し俄に反共產の主張に出で、共產黨撲滅行爲を採つた。かゝる利用策は武漢派諸士のみならず、蔣氏も又同樣の行爲なきにあらず。唯之を行ひしに前後の別ありしばかりである。更に數年前の情形より觀るに付て孫文氏が共產黨を入黨せしめたのも、其の心事に疑なき能はず。蓋し共產主義と三民主義とに就いて比較觀察するに其の、互に提携終始する能はざるは極めて明瞭な事であるからである。故に惡意に解釋すればば孫氏の初意或は亦共產黨を利用するの意ありしやも知れない。果して然らば武漢派政治家の爲す所と蔣氏の爲す所とは皆孫氏の爲さんと欲せし所のものと謂ふべし。然るに善意に解釋すれば孫氏はボロヂンを一の革命技師と視ガロンを一の戰鬪技師として之を雇用したに過ぎないのであると思はれる。而して一方共產派が漸次勢力を增大したのも、亦共產派自身が國民黨を利用し成功の結果たるに過ぎない。之を要するに他人を利用して己が用に供し、其の利用する能はざるに及び又之を棄てゝ敝履の如くするは支那傳統的の策略であつて、古人の所謂夷を以て夷を制するものである。

（八月二十六日―順天時報）

□中國敷物業の新發展

一九一二年、米國方面の顧客の、極東に旅行せる時、中國の當時の敷物少數を購入すべく決し、之れを北米に持ち歸り、彼等の店舖内に陳列せしが、之れ中國敷物の米國に輸送せられたる始めなり。今日に及び、敷物の一品は、已に米國向け輸出の大口品の一となれり。本年上半期中に於ける輸出總額は、合計米金五、二六一、三八三弗にして、其の發展の速なることは、殊に驚異に堪へざる所なり。蓋し一九一二年販路を擴張せし以來、今日迄で十餘年を經たるに過ぎざれども、竟に此の成績を收め得たるは、實に敷物史上に價値ある記錄を印せるものと云ふべし。近年米國の工業家は、是れに對し激烈なる競爭を始めたり。然れども彼等は自から中國品の品質優良に、職工の賃銀低廉に、且つ其の作業頗る緻密なるを以て、競爭に勝算無きを知れり。是に於いて彼等は聯合して華盛頓に赴き、敷物の輸入税率を增加し、國產品を保護して其の販路を擴張すべく請願せり。

我が國（中國）の敷物業は、固より極めて發達せるものなれども、然かも資本、技術及び營業方法等に至りては、殆んど中國に旅行せる米國人に依賴せざる無し。一九一八年一箇年間は、織工中に一時的利益を圖るものありて、敢へて品質の粗惡にして且つ作業の拙劣なる二等品を製織し、市場に提供し、以て利益を得んと欲せしかば、之れに

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

より中國の敷物業の名聲は、忽ちにして失墜せり。其の後幸に欧米に留學せる學生の歸國せるものありて、是等の情況は、直ちに自殺すると同樣なりと爲し、國人（中國人）の自覺し、至急挽回策を樹て、以て西洋人方面貨主の信用を恢復すべしと提唱せしかば、是に於いて始めて漸次舊觀に復せり。敷物工業の、第一回に大いに進歩し得たる時期は、卽ち欧洲大戰の際にして、波斯・土耳其の兩處より來る敷物の全然絶へ、我が國（中國）の途に之れに代りて興れるものに係り、時は卽ち一九一五年なり。而して一九一二年若干の試買者現れ、少額の金錢を以て我が國（中國）製造の敷物を購入し、玩弄に供せしが、是れ此物の名を米國に知らしめたる始めなるものゝ如く、此の時期以前に在りては、敷物業は、我が國（中國）に在りても尙默々として聞く處無かりき。

欧洲大戰の終局を告ぐるや、米國には第一に中國製敷物を購入し、小亞細亞よりの出品に代用せし結果、天津より輸出する羊毛敷物及び普通敷物は、共に日に日に盛となり、途に米國に於ける敷物市場の中心を爲すに至れり。蓋し天津全部の輸出品中、米國に仕向けらるるものは、少くとも百分の九十を占むる狀態なり。其の逐年の輸出總額は、卽ち左表に示すが如し。

	平方尺	價額（米金弗）
一九一五年	三一七、六三一	二〇五、三一二
一九一六年	九一七、五〇九	八六七、八五二
一九一七年	七一四、三一二	七六二、〇二二
一九一八年	八二五、九三〇	三三三、一一七
一九一九年	七四三、五一四	八二〇、〇三二
一九二〇年	一、五二九、六六八	二、二三六、四五八
一九二一年	二、一一九、三九二	一、三三六、八〇四
一九二二年	三、九七三、九八七	二、一九三、七八五
一九二三年	四、二九三、二五二	三、一七四、三一五
一九二四年	五、一四五、一三八	四、二〇九、八七八
一九二五年（七箇月）	三、一五〇、四二三	二、七一三、四八七

上記の數字は、僅かに輸出の價額を表示せるに過ぎず、此の外尙輸入商・卸賣商・小賣商等の利益を加算せざるべからず、且つ水陸の運輸費も亦此内に含有せるを以て、中國敷物の米國の該業市場に於ける地位は、實に重要なるものなり。

此表を觀れば、十一年間に於ける此業盛衰の經過を明にすべし。最も先の一年間の總額は、米金二〇五、三一二弗にして、卽ち三年前旅行買主の嘗試的に購入せし以來、漸次發展せるものに係れり。蓋し一九一五年以前に在りては、波斯・土耳其產敷物の尙未だ斷たれず、同年に至り、始めて中國敷物の之れに代り興れるなり。故に翌年の輸出總額は卽ち著しく增加して米金八六七、八五二弗に達し、次年の差異は、亦僅かに米金十萬弗に過ぎざるなり。

此の一時期中に於いて、多數の新工場相繼で設立せられ、同時に米

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國の需要も亦愈々旺盛を極め、價格は著しく騰貴し、天津及び北京の兩處に於いては、一尺の價格は、八角半より起り、一元五角となり、而して二元七角半となり、更に又三元五角となれり。之れにより市場に供給せらる數量は著しく增加せしかば、爲めに在庫品庫に充滿するに至り、一九一六年下半期より一九一七年に至る間は、平均敷物百件に付き、米金にて一弗半乃至二弗の下落を示し、而して敷物の品質も亦較や劣變するに至れり。織主は此種の在庫品を順次一掃すべく顧慮せしが、不幸にして輸出後、卽ち逡巡の厄に遇ひ、市價は愈々形勢不振となり、資本の薄弱なる工場は相繼ぎて倒産するに至りしが、一九一八年の初期に至り、米國商は一尺に付き、米金一弗二十仙を以て購入するに至れり。爲めに敷物業の利益は此數年間に見ざる少額となり、該業の占むる地位は甚だしく不利益となりしが、是れ卽ち該業の盛況より衰況に入れる時期なりとす。

此一回の粗惡品混入により、米國の買主は頗る之れを嫌惡し、再び購入する事を欲せざるに至れり。是に於いて米國の敷物業は、卽ち群起して活動し、此後に於ける其利の獨占を謀り、中國をして再び染指することを能はざらしめたり。此時我が國(中國)に於ける該業前途の希望は、綿々として絕へんとせしが、幸に外國より米國式訓練を有せる靑年學士を得たるを以て、時機の一失も追ふに莫かざるに鑑み、力を竭して挽救し、織工を大いに集め、商業道德上の必要條件を授け、而して北京の建設促進會は此の情態に對し努力し、務めて此業已往の信用を恢復せんことを期し、國家の利權挽回を謀れり。果せるかな天津方面の輸出總額は、一九一八年度は唯米金三三、一一七弗なりしも、一九一九年度は遂に復た八二〇、〇三二弗の巨額に達せり。同年は米國商の購入甚だ多く、市價も亦珍らしく昂騰し、而して品質も前に比して優良となれり。一九二〇年に至り、天津の輸出總額は、驟かに增加して米金百萬弗を突破し、之れより以後、百萬弗を割るが如きこと更らに無し。大體一九二〇年度より、中國織工の作業は、米國人の趣味に適合すべく配合せらるゝに至れるなり。按ずるに數年以前、廣東絹織の草蓆は、貿易甚だ旺盛なりしが、殘念乍ら其の他の織工は、徒らに舊式の製法を墨守し、種々なる模樣を工夫せず、唯米國の需要に應じたり。然るに其の後他國は絕無き草蓆を出し、且つ西洋方面の圖案及び模樣を加工せしかば、大いに購買者の歡迎を受くるに至りしを以て、廣東の工業は、遂に驟かに衰退を見たり。如何なる工業の出品に論無く、先づ買主の心理に迎合するを以て主と爲すべきにして、之れは誠に不磨の原理たり。

近年我が國中國北方の織工は、已に此理を熟解し、米國人と合作して開始し、其の需要する流行模樣及び色合に就きて研究し、而して後其の製織に從事せり。故に目下中國に於いて製織せられたる敷物は、完全に中國化せられ、不快なる模樣及び鄙俗なる圖案は、概ね其影を沒し、大多數は米國主婦の嗜好を標準と爲せるを以て、製品は磁石の鐵を吸收するが如くに輸出せられ、其の販路は日々に盛況に向へり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

即ち米國の大多數は、爭ひて彼等自己の染色を中國に輸送し、中國產の染色に代らしめり。天津には少くとも最大の工場二軒を設置し、米國人の產業を興さんとし、近く已に紡織機を用ひて紡ぎ、此絲を用ひて製織せんとせり。故に更らに原來の手紡ぎ絲に代らしむれば、其の成績は更らに良好なるべし。斯くの如き情態なるを以て、中國工場の續ぎて起り、米國人にのみ利益を壟斷せしむること無からんことを望むや切なり。

中國敷物の輸出數量は、日々發達せり。是に於いて米國方面の嫉忌は亦愈々甚だしく、特に稅率を高め、自然原價をして大ならしめ、以て其の販路をして伸張不能に陷入らしめんとせり。故に此種敷物の賣價は往々米金百五十弗乃至二百弗に達せり。米國の工場は、此點を利用し、特に自ら上等品を製織し米金百弗乃至百五十弗の價格を以て、格安に賣却せり。蓋し其の國に在る工場商店の根據とする競爭點は、稅率を高むる一點にして、之れにより外國品の定價は必ず騰貴すべし。從つて中國の工賃は、米國の夫れに比して甚だしき懸隔ありと顧慮するに足らざるべく、且つ藝術的ならざる方法により製織されたる敷物は、米國の家庭を脅威するに足るを以て、之れを拒絕すべく米國婦人に知らしめなば、何等恐るに足らずとなせり。然るに尙輸入敷物を買ふこと、宛然蠶に中毒せるが如きは、即ち其の多額なるも米金三十或は四十弗を出づるに過ぎざるを以て、敢へて惜まれざる結果なり。故に米國工場の競爭は、倂に中國敷物業の輸出量に對し、多大なる影響を及ぼすこと能はざるなり。

中國の敷物工業は、大部分藝徒(徒弟)制度を採用すれども、唯天津の一處には、米國の資本及び方法の注入を受け、均しく經驗ある優良織工を雇用し、作業に從事せしめり。故に其の製織せられたる敷物も優美なり。若し範圍の狹少なる家に至りては、北京等の處に及ぶを以て、即ち唯藝徒の訓練に務め、其の作業に從事する人員の年齡の如き、往々十歲より十六歲なるもの、百分の七十を占むる狀態なり。故に將來苟しくも此點を十分改良しなば、前途は亦大發展の望みあるものと云ふべきなり。(民國十五年十二月上海總商會月報)

□中國の紡織品輸入調査

歐洲戰の爆發せし以來、國人(中國人)は異口同音に歐洲戰の時期を利用し、我が國(中國)の紡織業を發展せしむべく、主張せざるは無し。當時我が國(中國)の紡織界は、亦國民の需要增加し、時機の失すべからざるを知り、即ち毅然として決然全國(中國全部)人民の要求に應ずべく、利國利民の政策を採り、各地に紡織工場を創設し、一時は其氣焰頗る盛にして、我が國(中國)の數千年來無き人工紡織業の異彩を現したり。即ち棉織工場に就きて言はゞ、一九一五年に於ける、我が國(中國)人自から經營せる工場は、總數二十二軒なりしも、一九二三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

年には、即ち其增加極點に達し、七十三軒の多數を算し、其進歩の迅速なることは、殆んど一時匹敵するもの無かりき。歐洲戰以後、資本主義は繼續して我が國（中國）に發展し、所謂死灰の再燃狀態を示し、其勢力は逐次膨脹し、我が國（中國）の紡織業は、即ち種々なる制限と壓迫を受け、資本の薄弱なる工場は、早くも外人の殆んど吞占し盡すところとなり、而して存在する工場も、亦氣息奄々として毫も發展の可能性無く、只外人工場の蓬勃を坐視するのみにして、之れを如何ともすること能はず、元氣は消殺し盡されり。近年來、我が國（中國）の紡織工場の產出量は、即ち全國（中國全部）の需要に應じ供給すること能はず。而して紡織品の輸入は、亦減少せざるなり。

我が國（中國）輸入の紡織品は、棉織物及び毛織物の兩種に分たるべく、之れを明瞭にならしむる見地より、先づ棉織物より記述すべし。今日工業の發達せる國を顧みるに、其工業の基礎は、皆紡織業に從ひて入手せるものにして、昔日の英國、今日の日本の如き、共に斯くく致さゞるは無し。其原因を考ふるに、棉織物の製造は最も簡單にして、新式の機械を使用しなば、即ち毫も經驗無き職工にして、尙且つ完全なる結果を得るなり。今日我が國（中國）の棉產出量は、世界の第三位に推されども、而かも棉織物の製產量は、即ち最も小なる比例を示せり。國人（中國人）の日常需要する所は、均しく棉布に係れども、今日我が國（中國）の產する棉布は、全國（中國全部）人民の需要に應じ供給すること能はざるのみならず、且つ我が國（中國）境內に在りては、外商との競爭あるを以て、中國商は又自由に發展すること能はざるなり。而して國民（中國民）の需要程度は、即ち又增加するも減少するが如きこと無きを以て、棉織物の輸入は頗る巨額に上り、長期間に渡り首位を占め、毫も動搖せず、平均每年の輸入棉織物は、約輸入總額の百分の十五內外を占め、此數量に棉絲を加算すれば、實に我が國（中國）國際貿易の入超額を超過し、即ち其勢力の偉大なることは人をして戰慄せしめざるは無し。苟しくも我が國（中國）の棉布にして、自給するに足りなば、外國の輸入品を需要すること無く、即ち我が國（中國）は何ぞ每年數億兩の入超を來すべき。試みに左表を觀れば、其梗概を知るべし。（單位關銀一兩）

年次	棉絲及棉織物	入超額	差額
一八八〇	二三、三八三、九七七	一、四〇九、八六五	二一、九七三、〇九三
一八九〇	四五、〇二〇、三〇二	三九、九四九、〇〇一	五、〇七一、三〇一
一九〇〇	七五、六〇六、三六〇	五二、〇七三、六七〇	二三、五三二、六九〇
一九一〇	一三〇、六七九、二三五	八二、一三一、五六六	四八、五四七、六六九
一九二〇	二四六、八一三、〇〇〇	二二〇、六一八、九三〇	二六、一九四、〇七〇
一九二三	一七三、五二〇、〇〇〇	一七〇、四八五、四七一	三、〇三四、五二九
一九二五	一九六、一〇一、五四六	一七一、五一三、〇〇四	二四、五八八、五四二

棉織物は大半英國より來り、一種の尺物をなし、中國に輸込せられ約生棉布・晒白棉布・更紗・染色棉布及び染絲織の五種に分れ、而して各種は又無數の種類に分たるべく、大抵中國人の心理に合致すべく配

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

合せられり。故に之れを爭ふは驚の如く、近く卽ち日本も亦後より來り市上に勢力を有するに至りしが、而かも英國より輸入せる貨物には及ばざるなり。大半は香港より轉送せらるれども、香港は自由貿易港なる關係上、各國貨物の輸出入は、共に統計の據るべきもの無し。而かも香港は我が國（中國）の輸入貿易上又重要なる位置を占め、約百分の二十以上に達せり。尙上記の如く、香港は統計無きを以て、卽ち英國產棉織物の我が國(中國)に輸入せらる確數は明瞭に爲し難きも、大體英國より香港に輸入せらる物品中、十分の七は我が國(中國)に消費せらるること確實なり。茲に最近三年間に於ける英國紡織品の中國及び香港に輸入せられたる總數を表記し、以て其增減の趨勢を示さん。(單位一磅)

棉布名稱	一九二三年	一九二四年	一九二五年
生棉布	一、四五五、九八三	一、一五二、七一〇	六三一、五七四
晒白棉布	二、七二七、八四一	四、七四〇、七三三	三、〇四五、八八三
更紗	七四一、四六三	一、〇八八、六三三	六四二、五二一
染色棉布	四、八六五、九一六	五、四四三、七八七	三、三〇六、九一七
染絲織布	二〇一、三三一	一九五、三五二	一四四、二六七
總計	九、九九二、五三四	一三、六三一、一七四	七、四九二、一六二

右表に記載せらる所に據れば、英國より輸入せらる棉布は、一九二四年（民國十三年）最も多く、一九二五年は五卅慘案により、一時英貨の排斥甚だ盛を極め、一九二三年は、英國より中國及び香港に輸入せられたる棉布は、英國の輸出總額の百分の五・六九を占め、一九二四年は增加して六・六〇に上り、而して一九二五年は卽ち僅かに百分の四なり。之れを以て抵制も亦外國產品に影響あることを見るに足るべし。唯國內の工業は幼稚なるを以て、永續的抵制を行ふこと能はざるなり。一九二六年度上半期の英國より輸入せる總額を觀れば、已に一一二、七二一磅に及び、英國の輸出總額の百分の五・一二を占むるを以て、卽ち又漸次恢復せるもの〻如し。

上文より之を言へば、棉織物と棉絲の兩項は、實に我が國(中國)貿易の入超を來す原因にして、棉織物の外、棉絲も亦重要なる位地を占むるものと見るべし。初めは亦英國より輸入せらるもの最も多く、粗絲は卽ち大抵印度より來りしが、民國の初年頃より印度產粗絲の市場は、已に漸次退きて日本品に讓れり。歐洲大戰中、我が國(中國)の紡織界は已に粗絲を紡ぐに至りしかば、日本は卽ち細絲を紡ぎて輸出するに至り、英絲は之れが爲め大いに打擊を受けたり。故に最近棉絲の輸入は已に減退し、日本よりの輸入最も多く、百分の六十內外を占めり。卽ち數量左の如し。

年次	擔數	價額（兩）
一九一三	一、三〇一、〇〇〇	三二、五五一、〇〇〇
一九一八	七四六、〇〇〇	三五、三五九、〇〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二二	七八六、〇〇〇	四三、七七二、〇〇〇
一九二三	四六〇、〇〇〇	二六、一五八、〇〇〇
一九二四	三四二、〇〇〇	二一、五二二、〇〇〇
一九二六	三六二、七二三	｜

棉織物及び棉絲の輸入情態は、已に大體上述せるが如し。此外棉花原料の輸入も、亦簡單に之れを取扱ふこと能はざるなり。我が國（中國）に於ける棉花原料の國際貿易は、民國八年以前迄は、出超の地位に在りしが、歐洲大戰中、我が國（中國）の紡織業勃興し、需要大增せる爲め、出超は入超と變じ、此種の輸入は、約我が國（中國）輸入總額の百分の六乃至八となり、其數量は尙棉絲を超過せり。玆に一九一三年以來の棉花の輸出入情態を比較すれば、略左表に示すが如し。（單位海關兩）

年次	輸出額	輸入額
一九一三	一六、二三五、六〇四	三、〇一七、三一八
一九一四	一二、三三九、五四九	二、八七二、一一八
一九一五	一三、七〇〇、四九六	六、六一九、三九〇
一九一六	一七、〇九一、〇七三	八、〇六八、七九〇
一九一七	二〇、〇三五、八六二	六、四〇六、二二四
一九一八	三七、八八七、三七七	六、〇七〇、五一七
一九一九	三〇、二五三、四四七	六、四九九、〇七三
一九二〇	九、二二四、五一二	一七、九九三、一七〇

一九二一	一六、四八三、二三四	三五、八六六、八五六
一九二二	二三、七五二、一七二	四三、九八七、二五〇
一九二三	三三、九二七、二一三	五四、六四〇、〇三三
一九二四	四〇、四二〇、四一四	四九、〇七六、三七二
一九二五	二九、八四五、二三四	六九、九六五、一七七

我が國（中國）の棉花產出額は、近年來已に增加の傾向を示せども、其產出せる原料は、大抵日本製絲工場の聯合して購入する所となり、中國商の購買するものは其餘れる部分に係り、價格は自然日本工場の購入額に比して高價なり。故に日本製絲工場は、直接に我が國（中國）の棉價を操縱せるなり。中國商の製絲工場は、往々にして棉價甚だ高きにより、遂に外國の棉花を輸入し、國（中國）內に產せる棉花は、外國工場の消耗する所に供せられ、而して中國工場の使用する棉花は、反りて外國の給供に仰ぐことゝなれり。此種の情態は、實に奇異と謂ふべきなり。然れども亦我が國（中國）製絲工場壓迫の情態と見るべし。玆に最近二年間の棉花原料輸入數量を記述し、以て之れを明にすべし。（單位海關兩）

積出地	一九二四年	一九二五年
米國	一四六、八一〇	二三五、〇一〇
印度	一、〇三九、〇四三	一、四六三、七六〇
日本	五、八九九	八二、〇六三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其他	二七、五三二	二六、六一七
總計	一、二二九、二八四	一、八〇七、四五〇

我が國（中國）輸入の棉花は、印度棉花最も多く、平均百分の八十以上なり。米國棉花は、卽ち纖維比較的大なるを以て、我が國（中國）の需要に適合せず、日本產棉花に至りては限りあるを以て、其輸入も亦他國より轉運するに過ぎず、而かも大半は我が國（中國）境內に在る日本製絲工場の需要に供せらるゝものなり。

棉織物以外、尙羅紗類の毛織物は、亦我が國（中國）の輸入界上に於いて重要なる位地を占めり、此種の織物は、我が國（中國）の工業中に於いて最も幼稚なるものに係り、殆んど全部國外よりの輸入品にして、其中にても亦英國品最も多く、香港より輸入するものを加算すれば、毛織物輸入總額の百分の六十以上を占むべく、其勢力の偉大なることを知るべし。種類は約細嗶嘰・花呢大衣呢・直貢呢・厚呢細呢・薄花呢及び絨線（毛絲）に分れ、就中細嗶嘰の金額最も多く、直貢呢之れに次げり。玆に最近三年間に於ける各種毛織物の純輸入數を表記すれば、左の如し。（單位海關兩）

類別	一九二三年	一九二四年	一九二五年
細嗶嘰	一、六九三、八〇三	二、九一三、四〇四	四、八三〇、一〇九
花呢大衣呢	二、七五五、〇七四	二、三六四、八三三	一、六一九、七三〇
直貢呢	二、七一一、一一五	二、六〇七、九一六	一、八八三、七六七
厚呢細呢	四四三、一九三	四七〇、一一七	三八〇、四八七
薄花呢	二、三三一、五一六	一、九一八、六九五	二、一八二、三二四
絨線	五、三五六、四四九	四、一五一、八三四	三、八六六、一四七
其他	三、六九九、七四六	二、九九六、四一六	一、一三八、七七三

一九二五年度輸入の毛織物は、細嗶嘰の前年に比し激增せるを除くの外、其餘は均しく減少せり。此種の情態は、五卅慘案によるや否や疑問無しとせざれども、但し少くとも必ず此種の影響によるべし。同年の輸入總額は、一千五百餘萬兩に達し、銀元に換算すれば、約二千二百五十萬元となれり。英國貨は八百六十二萬六千三百十九兩にして、百分の五十七又は四七を占め、獨逸は二百七萬一千八百七十九兩にて、百分の十三又は八一を占め、佛國は百六十五萬七千九百八兩にして、百分の十一又は五を占め、其外は卽ち占むる所に限りあり。

英國より輸入せる毛織物は、細嗶嘰最も多く、約二百四十餘萬兩にして、花呢大衣設・直貢呢及び絨線は均しく四萬兩以上なれば、英國よりの輸入總額は、一千萬兩を下らざるべし。五卅慘案以來、毛織物の輸入は大いに減少し、增加せるものは、僅かに細嗶嘰のみなり。獨國品は厚呢細呢の輸入最も多く、約百分の六十以上を占め、佛國は細嗶嘰の第二位を占むるを除くの外其餘は均しく其數甚だ微なり。日本・白耳義・香港は、尙未だ重要なる地位を占むるに至らざるなり。玆に更らに一九二五年度各國毛織物の輸入に付き、百分率を示さば左の如し

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

類別	香港	英國	獨逸	白耳義	佛國	日本	總額に對する比
細嗶嘰	四・四二	四九・六〇	七・〇九	四・一四	二九・五三	三・〇三	三一・三四
花呢大衣呢	五・四七	八〇・二八	三・五二	一・八三	二・六〇	三・四六	一〇・九七
直貢呢	〇・八五	八四・二〇	三・八〇	四・二八	四・二八	〇・五三	一三・六一
厚呢細呢	一六・二〇	四・九三	六八・八三	〇・二一	一・三〇	二・二四	二・五六
薄花呢	一五・五八	六〇・九七	七・七〇	二・六〇	三・三六	一・一五	七・九六
絨線	四・八〇	四九・九一	三九・九三	二・九七	〇・八八	八・六三	二五・八二
其他の毛製品	六・七〇	五三・四四	八・五九	一・二九	二・七四	一七・一八	七・七五
總額に對する比	五・五六	五七・四七	一三・八二	三・一六	一二・〇一	四・一六	一〇〇・〇〇

之れを總括すれば、紡織業は我が國(中國)に於いて現在最も至急に發展せしむべき工業なり。棉織の一項は、年々漸次增加の趨勢にありと雖、然かも輸出は卽ち尙未だ談ずるに足らざるなり、而して毛織物業は卽ち又啻に全く輸入に待つのみならず、英國は我が國(中國)紡織品輸入の牛耳を執れるなり。日本は我が國(中國)に於ける大牛の棉絲を供給し、而して印度米國は、又我が國(中國)に於ける棉花原料の供給を操縦せり。我が國(中國)は棉花の產出甚だ豐富にして、世界の第三位を占め、而して產毛區域も又極めて多し。故に苟しくも其能力を十分發揮せしむれば、卽ち亦大いに自給して尙餘りあるべく、何ぞ他人の鼻息を仰ぐに足らんや。

(民國十五年十二月上海總商會月報)

比律賓

□總督代理の第七回比律賓立法部に與へたるメッセーヂ

一九二七年七月十六日下院議事堂に於て

立法部の紳士各位

五月二十八日、總督レオナード・ウッド閣下は殆ど六年に垂んとする長年月の公務の後、暫時の休暇と大統領並に陸軍卿との會見の爲に、本群島を後に合衆國へ向け出發されました。閣下の不在中、小官に委任せられたる權能を履行せんが爲小官は行政部に代り、立法部の各位に、各位が第七回立法部の最終會期に歸らるゝに際し、衷よりの歡迎の意を表します。毎年のメッセーヂに關する恒例により、小官は諸君の考慮に資せんが爲一般事情の簡單なる陳述並に若干の建議及勸告をなすの光榮を有します。

前立法部の開會以來の一年は滿足すべき一年でありました。總督府の各部に於ける、一般行政は干與する官吏に對する賞讃と共に遂行せられました。各州及各市區に於ける事務並に能率は概して良

好なるものでありました。不正行爲による官金消費の事例は極く少數でありました。

中央及地方の政府による歳入の徴集は進捗せられました。租税は法律により規定せられたる時日内に完納されました。ミンダナオ及スール及びネグロス・オクシデンタルに於ける若干騷擾を除いて安寧秩序狀態は、比律賓群島を通じ、滿足すべきものでありました。

一九二六年度は、經濟的に、政府及び各私人の兩見地より見て良好なるものでありました。然しながら例外的に良好であつた前年と比較すれば、一般經濟狀態に於て衰退の氣味があつたが、前五年間に於る平均には凌駕しました。砂糖を除き、實際本群島の基礎的農産品は總て生産額に於て増加を示して居ります。然し良好ならざりし氣候狀態の爲に砂糖收穫の價格は一九二五年の收穫より、大凡二千七百萬比だけ減じました。幸にして一九二七年の砂糖收穫に對する豫想は好ましいものであります。此の砂糖收穫減にも拘らず、六大農産物・全産額は一九二五年の全産額の約一パーセントを超過して居ります。米の收穫に於ては夥しき増加が御座いました。又近年の農業に大損害を與へた三要素卽ち蝗、リンダーペスト及蟲の摧滅にも大に進歩を見ました。對外國貿易總額は一九二五年に比して減じて居るが、一九二五及一九二〇年の活潑な年を除き前數年の年度の何れよりも増加して居ります。砂糖に於る損失は、其他の商品の利益により大に補はれて居り、概約三千五百萬比の純出超は記錄破りであります。破壊的颱風が十一月にマニラの南部數州を吹き荒し、可成りの生命の損失と、ココ椰子、産業に損害を與へました。其の際政府赤十字社及合衆國陸軍は救濟の爲應急處理をとりました。

政府の財政は健全なる狀態にあります。ナショナル・バンク及び過去數年内に亘り政府歳入の流出口であつた、減債基金の囘復は完成せられました。何千萬ペソが此の囘復の爲に仕向けられました。一九二六年の通常豫算歳入は七千八百萬比を少しく超過し一九二五年の夫に比し百五十萬比の減少でありますがし、他方一九二六年の通常豫算歳出は一九二五年の夫よりも概約百五十萬比だけ増加して居ります。故に政府の歳出は、歳入が減じたるに拘らず、増加したといふことが分明しませう。一九二七年の前半五箇月の計算に基けば、一九二七年の歳入に大約六百萬比の減が更にある筈で御座います。然し一九二七年に支出として認められてゐる經費は一九二六年の夫に比し四百七十六萬五千比の超過であります、故に今年は通常豫算歳出が通常豫算歳入を超過したる第二年目となるのであつて、その不足を補はんが爲、積立てられたる剩餘金に依頼することになるのであります。一九二六年末には千二百五十萬比若干の割宛てられざる現金剩餘額が御座いますが、右に述べましたる歳入及歳出の概略は、近き將來に於て不足を來さゞる樣最大の注

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

意を拂はねばならぬことを示して居ります。 昨年も今年も收入に於て實質的な減少を示して居ります。 果して歳入の曲線が上に向けらるか、又は下に向けらるゝかを積極的に申すことは出來ませぬ。亦其が上方に向つて急激なる轉換をされさうに示す何物もありませぬ。過去九年間に於る歳入の詳細なる研究の結果、一九二一年の不規則な年を調節すれば、此期内に於る年平均歳入は概略七千二百萬比であることを示して居ります。 此の數字は來るべき數年に亘る政府歳出の安全なる最高限度を代表して居ります。 諸彥に提示さるべき豫算案も、 此の限度内に保たれてあることでありませう。一九二六年の百五十萬比の實際の減額、及び一九二七年の約六百萬比の豫定減額は、次の諸原因に基くものであります、 卽ち米の生産の多かつた爲、其の輸入に於て減少がありましたこと、所得税の見積られたる額より激減のあつたこと、合衆國に於て販賣せらるゝフイリツピン葉卷より徵收さるゝ内國歳入の見積られたる額より、輸出されたる葉卷の數の減少及び合衆國に於ける内國稅率の低下等の原因により、 減少致しましたこと、商人がその商業を營む方法を變更したことにより、賣上販賣税よりの收入が減じました事の原因に基きます。故に一方政府が約千二百五十萬比の現金剩餘金を以て一九二六年を終へたるに、此の剩餘金が今年の負擔を滿したる後一九二七年末には、五百萬比足らずであらうといふ傾向であります。政府が毎年新活動をなし、歳出に於て一定の毎年の增額を要求する土木事業を起しつゝある事實に鑑み、見積剩餘金は賢明なる安全の餘裕を示めすものであります。有益に豫備資金を使用し得る多くの重要なる活動があり、創設せらるゝ時は慈善的に貢献するであらう多くの重要なる土木事業のある事が認められてはいますが、何等の疑問をはさむ餘地なき明瞭なる安全さを有する財政狀態の保存は、直接間接に比律賓群島に於る各人の經濟的向上にあらゆる方面に於て直接間接に作用を及ぼすものと信ぜられて居ります。政府活動の擴張及び公共事業の創設は、單に擴張或は新事業の最初の費用を含むのみならず、以後の年月に亘るその運用及維持に毎年の一定額を含します。 擴張に關する保守的政策は、 守るに易く、又過大擴張の何れの年にも避け難く從ひ來る、 節減の政策よりも些少の困難と批判とを受ければよいのであります。 此論を支持すべき證據は數年前の擴張時代に必然的に起つた節減に於て見出されるでありませう。此の節減するに至つた理由は、 其の時の計算が不規則なる狀態及不自然なる繁榮の間に推定されたる、總督府歳入の見積に基くものであります。 各個人に於けると等しく總督府に於て、節減とは自制の性質を含んで居ります。 平均毎年度歳入を超過したる豫算の食込による不足を補ふべく必要とされたる公債發行よりも、歳入超過額は豫期する外に快きものであります。 安全に守らるべき軌跡は多年に亘る年平均歳入なるに拘らず、最も好調なる年度より計算せられたる、每年度豫算を自ら犯す強力なる誘惑が常に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

御座います。

一九二四年の總額に於る一・五パーセントの増加以前に又以後にも、販賣税は種々の商業關係の人々及び數商の商業會議所の批判の中心をなした論題でありました。夫は或る商業の階級には不公平に作用するものであり、亦之を免るゝ道は幾多もあると云はれました。同時に夫はよき歳入の資源であり、之に代ふるべき滿足なる代用課目は未だ工夫されませぬ。此の議題の論評と、反對意見と、可能なり得べき修正と代用課目の考慮の爲に機會を與へんとして、行政部は一九二六年八月十五日、財務部長代理ミゲエル・ウンソン及び收税局長エアン・ボサーダスをして商業會議所により任命さるべき委員會を開くことを命じました。此事は實行せられ、論評の機會は遺憾なく與へられました。彼等に提出せられたる種々の見解及計畫の愼重なる考慮の後、行政部により指命せられたる代表議員は彼等の結論及勸告を唯今諸君に、交付されるべき報告として纏め上げました。歳入の資源として比島政府にとつてのみならず、社會の商業關係者にとつても重要なるが故に、此議題は直ちに亦愼重なる考慮を煩はしたいのであります。

土木事業

比島政府による及び數多の各州に許可されたる公債發行による、豫算中に規定せられたる土木事業の遂行は、非常なる進歩を致しました。本年度の土木事業合は維持及び新設に總額千二十五萬比を有して居ります。之は一九二六年より三百萬比の増加でありまして、同年度の總割宛の一四パーセントを少しく超過してゐます。各州及各市區に土木事業として許可されたる最近の公債發行は、約八百萬比に達して居ります。此の額と現在建設せられつゝあると、建設の準備にある土木事業に對する島内費の總割經費とは、二千百萬比と云ふ驚くべき合計に達します。前年と比較して、此は懸案の問題の雄なるものであります、是等計畫の總ては土木局による計畫の用意、説明、監督を要します。土木局に既に過重なる仕事を有し其仕事に追ひ付き得ざる感があります。懸案の計畫の實行が進捗され得るか、又其の懸案の量が本局に現在使用し居る職員數を非常に増加することなくして、擴張し得る中は疑問に屬することであります。

上記の額に含まれたる建設の多くは、完成せられたる曉は毎年の維持費を要することを留意せねばなりませぬ。御承知の如く、現在公道の維持には、毎年度土木事業經費の可成の部分を要して居ります。此維持費問題は最も重要なるものとなつて參り、殊に幹線と旅行者の多い地方の豫定線には、その建設費の大なるにも拘らずコンクリート建設法を採用するのが經濟的ではなからうかといふ問題が起つて居ります。

土木事業の毎年度維持經費を適當の範圍に止むる爲に、橋梁或はコンクリートの公共建築の如き低廉なる、維持費を含む種類の事業

は患まれねばなりません。亦その事業の地位なり、性質が官衙營造物の實質の如く總督府歳出の節減になるとか、或は多數人民を益することにより利得を生じ、商況をよりよからしめ及增税を正當視せしむる經濟的發達の結果として齎す樣な事業には、優先權を與へねばなりませぬ。ミンダナオ及びスールに於る、道路及小道の必要には特別の注意を拂はねばなりませぬ。夫等が河川たると道路たるとを問はず、公道には人の住居及發展が伴ひます、ミンダナオ及スール發展と、法律及秩序の設定に對する最も有力なる勢力はよき道路に於て見出さるのでありませう。小道及第二級道路と共に現在未開發の狀態にあり又騷亂的分子の居住地域を成す、廣汎なる地域を開拓すべき幹線公道の建設開始に準備をなさねばなりませぬ。又其の發達が適當なる公道を缺いてゐた爲遅れてゐた、山岳州及其他地方の公道建設にも充分なる準備をなさねばなりませぬ。

昨年、全面積三萬三千ヘクタールに亘つて供水する四つの灌漑制の完成を見ました。同年マニラ灣に於て一千百八〇米の防波堤營築の請負契約がなされました、此は南港の掩護を完成するでありませう。五萬七千人に給水し得る二十一の水道組織が一九二六年に完成され、一八四粁の第一級道路、二五〇粁の第二級、一五八粁の第三級道路、一六粁の小道が建設せられました。八十一の堀抜井戸が穿たれ多くの校舎が完成されました。

比島政府をして、北港の浚渫工事の請負契約を結ばしむべき議案が再び提出さるのでありませう。此の又同種の法律は本港の此の部分の發達を促し、總督府には此したる費用を用ひしむることなくして、該區域の財産の課税價値を著く增大し且又パシグ川の保護を整ふのであります。

此に關係して、毎年の維持費が少額で濟し且同時に總督府を毎年の莫大なる經費より救ふ、他の類型の公共營造物にも注意を拂はねばなりませぬ。現在に於て比島政府は毎年部屋代に三十五萬比を支拂つて居ります。此の支出の大部分はマニラに御座います。二十餘年に亘る此の毎年支出は、三百萬比以上の公債發行の利子及減價賞金を支拂ふに充分であつたでありませう。又之はマニラに於る全活動を納るゝに足る官衙を建築する全費用を支拂するに充分なるものであります。故に小官は土木事業計畫が次回の土木事業令の經費により成さるゝことに鑒み、總督府廳舍建築の全設計の第一號位若くは其以上に對し準備のなさるゝ樣政策する次第で御座います。

現在完成せられたる及び作業中の多數灌漑計畫に鑑み、灌漑法は特に土地所有者の側に於る灌漑改良の月賦金の拂込の怠慢に關し—該法が強制的に公平なる、有効なる手段を講ずる樣訂正せらるべきであります。灌漑計畫と關連した流水より起さるゝ水か電氣の用途に關する法令も亦通過されねばなりませぬ。

中央ルソンに於る、大約二十萬ヘクタールの耕地が、毎年洪水

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の災害を蒙り、結果として穀物及財產の多大の損失を與へます。河川調節計畫を遂行すべき方法手段を與ふる立法の制定は、緊急重要なるものであります。（續く）

佛領印度支那

□印度支那の漆（一）

漆は或特種樹の滲出汁液である。佛領印度支那に於て產出さるゝ漆の採液原樹には二種あつて、北部に於て產出さるゝもの卽ち東京漆と稱せらるものは、學名 Rhus succedanea, Lin. といふ樹より製出されるもので、南部產卽ち柬埔寨漆といはるゝものは Melanorrhea laccifera, Pierre といふ樹より採つたものである。今この兩者に就て研究の步を進めて見やう。

第一章 東京漆

第一節 緒言

學名 Rhus succedanea, Lin.; var. Dumoutieri, Pierre.

東京 Sơn 支那 Tse; K'i 日本 櫨

本種漆の採液原樹は、高さ八乃至一〇米突に達し、成育區域は東京・安南・柬埔寨に及ぶ。然し乍らこれを栽培するに當つては、歷漆掻き（採液）するの結果、樹木の高さは三乃至四米突を減じてゐる。

註東京漆の原樹卽櫨の種實は、頗る多數實り房狀を成し成熟期は七月乃至八月である。然し現在土人はこの種子に就ては、何等の利用方法を講じてゐない。科學研究所長 Aufray 氏は東京櫨種子の分析を試み、その脂肪質含有最低率を啓示し、日本櫨とその成分を比較してゐる。次表はそれである。

東京產 Rhus succedanea	日本產 Rhus succedanea	日本產（註） Rhus vernicifera
可溶物 脂肪物質 六・五〇%	エーテル浸出物（重量%） 二四・二〇%	エーテル浸出物（重量%） 一七・〇%

之に據つて見れば、東京櫨の種子と日本櫨の種子とはその脂肪質成分に於て著しい差違のあることが分明するが、然しそれは間違ひである。何故ならその樹木に漆掻きが行はれてゐるか否かを判然せしめなければならない。蓋し漆汁採液のため幹に掻傷を附けたる木の種子は、それを行はない樹の種子よりも、含有成分の量減じてゐることは明かな事實である。又その掻傷の多少に依つてもその差違あることは勿論である。依つて本比較表の差違は不確かなりと見て差支へない。

日本に於ては前記二種の漆樹種子から、白色、半粘力性、凝

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國質の物質を製出する。これが即ち印度支那に於て「日本產植物性蠟」又時には「生樹脂」と呼ばれてゐるものである。日本に於ては漆蠟と呼ばる。

註 Rhus siccedanea は日本で普通櫨と呼ばる
Rhus vernicifera は日本で漆樹一（ウルシノキ）名漆櫨といはれてゐるもので日本漆は主としてこれより採ったものである。

東京に於ける櫨の栽培は Phu-tho 州下に行はれてゐる。phu de Lam-thao, huyên de Thanh-ha, Tam-nông, Câm-khê 等がその主要栽培中心地である。而して現在に於ては栽培區域擴張され Son-tây, Vinhyên, Tuyên-quang の各州の數箇所に於ても栽培されつゝある。

第二節　東京に於ける櫨の栽培

櫨は前章末に述べた各地一帶に廣く栽培されてゐるとはいふものゝ何れも幼稚な栽培園を形成するに過ぎない。何故ならば土人は非常に砂の多い（註）傾斜地の而も突起せる箇所のある土地を求めて栽培するがためである。而して方位等に就ては何等考慮する所がない。

註 本土壤は大體に於て砂質九五—五八%の砂質及五乃至二%の粘土及腐植土を含む冲積層土である、故に本土壤は硅土で硅粘土々壤ではない。

土地の如きもその地方の栽培物が更新しさうに見えない時始めて荊棘を取り除くといつた調子である。九月土地は鍬返へされるがそれと共に深さ一〇糎の穴を直線上に並べ穿つ。その距離は縱橫各二米突に二米突四〇である。而して極く新しく結實した種子約十箇許りを各穴中に置き、次いでその穴を掘り上げた土壤に種々の肥料特に牛糞を混じたるものを以て播種せる種子を覆ふ。而してその施肥は樹の成育最初の三年間灌木の根元に每年行はれるのである。除草は每年二回第一回は四月第二回は十月行はれる。

九月播種されたるものは十一月發芽を見る。翌年四月各穴當り三本を殘して他を引き拔き、七月に入るに及び引き續き優良なるもの一本を殘して他を引き拔くのである。又その時引き拔きたる樹を植付けてない他處へ植換へることもある。斯くて播種後一年後には樹は〇・八〇米突の高さとなり、二年後には一米突二〇となり、三年後には二米突を越へ、此期から生產期に入るのである。其の後も引き續き成育は續けられるのであるが、漆搔頻繁に行はれるのにも拘はらず、衰退期に入る六年目乃至七年目には平均樹の高さ四米突五〇に達す。

土人の言に據れば、櫨の木は如何なる蟲害にも犯されないし、又如何なる病害にも罹らず發育するものだと言つてゐる。

第三節　漆搔と收穫

樹が三年目に達すれば愈々漆搔が開始される、然し最初の四五回の切付によつて得る汁液は、非常に水分が多く品質は頗る不良である、依てそれは收穫の中には加へない。

發芽後三四年間の收穫物は只收益を擧げる一方である。（註）植付

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

後の六年乃至七年に至るに及び漸次收穫は微々となる。依つて栽培者は第五年目頃から新しく播種するかさもなくば他に新栽培地を求める。即ち收穫を中斷せしめないためである。此の時新播種の際は前に植付けられてゐる最近距離にある樹四本の對角線の交叉點に播種するのである。而して收穫の停止した樹はこれを引拔いて薪に使用する。

註　一九一一年から一九一二年頃印度支那の櫨の栽培は放棄せられて顧みられなかつた。蓋し買手たる支那人の言値が折合はなかつた爲めである、然るに最近日本が買者として印度支那の漆界に加つた爲め漆の價格は著しく騰貴し、多額の收益を擧げ得る樣になつた。

種子を採るために殘してある樹には漆掻きを行はないといふことは大に注目に價するものである。然し漆掻きを行はれた樹でも花を開き、實を結ぶ。又その實を地に蒔けば立派に發芽する。然しその樹からの採液は誰しも不良な結果を齎すものであらうと考へられる處で爲めに栽培者は一度も採液しない樹の種子を撰んで播種してゐる。然し確かな經驗によつて得た處は又重要視すべきものである。即ち漆掻きを施した樹に開花し結實したるものゝ種子或は花房の現れる時それを徹底的に切り取つた樹（註）の種子等は有望な結果を齎すものであるといふ確かな經驗がある。

註　緩慢に晩く結實したる種木を選ぶことも亦頗る重要の樣である。

漆掻きの度數は栽培者に依つて種々なるも、隔日、三日に一回、五日に一回等區々である。漆掻き五日に一回といふことはその滲出する漆汁に水分の少く且つ良質のものを得ることを期待し得る。又冬季に收穫した漆はその前季に收穫したものに比して極上の品質のものを得られると考へられてゐる。然しその意見は地方によつて區々である。

日本に於ては一年中を通じて自六月至十月の五箇月間漆掻きが行はれるのみであるが（註）、東京に於ては安南人が一年を通じて收穫を續けてゐる。

註　日本のは前記の通り漆樹と呼ばるゝもので東京の櫨の木とは異る。

漆掻きの時間は朝の四時乃至五時頃行はれる。然し冬季はこれより少し遲くなるのが普通である。採液について何より大切な事は強烈な太陽の光線を避けて漆掻きを行ふことである。さもなければ漆汁は直ちに酸化してしまふのである。又等しく雨季に於ける漆掻きは差し控へなければならぬ。何故ならば、樹の切付口の下に置いてある貝殼狀の採液物受器の中に水が浸入するが爲めである。

漆汁の含む水分の量は三〇—三二%を超過しては不可ない。より以上になるときはその品質は中位となるが故である。

婦女子である採液者は、その受持樹數と同數の鑄型製受器と切付用

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の刄物及小さな土製の鍋様のもの（日本にては漆壷と稱してゐる）を用意し採液を始むるのである。非常に大きな刄のある刄物の力で樹皮の上から力強く二線の掻傷を引く。その二線は下部で合して丁度V字形を爲すのである。而してその掻傷二線の交叉する點に、前記貝殻狀の受器を刄の部から押し込むのである。斯くすれば傷口から滲み出す白色の漆汁は徐々に流れて受器の中に集るのである。この截傷法が各樹に順次施されて受持の全樹に行はれた時は、再び最初の木に戻つて來る。而して受器中に在る漆汁を漆壷にあけて次々に各樹について漆汁の收穫を爲す。

採液が終れば、採液者は各漆掻用具即ち刄物、受器及可成り漆汁の滿ちてゐる漆壷を持つて自宅へ歸るのである。

樹が地上五乃至六米突の高さとなりたる時、その根元の方に於て最初の漆掻きが行はれ、以後引續いて截傷者は刄物に依つてその傷口を徐々に大きくし、傷口下部が地面に殆んど達せんとする時、今度は上方に向つて新しく漆掻きが行はれる。即ち幹の部の頂きに向つて且漆掻き可能の處迄非常な緩慢さで漆掻きが行はれるのである。

如斯傷口を増すと共に一方その回復を待つこの採液法には幹周の二分の一（二面法）或は四分の三周圍法を行つてゐる。而して樹の上部へ向つての截傷の際常に次の方法が行はれてゐる。即ち截傷の縦溝線は殆んど直線であるが、時に屈折し、尚又螺旋狀を爲して次第に上部へ昇り、樹枝の分れ目迄昇りつめたる時、截傷者は樹枝に截傷を施すのである。斯くてこの樹枝の截傷は幹が全く破壞され酸化樹液で覆はれ、切付を行ふも全く收穫がなくなるか或は殆んど收穫がなくなる迄續けられるのである。

第四節　漆の製造

タン・バ（Thanh-ba）地方に於ては、一本の樹の年收穫量三ケイ・バ（註）なりと報告されてゐる。

註、約二〇〇瓦を包有し得る小茶碗。

即ち三ケイ・バの量は〇・六〇〇基瓦に當るを以て一マウ（註）の植付樹數一千本を數へ得るを以て、同植付面積よりの收穫は六百基瓦從つて一エクタール當りの收量はその三倍一、八〇〇基瓦に相當することとなる。

註、一マウは一エクタールの三分の一に當る。

フー・ト（Phu-tho）の或土人達は、一エクタールの收量二、〇〇〇基瓦に達することを主張してゐるが、これについては確かな調査が出來てゐない。依つて玆には漆茶碗（ケイ・バ）の寸法に基いて前記の一、八〇〇基瓦を採り、二、〇〇〇基瓦は保留して置きたいと思ふのである。最も漆茶碗の寸法と云つても各地區々で正確を期し難き事は勿論である。がしかしこの容器は一般に實質の小取引に於てその單位として通用されてゐる處である。

土人に依て栽培されてゐる小農園は何れも一五乃至二〇アール（註）を出でないもので、單に家内農業として爲し得る範圍に止めて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゐる。

註、アールは佛の面積單位にて我三十歩餘に當る。

收穫された漆汁は漆汁の透らない籠の中に容れ、嚴封して空氣及光線を避けて貯へられるのであるが、これは全くその酸化を防止するに外ならない。而して漆汁を容れた籠は漆汁とガルシニア油を混ぜ合した油を滲み込ませた土人製紙によつて上部を覆ひ更に竹製の箍によつて上よりかぶせて確つかりと締めつけるのである。かくて漆汁は所謂漆に變化するのであるが、それについては博物館物理化學試驗所のベルトランド氏の長期に亘つた研究の結果を紹介しなければならぬ。この變化作用は漆中に含まれる酸化酵素即ちラッカーゼ（Laccase）と空氣中の酸素の作用によつて起るラッコル酸化（l'Oxydation du laccol）によつて出來上げるものである。この作用は空氣をよく杜絶して貯へられてゐる漆汁に對して非常な緩慢さを以て作用するものであるが、一方空氣酸化は非常な速度で作用する。

漆汁は收穫後直ちに賣買し得るものであるが、塗物職は支那或は日本輸出業者と同じく前記籠に入れたまゝ約一年近く置かれたものを撰ぶ。又或製造業者は漆改良の目的で容器に入れて多年貯藏されてゐたものを購ふのもある。

この不透水紙によつて覆はれ籠内の漆は、長くじつと置かれてあるが爲め漆汁の成分が密度によつて分類され、密度順に籠内に層をなす土人漆商はこの各産物を次の樣に區別してゐる。

一、籠の底部に稍白色の液體がある土人語でニョク・テイエクと呼ばれてゐるが、之は傾瀉によつて一つの集團に分離する。即ち籠の底に穴を穿ち水を排泄する方法を採る。この物質は水分多く、鋸屑を混じてマスティック（mastic）製造に利用される。

二、その上位に稍濃白色の集團を認める。併しこれも尚水分を含む。これはソン・ティ或はソン・ガンと呼ばれ、前者と等しく安南人によつて籠或は小船の隙目塞ぎに利用されてゐる。

三、最後にソン・チオアと呼ばるゝ物質層がある。これは更に上下二層に分れ、上層の物を一等品、下層の物を二等品となす。即ち上層の物はソン・ナ下層の物はソン・ニと稱へられてゐる。この二種は殆んど單獨に商賣用漆を構成するもので、色は栗色で一寸牛脂の樣である。故に色合は生産物の中良質の精部を占めてゐるソン・マ・チャオを精製した樣な色を持つてゐる。優良なソン・ナは水分の含有率一五—二五％を越えない。

ソン・ニは白色質で稍黄色を帶びてゐる。本品は支那人輸出商に非常に持てはやされる處のもので彼等は、これに支那土産の漆を混じてゐる。この水分含有率は四〇—四五％が普通であるが、支那商はこの産物の不良を補ふために減價を要求するを以て買手に對して、價格の上に五〇％の割引を一般に承認してゐる。以前にはソン・ニの品質改良の目的で籠の表面にあるソン・マ・チャオの五％割引を要求したことがある。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

園、ソン・マ・ザナオ、（譯すれば漆靈とも言ふべきが）本品は漆の主要精分を以て構成されウルシ酸（Acid Urushique）の含有は特に多量である。これは籠の裡に在つて靜かに置かれてあつた漆が徐々に消化し仕上げられたザナスターゼ素の産物である、これをエラボラシオンと言ふ。本品は特別に上層を占め漆を完全に被つてゐる。見た所珈琲に牛乳を落した樣な色合であるが、昔は褐色であつた。こは被覆物の漆質の乾燥が頗る緩く殊に乾地に於て甚だしきためで、その爲め特に立派なものならしめたのである。一般に毎月挾み樣の物でこれだけを先取りするのが普通である。而して次に賣却する時迄籠に被覆をして貯へて置くのである。漆の集團はソン・マ・ザナオの品質が練れれば練れるだけ價値に於て低くなる譯である。このエラボラシオンは收穫後二箇月から作用を開始し以後三年間又は五年位續く。このソン・マ・ザナオは屢々非常な高價を呼ぶ、又その爲め壓油を混じて僞造物が造られる。支那商人の中の一部は支那産漆を強めるために屢々之を購ひ更にそれを日本へ轉賣してゐる。

殆んど油性の缺乏してゐる漆がソン・ニといふ格付で賣却されることもあるが。しかしその色合は白色で何等黄味を帶びて居ないから詐欺は速かに發見し得るが故に、時折アブラシ或はガルシニア油を混じて着色し買手の註視から逃がれやうとする不屆者がゐる。又時には各種漆に糖蜜或は蜜を混じてソン・マ・ザナオの先取價格を減ぜしめやうとする詐僞者もある。

第五節　生産高及荷造り

東京に於ける漆の生産高を數字に表はすことは不可能である。と同樣に輸出される漆の正確な量をも知ることが出來ない。題目も塗物用油としてその中に漆を含めてゐる次第で誠に漠然たるものである。又それらの中には實際に漆の製品として中にアブラシン油を含め有せしめたものや「まがひ漆」と呼ばれてゐる製品で漆と燒アブラシン油を混じて作つたものもある。依つて正確な數字は不明である。茲には從つて概數を掲げて讀者の參考に資すこととする。即先づ年産六〇〇噸見當であらうが、その中二〇〇噸は日本に購はれ、同二〇〇噸を支那へ殘り二〇〇噸が地方消費として殘されてゐるものと見てよい。この數字は一般に專門の輸出業者に認められてゐる數字である。

支那商及安南人間の地方に於ける取引は一擔（六三基瓦）建である。支那輸出商は一六〇乃至一八〇立入りの大壷に入れて輸出してゐる。壷の周圍は藁を編んだもので庇護され、更に籐で固めてある。如何なる場合に於てもこの漆は金屬製の容器に容れては不可である。

日本は又最近數年來印度支那漆のよい華客である。東京から各地への漆輸送の荷造はよく出來た木製の大桶を使用してゐる。同じく佛本國への漆輸送は木製小樽を使用してゐるが、これは又非常に滿足されてゐる。

河内及海防居住の日本人が彼等最初の漆輸送は、厚み三粍許りの木

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

箱に漆を容れ粘土及漆を混和して作つた封泥を以て細心な注意を拂ひ封じられてあつた。

第六節　相　場

漆の相場は種々であるがこの最近來非常に活況を呈して來てゐる。一九一〇年から一九一四年迄に於て支那商の買入價格は一〇〇基瓦當り、平均ソン・ナ三〇―四〇ピアストル、ソン・ニ同二〇―二五ピアストル、ソン・マ・ヂヤオ同一〇〇―一二〇ピアストルであつた。而してこの相場は決して十分な儲けを擧げ得る價格ではなかつたので當時漆を伐り倒して他物の栽培を試みたものが大部あつたのである。處が一九一五年に及び需要は愈々增す一方、從て價格は非常に高値を稱へたので、玆に栽培者は再び漆の栽培に著手したのである。殊にフー・ユ及ヴアン・エン（Vinh-yen）地方は著しき盛況を告げた。この需要の非常に強調を見た期に於けるソン・ニの價格は一〇〇基當り九〇ピアストルを示しソン・ナは同一三〇―一四〇ピアストル又同期ストック無く爲めに買入困難であつたソン・マ・ヂヤオは一〇〇基瓦に三六〇から更に四五〇ピアストルを越すの盛況を示した。が、その高値に於て安南人は向儲けを擁護し支持し得なかつたのである。何故ならば當時彼等は支那人及暹羅人と異つてゐない價格で取引してゐたことを勘定に入れてゐなかつたからである。（註）

一九二四年十一月の各品種別價格は次の通りであつた。

ソナ・ナ	水分含有率	一五%	一〇〇基瓦當	二一〇ピアストル
ソン・ナ	同	二五%	同	一一五―一二〇同
ソン・マ・ヂヤオ	同	六%	同	二七〇　同
ソン・マ・ヂヤオ	同	一〇%	同	二二〇　同

註　日本人は價格に就て生産者側より異議を唱へられた爲め、當時數箇月間買ひを非常に制限した（一九二五年六月）。然しこの不活潑な狀態もほんの僅かの間續いたのみで、十一月の終りには良質のソン・ナ一〇〇基瓦當り一五〇ピアストルで買ふ樣になつた。

日本人買手の干渉以來買入方法が自然改良されるに至つた。買入物は品質によつて實際に影響さるゝ樣になり、その實行は生産者に對して製品の改良を奬勵せしむる樣になつたのである。併し十年許り市場の獨占を行つてゐた支那人は今後尙東京漆の價格を安價で購ひ得ると共に彼等の便宜によつて自由に分散をもなし得るであらう。近來品種は二種に依つてのみ識別されることゝ、價格は含有水分の量によつて建てられる傾向である。二種とはソン・ナ及ソン・マ・ヂヤオである。

日本産漆は價格頗る高價である。品質の優良なるにもよるであらうが、併しその中には日本に於ける樹は一年を通して五箇月しか採されるといふことが勘定の中に加つてゐない。（未完）

（Bulletin Economique de l'Indochine No 174 に據る）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

暹羅

□ 暹羅に於ける産業組合促進運動の成績

緒言

前世期の中葉に暹羅に外國貿易が開發されて以來、同國の經濟狀態に著しき變化を來した。一八五〇年以前は唯單に自國内の需要を充足する丈の米を生産するに過ぎなかつたが、現今は年當り平均百萬噸に上る大剩餘米を生産し、之を輸出してゐる。暹羅をして鐵道及び灌漑の如き諸種の開發計畫を成就せしめ得た所以は、素より此の事實であると敢言して憚らない。

暹羅の新舊兩生活様式を對照する實例として、ロムサク（Lomsak）とアユテイアの現狀を比較するもよからう――

ロムサクに於ては米は純然地方需要を充たす爲めに生産され、今尚多くの場合は物々交換品として使用せられてゐる。故に所要資金は僅少で足り、人口も退嬰的である。然るに南部中央諸郡では、多量の剩餘米を栽植して輸出する。爲めにより多くの栽培地が要る、爲めに運轉資金が要る、して本業は事實に於て商業的基礎の上に置かれて來た。然し農民は自身の資金を有しない、頼み得る組織的な貸付機關がないので、其處で個人の金貸につい係はる、金貸は最初親切ごかしに所要の金子を貸與する、が但し結局は實際に何等利益の上らないやうな條件付である。通例農民を借金の深みに卷込み足掻もならぬやうにして仕舞ふのは、實にこの條件である。

現今商業上の目的で米作を行つてゐる地方では、農民栽培者は、階級全體として、私營の金貸に對する負債をしたゝか、仕負ひ込んでゐると敢言し得る。該借財の道德的結果は悲慘なものであつて、農民は唯に彼等の所有地の所有權を失ふばかりでなく、其上尚自己の運命を伸展せしめやうとするあらゆる創意を挫かれ、あらゆる其念願を剝奪されるのである。

而らば何故私營の金貸より借財すれば、立身の見込がなくなるかと云ふに、銀行の如き組織的な貸付機關は、確實な擔保に對してのみ貸付をなすので、適當な利率に甘じられるのであるが、是等金貸は通常栽培業者各箇に貧弱な擔保をとつて金を貸出すので、損失に對する保證として高歩の利子を課さなければならないからである。

玆に政府は、斯る世情の救濟策として、農民栽培業者に、組織的な貸付機關に託するに充分なる擔保を供給し得る一手段を發見するの必要を認め、信用組合運動を創始することに一決した。この組織は、物質上の苦難を救濟すると共に、殆んど無量の道德的及び教育的要素を有してゐる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

該運動の基底をなす原則は、一つの孤立したる民團が結合して右團體となり、之に擔保の基礎をなす相互責任を齎すことで、其團員の個人個人では到底及びもつかぬ程に信用の範圍を擴大するものである。この村落民の團體即ち組合は、斯の如く集合して活動し、以て銀行の如き外界機關に當り、(一)負債返濟、(二)土地購入、(三)農具買入の爲め適當なる利率で前借をなし得るのである。

斯して各商に最寄の金貸に到り、法外なる利率で所要の借金をなすの必要なく、グループとして其望める借金の條件及び利率に就て、外部の機關と掛引をなし得るに至つた。

更に附説し度は、全組合員は相互に連帶して責任を有つべきであるが故に、自己の組合に加入せしむる者には、深甚の注意を拂ふ必要がある。之には次の條件が必要である。

(a) 組合員は全部同じ村落に住む者たること。

(b) 組合員は相互に熟知せる者たること。

(c) 組合員は人氣よく容易く爭論に投ずることなき者たること。

(d) 委員となり、會計に當る爲め、少くとも數名は讀み書きの出來得る者たること。

創設以來の成績

暹曆二四五九(一九一七)年二月、最初の信用組合が創設されてより爾今十年、現今七八の組合が登記され、暹羅政府は共濟組織の價値を充分に體得して來た。尤も、本來實驗期に於ける同運動を統制する爲め發布せられた、二四五九(一九一六)年の組合法修正法を以て終始一貫組合に適用して來たが、二四六六(一九二三)年の中頃、右運動を擴張する商業開發局の決意に從つて、産業組合特別法が起草されて右局に提出され、更に右局より法制局(Department of Legislative Redaction)に廻はされ改訂中である 大藏省は更に同運動に便せん爲め、佛曆二四九(一九一六)年、暹羅商業銀行に三〇〇、〇〇〇銖の限度内の前貸に對して保證を與へたが、右額の大半は、今日迄の運轉資本として使用されて來た。組合數の年々の增加は甚だ少く、且つ今日の組合數に達するには長年月を要したが、而も尙今日存立せる七七の組合を以て、上記銀行の貸付金は政府の保證額を超過してゐなければならぬと推斷するのは尤もであるが併し同運動の擴張は唯組合の拂戾金に依つてなし得られるものであつて、右資金は今尙依然として同運動の開始されたる時期に於けると同額である。斯る拂戾は大部分組合員の米作に左右せられるものである。各組合が從來通りの資本を要せず、例年より少額の貸付金にて其必要を充たし得る、其好なる年に於ては、資金に新組合設立に利用すべき幾何の殘額を生ずる。然し、天候不順にて、米作より上る利潤がおもはしくない年に於ては、組合は、組合員の金融を圖る爲めに、自然例年より大額の貸付金を要すべく、新組合の創設は差換へなければならなくなる。

偖て暹曆二四六〇年には洪水があり、又二四六二年には旱魃があつた爲め、米作が失敗に歸したので、二四六〇年より二四六三年間は、最

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

も困難なる次年であった。一部に飢饉を生じ、政府は米を分配して消費及び播種用に當て以て人民を救濟するの止むなきに至ったが、斯る年には、組合は彼等の借入金の唯少額を拂戻し得るに過ぎず、一方同時に三〇〇、〇〇〇銖の全額が、貧困なる國民の救濟の爲め新組合を設立するに消費された。故に資金の缺乏の爲め、二四六四年及び二四六五年には新組合を設立することは不可能であった。其翌年即ち二四六六年には、舊組合よりの拂戻金が充分なる額に達したので、之を利用して新組合を設立した。

次表は、右二四六四—六五年期後設立せられたる新組合が、暹羅商業銀行より借入たる金額を示し、舊組合が、其債務に對し如何に多くの拂戻しをなし得るかに付て、概念を與ふるものである。

年次(暹暦)	組合數	組合員	運轉資本としての銀行よりの借入金
二四六六	五	六七	二四、九三〇銖
二四六七	五	七九	二四、六〇〇銖
二四六八	八	一二三	六八、七〇〇銖
計	一八	二六九	一一八、二三〇

從來遭遇した幾多の困難を考慮に入れる時、又政府の組成し得たる組合數より判斷する時、同運動の擴張が遲々たるものでなかったことが、容易に判明するであらう。若し政府が、上記產業組合法の發布に依り、所要人員及び金員を以て同運動を擴張し得るに至れば、共濟組織をなして農民救濟手段たらしむる目的の實現は確信的に期待せられる。

偖て、同運動の發端より今日に至る間に於ける諸組合の進步に付て述べて見やう。

組合及び組合員數

暹暦二四六四年及び二四六五年は例外であるが、過去十年間には毎年新組合が設立された。次表は同年間に設立せられた組合及び其組合員の數を年別に表示すものである。

年次(暹暦)	組合數	組合員數 設立當時	組合員數 暹暦二四六八年末
二四五九	一	一六	四七
二四六〇	二	一四四	一六六
二四六一	一	一九	二一
二四六二	一二	二四八	二五三
二四六三	三四	六二八	六三八
二四六四	—	—	—
二四六五	—	—	—
二四六六	五	六七	八二
二四六七	五	七九	八四
二四六八	八	一二三	一二三
計	七八	一、三二四	一、四一四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

布表に依り、暹暦二四五九－二四六八年間に七八の組合が登記されたやうに見えるが、然し二四六六年にノン・ラオ組合（Non Lao Soc.）と稱する一組合が組合員の移住の爲めに解散したので、現今存立してゐる組合は七七である。

二四六八年末現在の組合員は、組合設立當初の加入員に比し、僅々九〇人の増加に過ぎない。事實、年々八〇乃至一〇〇人計の新加入員があるが、然し一方脱退員の數も殆んど之に匹敵してゐる。斯の如くして二四六八年末に於ける組合員は、何等豫期の如き大増加を示してゐない。即ち設立當時の組合員平均人數は、組合當り一七人に當つたが、二四六八年末に於ても一八人に上つたに過ぎない。

組合員減少の主なる原因は脱退であり、之に亞いでは死亡及び移住である。脱退の事由は、組合員中には産業組合運動より生ずる利益を充分に覺らないものがあつたり、又は狹隘にして氣儘なる意見を有するものがあることである。斯る組合員は、自己の借入金を返濟したる時は、彼等は、物質の上に於て、精神の上に於て、又智力の上に於て彼等の享受する利益に對し何等深慮を拂ふ所なく、彼等の財政上の窮境が一時排除せられたのを見て滿足したのである。約言すれば、斯る奴輩は、組合を一つの純金貸業と認めてゐるのである。この誤認を除く唯一の方法は、執拗に其眞義を敎へ込む事にある。この點は既に其筋に依り熱心なる注意を拂はれつゝある所で、之に依つて組合員は、將來、共濟組織の本質及び價値を益々了解し、體得するに至るであらう。勿論、大成績には一朝一夕にて到達し得られる筈の物ではないが、歩一歩漸次に齎らされるに相違ない。

移住に依る減少は主としてロプブリーに生來したもので、同地は人口稠密で、生活は益々困難になつてゐる。故に組合員中同地に自己の活動範圍を擴大するの餘裕を發見し得ざる者が、今尚饒多の土地を所有し得る更に北方の諸縣に移住をなしたのである。

尚詳細に説明すれば、暹暦二四六八年の年初に當つては六九の組合があり、合計一二六四人の組合員を有してゐた。又同年中に組合員一二三名を以て八新組合が登記され、爾後引續き同數を維持してゐる。尚同年中に、六九の舊組合は一〇七人の新加入者を得たが（其中五二人はピツトサヌローク、五五人はアユテイア）、一方八〇人の舊組合員が減少した（ピツトサヌロークに於て三六人、アユテイアに於て四四人）。故に、同年末に於ては七七の組合及び計一四一四人の組合員が存し、一組合の人員平均一八人であつた。減少したる組合員の中、三七人は脱退に、二七人は死亡、九人は移住、七人は除名に依るものである。

脱退したる三七人の組合員中、ピツトサヌロークは二三人の多數を占めたが、其の原因に就ては如上に説明した。この脱退員を二四六七年に於ける五五人に比較すれば大減少を示してゐるが、之は、組合員側に益々其本質を了解したることを立證する健全なる徴候であると云ひ得る。希くば將來に於ても斯る脱退は常に減少され度いと思ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

分類

組合の分類は、選暦二四六六年に初めて行はれたもので、每年の組合檢閲の際年每に行はれてゐる。尙設立して一年を經過せざる組合は未だ分類されてゐない。借て組合は、其性質に依つて四階級、卽ち一等、二等、三等、四等に分割されてゐる。分類は左記の見地に基いて行はれてゐる。

A 共濟の精神。
B 組合事務の管理。
C 借入金の拂戾。
D 簿記。

次表は、右分類の行はれたる最初の年より今日に及ぶ間の、等級別組合數を示すものである。

選暦	等級別 一	二	三	四	未分類	計
二四六六	—	一四	三六	九	五	六四
二四六七	—	一五	四一	八	五	六九
二四六八	—	一六	四四	九	八	七七

上記の表に依れば、表示せる三年間には、一等組合は隻影だに認められない。蓋し、檢閲官側の趣旨が、一等級に到達するには上記四性質の凡てに於て優秀なるものでなければならず、若し其の何れかに於て多少でも缺點を示すやうな時は、一等級と稱するを得ないと云ふ點にあるからである。

下級組合に就ても同樣なる主義を以て之を類別してをり、又もし其年次檢閲に際して弛緩を生ぜる組合を發見することがあれば、檢閲官は斯る組合の等級を引下げる權利を有してゐる。

此分類法は從來、組合をして其進歩に深甚なる興味を有せしむる奬勵となり、且つ其隣人と友誼ある競爭をなさしめる手段を供給して來たるものであるから、この方法は誠に有益であつたし、亦將來組合をして彼等の等級を引下げられざるやう不斷に注意を拂はしめるにも貢獻する所があるであらう。

組合の借入金償還狀態

何れの年度に於ても、借入金の償還は、主として同年に於ける組合員の米作如何に左右されるものであることは、本稿の前章に既述した所であるが、更に詳述する爲め次表を掲示する。

選暦	組合數	組合員	栽培面積(哝)	一哝當り平均産量(サト)	銀行よりの借入額(銖)	銀行への拂戻額(銖)	拂戻歩合
二四五九	一	一六	—	—	三〇一五・〇〇	—	—
二四六〇	一三	一八六	六九六九	八・五六	五六、九二一・八六	九六〇・〇〇	〇・〇一

二四六一	一四	一二五	六、三八四	一七・〇四	六五、五五四・四五	一六、五五〇・三六	二五・二五
二四六二	三六	五〇〇	六、八八五	四・八四	一六三、六五四・二五	八、七五二・一三	五・三五
二四六三	六〇	一、一九〇	二五、〇六九	一五・二〇	三二九、六四五・四四	一九、一一六・三九	五・七九
二四六四	六〇	一、一九七	三一、一六九	一九・三七	三三四、〇三六・五二	五〇、三四八・九九	一五・〇七
二四六五	六〇	一、二〇一	三一、八三六	一六・一三	三〇八、一一九・六四	七六、八七三・九五	二四・九五
二四六六	六四	一、二三五	三〇、二三九	一三・二〇	二八四、九九五・四七	六八、三三一・六五	二三・九八
二四六七	六九	一、二六四	三二、四八九	一九・七九	二九一、一一七・〇五	七七、一三八・四四	二六・四九
二四六八	七七	一、四一四	三七、四七三	一五・九五	三三七、六五四・九五	七六、四八八・九八	二二・六六

表中注目すべき一要點は、暹暦二四六一年に於ては、組合員の米作は滿足すべき收穫を示して、平均産米額は一畝に付き一七・〇四「サト」であり、従つて組合員は彼等の借入金の約二五・二五%を拂戻し得たことである。翻つて二四六三年及び二四六四年に於ては、一畝當りの産額は夫々一五・〇二及び一九・三七「サト」を計上し、組合員は二四六三年に於ては其借入金の五・七九%を、二四六四年に於ては一五・〇七%を拂戻し得たに過ぎない。之は、二四六二年に於ける米穀收穫に凶作があり、其結果一般農民は貧窮に落入り、組合員も不幸にして其の影響を免れ得なかつた事實を語るものである。加之、二四六三年には、此の災害に苦しむ人々は一團に組合設立の申請をなし、政府より保護されたる資金の殘額は、三四の新組合の設立に費消せられた。これ以上新組合が生れるなら、これ以上の資本を要する。こんな譯で、同年の拂戻歩合は自然に小歩合となつたのである。次年度二四六四年は、前年に比して遙かに良作を示したが、新組合の繼續に尙多額の資本を要した爲め其方に喰はれ従つて極僅少の拂戻をしかなし得なかつた。二四六八年末に於ける拂戻額計は、借入金計一一〇、六七五銖に對して七六、四八八・九八銖に上り、殘餘三四、一八六・〇二銖の特異なる數を示した。同年八新組合が運轉資本六八、七〇〇銖を以て設立せられた。其初年に於て右新組合が、感知し前ろ程度の拂戻をなすは、勿論思ひも設けぬことで、若し其の借入資本を全組合借入金の合計より控除する時は、其の殘額卽ち僅に四一、九七五銖が、舊組合の借入額を表はすものとなる。依之觀之、右二四六八年末に於ては、舊組合は其の負債額の三四、五一三・九八銖（76,488.98－41,975）を輕減し得たこととなる。

二四六八年に於ける總拂戻額は、二四六七年に比し六三九・四六銖の減少を示してゐる。之はピツトサヌローク諸組合の拂戻額が低減

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

したのに依るもので、同地諸組合は二四六七年に於ては一九、七二七・九八銖の拂戻をなしたが、二四六八年の初に於て牛疫に依る家畜の大減損があり、米作も噸當りの平均產量僅に一三「サト」といふ減收を示した爲めに、同年は唯一〇、一五三・〇九銖を拂戻したるに過ぎなかつたのである。

ロプブリー諸組合の拂戻額六四、一四一・四五銖は、可成良績で、二四六七年に比し八、九〇五銖の增加を示した。アユテイア諸組合も二、一九四・四四銖を拂戻し、前年より少しばかりの增加であつた。二四六八年の米作は二四六七年より減收であつた事實を考慮に入れる時、拂戻は充分に支持されたが、ピツトサヌローク諸組合の弱點の爲めに、二四六八年に於ける拂戻總計は、前年に比して些少の減少を示したのである。

組合員の收支、米作狀況

組合員は米作に從事し、彼等の主なる財源は米作である。故に米作で而も米價良好なる年次に於ては、其收入も從つて增加をする。ピツトサヌロークに於ける組合員は、米作以外に副業として、煙草、棉、甘蔗及び敷楠の一年生植物の栽培をなし、ロプブリーの組合員白墨製造、二輪馬車製造、及び奉公の如き副業に從事する。

支出の點に就ては、組合員は一般に經濟を引締めてゐる。二四六七年度に於けるアユテイアの諸組合の如く、或組合は不權衡を示してゐるが、調査に依れば二四六七年には一噸當りの平均產量は僅か九・四八銖と云ふ前代未聞の額に達したものであるが故に、斯る狀態を免かれると云ふ事は到底及びもつかぬ所であつた。

組合の財政上の地位

本稿末に附錄としたる表に依り、組合は、其發端より二四六八年末に至る迄に、計五五三、一四三・三五銖を商業銀行より借入れ、右額中より二九二、七八九・八八銖を同銀行に拂戻し、拂戻步合は資本金の五二、九三%であることが認知されるであらう。故に、組合の財政的地位は漸進的に改善されて來たもので、もし六八、七〇〇銖を新組合の組織に使用しなかつたならば、拂戻步合は尙遙かに高くなつてゐることゝ思はれる。

組合の擔保

暹羅に於ける產業組合促進運動の歷史を概觀するに、之を二期に分割することが出來る。即ち二四五九年より二四六五年（該年を含む）間は、第一期又は初期を形成し、第二期即ち當期は二四六六年より始まる。

（一）初期に設立された組合は、精神的擔保（モーラル・セキユリテイ）を基礎として行はれた。換言すれば、組合員は借入金の擔保として不動產又は動產を呈出するの義務なく、協合して共通なる目的の爲めに働く一體となること、彼等の個人としての人格、正直、勤勉、勞働能力及び借入金の拂戻能力、相互の上に行はれる監式の目、結合されたる財產、是等は凡て信用を樹立するに貢獻し、該信用に基いて彼等は外部より借入を

英領馬來

□馬來半島のガツタ・パーチヤに就いて（續）

なし得た。而も該信用は、彼等連帶責任を負びて立つた事實に依りて更に強固にされた。

該期の組合に於ては、若し組合員に、彼が借入金の拂戻を怠るか、而らざれば彼に不信用な行をなし又は組合の安寧を害するが如き、行爲ありて僅かにても怠慢の色を示す時は、總會は常に斯る組合員に命じて自己の土地所有權を組合に移さしめ、以て懲罰の手段となし、又合せて組合の利益擁護の手段とした。又檢閲官が薄弱となれる組合あるを發見したる時は、常に、組合に忠告して損失を未前に防ぐ爲めに精神的擔保に代へて物質的擔保を取らしめてゐた。

（二）當期間に設立されたる諸組合は物質的擔保に據つた。換言すれば、加入者は自己の土地所有權を組合に移すが、其土地の價格は彼が借入金額に達せねばならない。でなければ已に同樣にして資産を組合に移してゐる得組合員二人の保證ある時にのみ加入し得られる。

當期の組合では、組合員は殆んど遙かに良好なる立場にあり且より廣き活動範圍を有してゐるので、前期の組合よりは多くの資本を要した。斯る理由で組合員一人當りの平均借入額は、前期よりも高額を示してゐる。

次表は、右二期に於ける組合員一人當りの平均借入額を州別及び年次別に示したものである。

年次（暹曆）	組合數	組合員數	借入額	一人當りの平均	備考
アユテイア州	—	—	—	—	
二四六〇	三	一四四	五〇、六六五	三五二	精神的擔保に據る
二四六二	三	二四八	八三、九〇〇	三三八	精神的擔保に據る
二四六三	二	一七一	六三、一九〇	三六九	精神的擔保に據る
二四六六	五	六七	三一、一五〇	四六五	物質的擔保に據る
二四六七	五	七九	三六、二四〇	四五九	物質的擔保に據る
二四六八	八	一二三	六九、七五〇	五六七	物質的擔保に據る
ピツトサヌローク州	—	—	—		
二四五九	一	一六	三、〇〇〇	一八七	精神的擔保に據る
二四六一	一	一九	一、五八五	八三	精神的擔保に據る
二四六三	三	四五七	五五、四九〇	一二一	精神的擔保に據る

茲に注目すべきは、初期に組立された組合に付て見るに、ピツトサヌローク州の諸組合員の要求した資金は、アユテイアより小額である一事であるが、之は兩州間の經濟狀態に大なる隔差あるに歸するものである。

（未　完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第五章　不良ガッタと代用品

數種の樹木からは含有樹脂の多量な爲め不良品となれるガッタ・パーチャが採れる。是等の中著名なるものゝ數種類を簡單に說明すれば次の如くである。

第一節　グター・スンデイク

(Payena Leerii Kurz)

之れは中位の樹で、分布は稍々弘く馬來半島、スマトラ、バンカ、ジャバ、アムボイナ、ボルネオ及比律賓の各地方、概ね海岸地附近に發見される。次の記錄は、ヘイネ著、蘭領印度の有用植物、第四卷（一九一七年第十一頁）から引用したものである。

グターは堅牢、熱湯に曲げ易く、冷却すれば再び堅牢となる。汁液は稀薄で、容易に流れ易きが故に、不純物と遊離して、集積せねばならぬ。天然的には白色であるが、變色をする。併し製品は常に多少黃色を呈してゐる。グターは可なり優良であるが、樹脂を多分に含んで居る。之れは同一の彈力性があり、タバン・ムラーの如く、混じて摩擦すれば火花を放つ。市場には絕對に純粹なものとしては出ない。時にドウヤン又はプアン (Palaquium Treubii Burck) ハンカン (P. leiocarpum Burck) 又はジエルートン (Dyera spp.) と混合される。併し此の際ハンカン又はジエルトンと混合すれば、色彩・外見共に變り、彈力性鈍く、一種特有な臭氣を發するのである。

第二節　グター・タバン・プテー

(Palaquium obovatum King and Gamble)

本樹は一に馬來半島に知られる。他の樹よりも大型で、通例タバン・ムラー（二者は共在することもある）よりも稍々高地に發見せらるゝ。葉は大きく、ガッタは白色で自由に流動する、タバン・ムラーの價値の中にも達せぬ。

第三節　グター・ハンカン

(Palaquium leiocarpum Boerl)

ボルネオにのみ發見される大型の樹で、低地に發生する。ガッタは白色又は稍々帶赤色のもので、多量に輸出せられる。價値低くて上等品の混用となる。

グター・ソー又はアン・ソー

本名は新嘉坡市場で上述の種類のものに付けられた名稱である。屢々此のものがグター・タバン・ムラーの代用品として、赤色化する研究が行はれ、此の中には多種の內皮が含まれてゐる。新嘉坡で其の一種を驗鏡の結果チンガル (Ceriops Candolleana Arn.) の內皮が現れ、其の破片が此の見本に含まれてゐることが判つた。

第四節　スマラム

(Payena Havilandi King and Gamble)

馬來半島にありふれた種類のもので、Payena Leerii 類似のガッタ

を産すると云はれる。

第五節 サンガイ (Sungei)

之れは Payena latifolia Burck, P. rubro-pedicellata Burck 及び他のボルネオ、リオー及びスマトラの一部のものに名付けられたもので、前記 Payena Leerii 同様なガツタを産して居る。

第六節 グター・クタバン

(Palaquium Clarkeanum King and Gamble)

馬來半島産のもので、良品ガツタの混用となる不良ガツタを産してゐる。

第七節 タバン・シムポル

(Palaquium Maingayi King and Gamble)

馬來半島産のもので、普通ジエルトン汁液(サツプ)の混和物に供される可なりのガツタを産して居る。

第八節 タバン・ストウラ又はタバン・プテー

(Palaquium oxleyanum Pierre)

半島産のもので、ジエルトン又は或るバシア種の汁液(サツプ)と共に採取家の混合する甚だ厚味のあるガツタを提供する。

第九節 ニヤトー・ドウヤン

(Palaquium Prenbii Burck)

品質不良なるボルネオ種で、表面略々黒色に近き暗灰色を有する緑白色を呈してゐる。此のものは頗る彈力性に缺けた硬質の塊りである。譬へ可なり粘著性を有するとは云へ、少し叩けば忽ち崩壞する。破碎面は花崗岩狀の表面を有してゐる。不良種を加へる事によつて、是等の品質は漸次に變化する。屢々優良ガツタの混用に供せられ、又不良品特にジエルトンに混入せらるゝ。

第十節 ニヤトー・ルンクン

(Palaquium xanthochymum Pierre)

馬來半島産帶黄色二等品ガツタ。

第十一節 ムントウア・タバン、タバン・プルチヤ、グター・プルチヤ

(Payena Maingayi (Clarke)

之れは時にガツタパーチヤの名稱を付ける半島産のもので、品質不良且殆んど無價値なものと云へる。

他に不良ガツタの多くが使用されるが、是等に關する智識は全くの門外漢である。

眞正ガツタでない或る種のものに就いて當然說明をしなければならぬが、稀に數量を增加する爲めガツタ・パーチヤに混入されるが、代用品とされてゐる。

バラタ (Mimusops Balata)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

南米樹で、恐らく是れと同種類のあるものは、ガッタ・パーチャの代用品として著名である。其の性質は護謨とガッタ・パーチャとの中間物であつて、可なり大量を取得することが出來、特殊な用途を有するガッタ・パーチャの代用品に供される。

野生護謨

數種の Willughbeia 及び Chilocarpus の產品たる名稱の野生ゴムは偶々土人採取家のガッタ・パーチャ混用に供される。

ジエルトン (Dyera spp.)

本樹から採れる汁液(レーテクス)はガッタ・パーチャの混和物として最も多く使用される一種である。數量を增し、外觀を良くする目的を以て屢々混入されてゐる、有新嘉坡の某支那商人が之れを使用するとまで云はれて居る。

第六章　新嘉坡に於けるガッタ・パーチャの取引

一九一九年末グター・タバン・ムラーの擔當り賣價は七六〇弗(噸當り一、一九二磅)であつた。尙當時の下級品は其れ相應に低率な相場を唱へてゐた。グター・タバン・プテー (Palaquium obovatum C. B. Clarke) は擔當り二〇〇弗の賣價であつた。他のものは夫れ〱多分に樹脂其他の不純物を混入せる爲め使用されてない。

一九二〇年新嘉坡から輸出されたガッタ・パーチャの量は八、〇二三・四四八弗に上つた。其の年平均輸出價額は一九一三－二二年三、六四〇・四四四弗であつた。

次の表は一九〇一－〇二〇年間新嘉坡で取引されたガッタ・パーチャ及び不良ガッタの一斑を示したものである。

ガッタ・パーチャ

	輸入	輸出
總數量	六二三、四四八擔	一、一一一、六七三擔
總價額	六五、九四六、六三二弗	一〇九、九六一、九六六弗
一擔當り平均價格	一〇五・七八弗	九八・九一弗
二十一箇年間に於ける純損失	四四、〇一五、五三四弗	

不良ガッタ

	輸入	輸出
總數量	三、八六一、四八四擔	三、五九七、一五一擔
總價額	三五、七三六、八四八弗	三五、〇〇四、三二一弗
一擔當り平均價格	九・二六弗	九・七三弗
二十一箇年間に於ける純損失	七三二、五二七弗	

上揭のガッタ・パーチャは、理論上純正ガッタでなければならないが全然さうとは云へぬ。採取家が普通集めた上等品に不良品を混合することは既述せる所である、此の慣習は非常に弘く瀰漫し、次第に巧妙に行はれて居る。數量を增す爲め小枝、內皮、木質部、其の他の物を混入する遣り方は容易に探知される方法であり、新嘉坡で收受す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る原料の大部分は最近購買者によつて詐欺を摘發する爲め種々な方法で試驗して居る。通例新嘉坡のガッタを精選し、輸出向品とする爲めには熱する必要がある。不良ガッタ、ジエルトン又は他の野生ゴムを混入せる場合は一寸發見されない。輸出向ガッタの製造には幾通りかの手加減があり、新嘉坡在住の或る支那人の如き上等下等の兩様のものを巧みに混ぜ合す爲め、下級品よりも高き相場を現出してゐると云ふ事である。ガッタ精製の場所や方法は頗る注意深く行はれて、閑人の出入は禁示されて居る・ヘイネはグター・タバン・ムラーの項の下に次の記事を掲げてゐる。

市場に出廻るグターは Palaquium oblongifolium の純粋グターであることは尠く、若しありとするも極めて少量である。時に上等品の混合物中に發見される。取引殊に支那商人の間では此のものと劣等品との混和物と云つてゐて往々混惡極度に過ぎ、全貨物が色彩の爲めに單にグター・メラーと呼ばれてゐる。絶對的には帶赤灰色で、時に銅色のものもあり、グターは非常に緻密な硬塊物で容易に粉碎し難いのである。又それを石床或は木製床に投げつければ忽ち反ねかへり、二片を共々に摩擦すれば火花を散して發聲する。斜に切斷した面は各種の組成面を綺麗に表現する。是等の特性は、グター・ムラーにも發見されるが、極く微弱でゐる。然るに品質劣等な混入物には殆んど現れてゐない。少し許りの木材と混合すれば赤色又は暗褐色となり、Payena Leerii では灰色を帶び、他種のガッタを加入する時は灰色乃至褐色の種々な色彩を表して來る。劣等種には一回又は數回再び煮沸される、此の際完全に混合せられるのである。其の製品は實際よく見えて、頗る粘着性又は彈力性に缺くとは云へ、不均せる組成を有すると云ふ感じがある。元來良品種たるグタイ・ドウヤンと混合すれば個々可なり粘着力ある製品を得られるが、貧弱なことによつてドウヤンと混入してゐることが判る。

新嘉坡に集るガッタの大部分は年々ボルネオから數千噸移輸出されるハンカン (Palaquium leiocarpum Burck) であると云はれる。此のものはジエルトン類似の見味を有つてゐる。ガッタ・パーチャの中ハンカン識讀の間のジエルトンと同一な立場を持つてゐて、市價も高い、けれども之れは販賣の爲め提供されるジエルトンの様に超過水分を含んで居らない。

ジエルトンの用途は廣い範圍を持つてゐる。

前表によつても明な様に、新嘉坡から輸出のガッタ・パーチャの數量は輸入額よりも殆んど八十パーセント多い。新嘉坡滯留中不良ガッタの量は若干減少をした。ガッタの單價は減り、劣等ガッタの單價は新嘉坡で加工されて稍々增加するが、新嘉坡での取引の純利は年二百萬弗以上になつて居る。

新嘉坡から輸出される混惡ガッタ・パーチャの大部分は各工場から精製された葉ガッタ及び聯邦州森林部の供給する採液ガッタである。

（完）（Malayan Series, No. XVIII）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

□ 海峽植民地の靜態統計

一九二六年度出生死亡登記官長の報告によれば、海峽植民地の人口は種族別に見て概算歐洲人一〇、二七八人、歐亞混血種（ユーレシヤ）九、八八九人、支那人五九四、一四二人、馬來人二六六、二〇九人、印度人一三五、〇二六人、他の國籍に屬するもの一〇、二九一人總計一、〇二五、八三五人であつて、一九二五年及一九二四年の人口は各九九四、二六六人、九六〇、九五二人を算して居る。

同年海峽植民地全帶を通じて新に登記したる出生數は三三、六九四人（中男子一七、四八二、女子一六、二一二）で、同じく前年は三一、六六五人（中男子一六、四四四、女子一五、二二一）であつた。此の數字は生者一千人當り三二・八五なる出産率を示すもので、前年の三一・九八、一昨年の三二・二九に比較して濫造を現したものと云ふべきである。

人種別によつて調べた所では馬來人一千人當り四一・一九を最高として、次いで支那人は三二・五〇を擧げて第二位を占めてゐる。

一九二六年中疾病による死亡者數は三二、六三三人（中男二一、二六五、女一一、三六八）で、新嘉坡及び彼南では死亡者は遙かに出生者數を凌駕して居る。三月から八月迄は例年になき酷暑旱天續きで、マラリヤ、肺炎、腸の疾病等に因る死亡數激増し、又之れが爲め嬰兒の死亡率も殖えたのである。千人當り三一・八一なる死亡率は過去十年間に於ける平均死亡率三二・三五に比ぶれば小數とは云へるけれども一九二〇年來、一九二五年の最少レコード二七・二六を除いて、最高數字とも云ひ得る。而して本年の旱天に略々似たる、一九一一年の旱天には實に千人に付き四六・四六の著大なる數字を計上したのである。然れども一九二〇年來當局が著々防疫手段を實施しなかつたならば死亡率亦著るしく増大したことゝ思はれる。

次に新嘉坡週別死亡率は同年六月十二日に終る一週間即ち千人當り四三・六四を以て最高とする。之れを種族別にすれば支那人の三三・四六、馬來人の三一・二五の順位である。

主なる流行病による死亡者は百斯篤七、天然痘一六、虎列剌一一六、腦脊髓膜炎九、就中虎疫患者一〇二名は植民地に上陸せざる檢疫所に於て船客中に發生したものである。

肺炎患者は一九二五年二、〇〇九名に對して二、八〇七名、此の中死亡一八三名は流行性感冒に因るものと記錄されてゐる。

又脚氣による死亡者は一、〇九八名で、一九二五、二四、二三の各年度には夫れ〳〵九五七名、九〇四名、一、三八八名に上る。

マラリヤによる死亡者は、一九二五年四、二〇九名に對する六、四五二名、で此の他上記々載外の熱病によるもの二、六六二名を算し、一九二五年には二、二七六名を擧げてゐる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

前記數字によりて明瞭なる如く、夥しきマラリヤの流行を見るのは雨量不足の結果、産卵地のアノフエリンが不流の儘生活し、遂に幼蟲より完全成長に達する爲めである。

赤痢に因る死亡者は一、〇一五名で、前年は八五五名であつた。次に下痢及び腸加答兒死亡者は一、三七九名で、前年度には一、〇四三名があつた。

（新嘉坡フリー・プレス七月二十九日）

□ 一九二六年海峽植民地貿易概況

昨年度貿易總額は概算二億九千五百萬スターリングで、前年のレコードに比較すれば十七・パーセントの減少に相當する。全體の減少は護謨の取引總額が一億五千五百萬弗即ち一千八百萬スターリング以下となつた樣激烈ではないか、一面其他の米、錫、自動車油、胡椒、コプラの主要商品の増加せる爲め多少バランスが採れて居る、狀態である。

輸出護謨の數量は約二七三、〇〇〇噸で、前年より二四、〇〇〇噸程多いが、反對に價額は僅に四九三、〇〇〇、〇〇〇弗で、七五、〇〇〇、〇〇〇弗の減少となつて居る。

同年輸出パラ護謨の中、北米合衆國は一九六、〇〇〇噸（一九二五年より六千噸増）を輸入したけれども、其の價額は七千三百弗餘を減少してゐる。英國は前年より一萬四千噸程（約七十五パセントの増加）を増加したが、價額は前年に對し一千萬弗を増加したるに過ぎない。其他の諸國は綜合して凡そ五千噸を増加したけれども、價額は却つて一千二百萬弗を減少して居る。

之れに反して、護謨の輸入數量は二十六萬噸から二十八萬噸即ち二萬噸内外の増加であるが、價額は八千萬弗の減退である。此の中、十二萬八千噸は馬來各州から來たもので、數量二萬八千噸の増加であるが、價額は二億一千九百萬弗即ち前年に比して約一千三百萬弗の減少となつてゐる。蘭領東印度及び諸外國からは一五一、〇〇〇噸（約八千噸減）を輸入したけれども、價額は前年同地方からの其れに比較すれば概ね六千八百萬弗の減退を示して居る。

斯くて一九二六年間護謨の輸入數量は、輸出數量を超過すること七千噸に昇るに反して、價額は一億三百萬弗の激減を來して居る。然れども、此の際輸入護謨の場合には重量告知書に水分と不純物があり、輸出には乾燥護謨の數量なることを注目しなければならない。

錫の輸出入量は何れも低減した。輸出錫の數量は前年より二、七五四噸減少したが、價額は一千萬弗を増收して居る。錫の輸出量は七六、三四〇噸、價額一八五、五〇〇、〇〇〇弗であつて、前年は夫れ〳〵七九、〇九四噸、一七五、〇〇〇、〇〇〇弗餘を算して居る。錫礦の輸入

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

額は九三、八八八噸、一六〇、七一五、〇〇〇弗、之れが前年は九五、七五九噸、一四八、三六九、〇〇〇弗である。

港を通じて積換へた米の數量は五萬六千噸以上も多く、之れに反して輸入紙卷煙草は三百萬封度、輸出紙卷煙草は二百萬封度方の減少を示した。

綿反物の輸入量は二千萬碼、卽ち價額にして五百萬弗、輸出は僅かに七百萬碼、二百萬弗の夫れ〳〵減少である。

石炭の輸入量は一四九、五二一噸を增加した。此の理由は港灣を使用する船舶の增加した結果である。

同年中英國からの輸入額は一九二五年一二、三四六、〇〇〇磅より一三、三三八、〇〇〇磅、卽ち約一百萬磅方輸出額も亦一二、七〇〇、〇〇〇磅から一三、一三〇、〇〇〇磅卽ち四三〇、〇〇〇磅を各々增大した。然るに濠洲及び新西蘭よりの輸入は一、九九〇、〇〇〇磅から一、六七九、〇〇〇磅卽ち三十萬磅を減少したるに、他方輸出は三、〇七七、〇〇〇磅より、四、七〇五、〇〇〇磅卽ち一、六〇〇、〇〇〇磅を激增した事は英領馬來の立場より見て好い結果と云はなければならない。大抵輸入の增加した國では輸出は却つて減退して居る。斯くて佛國の輸入額は八四八、〇〇〇磅から一、三八八、〇〇〇磅卽ち五十萬磅を增加したるに反して、他面輸出は四、三三九、〇〇〇磅より三、七九七、〇〇〇磅に凡そ同額の減退を見てゐるのである。同樣獨逸よりの輸入は九二三、〇〇〇磅より一、四五四、〇〇〇磅、和蘭八九五、〇〇〇磅より一、〇〇四、〇〇〇磅、伊太利一、一〇〇、〇〇〇磅より、一、七二五、〇〇〇磅を增加したるに反して各國からの輸出額は獨逸二、七六四、〇〇〇磅より一、七九七、〇〇〇磅、和蘭三、一八九、〇〇〇磅より三、一八六、〇〇〇磅、伊太利二、〇四六、〇〇〇磅から一、六五〇、〇〇〇磅に夫れ〳〵減少をした。

北米合衆國は一九二五年輸入六三、〇八四、〇〇〇磅より本年五六、三九七、〇〇〇磅で第一位を占め、反對に海峽植民地への輸出は前年三、三二四、〇〇〇磅より三、六一六、〇〇〇磅を計上して居る。

日本への輸出額は前年四、一〇〇、〇〇〇磅より四、四二〇、〇〇〇磅に增大し輸入額は三、四七一、〇〇〇磅より、四、〇三六、〇〇〇磅に上昇したのである。

此の他主要十二箇國よりの輸入取引は何れも皆激增して、日本の如きは輸入石炭の增加せるによつても直に一目瞭然である。諾威及瑞典からの輸入は明に減少を示した。一般に是等の國々への輸出は前年よりも減退して居る。

（新嘉坡フリー・プレス七月十九日）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蘭領東印度

一九二一—一九二六年に於ける外領よりのコプラ對外輸出

一九二一年乃至一九二六年間に於ける外領よりのコプラの輸出狀況を比較して見る時は、堅實なる增加の跡が見受けられ、只例外として一九二三年度が其の前年より減少を示して居るのみである。

各年に於ける總輸出額は次の樣である(千瓩噸)

一九二一年	二一七、五五八	一九二四年	二八四、七一五
一九二二年	二八八、五六九	一九二五年	三二一、〇五三
一九二三年	二七三、三〇七	一九二六年	三五八、八六二

一九二一年及び一九二六年の本輸出額を地方別に割當てる時は次の如くとなる。

地方別	一九二一年 輸出數量	一九二一年 總額に對する%	一九二六年 輸出數量	一九二六年 總額に對する%
一 セレベス及び其屬領	六九、九二八	三二・一四	九二、〇六五	二五・六五
二 メナド	四七、九一〇	二二・〇三	八六、五二一	二四・一一
三 ボルネオ西部	四一、九七一	一九・二九	六六、九三四	一八・六五
四 リオー及び其屬領	一八、五三五	八・五二	三〇、四三六	八・四八
五 スマトラ西海岸	一三、四六九	六・一九	三〇、三六六	八・四六
六 バリ及びロムボク	七、二〇五	三・三一	一四、七一九	四・一〇
七 スマトラ東海岸	六、八四六	三・一四	一三、七九〇	三・八四
八 アッチエ及び屬領	三、八五三	一・七七	九、六〇一	二・六七
九 テルナテ	二、一〇三	〇・九七	六、六一八	一・八四
十 ピリトン	二、四七三	一・一三	二、七九九	〇・七八
十一 アムボン	三五九	〇・一五	一、八二三	〇・五一
十二 ボルネオ南東部	一、七〇三	〇・七八	一、一五〇	〇・三二
十三 ジヤムビ	五三七	〇・二四	一、〇三六	〇・二九
十四 タパヌリ	六六七	〇・三一	八〇〇	〇・二二
十五 ランポン地方	—	—	一〇四	〇・〇三
十六 パレムバン	一三	—	—	—
十七 チモル及び屬領	二	—	三	—

側ら此處に掲げねばならないことは、コプラは外國への外、爪哇マヅラ及び其他の外領印度の地方へも輸出されて居ることである。本稿貿易の概念を得る爲に一九二六年度に於ける其の數量を記せば左の通りである。

外國への輸出	三五八、八六二噸
爪哇マヅラへの輸出	一一、七五二噸
其他の外領への輸出	五三、〇一六噸
合計	四二三、六三〇噸

コプラの對外輸出地として最も重要なものはセレベス及び其屬領

並にメナドである。　本地方は合して總輸出額の平均五〇%を占めて居り、ボルネオ西部は一九%を以つて第三位に位して居る。故に本三地方は總輸出の約七〇%を占め、コプラ輸出地として最も重要な地位にあるのである。

次いでスマトラ西海岸及びリオー地方は合計して、總輸出の約一七%を占め、結局以上の諸地方で既に輸出の八七%のコプラを出して居るのである。

積出港　セレベス及び其の屬領地方に於ては、マカッサルが其の最大積出港であつて、一九二一年の總輸出高約七〇、〇〇〇噸の内殆んど全部が本港を經由して輸出され、單に五四丈がマジエネから積出されたのみである。

一九二六年に於ては、總輸出高九二、〇六四噸の内九一、二三七噸はマカッサル經由で積出された。又一九二一年から一九二六年に至る間にパリマ、ケンダリ、コラカ及びバウバウ等の港はコプラの輸出港として擡頭するに至つた。是等港灣の輸出は、一港當り五〇〇噸以上に昇つたことはない。一九二六年には、パリマは三二七噸を以つてマカッサルに次ぐコプラの主要積出港となつた。

然し乍ら、本地方の輸出は極く徐々に増加して居るのみであるから總輸出が激增して居るに拘らず、之れに對する比率は減退して居るのである。

メナド、　輸出が一九二一年の四八、〇〇〇噸より一九二六年の八六、五二一噸に激增し、コプラ輸出に斯くも重要なトミニ灣を有して居る本地方には一九二六年度に於て一〇、〇〇〇噸以上の輸出を爲した三大積出港がある。卽ち

	一九二一年	一九二六年
合計	四七、九一〇	八六、五二一
メナド經由	二六、一七三	二五、八四四
ゴロンタロー經由	一四、四三二	二七、九二八
タルーナ經由	四、五六九	一七、九四五
三港計	四五、一四七	七一、七一七

一九二一年に於ては海外輸出の殆んど全部を一手に引受けて居た前記三港は、一九二六年に到つて其の趨きを異にするに至つた。卽ち一九二一年には全輸出の過半數を供給したメナドは、一九二六年には三分の一をも積出すに至らなかつたのである。本地方の輸出港としての第一位は一九二四年にはゴロンタローに奪取せられ、今日まで是の狀態に引續いて居り、タルーナは常に末位に位して居る。

然し本地方の他の場所も對外直接輸出を增加しつゝあり、斯の如く一九二六年には、一九二一年頃には別々に揭げるまでに至らなかつた場所も、統計中に揭げられるに至つた。是等港灣の主なるものは次の樣である。

	一九二一年噸	一九二二年噸	一九二三年噸	一九二四年噸	一九二五年噸	一九二六年噸

アムーラン	七五六	二、〇〇六	二、四四三	一、七八三	四、七五九	五、〇五三
シアウー	六六六	—	二、六五七	二、六八一	二、六九七	三、七八三
ポマアン・モンゴンドー	四〇七	七九五	一、〇四四	一、三六八	一、三五二	八二〇
タフランダン	二九三	一、四三〇	一、六五三	二、〇三六	二、四四四	一、九九一
バンガイ	—	—	三、二三二	二、八八〇	三、五〇〇	二、三五七

ポマアン・モンゴンドーを除く外是等港灣地は最近に於ては各々一、〇〇〇噸以上のコプラを輸出するに至つた。前記指數より見る時は、是等港灣はコプラ輸出地として漸次頭を擡げつゝあることが明らかに解り、其の間本五港の分及び前記三港の分を合算する時は其他の小港灣からの輸出の部は極く僅かである。一例を擧げればポッの如きは平均約五〇〇噸を輸出して居るのである。

其他本地方には猶シイコノ港があり、本港は一九二六年に一二七噸を輸出して居る。

此處に注目に値することはルーウオク港の輸出減退であつて、一九二二年に一、〇七八噸、一九二三年に一、四五六噸一九二四年に九九五噸、一九二五年に三六七噸及び一九二六年には單に一一七噸しか外國に輸出して居ないのである。

ボルネオ西部　本地方のコプラ輸出數量は、一九二一年の四一、九七一噸より一九二六年には六六、九三四噸に增加して居る。

本地方の三大輸出港の狀況を示せば左の樣である。

	一九二一年噸	一九二二年噸	一九二三年噸	一九二四年噸	一九二五年噸	一九二六年噸
ポンチアナ	三〇、三〇四	三九、〇六七	三七、七三四	三五、九七一	四一、八九三	四七、六六六
ペマンカット	七、八八三	九、三八〇	一三、三三八	一〇、八三三	一一、〇二二	一三、五七八
シンカワン	三、七七七	六、四五四	五、〇九一	五、五〇六	六、一六一	六、六八九

本地方に於てはポンチアナはコプラ輸出港として一頭地を拔き、之に次ぎペマンカット及びシンカワンの順次である。輸出の增加具合は三港共滿足すべき狀態にある。

リオー及び其屬領　本地方の輸出は一九二一年の一八、五三四噸より一九二六年には三〇、四二六噸に增加した。主要輸出港は次の通りである。

	一九二一年噸	一九二二年噸	一九二三年噸	一九二四年噸	一九二五年噸	一九二六年噸
プールー・トウジヨ	一三、六〇九	一四、八七一	五、九八〇	一三、六九一	一三、一七九	一五、五〇九
ブリギラジヤナ						一二、二四七
サパト	四、五一三	六、六〇一	一〇、三六五	九、四九七	一一、八三八	一、六〇〇
タムピラハン						一、四三七

此處に一寸注意にまで記さねばならないことは、一九二三年分の數字は多少不完全のものであり、又一九二六年以前に於けるサパト及びタムピラハンの輸出はブリギラジヤナの輸出高中に編入されて居ることである。

本地方に於ける小輸出港はタンジョン・ピナン、ベヌバ及びクヮラ・マンダー等であつて、是等港灣からは一九二三年に各々二三一、二五一及び一〇一噸宛輸出されて居る。

スマトラ西海岸　本地方の輸出は一九二一年の一三、四六九噸より一九二六年には三〇、三六六噸に増加し、一九二四年を除く外常に増加する一方の傾向を示して居る。

パダンは本地方に於ける、唯一に輸出港であつて累年の輸出額は次の樣である。

一九二一年	一三、四六〇噸	一九二四年	二二、八五六噸
一九二二年	二一、七三三噸	一九二五年	二七、二四四噸
一九二三年	二四、九三〇噸	一九二六年	三〇、三六六噸

以上の外コプラの輸出地として比較的重要でないものがあるが、左に其の概觀を記することにする。

バリ及びロムボク、總輸出額の四%を占めて居る本地方の輸出高は一九二一年の七、二〇五噸より、一九二六年には一四、七一九噸に増加した。

重なる輸出港は左の通りである。

	一九二一年噸	一九二二年噸	一九二三年噸	一九二四年噸	一九二五年噸	一九二六年噸
ベノア	三、四四五	八、二〇四	五、三八〇	六、三三三	五、四二八	六、二〇七
パダンバーイ	二〇四	二、四二三	三、一五六	四、三三七	四、七六三	五、〇三三
アムペナン	一、六六五	二、九二五	二、三〇〇	三、〇〇三	三、一一六	一、六九九
ラブアン・アジ	一、一五六	二、二六八	一、三七八	一、三六九	一、五四一	一、一〇三
パペアン	七三四	四〇四	一、五二〇	一、二四一	二〇四	六八七

此の外に前期々間内にスールーンジョクーンは嘗つて、一二噸を輸出したことがある。

スマトラ東海岸　スマトラ東海岸は一九二六年には總輸出額の三・八四%を供給した。故に當地方は「バリ及びロムボク」地方と殆んど同一の地位にあるのであつて、單に積出港數がより多いのみである。

主なる輸出港は左の通である。

	一九二一年噸	一九二二年噸	一九二三年噸	一九二四年噸	一九二五年噸	一九二六年噸
タンジョン・バライ	二、九二五	四、一四四	四、一三八	五、一三三	六、三二四	五、八四七
タンジョン・チラム	一、三七九	二、一九九	一、七六一	二、九六七	三、一三三	三、一八六
プラワン・デリ	一、一一四	二、二一九	二、一三一	二、六〇六	三、四九一	一、四〇六
バガン・シ・アピアピ	三五九	五四八	四八三	六七六	八二八	八一五
タンジョン・プリンギン	七六	一八三	二三六	四三七	五七四	七四五
ラブアン・ピリク	三九八	六〇七	三一七	八二四	六四六	六五八
タンジョン・プーラ	三八九	四四二	四二四	四三三	四三三	五八六

當地方に於けるコプラの小輸出港はパンカラン・ブランダン及びシアク・スリ・イントラプーラ等であつて、其間バカン・バルーは嘗つて

極く小量のコプラを輸出したことがある。

本地方全體の輸出高は一九二一年の六、八四六噸より一九二六年には、一三、七九〇噸に増加した。

アチエ及び其の屬領　本地方は、一九二六年に於ては總輸出高の二・六七%を供給しコプラ輸出地方中第八位にあるのである。

本地方の總輸出高は一九二一年の三、八五三噸より一九二六年には九、六〇一噸に増加した。

主要輸出港は次の通りである。

	一九二一年噸	一九二二年噸	一九二三年噸	一九二四年噸	一九二五年噸	一九二六年噸
ロー・セウマヴュー	一、四三六	二、九一三	二、九一三	二、六四一	三、一六三	三、三五三
シナパン	一、三九三	一、三三八	五四〇	二六五	八六〇	一、五八三
ウーレー・レーウ	三七五	一、〇〇三	九七四	一、六〇九	一、四一三	一、五四三
ラングサ	六	一三	一六〇	一〇七	三五七	一、〇八七

ロー・セウマヴューの輸出は前期年間に倍加し、シナパンのそれは増減一律ならず、又ウーレー・レーウ及びラングサよりの輸出は激増を示し、殊に後者の如きは非常なものである。

本地方に於ける他の積出港はシグリ（一九二六年に於ては五七五噸）、イデ（四一三噸）、チヤラン（三二六噸）、タパ・トウアン（二九五噸）及びシンケル（三七一噸）等である。

タルナテ　本地方の輸出は一九二一年の二、一〇二噸より一九二六年には六、六一九噸に増加した。

當地に於てはタルナテは事實上の唯一の積出港であつて、其の積出量は左に揭げる樣である。

一九二一年	一、九五三噸	一九二四年	二、八二五噸
一九二二年	四、五六二噸	一九二五年	二、〇三〇噸
一九二三年	四、〇三三噸	一九二六年	六、二六九噸

ラブーハは最近輸出港として擡頭するに至り、年平均四百噸を輸出して居る。又一時的にマヌクワリは僅少のコプラを輸出した事がある。

以下に揭げる地方は總て、一九二六年に於ける總輸出高の一%未滿を占めて居るものであつて、順次は左の樣である

ピリトン	〇、七八%	タパヌリ	〇、二三%
アムボン	〇、五二%	ランボン地方	〇、〇三%
南東ボルネオ	〇、三二%	パレムバン	—
ジヤンビ	〇、二九%	チモル及び屬領	—

ピリトンに於てはタンジヨン・パンダンは唯一の輸出港であつて、年平均二、〇〇〇噸を輸出し、單に一九二六年に於てのみ三、〇〇〇噸近くのコプラを輸出した。

アムボン及びメラウケはアンボン地方に於ける重な輸出港であつてバンダ・ナイラ經由で積出されるものは極く少量である。

南東ボルネオ地方に於ては、パンジヤルマシン及びサムヒトは其の重な輸出港で、ムーラサバクは一九二六年まではジヤムビ地方の唯

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一の輸出港であつたが、一九二六年に至つてトウーンカルは別箇に統計中に掲げられるに至つた。而して、以前に於ては常にムーラサバクの數字中に包含されて居り、本港は一九二六年にはムーラサバク經由二〇九噸に對し八二七噸の輸出を見た。

グーヌン・シトリは事實上タパタリに於ける唯一の輸出港であつて一九二六年には、本地方の總輸出量八三〇噸中七五九噸を輸出した。而して殘部はシボルガ及びバルース經由で積出されたものである。

ランポン地方に於ては總てのコプラはテロク・ベトン經由で外國に輸出され、其の間一九二六年に於ては、パレムバンよりは、直接海外へ積出されたものはなかつた。

チモルに於てはコプラの輸出港は各所にあるが、最近に於ける本地方のコプラの輸出は微々たるものである。

最後に一九二一年並に一九二六年に於ける外領よりの對外國コプラ輸出の概略を掲げるに次の樣である。

	一九二一年噸	一九二六年噸	一九二一年に對する%
和蘭	三三、九五四	八六、三七三	二五四・四
和蘭%	三五、〇七八	五五、五一八	一五八・三
佛蘭西%	二四、〇五七	五三、五七六	二二二・七
新嘉坡	六二、六七五	五三、五〇八	八五・四
獨逸	一七、五八七	四九、二〇一	二七九・八
獨逸%	一、〇〇五	六九六	六九・三
丁抹	二三、五三五	三〇、六九一	一三〇・四
坡南	七、二三一	一一、六二四	一六〇・八
伊太利	三、二九一	五、四八九	一六六・八
英國	五五四	六、八一九	一二三〇・九
諾威	不明	七四一	—
北米合衆國	一、九三八	一、四八四	七六・六
白耳義	不明	五二五	—
瑞典	不明	一、八二三	—
西班牙	二、九九六	七〇八	二三・六
其他	三、六五七	三九	一・一
合計	二一七、五五八	三五八、八一五	一六四・九

(Korte berichten voor landbouw, nijverheid en handel, No. 32, Aug. 12, '27)

□一九二八年度豫算上に表はれたる蘭印官業

一、ベンクーレンの金銀鑛業

豫算案の説明覺書第八類に依れば、一九二八年度使用として猶約四〇、〇〇〇噸の採集可能の鑛石がある。

一九二六年末に於ける貯藏鑛石量は酸化鑛約六〇、〇〇〇噸石英鑛

六、〇〇〇と見積られたが、一九二六年に於ける採掘の結果酸化鐵の貯藏量は猶約一〇、〇〇〇噸増加することが出來たのであるが、それに反し石英鑛の貯藏量は、萬全を期する爲約一七、〇〇〇噸は多分採集不可能の鑛石として控除せねばならなかつた。

故に四〇、〇〇〇噸の鑛石を使用したとしても、一九二七年分としての貯藏鑛石は一九二六年末現在の見積で猶約二六、〇〇〇噸ある譯である。其間又一九二七年及び一九二八年度用の採集可能の鑛石が側ら見出されるものと豫想されて居る故に、一九二八年度に於ては全年に亘つて作業を繼續することが出來るとされて居るのである。若しも殘餘の採掘期間中に何等大量の採掘價値ある鑛石が發見されない時は――大量の採掘價値ある鑛石發見の機會が尠ないと思はれる時は――作業は一九二八年で中止されるであらう。

レボン・シムパンの探査も思ふ樣な結果を齎らさず、從つて當地に於ける作業は、タムパン・サワー開發の經過如何を待つと共に中止されるに至つた。

一九二六年末に於ける本企業に投下された總資本は、政府會計部の發表する所に據れば八、九四六、〇〇〇盾（內一、四五三、〇〇〇盾は利子の利子）である。之の中には一九〇五年―一九二二年まで鑛物探査部に依つて現在採掘中の鑛脈發見に至るまで支出された二、七〇八、〇〇〇盾、及びタイスに於ける動力設備の設立費二、二〇三、〇〇〇盾（內一二二四、〇〇〇盾は利子）竝に事實上の鑛山開發費四、〇三五、〇〇〇盾（內四八八、〇〇〇盾は利子の利子）を包含して居るのである。

一九二三年―一九二六年の、タイスの動力業をも含む全企業の利益金は各々二〇一、〇〇〇盾、八四七、〇〇〇盾、九五三、〇〇〇盾及び六四三、〇〇〇盾であつて、又一九二七年及び一九二八年度に於ける利益金は六六一、〇〇〇盾及び三四一、〇〇〇盾と見積られて居る。故に一九二八年末までに於ける、全利益金は三、六四六、〇〇〇盾と計算することが出來、且つそれ丈採鑛業に投下した資本金（利子を除く）を取戻すことが出來るのみである。

タイスに於ける動力事業は契約に拘束されて居るものであつて、一九三五年までレジヤン・レボンに電力を供給する爲事業を繼續せねばならないのである。然しレジヤン・レボンは一九三〇年を以つて電力供給契約を解約する權利を持つて居り、其の代り本鑛業會社が保證金として納入した一〇〇、〇〇〇盾は政府の所有に歸することになつて居る。其以後に於ける本動力業の動力供給契約締結の機會は漸次尠なくなつて來て居る。一九二八年度の經營支出は一、一四七、〇〇〇盾と豫算されて居り、卽ち一九二七年度よりは一二五、〇〇〇盾尠ないが、本減少は主としてレボン・シムパンに於ける作業が全く中止されたこと及びタムパン・サワーに於ける熔解乾燥鑛一噸當りの費用が低下したことに原因して居るのである。

一九二八年度に於ける貴金屬の生産高は一、四四〇、〇〇〇盾と見積られて居る。銀價は瓩當り四〇盾と見積られて居り、卽ち一九二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

七年に於ては尙五〇盾と算定することが出來たが一九二六年に暴落した當時の銀價を以つて計算して居るのである。

タイス湖の水力事業に於ける對第三者電力供給收入は、一九二七年と同樣に五〇、〇〇〇盾と見積られ、且つ他の收入も亦一九二七年と同樣に二五、五〇〇盾と見積られて居る。

收入より總ての支出(卽ち官吏の恩給基金として同庫納金、賜暇竝に休職手當、待命手當、扶助金及び和蘭―蘭領印度の旅費及び滯在費をも含む)を控除した純益金は前述の通り三四一、二〇〇盾と見積られて居る。

二 バンカ錫鑛業

豫算案說明覺書に依れば、一九二八年の生產高は一九二七年の三〇〇、〇〇〇擔に對し、三一〇、〇〇〇擔と見積られて居る。一九二八年度の經營支出は一六、七六五、〇〇〇盾で、一九二七年よりは六五二、七〇〇盾多く見積られて居るが、之れは主として企業地の錫量が尠なく見積られた結果錫量の尠ない地帶を浚渫船を以て作業する結果としてより大規模の掘鑿の必要を生じた事情に基因して居るのである。

又機械作業の擴張を引續いて實施する結果として、より多く人員を使用せねばならない事は、人事の項に於て說明して居る通りである。

而し乍ら、前記の樣な人員の擴張を行ふ代りに機械掘擴張の結果としての生產增加に依つて勞働者數が減少したと云ふ意味に於て他の支出を節約することが出來るのである左に揭げる數字は之れを說明するものである。

一九二一年(機械作業擴張開始の年)―一九二五年間に於て勞働者數は其の一二%六減少したが、土壤の掘高は六〇%六增加し、その結果生產は一九二一年に於ける二四四、七一六擔より一九二五年の三三六七五〇擔に增加した。

總ての附帶人件費をも含む(官吏の恩給基金としての國庫納金、賜暇竝に休職手當、待命手當、扶助金和蘭―蘭印の旅費及び滯在費等と共に)通例の差引をした全營業勘定に依れば、所謂他の收入を控除した後の來年度に於ける全生產費は一八、〇八一、七五〇盾であつて、錫一擔當りの生產費は五八・三三盾となる。

一九二八年度の收入は、擔當りの價格一七〇盾と計算して五二、二二四、五〇〇盾と見積られて居る。

收入から總ての支出(官吏の恩給基金として國庫納金、賜暇竝に休職手當、待命手當、扶助金及び和蘭―蘭領印度の旅費及び滯在費、敎育費等)を控除した收支殘高より、諸設備竝に他の各種營業機械の減價償却金三六、二七六、五〇〇盾を差引く時は、三三、六一八、二五〇盾から一、六五八、二五〇盾の利益を得ることになる。

平均借款利息の外、一九二八年一月末現在に於ける事業投資額に對する利息を六%及び一九二八年の營業年度に於ける、其が擴張に對する利息を三%とする時は、上記のものを控除した後の國庫に對する差引利益金は三三、六〇三、〇〇〇盾となるのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

三、オムビリン炭鑛業

一九二八年度の産額は一九二八年度豫算中に、一九二七年度の五二五、〇〇〇噸に對し六〇〇、〇〇〇噸（總噸數）と見積られて居る。而し乍ら內二〇、〇〇〇噸は鑛山自身に於て使用することになつて居る故に、供給可能數量は一九二七年の五〇〇、〇〇〇噸に對し五八〇・〇〇〇噸となる。一九二七年には石炭の需要が激增した爲、勞力を出來る丈增加して以つて生産を增加することに努力された。此の關係上一九二八年度の豫算案中には最初から産額を多くして計上してあるのである。

此處に猶注意を喚起せねばならないことは、技術的設備等に關しては鑛山は豫定産額を生産するに充分な能力を持つて居り、且つ産出された石炭は總て捌口を見出すことが出來ることである。竝に採掘された石炭を搬出することが出來るや否やは、全く充分な勞力を得ることが出來るか否かの問題に依つて決定されるのである。が而し勞力の補充は非常に圓滑を缺いて居る。一九二二年以來勞働者數は著しく減少して居るのであつて、平均勞働者數は次表に見る通りである

年次	囚人	契約勞働者
一九二二年	四六六二人	四〇九八人
一九二六年	一六二〇人（一九二六年末には一四二七人に減少した）	四一五三人（一九二六年末には四一五〇人に減少）

總數の減少數をそれに依つて埋合せることが出來る程に契約勞働者の輸送を增加することは頗る不可能の樣に思はれる。

採掘竝に坑道建立法及び搬出等に關する、各種の技術的改良は―其の結果一人當りの生産を著しく增加せしめるに至つたが、勞力供給不充分の結果として起る生産の減退を完全に防止することが出來ない。本鑛業に投下された資本が過大であると云ふ事を除いては、本事業の財政的成績は相當のものであつたが近年に於ては、それに依つて非常に不利な影響を蒙むるに至つた。

豫算案に依れば、營業支出は一九二七年の六、五四三、四〇〇盾に對し七、七八七、〇〇〇盾即ち一、二四三、〇〇〇盾多く見積られて居る。

商業的基礎の下に作成された事業費計算書に依れば、附帶人件費（官吏の恩給基金としての國庫納金、賜暇手當、待命手當、扶助金、旅費竝に滯在費、和蘭へ或は和蘭よりの旅費等）をも含む總事業費は七、八四七、〇〇〇盾と豫算されて居る

此の內蘭印群島に跨る石炭輸送に對する船賃として支拂されるもの一、四〇〇、〇〇〇盾及び特別收入として見積られて居るもの（二一五、〇〇〇盾）は之を控除するが、鑛山設備の減價償却金たる一、〇三七、〇〇〇盾を添加する時は、エムマハーフエンまでの總生産費は七、二六九、〇〇〇盾となる。從つて、エムマ港甲板渡平均原價は一噸當り一二・五三盾となる譯である。

エムマ港に於ける一九二八年の平均收入は、前途が樂觀されて居る關係上一九二七年度の豫算案に於ける一二、〇三盾に對し、噸當り一二、四〇盾と見積られて居る。其の結果收入は石炭供給代七、一九二、

〇〇〇盾となり、且つ燒粘板岩の收入五〇、〇〇〇盾及び其他の收入を含む、（海上運賃を算入しない）總收入は七、四五七、〇〇〇盾 と見積られて居る。

四、ブーキト・アサムの石炭業

一九二八年の生産高は三四五、〇〇〇噸と見積られて居り、内一五、〇〇〇噸は自己使用の分とされて居る （一九二七年度に於ては三二五、〇〇〇噸内一〇、〇〇〇噸は自己使用量）事故に、供給數量は三三〇、〇〇〇噸となるが、是等は容易に其の捌口を見出すことが出來るであらう。又鑛山は猶準備期にある、關係上勞働者を充分に供給する時は豫定額の石炭を採炭することが出來るであらう。

經營支出は豫算案に依れば五、二四六、〇〇〇盾と見積られ、一九二七年度の四、七五九、八五〇盾より四八七、〇五〇盾多く見積られて居る。

商業的基礎の下に作成された、總ての附帶人件費（官吏の恩給基金としての國庫、納金、賜暇手當、待命手當、扶助金、旅費、滯在費及び和蘭―蘭印度の旅費）をも含む全事業費は、五、二八九、九〇〇盾と見積られて居る。

此の內から蘭印群島に亘る輸送船賃として支拂はれるもの （九八〇、〇〇〇盾）及び所謂特別收入として見積られたもの （五一、五〇〇盾）を控除するも、鑛山設備及びブリケット工場の減價消却金五〇三、九〇〇盾を加算する時は、ケルタパチ渡石炭及びタンジョン・プリオク渡ブリケット總生產費は四、七六二、三〇〇盾となる。 故に純一噸（石炭はケルタパチ、ブリケットは汽車運賃不用プリオク渡）當りの平均生產費は約一四・四三盾に相當することになる。

運賃を除外する石炭及びブリケット販賣收入は 五、二〇七、五〇〇盾と見積られ、一九二七年に於ける一噸當り一四・七〇盾に對し平均一五・七八盾となる。

總ての支出（前述の附帶人件費をも含む）を控除した收入殘高を云ふ營業利益金は九四九、一〇〇盾と見積られ、 諸設備の原價償却金として政府の會計部に依つて計上されて居る五〇三、九〇〇盾を保留する時は、純利益は四四五、二〇〇盾となる。

借款平均利息の外に一九二八年一月一日現在までに事業に投下された資本の利息六%卽ち四一九、一三〇盾及び一九二八年に於ける事業擴張費の三%を控除する時は、差引國庫收益金は二六・〇七〇盾となる。

五、ブールーラウト礦業

一九二八年の產額は一八〇、〇〇〇噸と見積られて居る。故に販賣用炭は一九二七年度の豫算案よりも一五、〇〇〇噸減少して居る。

本產額の見積に際しては一九二八年には充分の勞力を獲得することが出來るであらうと云ふことに根據を置いて居るのである。

勞働者の甚しき不足及び山脈の防害に依つて普通の採掘を爲すことが出來なかつたことは、昨年に於ける生產量が豫定額よりも五七、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

〇〇〇噸點なかつた原因である。一九二六年に於ける生産は、總て第二炭層の採炭準備作業中に採掘されたものであつて、一九二七年度分も亦其の大部分は完全な採掘を爲す爲に準備せねばならない炭田から採集せねばならなかつたのである。而して一九二八年度からは初めて完全な採掘を爲すことが出來るであらう。

營業經費は豫算案に據れば、一九二七年の二、一九五、八〇〇盾に對し一、八五〇、〇〇〇盾と見積られて居る

商業的基礎の下に作成された、總ての附帶人件費をも含む（官吏の恩給基金としての國庫金、賜暇手當、待命手當、扶助金、和蘭—蘭領印度の旅費滯在費等）事業費に、猶事業に投下された資本に關し控除すべき額四二〇、九〇〇盾を加へた全事業費は二、三一五、九〇〇盾に達し、海上運賃及び所謂特別收入を差引く時は一、六五五、〇〇〇盾となる故に、スターゲン甲板後塊炭及び粉炭を平均した一九二八年度の生産費は噸當り九・二〇盾と見積られる。

石炭販賣收入は一噸當り平均九盾として一、六二〇、〇〇〇盾と見積られて居る。

六、官營護謨栽培業

支出

一九二七年及び一九二八年度の經營支出及び資本支出の仕分は次の如くである。

	經營支出	資本支出	合計
一九二七年	三、一六〇、五七八盾	一、一一五、一〇一盾	四、二七五、六七九盾
一九二八年	三、五七〇、六一一盾	一、三九六、〇四三盾	四、九六六、六五四盾
一九二八年度增加額	四一〇、〇三三盾	二八〇、九四二盾	六九〇、九七五盾

經營支出額增加の大部分は、從業員の利益分配の增加に原因して居るのであつて、其他は普通の生産增加及び植付が生産期に達するに共ふ經費の增加である。

資本支出の增加は、其の一部分は護謨栽培の植付を每年植付の四%を廢棄する代りとして面積の四%を擴張したこと、及びスマトラ東海岸にある、マヤンのグタペルチヤ園の未植付地に油椰子園を設立する費用として一四一、七九〇盾計上されて居ること等に原因して居るのである。

グタペルチヤ園は、スマトラ東海岸のシメルングン郡に其の設立が決定された當時、其の位置の關係上其の全面積を使用することが出來なかつたらしく、現今に於ては單に其の一部を占めて居るのみである。殘餘の部分は猶約一、七〇〇、ヘクタール內一、五〇〇ヘクタールは植付可能—の面積があるが、グタペルチヤの植付擴張用地としては、生産品の賣捌可能性と云ふことに考慮を置き未だ使用されて居ないものである。

此の土地を未使用の儘放棄して置くと云ふことは莫大な資本（約三一五、〇〇〇盾）に對する不用の利益損失を供ふものであるから、此の上に何かを植付ければならないのである。此の土地は位置と云ひ、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

地質及び氣候と云ひヘヴィア或は油椰子の栽培に適して居る。而して政府農園は主として激變する護謨價に左右されて居り、從つて他の作物を植付けることに依つて危險率を尠なくするが得策であると云ふ、見地からして、油椰子を栽培することに決定されたのである。此の外左の諸事實は油椰子植付の有利であることを雄辯に物語つて居る。

一、該土地に於ける生産の減に達するまでのヘクタール當りの費用は、油椰子の方がヘヴィアよりも尠ない。

二、椰子油はヘヴィアよりも價格變動の尠ない産物であつて、爲にヘヴィア護謨よりも危險率が尠ない。

三、該土地及び氣候は油椰子の栽培に非常に適して居り、之れ以上に適して居る土地は又とない程である。

周到な注意を以つて計算された約一、五〇〇ヘクタールの油椰子園に對する詳細な資本並に經營勘定に依れば、植付が全部生産(六年後)するに到るまで必要な總資本は約一、六六七、〇〇〇盾に昇るであらうとされて居る。

一九二八年には先ず以つて二〇〇ヘクタールを植付けることになつて居り、之れに必要な金額は一四一、七九〇盾と見積られて居る。

收入

收穫は次の如く見積られて居る。

ヘヴィア護謨	四、二三六、〇〇〇瓩
フイカス護謨	五三、四〇〇瓩
グタペルチヤ	一三〇、〇〇〇瓩
コプラ	九、〇〇〇擔
コカ	三、〇〇〇瓩
米	三〇〇擔
樹脂	四八〇、〇〇〇瓩
テレピン	一二〇、〇〇〇瓩

豫想的市價に就ては、ヘヴィア護謨フイカス護謨及びグタペルチヤの價格は一九二七年度より低く卽ち其々瓩當り二・一〇、一・五五及び六盾と見積られ、又コカ及びコプラの賣價も之れに從つて各々瓩當り、二盾及び擔當り一五盾と計算され、テレピン及び樹脂の賣價は各々瓩當り〇・三〇盾及び〇・七〇盾とされた。

全收入は一〇、一七三、三七〇盾と計上され、一九二七年度豫算案中のそれよりも七〇〇、〇〇〇盾尠なく見積られて居る。此の減少は護謨價の下落に基くものである。

收支(資本支出をも含む)兩豫算間の差引利益金高は約五、二〇〇、〇〇〇盾である。

營業の結果

經營支出及び收入間の利益殘高は七、五一五、九〇八盾と計算されて居る。此の内から償却金 七五七、八四四盾及び一九二七年の營業年度分の從業員に對する利益分配金を差引き、更に一九二八年一月一日に於ける本事業に投下された生産的資本に對する六% の利子及び一

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

九二八年に於ける事業擴張費に對する三％の利子を差引く時は、純益金は五、三一六、三一三盾となる。帳簿上の未生産植付及び其の準備費を差引いた一九二八年一月一日現在に於ける帳簿上の全事業費は九、三二四、七一〇盾となつて居る故に、純益金はその五七％となる譯である。

(Soerabajasch handelsblad, May 25, '27)

□ 蘭領印度立法行政法改正案蘭國議會に提出さる

一九二五年七月十五日付勅令を以つて發布された、蘭領印度立法行政法原文(和蘭官報第三二七號、印度官報第四四七號)は、今回次の如く改正されることゝなり、國會に該法案が提出された。即ち

第一條

一九二五年七月十五日付勅令を以つて原文を發表せる、蘭領印度立法行政法は次の如く之れを改正す。

第一項、第七條第一項を次の如く改正す。

一、蘭領印度には一人の副議長及び六人の議員より成る蘭領印度評議院を設く。

第九條第二項には次の如き句を添加す。

「彼等は彼等の官職に五年以上在職することを得ず、且つ任期終了後直に再び任命せらるゝを得す。

第二項、第五十五條第二項は次の如く改正す。

二、議員の内三十人は非和蘭人領内臣民に、最低二十五人は和蘭人臣民に及び最高五人最低三人は非和蘭人渡航臣民に屬するものとす。

第三項、第五十六條第四項の最後の句を次の如く改正す。

但し、必要に應じ第二十一條第二項所掲の蘭領印度の部分に於ては本選擧區内選擧は

A 第百二十一條第二項及び第百二十四條第二項所掲議會の議院たる非和蘭人領内臣民たるか、或は

B 總府令に依り、當該選擧區内に制定さるべき地位を帶ぶる者にして實質に於て前記議會の議員の地位に劣らざるもの。との除外例を設く。

第四項、第七十二條第一項中の第一回會議なる語は「最初の十四日間以内に」と云ふ語に變換す

第二條

第一條第一項効力發生期は皇帝之を定む。同條第二項は一九三一年五月一日に効力を生ずるものとす。以上

因に政府は、國民參議院議員中に於ける各民族團體の代表者を次の如き割合を以つて割當てんとするものである。

民族團體	選擧に據るもの(人)	任命に據るもの(人)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

非和蘭人領内臣民	二〇	一〇（五）
和蘭人臣民	一五	一〇（一五）
非和蘭人渡航臣民	三	二
合計	三八	二二

括弧内の數字は現行法中に掲げてあるものである。

又蘭領印度評議院は二名増員される譯であつて、其の任期を五年に限定しやうとするものである。

本改正案の主旨は、從來和蘭人臣民が優勢な地位を占めて居た國民參議院に於て土人の發言權を擴張する爲、今回土人議員數を和蘭人議員より多くするにあるのであつて、且つ蘭領印度評議院に於て定員を二名増員したことも、歐人定員の増加を意見するものでなく、土人二名を推選して評議院議員たらしめるにあるのである。

英領印度

□一九二六年英領印度の産炭額

産地	額（噸）
アツサム	三〇〇、五〇六
バルチスタン	九、一三一
ベンガル	五、一三七、六八八
ビハー及チリツサ	一三、九四二、四〇四
ビルマ	
中部諸州	六三五、二五二
パンジヤブ	六八、〇四三
合計	二〇、〇九三、〇二四

Prospects for Bicycle Sales in India (Com. R. No. 27, July 4, '27. P. 32)

The Status of Indian Agriculture (Com. R. No. 27, July 4, '27. P. 10)

Karachi an Important Entrepot for Eastern Persia (Com. R. No. 28, July 11, '27. P. 76)

Social Conditions in India (H. D. P. Aug. 17, '27)

其他

De handel van Nieuw-Zeeland Met Ned-Indië (L. N. e. H. No. 31, Aug. 5, '27)

□歐羅巴□

英國

The Development o Bast and Leaf Fibre Cultivation in the British Empire. Pt. II. Ernest Goulding (B. I. I. Vol. XXV, No. 2, July '27. P. 131)

L'évolution de l'empire Britannique et l'avenir de la politique européenne. (le C. H. July 1, '27. P. 1)

佛蘭西

La politique française en Chine (le C. H. July 3, '27. P. 1)

Le budget du Ministère des Colonies (le C. S. July 5, '27. P. 2)

Les budgets Communaux et les budgets départementaux (le T. July 28, '27. P. 1)

De buitenlandsche handel van Frankrijk gedurende 1926 (L. N. e. H. No. 31, Aug. 5, '27)

□阿弗利加□

China-Clay from South Africa (B. I.I. Vol. XXV, No. 2, July, '27. P. 126)

□兩米大陸□

北米合衆國

Banana Cultivation in Hawaii (B. I. I. Vol. XXV, No. 2, July, '27. P. 151)

"Has the United States a Chinese Policy?" By Stanley K. Horneeck (C. W. R. Vol. XLI, No. 8, 9, July 23, 30, '27)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Ontvoogde Suiker industrie (S. Hb. July 9, '27)

Sumatra's Increasing Trade in Commercial Fertilizers. (Com. R. No. 28, July 11, '27. P. 109)

Jaarverslag K. P. M. (S. Hb. July 11, '27)

Het Jaarverslag van de Javasche Bank (S. Hb. July 12, '27)

Van Welvaartspolitiek (S. Hb. July 12, '27)

De Vooruitzichten voor de staatsfinancien (S. Hb. July 13, '27)

Inkomst van Landvoogd (S. Hb. July 13, '27)

De Verhouding tusschen europeesch en inlandsch bestuur (S. Hb. July 16, '27)

Wets-ontwerpen (H. N. v. d. D. July 16, '27)

Wijziging indische Staatsregeling (S. Hb. July 18, '27)

Zout affaire (S. Hb. July 20, '27)

Dienst Voor waterkracht en electriciteit (H. N. v. d. D. July 22, '27)

Schoolleiding en onderwijspeil (S. Hb. July 23, '27)

Het Poeloe Laoetsteenkolen bedrijf (S. Hb. July 23, '27)

De Voorgeschiedenis van de indische huiszoekingen in Nederland (S. Hb. July 25, '27)

Indo-Chineesche Vraagstukken (S. Hb. July 25, '27)

Overschottenfictie (S. Hb. July 27, '27)

Rondom de Poenale Sanctie (H. N. v. d. D. July 30, '27)

Een Engunstig Duitch oordeel Over Ned-Indië (H. N. v. d. D. Aug. 2, '27)

De Nederlandsche handel Maatschapij (H. N. v. d. D. Aug. 2, '27)

De Toestand in Atjeh (H. N. v. d. D. Aug. 2, '27)

De Chineesche-Situatie (S. Hb. Aug. 4, '27)

De invoer van Java en Madoera gedurende 1926 (L. N. e. H. No. 31, Aug. 5, '27)

De buitenlandsche handel vaa Java en Madoera gedurende het eerste halfjaar van 1927 (L. N. e. H. No. 31, Aug. 5, '27)

Oostkust van Sumatra instituut (S. Hb. Aug. 8, '27)

Bestuurshervorming theorie en de Practijk (H. N. v. d. D. Aug. 10, '27)

Suikerindustrie belangen (S. Hb. Aug. 10, '27)

Inlandsch-Landbouw gewassen (S. Hb. Aug. 10, '27)

De Uitvoer van Copra naar het buitenland met de buitengewesten gedurende 1921 t/m 1926 (L. N. e. H. No. 32, Aug. 12, '27)

Poenale Sanctie voor Europeanen (H. N. v. d. D. Aug. 13, '27)

英 領 印 度

Ceylon Rubber Research Scheme (B. I. I. Vol. XXV, No. 2, July, '27. P. 146)

The Calcutta Market for Boots and Shoes (Com. R. No. 27, July 4, '27. P. 43)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

暹羅

Archaeology in Siam (B. T. July 30, '27)

Competition in Siam—Lighter Classes of Hardware (B. T. Aug. 3, 27)

英領馬來

The Origin of the Malay Race. By Benjamin Scott Keasberry (I. O. Vol. VIII, No. 6, June, '27. P. 323)

The Human Side of Education in Malaya. By R. J. H. Sidney (I. O. Vol. VIII, No. 6, June, '27 P. 348)

Sarawak in 1926. Pt I. (S. F. P. July 19, '27)

More About Rubber Smuggling (S. F. P. July 20, '27)

Reconditioning Singapore. Improvement Trust Work (S. F. P. July 20, '27)

The Colony's Trade in 1926 (S. F. P. July 20, '27)

Padi Planting in the Colony (S. F. P. July 20, '27)

Sarawak in 1926. Pt II. (S. F. P. July 20, '27)

A Year's Shipping (1926) at the Five Ports of the Straits (B. T. July 21, '27)

British Malaya Rubber 5th Restriction Year (S. F. P. July 21, '27)

Immigration in 1926 (S. F. P. July 23, '27)

De visscherij in tropische wateren (H. N. v. d. D. July 26, '27)

The Colony's Vital Statistics (S. F. P. July 29, '27)

Colonial Office Appointments (S. F. P. Aug. 4, '27)

British Malaya Rubber. July Statistics (S. F. P. Aug. 4, '27)

The Pearl-Divers of Australia (S. F. P. Aug. 8, '27)

Federal Council (S. F. P. Aug. 9, '27)

The Kuala Kangsar Durbar (S. F. P. Aug. 16, '27)

The F. M. S. Durbar (S. F. P. Aug. 16, '27)

Future of Rubber Industry (S. F. P. Aug. 18, '27)

F. M. S. Co-operation Board. Half Yearly Report (S. F. P. Aug. 19, '27)

The Colonial Conference Did it Succeed? (S. F. P. Aug. 20, '27)

British Malaya Rubber. 5th Restriction Year (S. F. P. Aug. 20, '27)

蘭領東印度

Meandering through the Moluccas. By Irving 9. Smith (I. O. Vol. VIII, No. 6, June, '27. P. 327)

Kon Paketvaart-Mij (H. N. v. d. D. July 6, '27)

Van Verloren vertrouwen (H. N. v. d. D. July 6, '27)

Jaarverslag Javasche Bank (H. N. v. d. D. July 8, 9, 11, '27)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Instretion et Éducation (E. E. E. I. 525, July 3, '27. P 6)

La route au Cambodge (E. F. I. No. 525, July 3, '27. P. 13)

Chronique des Mines (F. E. I. 525, July 3, '27. P. 14)

Six mois d'exportations par le port de Saigon (le C. S. July 4, '27. P. 1)

Le budget de la Marine Marchande (le C. S. July 4, '27. P. 1)

Les voies ferrées de l'Indochine (le C. H. July 7, '27. P. 1)

La défence de l'Indochine (le C. H. July 7, '27. P. 1)

Un nouveau décret sur le régime des Concessions (le C. S. July 8, '27. P. 1).

Les résultats en Cochinchine sont rent remarquables (le C. S. July 9, '27. P. 1)

Questions Douaniere Indochinoises (F. I. July 9, '27. P. 1)

La population de notre Empire Colonial (F. I. July 9, '27. P. 1)

Causeries sur l'histoire d' Annam. (E. E. I. No. 526, July 10, '27)

Pour Créer une aviation Commercial en Indochine (F. I. July 13, '27. P. 1)

La Cochinchie industrielle (le C. S. July 15, '27. P. 1)

Pour nous rendre à le foire de Saigon. (E. F. I. No. 527, July 17, '27)

Chroniques des Mines. (E. E. I. No. 527. July 19, '27 .P. 14)

Les résultats de la colonisation Cochinchine sont remarquables (F. I. July 20, '27.

P. 1 L'immigration chinoise en Cochinchine(le C. S. July 21, '27. P. 1)

Les nouveaux impots (F. I. July 22, '27. P. 1)

Le régime des Concessions (F. I. July 22, '27. P. 1)

Haiphong-Paris en automobile (le C. S. July 22, '27. P. 1)

La denière récolte fut supérieure de 300,000 tonnes à Celle de 1926(le C. S. July 23, '27. P. 1)

Le problème de la Main-d'oeubre en Cochinchine (E. E I. No. 528, July 24, '27. P. 1)

Causeries sur l'histoire d' Annam (E. E. I. No. 528, July 24,. 3)

La Douane au Laos (E. F. I. No. 528, July 24, '27. P. 6)

L'industrie des peaux de reptiles et autres petites industries au Tonkin(E, F. I. No. 528, July 24, '27. P. 7)

Francais et indigènes (le C. H. July 27, '27. P. 1)

Les voies de grande Colonisation(le C. July 27, 28, '27. P. 1.)

Le budget de la Cochinchine atteindra en 1928 près de 20 Millions de piastres (le C. S. July 27, '27. P. 1)

La défenee autonom l'Indochine (le C. H. July 28, '27. P. 1)

Le voyage de M. Vareane au Laos. (le C. S. July 30 '27 P. 1)

Chronique des Mines (E. F. I. No. 529, July 31, '27. P. 14)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Shanghai Trade Report for 1926 (H. D. P. Aug. 15, '27)

China's Foreign Trade. The Figures for 1926 (H. D. P. Aug. 16, '27)

That Thirty Per Cent Tax (N. C. D. N. Aug. 26, '27)

Intervention in China. By Gen. William Crozier (N. C. D. N. Aug. 26, 27, '27)

The Vexed Question of the Shanghai The Shanghai Tael (N. C. D. N. July 27, '27)

China's Revised Import Taxation (N. C. D. N. July 28, '27)

Protection of Forests (H. D. P. Aug. 22, '27)

比律賓

Among the Bontoc Igorots. By William B. Goldrick (I. O. Vol. VIII, No. 6, June 27. P. 353)

Osmena will Head Senate (P. H. July 16, '27)

Solons Get Report on Board of Control Case (P. H. July 16, '27)

Fund Drive Opens with Quezon Roxas Appeal for People's Aid (P. H. July 16, '27)

Sumulong Intervention Halts Democrata Wallop at Recto (P. H. July 16, '27)

Session Opening to-day has Greater Prospect of Achieving Good Results than All Meetings Since 1923 Crisis (P. H. July 16, '27)

If Bid For Cooperation is Earnest, Response is not Lacking, Solons Say (P. H. July 17, '27)

Acting Governor General Gilmore's Full Message (P. H. July 17, '27)

Good Impression Made by Gilmore (P. H. July 17, '27)

Stirring Appeal Made by Osmena (P. H. July 17, '27)

P 10,000,000 is Requested for Mindanao Plan (P. H. July 19, '27)

Democratas Won't Join Next Mission to be Sent to U. S., Caucus Decided (P. H. July 20, '27)

Disposal of Firm is Hit By Senators (P. H. July 23, '27)

Democratic Paper for Thompson as Governor (P. H. July 23, '27)

Fisher Claims Freedom can't be Safely Given to Filipinos Right Now (P. H. July 24, '27)

Teodoro Kalaw Points to Mission of P. I. Youth (P. H. July 24, '27)

Review of Reviews has Democratic Symposium on Freedom of Islands (P. H. July 26, '27)

P. 72, 338, 945 1928 Budget for P. I. Gov't (P. H. July 26, '27)

U. S. Delegates Endorse Mixed Commission Plan to Decide P. I. Problem (P. H. July 28, '27)

佛領印度支那

M. Alexandre Varenne en Indochine (A. T. July 1, '27. P. 1)

La politique asiatique de Tokio et les intérêts de l'Indochine (le C. S. July 1, '27. P. 1)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Some Well-Known Manufactures of Hangchow (杭州), Chekiang (C. E. J. Vol. I, No. 8, Aug. '27. P. 719)

Tea Production in Chekiang Province (C. E. J. Vol. I, No. 8, Aug. '27. P. 749)

Famine Relief in 1926 (C. E. J. Vol. I, No. 8, Aug. '27. P. 762)

Means of Communication in Ancient China (C. E. J. Vol. I, No. 8, Aug. '27. P. 701)

List of Secured Payments in 1927 (C. E. J. Vol. I, No. 8, Aug. '27. P. 743)

References to Early Manchu Economy in the Annals on the Foundation of the Manchu Empire (C. E. J. Vol. I, No. 8, Aug. '27. P. 725)

The Buying Capacity of the Chinese (H. D. P. Aug. 4, '27)

Schedule of Luxuries Appended to Article 40 of the Provisional Law on National Import Tariff (C. W. R. Vol. XLI, No. 10, Aug. 6. '27)

Huge Increases in Duties, Excise Taxes and Tonnage dues (C. W. R. Vol. XLI, No. 10, Aug. 6, '27)

Shall We Leave China to Herself? By W. W. Stuart (C. W. R. Vol. XLI, No. 10, Aug. 6, '27)

Fear and Contempt in Relations of Chinese and Foreigners. By Arthur Ransome (C. W. R. Vol. XLI, No. 10. Aug. 6, '27)

Who's Who in China. Mr. Hu Kuang-piao (胡光麃字[illegible]) (C. W. R. Vol. XLI, No. 10, Aug. 6, '27)

Chinese Military Situation Reaches a Deadlock. By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLI, No. 10, Aug. 6, '27)

The Golden (Buddha) Mountain of Szechuan (N. C. D. N. Aug. 8, '27)

The Military-Political Panorama in China. (N. C. D. N. Aug. 9, 11, 20, 30, '27)

Japanese Mills to Close (N. C. D. N. Aug. 10. '27)

Protection of American Life and Property in China (N. C. D. N. Aug. 11, '27)

Railway Issues in China (C. E. T. Vol. LXIX, No. 3338, Aug. 11, '27. P. 604)

A Summary of Chinese "Chaos". By Wilbur Burton (C. W. R. Vol. XLI, No. 11, Aug. 13, '27)

Details of Disastrous Earthquake in North Kansu (C. W. R. Vol. XLI, No. 11, Aug. 13, '27)

Shanghai's Trade Last Year Exceeded All Records and Expectations (C. W. R. Vol. XLI, No. 11, Aug. 13, '27)

'Unequal Treaties' as Chinese Grievances. By Arthur Ransome (C. W. R. Vol. XLI, No. 11, Aug. 13, '27)

Manchuria for the Chinese (C. W. R. Vol. XLI, No. 11, Aug. 13, '27)

Shanghai's Recent Silk Filature Strike. By Paul K. Whang (C. W. R. Vol. XLI, No. 11, Aug. 13, '27)

Who's Who in China. Mr. Ku Ying-fen (古應芬字[illegible]) (C. W. R. Vol. XLI, No. 11, Aug. 13, '27)

Japanese Complications in the Chinese Civil War. By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLI, No. 11, Aug. 13, '27)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

When They Raised the Price of Our Favorite Cigars! By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLI, No. 8, July 23, '27)

Collapse of the Chinese Salt Gabelle. By Lawrence Impey (C. W. R. Vol. XLI, No. 8, July 23, '27)

Repairing Dikes and Revolutions on the Upper Yangtsze. By O. J. Todd (C. W. R. Vol. XLI, No. 8, July 23, '27)

Boycott Brings Proit to Chinese Mills. By B. Y. Lee (C. W. R. Vol. XLI, No. 8, July 23, '27)

China's Raw Silk and the U. S. Market. By Paul K. Whang (C. W. R. Vol. XLI, No. 8, July 23, '27)

What is a Shanghai Tael? By E. Kann. (C. W. R. Vol. XLI, No. 8, July 23, '27)

Is China to be Divided into East and West as Well as North and South? By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLI, No. 8, July 23, '27)

Who's Who in China. General Chu Chang-en (朱長恩字瑪綸) (C. W. R. Vol. XLI, No. 8, July 23, '27)

Provisional Regulations Governing Registration of Applications for Patent Rights (C. E. B. Vol. XI, No. 335, July 23, '27. P. 46)

Tobacco Growing at Tungcheng (桐城), Anhwei (C. E. B. Vol. XI, No. 335, July 23, '27. P. 47)

Production of Cow and Buffalo Hides in Yunnan (C. E. B. Vol. XI, No. 335, July 23, '27. P. 50)

Shanghai Developing into a World City (Com. R. No. 30, July 25, '27. P. 198)

The Nanking Proposals (C. E. T. Vol. LXIX, No. 3336. July 28, '27. P. 561)

Feng Yu-Hsiang's Army (C. E. T. Vol. LXIX, No. 3336, July 28, '27. P. 569)

Are the British Going Back to Anglo-Japanese Compact? (C. W. R. Vol. XLI, No. 9, July 30, '27)

China's Demand for Cotton Goods (C. W. R. Vol. XLI, No. 9, July 30, '27)

Does China Want America's Friendship? By George R. Grose (C. W. R. Vol. XLI, No. 9, July 30, '27) .

Who's Who in China. Mr. Hsia Chi-feng (夏奇峯) (C. W. R. Vol. XLI, No. 9, July 30, '27)

Has the Chinese Nationalist Revolution Failed? By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLI, No. 9, July 30, '27)

Tsingtao. By G. W. M. (C. W. R. Vol. XLI, No. 9, July 30, '27)

Railway Communications in China (C. E. B. Vol. XI. No. 336, July 30, '27)

Summary of Strikes in Shanghai in June (C. E. B. Vol. XI, No. 336, July 30, '27. P. 64)

Business Practices of Native Banks (C. E. B. Vol. XI, No. 336, July 30, '27. P. 6?)

Railway Conference in Peking (C. E. B. Vol. XI, No. 336, July 30, '27. P. 75)

Woollen Piece Goods Merchants in Shanghai (C. E. B. Vol. XI, No. 336, July 30, '27. P. 75)

Export of Silk from Shanghai (C. E. B. Vol. XI, No. 336, July 30, '27)

Retail Prices in Peking (May-July, '27) (C. E. J. Vol. I, No. 8, Aug. '27. P. 711)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

De bescherming van de Suiker industrie in verschillende Landen(S. i. N. I. 28, July, '27)

Le suffrage des femmes dans le monde (F. I. July 10, '27. P. 1)

Internationale Normalisceering in industrie (S. Hb. July. 13, '27)

Olie Nieuws(H. N. v. d. D. July 21, '27)

De Wereld-Petroleum industrie Zal Amerika den boventoon blijven Voeren (S. Hb. July 25, '27)

□亞 細 亞□
General

Growth of American Trade in Southeastern Asia (Com. R. No. 28, July 11, '27. P. 70)

Soda in the Far-East. By Boris P. Tergasheff (C. W. R. Vol. XLI, No. 11, Aug. 13, '27)

日 本

The Dutch in Formosa. By S. Kalff (I. O. Vol. VIII, No. 6, June, '27. P. 341)

The Artificial Silk Industry of Japan (F. E. R. Vol. XXIII, No. 7, July, '27. P. 314)

Bevordering der Japansche industrie (S. Hb. July 11, '27)

Changing Condition in the Japanese Oil Market (Com. R. No. 30, July 25, '27. P. 201)

Japan's Suicidal Policy. By C. Y. W. Meng (C. W. R. Vol. XLI, No. 9, July 30, '27)

Japan, De Zieke jongeling (S. Hb. Aug. 5, '27)

支 那 及 香 港

Catholic Native Episcopacy in China a New Policy or a New Era? By Father Paschal D'elia, S. J. (C. R. Vol. LVIII, No. 5, 6, May-June, '27)

Hongkong's Effort to Revive Trade (N. C. D. N. June. 27, '27)

Labour Unions in Canton. By Edward H. Lockwood(C. R. Vol. LVIII, No. 7, July, '27)

The Building of a Rural Church Organization and Program in China. J. Lossing Buck (C. R. Vol. LVIII, No. 7, July, '27)

Protection of American Lives and Properties in China. By George Bronson Rea(F. E. R. Vol. XXIII, No. 7, July 27. P. 285)

Buddhism and Christianity. By K. J. Sanders (C. R. Vol. LVIII, No. 7, July, '27)

L'émigration Chinoise en Extrême-Orient (F. I. July 1, '27. P. 1)

China in the Grip of the Red (N. C. D. N. July 4, 5, 16, 22, 27, 30, Aug. 1, '27)

China tea (N. C. D. N. July 5, '27)

Missionaries in China and the Cult of "Nationalism" (N. C. D. N. July 5, '27)

The Future of Missions in China (C. E. T. Vol. LXIX, No. 3533 July 7, 27. P. 510)

Motor Transport for China (E. E. Vol. Vol. XVIII, No. 7. July 14, '27. P. 177)

Chinese Customs Revenue (C. E. T. Vol. LXIX, No. 3535, July 21, '27. P. 549)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那南洋其他海外
重要記事索引

臺灣總督官房調査課

◆ 新聞雜誌略號一覽表 ◆

A. T. Lavenir du Tonkin (July 1—31, '27)

B. I. I. Bulletin of the Imperial Institute (Vol. XXV, No. 2, June, '27)

B. T. Bangkok Times (July 17–Aug. 12, '27)

C. E. B. Chinese Economic Bulletin (Vol. XI, No. 335, 336, July 23, 30, '27)

C. E. J. Chinese Economic Journal (Vol. 1, No. 8, Aug., '27)

C. E. T. China Express and Telegraph (Vl. LXIX, No. 3333, July 7—No. 3338, Aug. 11, '27)

Com. R. Commerce Reports (No. 27, July 4—No. 30, July 25, '27)

C. R. Chinese Recorder (Vol. LVIII, No. 5, May–No. 7, July, '27)

C. W. R. China Weekly Review (Vol. XLI, No. 8, July 23—No. 11, Aug. 13, '27)

E. E. Eastern Engineering (Vol. XVIII, No. 7, July 14, '27)

E. E. I. L'éveil économique de l' Indochine

F. E. R. Far Eastern Review (Vol. XXIII, No. 7, July, '27)

F. I. France-Indochine (July 1—31. '27)

H. D. P. Hongkong Daily Press (July 12–Aug. 22, '27)

H. N. v. d. D. Het Nieuws van den Dag (July 6—Aug. 13, '27)

I. O. Inter Ocean (Vol. VIII, No. 6, June, '27)

le C. H. Le Courrier d' Haiphong (July 1—31, '27)

le C. S. Le Courrier Saigonnais (July 1—31, '27)

L. N. e. H. Landbouw, Nijverheid en Handel (July 15—Aug. 12, '27)

le T. Le Temps (July 1—31, '27)

N. C. D. N. North China Daily News (June 26—Aug. 30, '27)

P. H. Philippine Herald (June 28—July 28, '27)

S. F. P. Singapore Free Press (July 19– Aug. 20, '27)

S. Hb. Soerabajasch Handelsblad (July 9—Aug. 12, '27)

S. i. N. I. Suikerindustrië in Ned-Indië (No. 28, July 28, '27)

* * *

□ 世 界 □

General

Kwaliteitsbeoordeeling van Suiker Sappen Met behulp van de electrische geleidbaarheid (S. i. N. I. 28, July, '27)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN